

指定管理者制度導入施設の 管理運営に係る評価票

評価対象年度：令和6年度

栗 原 市

モニタリング実施結果に基づく評価指標

1 評価項目の区分

評価の区分	ポ イ ン ト	評価票の評価項目
適正性の評価	1. 公の施設管理・運営の状況 2. 平等・公平性、安全対策、危機管理、情報の取り扱い等	(1)基本的な方針に基づく管理・運営体制 (2)施設管理の状況
有効性の評価	1. 施設の設置目的の達成 2. 利用者の満足度	(3)利用者へのサービス提供と満足度
効率性の評価	1. 経費の縮減策・取組 2. 収入確保と増収策・取組	(4)運営の状況（収支の実績等）

2 評価の方法

評価票の「8 総合的な評価」は、次の方法により評価するものとする。

- (1) 評価は、次の基準により S から D までの 5 段階で評価するものとする。
- (2) 項目の評価は、詳細項目の評価結果を勘案して行うものとする。
- (3) 総合評価は、項目及び詳細項目の評価結果を勘案して行うものとする。

【指定管理者が行う自己評価の基準】

評価ランク	評 価 の 考 え 方
S	年度事業計画等の内容を上回る実績であり、優れた施設管理・運営を行った。
A	年度事業計画等の内容どおりの実績であり、適正な施設管理・運営を行った。
B	年度事業計画等の内容にはほぼ等しい実績で適正な施設管理・運営ではあったが、更に適正な施設管理・運営のため工夫・改善の課題もある。
C	年度事業計画等の内容を大きく下回る実績となり、更なる工夫・改善と適正な管理・運営に努める必要がある。
D	年度事業計画等に基づく適正な管理・運営が行えなかったため改善の勧告を受けた。早急に是正すると共に、適正な管理・運営に努める。

【市が行う評価の基準】

評価ランク	評 価 の 考 え 方
S	年度事業計画等の内容を上回る実績であり、優れた施設管理・運営が行われた。
A	年度事業計画等の内容どおりの実績であり、適正な施設管理・運営が行われた。
B	年度事業計画等の内容にはほぼ等しい実績で適正な施設管理・運営ではあるが、工夫・改善の課題解決により、更に適正な施設管理・運営となる。
C	年度事業計画等の内容を大きく下回る実績で、更なる工夫・改善と適正な管理・運営を求める必要がある。
D	年度事業計画等に基づく適正な管理・運営であるとは認められず、改善の勧告を行う。是正されない場合は、業務の停止に及ぶことがある。

令和6年度指定管理者制度導入施設の管理運営に関する評価票 施設一覧

No.	施設名称	施設所在地	指定管理者	指定 管理料	担当部課	市の 総合 評価	ページ
1	くりはら交流プラザ	志波姫新熊谷279番地2	株式会社ゆめぐり	有	企画部市民協働課	B	1 ~ 3
2	栗原市市民活動支援センター	築館伊豆二丁目6番1号	特定非営利活動法人Azuma-re	有	企画部市民協働課	A	4 ~ 6
3	栗原市一迫金田地区コミュニティセンター、栗原市一迫農村環境改善センター	一迫字川口中野30番地	一迫地区金田コミュニティ推進協議会	有	企画部市民協働課	A	7 ~ 9
4	栗原市一迫長崎地区コミュニティセンター	一迫字上中島39番地1	一迫地区長崎コミュニティ推進協議会	有	企画部市民協働課	A	10 ~ 12
5	栗原市一迫姫松地区コミュニティセンター、一迫農村婦人の家	一迫北沢十文字62番地5	一迫姫松地区コミュニティ推進協議会	有	企画部市民協働課	A	13 ~ 15
6	栗原市築館高齢者福祉センター	築館薬師三丁目6番1号	社会福祉法人栗原市社会福祉協議会	有	市民生活部社会福祉課	A	16 ~ 18
7	栗原市栗駒高齢者地域福祉施設	栗駒八幡西沢10番地1	公益社団法人栗原市シルバー人材センター	有	市民生活部社会福祉課	A	19 ~ 21
8	栗原市一迫老人福祉センター	一迫真坂字高橋20番地1	栗原市一迫地区老人クラブ連合会	有	市民生活部社会福祉課	A	22 ~ 24
9	栗原市鶯沢老人福祉センター	鶯沢南郷下久保21番地1	社会福祉法人栗原市社会福祉協議会	有	市民生活部社会福祉課	A	25 ~ 27
10	栗原市瀬峰ふれあいセンター	瀬峰下田地内	栗原市瀬峰地区老人クラブ連合会	有	市民生活部社会福祉課	A	28 ~ 30
11	栗原市栗駒高齢者コミュニティセンター	栗駒岩ヶ崎上小路136番地	社会福祉法人栗原市社会福祉協議会	有	市民生活部社会福祉課	A	31 ~ 33
12	栗原市栗駒老人憩いの家	栗駒岩ヶ崎上小路136番地	社会福祉法人栗原市社会福祉協議会	有	市民生活部社会福祉課	A	34 ~ 36
13	栗原市志波姫老人憩いの家（万年青荘）	志波姫沼崎原83番地1	社会福祉法人栗原市社会福祉協議会	有	市民生活部社会福祉課	A	37 ~ 39
14	栗原市高清水デイサービスセンター	高清水字東館34番地	社会福祉法人栗原市社会福祉協議会	無	市民生活部社会福祉課	A	40 ~ 42
15	栗原市金成デイサービスセンター	金成沢辺町沖200番地	社会福祉法人栗原市社会福祉協議会	無	市民生活部社会福祉課	A	43 ~ 45
16	栗原市一迫高齢者生活福祉センター（やすらぎセンター）	一迫真坂字高橋20番地1	社会福祉法人栗原市社会福祉協議会	有	市民生活部社会福祉課	A	46 ~ 51
17	栗原市花山高齢者生活福祉センター（湖畔の里）	花山字本沢百目木18番地1	社会福祉法人栗原市社会福祉協議会	無	市民生活部社会福祉課	A	52 ~ 54
18	栗原市若柳認定こども園	若柳字川北塚原104番地1	一般社団法人吉野学園	有	市民生活部子育て支援課	A	55 ~ 57
19	くりはら斎苑	築館字荒田沢41番地	グリーン観光バス株式会社	有	市民生活部環境課	A	58 ~ 60
20	栗原市栗駒農林水産物直売所	栗駒文字鍛冶屋103番地	文字地域活性化推進協議会	無	農林振興部農政園芸課	A	61 ~ 63
21	栗原市花山農山村交流センター	花山字本沢北ノ前133番地	一般社団法人はなやまネットワーク	有	農林振興部農政園芸課	A	64 ~ 66
22	栗原市若柳特産物直売センター	若柳字川北塚ノ根27番地1	栗原市若柳地区農産物直売所くりでん出荷組合	無	農林振興部農政園芸課	A	67 ~ 69
23	栗原市瀬峰特産物直売センター	瀬峰下田185番地1	瀬峰旬の市会	無	農林振興部農政園芸課	A	70 ~ 72
24	栗原市あやめの里	一迫真坂字清水田川4番地1	新みやぎ農業協同組合	無	農林振興部農政園芸課	A	73 ~ 75
25	栗原市湖畔のみせ旬彩	花山字本沢合道46番地5	一般社団法人はなやまネットワーク	無	農林振興部農政園芸課	A	76 ~ 78
26	栗原市金成農村環境改善センター	金成沢辺町沖200番地1	新みやぎ農業協同組合	無	農林振興部農政園芸課	A	79 ~ 81
27	栗原市一迫地区活性化センター	一迫真坂字高橋20番地1	栗原市一迫地区老人クラブ連合会	有	農林振興部農政園芸課	A	82 ~ 84
28	栗原市高原創造センター	栗駒沼倉耕英東45番地	株式会社ゆめぐり	無	農林振興部農政園芸課	B	85 ~ 87
29	築館有機肥料センター	栗原市築館字照越盲塚 29番地 9 1	有限会社アグリテック宮城	有	農林振興部林業畜産課	A	88 ~ 90
30	栗駒有機センター	栗原市栗駒稲屋敷天王山 2番地 1 6	有限会社アグリテック宮城	有	農林振興部林業畜産課	A	91 ~ 93
31	金成有機センター	栗原市金成末野下浦山 9番地 7	有限会社アグリテック宮城	有	農林振興部林業畜産課	A	94 ~ 96
32	栗原市栗駒特産物直売センター	栗駒岩ヶ崎上小路150番地7	栗駒鶯沢物産等販売施設利用組合	有	商工観光部産業戦略課	A	97 ~ 99
33	若柳ふるさとの森	若柳武鎗字磯田沢154番地	ふるさとの森振興協会	有	商工観光部田園観光課	A	100 ~ 102

令和6年度指定管理者制度導入施設の管理運営に関する評価票 施設一覧

No.	施設名称	施設所在地	指定管理者	指定 管理料	担当部課	市の 総合 評価	ページ
34	栗原市ハイルザーム栗駒	栗駒沼倉耕英東50番地1	株式会社ゆめぐり	有	商工観光部田園観光課	B	103 ~ 105
35	栗原市栗駒コテージ	栗駒沼倉耕英東49番地	株式会社ゆめぐり	有	商工観光部田園観光課	B	106 ~ 108
36	栗原市金成温泉金成延年閣	金成三沢32番地	株式会社ゆめぐり	有	商工観光部田園観光課	B	109 ~ 111
37	栗原市花山温泉温湯山荘	花山字本沢温湯15番地1	株式会社ゆめぐり	有	商工観光部田園観光課	B	112 ~ 114
38	栗原市花山青少年旅行村	花山字本沢稲干場2番地1	株式会社ゆめぐり	有	商工観光部田園観光課	B	115 ~ 117
39	栗原市スワントピア交流館	築館字横須賀養田18番地	内沼観光物産協議会	有	商工観光部田園観光課	A	118 ~ 120
40	栗原市サンクチュアリセンター つきだて館	築館字横須賀養田20番地 1	一般社団法人くりはらツーリズ ムネットワーク	有	商工観光部田園観光課	A	121 ~ 123
41	栗原市くりはら田園鉄道公園	若柳川北字塚ノ根、塚ノ 越及び橋元地内	特定非営利活動法人Azuma-re	有	商工観光部田園観光課	S	124 ~ 126
42	若柳川北交流広場	若柳字川北中町1番地	栗原市若柳中町自治会	無	建設部都市計画課	A	127 ~ 129
43	栗原市築館B&G海洋センター体 育館	築館字荒田沢41番地241	特定非営利活動法人栗原市ス ポーツ協会	有	教育部社会教育課	A	130 ~ 132
44	栗原市築館体育センター	築館高田二丁目8番12号	特定非営利活動法人栗原市ス ポーツ協会	有	教育部社会教育課	A	133 ~ 135
45	栗原市築館野球場	築館字荒田沢41番地241	特定非営利活動法人栗原市ス ポーツ協会	有	教育部社会教育課	A	136 ~ 138
46	栗原市築館陸上競技場	築館字荒田沢41番地241	特定非営利活動法人栗原市ス ポーツ協会	有	教育部社会教育課	A	139 ~ 141
47	栗原市築館B&G海洋センター プール	築館字荒田沢41番地241	特定非営利活動法人栗原市ス ポーツ協会	有	教育部社会教育課	A	142 ~ 144
48	栗原市築館多目的競技場	築館高田二丁目8番12号	特定非営利活動法人栗原市ス ポーツ協会	有	教育部社会教育課	A	145 ~ 147
49	栗原市築館テニスコート	築館伊豆一丁目2番7号	特定非営利活動法人栗原市ス ポーツ協会	有	教育部社会教育課	A	148 ~ 150
50	栗原市若柳総合体育館	若柳字川南道伝前125番 地2	特定非営利活動法人栗原市ス ポーツ協会	有	教育部社会教育課	A	151 ~ 153
51	栗原市若柳野球場	若柳字川南道伝前125番 地2	特定非営利活動法人栗原市ス ポーツ協会	有	教育部社会教育課	A	154 ~ 156
52	栗原市若柳総合体育館弓道場	若柳字川南道伝前125番 地2	特定非営利活動法人栗原市ス ポーツ協会	有	教育部社会教育課	A	157 ~ 159
53	栗原市若柳総合体育館トレーニ ングルーム	若柳字川南道伝前125番 地2	特定非営利活動法人栗原市ス ポーツ協会	有	教育部社会教育課	A	160 ~ 162
54	栗原市栗駒総合体育館	栗駒岩ヶ崎裏山221番地	株式会社イトマンスポーツウェ ルネス	有	教育部社会教育課	A	163 ~ 165
55	栗原市栗駒野球場	栗駒岩ヶ崎裏山216番地 64	株式会社イトマンスポーツウェ ルネス	有	教育部社会教育課	A	166 ~ 168
56	サン・スポーツランド栗駒	栗駒岩ヶ崎裏山211番地	株式会社イトマンスポーツウェ ルネス	有	教育部社会教育課	A	169 ~ 171
57	栗原市栗駒テニスコート	栗駒岩ヶ崎裏山216番地 64	株式会社イトマンスポーツウェ ルネス	有	教育部社会教育課	A	172 ~ 174
58	栗原市栗駒プール	栗駒岩ヶ崎裏山221番地	株式会社イトマンスポーツウェ ルネス	有	教育部社会教育課	A	175 ~ 177
59	栗原市栗駒総合体育館トレーニ ングルーム	栗駒岩ヶ崎裏山221番地	株式会社イトマンスポーツウェ ルネス	有	教育部社会教育課	A	178 ~ 180
60	栗原市小田ダム湖畔パークゴル フ場	一迫字長崎川台53番地5	特定非営利活動法人栗原市ス ポーツ協会	有	教育部社会教育課	A	181 ~ 183
61	栗原市文字郷土文化保存伝習館	栗駒文字角ヶ崎67番地1	一和会	有	教育部社会教育課	B	184 ~ 186
62	栗原市伊豆沼交流センター	若柳字上畑岡鶴経沢61番 地1	一般社団法人くりはらツーリズ ムネットワーク	有	教育部社会教育課	A	187 ~ 189
63	栗原市志波姫公民館	志波姫沼崎南沖447番地	しわひめスポーツクラブ	有	教育部社会教育課	A	190 ~ 192
64	栗原市千葉周作ゆかりの家	花山字草木沢箕ノ口地内	有限会社花山産業	有	教育部文化財保護課	B	193 ~ 195
65	栗原市仙台藩花山村寒湯番所跡	花山字本沢温湯地内	株式会社ゆめぐり	有	教育部文化財保護課	A	196 ~ 198

別紙様式6

指定管理者制度導入施設の管理運営に関する評価票(評価対象年度:令和6年度)

施 設 の 名 称	くりはら交流プラザ
施 設 所 管 部 署 名	企画部 市民協働課

1 評価対象施設の概要 (施設所管課記入)

施 設 名 称	くりはら交流プラザ		
施 設 所 在 地	宮城県栗原市志波姫新熊谷279番地2		
設 置 年 月	平成11年 5 月	設置根拠条例	栗原市くりはら交流プラザ条例
設 置 目 的	市民の生活文化の向上及び健康福祉の増進に寄与することを目的とする。		
施 設 概 要	面 積	延床面積 8, 497. 05 m ² 、 敷地面積 12, 837. 65 m ²	
	構 造	鉄筋コンクリート造(一部鉄骨造)	
	施設内容	観光物産館、コンベンションホール、会議室、多目的研修室、展望レストラン、ホテル、食堂、事務室、トイレ	
休 館 日	(本館)毎月第3水曜日 (別館)無し ※ 条例から変更の有無 ☐ 有 ☒ 無		
開 館 時 間	午前10時00分 ～ 午後9時00分 ※ 条例から変更の有無 ☐ 有 ☒ 無		
施 設 利 用 料 金	利用料金制	☒ 採用 ☐ 採用無 ☐ 指定管理料と併用 ☐ 指定管理料のみ	
	設定金額	〈利用料金〉 別紙のとおり	
		※ 条例から変更の有無 ☒ 有 ☐ 無	

2 指定管理者等の概要 (施設所管課記入)

指 定 管 理 者	事業者等名称	株式会社ゆめぐり		
	事務所所在地	宮城県栗原市志波姫新熊谷279番地2		
指 定 の 期 間	令5年 4 月 1 日～令和8年 3 月31日（ 3 年間 ）			
指定にかかる選定方法	☐ 公募	☒ 非公募	指定管理料	49, 000, 000円（3年間）

3 施設管理の経過 (施設所管課記入)

期 間	管理形態	施設管理を行った団体等	摘要
平成11年5月～平成18年3月	管理委託	くりはら振興株式会社	
平成18年4月～令和 5年3月	指定管理	くりはら振興株式会社・株式会社ゆめぐり	H21,24,29,R2更新
令和 5年4月～令和 8年3月	指定管理	株式会社ゆめぐり	

4 施設の利用実績 (指定管理者記入)

税抜

	事業計画	実 績		計画との比率 (%)	前年度との比較 (%)
	評価対象年度 (令和6年度)	前年度 (令和5年度)	評価対象年度 (令和6年度)		
開 館 日 数	365日	365日	365日	100.0%	100.0%
利用者数(延べ人数)	—	44,647人	50,552人	—	113.2%
利 用 料 金 収 入	149,289,050円	115,645,768円	142,157,623円	95.2%	122.9%
主 な 増 減 要 因 (前 年 比)	低原価、高粗利のホテル部門の稼働率アップを行うことで、相乗効果によりコンベンションやレストラン等の売上向上にも繋がりました。令和6年度客室稼働率は59.1%でした。(前年56.8%)経費では、物価の高騰により飲・食材仕入への影響、水道光熱費の増加など販売費及び一般管理費が計画比116.2%となりました。				

5 自主事業等の実績（指定管理者記入）

年月日	事業名	事業内容	対象者	参加者数
令和6年6月1日～7月31日	夏のパスタフェア	季節の食材を味わう人気のパスタ料理	一般	382人
令和6年7月27日	ビール祭り	ビールに合うお料理と飲み放題のイベント	一般	65人
令和6年8月	ふるさと小包便(夏)	栗原のおすすめ商品を詰め込んだギフト(お中元)	一般	51人
令和6年9月17日～10月31日	ハロウィンフェア	カボチャやさつま芋などハロウィンに因んだメニューのイベ	一般	83人
令和6年10月18日	栗原登米の地酒を楽しむ会	栗原と登米のおすすめ日本酒飲み比べと日本酒に合う料理	一般	62人
令和6年11月30日	感謝祭いい肉の日	日頃の感謝をこめ肉尽くしの料理とドリンク飲み放題	一般	90人
令和6年12月7日	ワインdeXmas in Epoca	ワインとクリスマスにあったフランス料理のフルコース	一般	40人
令和6年12月	ふるさと小包便(冬)	栗原のおすすめ商品を詰め込んだギフト(お歳暮)	一般	56人
令和6年12月31日	年越しオードブル	冷凍牛タン付きでお得感のあるオードブルの限定販売	一般	50人
令和7年2月15日	食の陣	アトラクションを楽しみながら地元食材を使った料理を味わう。ドリンク飲み放題	一般	74人

6 施設の管理運営における課題（指定管理者、施設所管課記入）

指定管理者(指定管理者記入)	市(施設所管課記入)
施設の老朽化により、突発的な故障、修繕、また、地震や豪雨など災害時に損害箇所が増加している状況です。都度、栗原市へ報告相談し、調整してまいります。お客様のニーズに合った会場利用として、利用者からWi-Fi環境整備の要望を多く受けており、今後はWi-Fi環境の整備が急務であると考えております。	年々修繕必要箇所が増加しつつあり、細かな修繕は即時対応を行っているものの、急破修繕では対応できない規模のものも修繕を要する状況になってきています。これらについて、状況把握をするために調査を行い、コストを抑えつつも長期的な視野に立つて施設運営を可能にするため、適切な修繕を行う必要があります。

7 施設利用者からの主な意見等とその対応状況（指定管理者記入）

施設利用者からの主な意見等	対応状況等
結婚お披露目会利用のお客様より、NG食材が多い中、相談に乗っていただき配慮いただいた。出席者に料理が大変美味しいと喜んでいただいた。	新婦様がインドネシア出身で、宗教上(イスラム教)のNG食材が多いので調理課と綿密に打ち合わせし万全な状態で料理を提供しました。
栗原・登米の地酒を楽しむ会に参加の方より、いろいろなイベントがあるが、地酒の会は特別である。栗原の各種類のお酒のほか、隠し酒も飲み、蔵元と直接話すことも出来ると良い。今後も続けてほしいイベントである。	16回行っているエポカ21の目玉イベント。今後も、日本酒文化の高揚を図り地酒の品質の高さをアピールし、盛り上げていきたいと考えております。
年越しオードブル利用のお客様より、手作りの料理でどれを食べてもとてもおいしかった。	毎年の企画なので飽きがこないようメニュー構成しております。お客様のご意見を取り入れ年末年始の食卓に、定番のオードブルとして定着するよう努めてまいります。
風土マラソン参加の宿泊の方より、初めて利用したが、清潔感がありとても良かったので来年も利用したい。	新規のお客様が次の利用に繋がるように客室、接客、食事すべてにおいて満足いただけるよう努めてまいります。
ツインルームに宿泊したが、バスルームとトイレの入り口が別々になっていて過ごしやすいかった。	ツインルームのバス・トイレの入り口が分かれていることは好評で、一度利用された方は次回も希望されることが多いです。
夕食付宿泊プランご利用のお客様より、料理の品数が多くて食べきれないくらいだった。ワンドリンクサービス券でワインも頂けた。また利用したい。	インターネット予約では、夕食付プランを販売しており、お客様から好評です。また、ワンドリンクサービス券を渡すことで更に、満足していただいております。
(昼過ぎに震度3の地震発生)建物の構造上、地震の揺れが大きく感じて怖かった。	店内のお客様一人一人に声掛けを行いました。災害発生に備え、迅速に避難誘導できるよう今後も訓練等行ってまいります。
団体宿泊のお客様より、眺望がよく気持ちよく食事でき、料理もおいしかった。地場のお料理が食べられてうれしかった。	6月よりホテル団体宿泊の夕食会場をレストランで行うことにいたしました。提供もスムーズで良好です。(30名以上の場合は、コンベンションの会場にて提供)
団体宿泊の海外のお客様より、グルテンフリーご希望のためコーンスターチに変更の旨お伝えしたところ大変喜ばれました。	通訳の方を介し感謝のお言葉をいただきました。アレルギー等、今後も可能な範囲で対応してまいります。
地酒バルご利用の方より、飲み比べてから気に入ったお酒を買えるのがいいです。	気に入ったお酒をご購入いただきました。

8 総合的な評価（指定管理者、施設所管課記入）

評価項目	指定管理者の自己評価		市の評価		改善 勧告
	評価	コメント	評価	コメント	
(1) 基本的な方針に基づく管理・運営体制	A	今後、さらに体制を強化し管理運営に努める。	A	全体的な意識改革が必要と考えます。	
①施設の管理運営に必要な人員及び有資格者等を計画どおり適切に配置しているか。	B	ゲストサービス課を設け、料飲、物産、ホテルを一つの課として区切りなく業務を担っている。やや人員不足の部署もある。	B	限られた人員の中で、工夫・改善を行いながら業務を進めてください。	
②指定管理業務に必要な知識及びサービスの向上のため、研修等人材育成に努めているか。	B	サービス向上を目的に、バンケットやレストラン等に経験値のあるサービススタッフを配置し人材育成に努めている。	B	定期的に研修会等へ参加し、更なるスキルアップを要望する。	
③通常の安全管理や緊急時の対応について、職員が適切に行える環境を整備しているか。	A	消防計画により、6月と11月に消防訓練を行ない、消火器を使用した緊急時の対応訓練も行った。	A	訓練のみならず、日々の環境整備についても要望する。	
④各業務日誌等の管理記録を適切に整備・保管しているか。	A	各課業務日誌、営業課においては個々の営業日誌を作成、決裁を待っている。	A	適切に行われています。	
⑤個人情報取り扱い及び保護の対策について適切に行われているか。	A	適切に行っている。	A	適切に行われています。	
⑥法令等を遵守し、市と締結している協定に基づいた管理・運営を遂行しているか。	A	遂行している。	A	適切に行われています。	
(2) 施設管理の状況	B	施設管理の強化が課題である。	B	主体性を持った管理が求められます。	
①市の承認した内容に基づき、施設の開館及び利用時間、利用料金設定を遵守しているか。	A	遵守している。	A	これまで通り順守してほしい。	
②施設内、設備等の清掃及び保守点検等を適切に行い、良好な施設環境を維持しているか。	B	定期的な清掃を専門業者に委託し環境を整えている。定められた点検を行っているが、突発的な故障も多く随時報告している。	B	長期に亘る施設管理の経験を活かし、不具合の早期発見に努めてください。	
③協定に基づき施設設備や備品等の適切な修繕対応を行っているか。	B	行なっている。経年劣化による突発的な修理修繕が多い。	B	故障後の修繕は高額になるため、未然に故障を防ぎ、経費削減に努めてください。	
④設備維持と事故等防止のため、必要な専門的点検を実施し安全確認を行っているか。	A	専門的点検については、業者に委託し行なっている。	A	専門業者と連携し、事故を未然に防いでください。	
⑤冷暖房の適切な温度設定と運転を心がけ、省エネルギーと光熱水費削減を行っているか。	A	行っている。常時ONにせず、会場の利用時のみスイッチを入れている。	A	こまめな節電を心掛けてください。	
(3) 利用者へのサービス提供と満足度	A	接客のレベルアップを図る。	B	利用者の満足度をさらに高める取り組みを期待しています。	
①利用者の利便性を意識した迅速な利用許可手続きや施設情報の提供を行っているか。	A	お客様が見やすくホームページやインスタ等でも新着情報を発信している。また、市営駐車場の使用申し込み手続き等も迅速に行っている。	B	情報発信について、更なる強化が必要と思われる。	
②利用者アンケート等により利用者の意見を把握し反映する取り組みを行ったか。	A	お客様からの意見には、できることから迅速に対応している。	B	利用者の声をサービスや商品に対する改善提案として生かしてください。	
③要望及び苦情等に対する対応が十分になされたか。	B	苦情には即、対応を心掛け行った。	B	今後できるだけ迅速な対応を期待します。	
④施設の目的を活かし利用者の充実のため新たな取り組みを実施したか。	B	コンベンション、レストラン、観光物産館それぞれに自主事業を行い多くの方にご利用いただいた。	A	さらなる新たな取り組みが求められます。	
⑤モニタリング・アンケートの結果、利用者の満足が得られていたか。	A	イベントごとのお客様の声として、また参加したい。利用したいとの感想を多数いただいた。	A	利用者の増加につながるよう広く意見を汲み上げてください。	
⑥利用者に対し職員の対応、身なり等は適切であるか。	A	丁寧な対応を心掛けており、適切であった。	A	良い印象づくりに努めてください。	
(4) 運営の状況（収支の実績等）	B	ホテルを核として収入増を図る。	B	抜本的な経営改善が求められます。	
①収支計画及び事業計画と比較し実績の状況は妥当であるか。	C	物価高騰の仕入れへの影響、水道光熱費の増加などで経費が嵩み収益に影響があった。	C	自力での営業黒字を目指し、さらなる集客努力が必要と思われます。	
②積極的に収入の創出（増）に努め、又収入の増加に繋がる具体的な取り組みがあったか。	B	ホテルの新ブランドの販売やホテル及びレストランの料金の見直しを行い収入の増加に努めた。	B	新たな自主事業等の創出による増益を期待します。	
③積極的に経費削減に努め、又具体的に経費の削減が図られた実績が見られるか。	B	マイクロバスの送迎など多忙日の施設間での協力を行い経費の削減を行った。	B	より高いコスト意識を持って努めてください。	
④指定管理業務における専用口座及び諸帳簿等を備え適正な経理が行われているか。	A	全て適正に、経理処理を行っている。	A	適正に行われています。	

総合評価	指定管理者の自己評価（指定管理者記入）	評価	市の評価（施設所管課記入）	評価
	<指定管理者の所見>	B	<施設所管課の所見>	B
	低原価、高粗利のホテル部門の稼働率アップを行うことで、相乗効果によりコンベンションやレストラン等の売上向上にも繋がりました。特にインターネット予約の販売促進においては、全利用客室数に対するシェア56.2%となりました。令和6年度客室稼働率は59.1%でした。（前年56.8%）1月からはAIによる価格設定を導入し、より効率的な客室販売が可能となりました。また、自主イベントや季節ごとのフェアの開催など集客力の向上に努めてまいりました。経費では、物価の高騰により飲・食材仕入れへの影響、水道光熱費の増加など販売費及び一般管理費が計画比116.2%となりました。		来客数や予約数等も徐々に増加しつつあるものの、物価高騰による仕入れ及び光熱水費増加の影響を受けているが、営業状況が回復の軌道に乗るよう今後の経営状況の好転に期待したい。 営業においては情報発信の強化に努め、駅利用者客を積極的に呼び込む工夫を行うなど、立地条件を生かした経営戦略を立て、恒常的に集客力をアップさせられるよう努めてほしい。 設備等の修繕改修については、経年劣化による修繕箇所が増えていることもあり、定期的な点検やメンテナンスに尽力していただきたい。	

別紙様式6

指定管理者制度導入施設の管理運営に関する評価票(評価対象年度:令和6年度)

施 設 の 名 称	栗原市市民活動支援センター
施 設 所 管 部 署 名	企画部市民協働課

1 評価対象施設の概要 (施設所管課記入)

施 設 名 称	栗原市市民活動支援センター		
施 設 所 在 地	栗原市築館伊豆二丁目6番1号（築館総合支所2階）		
設 置 年 月	平成21年1月	設置根拠条例	栗原市市民活動支援センター条例
設 置 目 的	市内で自主的な社会に貢献する活動を行い、かつ、当該活動に伴い利益を得た場合にその利益の分配を目的としない活動を支援し、その活動の拠点を提供する。		
施 設 概 要	面 積	延床面積 1,001. 56㎡、 敷地面積 10,966. 22㎡	
	構 造	鉄筋コンクリート造2階建	
	施設内容	(施設内の設置室内容) 貸事務室、多目的室、大会議室、中会議室、小会議室、管理室、印刷室、給湯室、倉庫、キッズルーム、交流サロン、ミーティングスペース、貸ロッカー、エレベーター	
休 館 日	休館日：毎週月曜日、12月29日から翌1月3日まで ※ 条例から変更の有無 ☐ 有 ☒ 無		
開 館 時 間	午前9時 ～ 午後10時 ※ 条例から変更の有無 ☐ 有 ☒ 無		
施 設 利 用 料 金	利用料金制	☐ 採用 ☐ 採用無 ☒ 指定管理料と併用 ☐ 指定管理料のみ	
	設定金額	<利用料> ・貸事務所 1室1月3, 140円、1室1日110円 ・多目的室 1時間につき310円 ・大会議室 1時間につき210円（中会議室と小会議室を同時に利用する場合） ・中会議室 1時間につき110円 ・小会議室 1時間につき110円 ・ロッカー大 1月につき310円、ロッカー中 1月につき210円 ・ロッカー小 1月につき110円 ・複写機 白黒副署1枚につき20円、多色刷り複写1枚につき60円 ・印刷機 1製版につき500枚あたり110円 ※ 条例から変更の有無 ☐ 有 ☒ 無	

2 指定管理者等の概要 (施設所管課記入)

指 定 管 理 者	事業者等名称	特定非営利活動法人Azuma-re		
	事務所所在地	栗原市築館伊豆二丁目5-39 ビジネスホテル志ばたや内		
指 定 の 期 間	令和4年 4月 1日～ 令和9年 3月 31日（ 5年間）			
指定にかかる選定方法	☒ 公募 ☐ 非公募	指定管理料	38, 256, 000 円（ 5年間）	

3 施設管理の経過 (施設所管課記入)

期 間	管理形態	施設管理を行った団体等	摘要
平成22年 4月 ~ 平成26年 3月	管理委託	特定非営利活動法人Azuma-re	
平成26年4月 ~ 平成29年 3月	指定管理	特定非営利活動法人Azuma-re	
平成29年4月 ~ 令和4年 3月	指定管理	特定非営利活動法人Azuma-re	

4 施設の利用実績 (指定管理者記入)

	事業計画	実 績		計画との比率 (%)	前年度との比較 (%)
	評価対象年度 (令和6年度)	前年度 (令和5年度)	評価対象年度 (令和6年度)		
開 館 日 数	307日	309日	307日	100.0%	99.4%
利用者数(延べ人数)	—	37,711人	38,334人	—	101.7%
利 用 料 金 収 入	1,314,100円	1,321,859円	1,285,722円	97.8%	97.3%
主 な 増 減 要 因 (前 年 比)	利用料金収入は前年とほぼ同水準であり、事業計画を多少下回る結果となった。 利用者数については多少であるが前年度を上回る結果となった。				

5 自主事業等の実績（指定管理者記入）

年月日	事業名	事業内容	対象者	参加者数
令和6年4月～令和7年3月	レターBOXサービス	市民活動支援と施設の利便性を高めるため、団体の連絡先として私書箱（レターBOX）を月200円で利用してもらう	市民活動団体	12
令和6年4月～令和7年3月	FAX送受信サービス	市民活動支援と施設の利便性を高めるため、1枚50円でFAX送受信する	センター利用者	6

6 施設の管理運営における課題（指定管理者、施設所管課記入）

指定管理者（指定管理者記入）	市（施設所管課記入）
・費用面において、電気代の支出は依然として大きい。引き続き節電に努めていきたい。	継続して節電に努めていただきますようお願いいたします。

7 施設利用者からの主な意見等とその対応状況（指定管理者記入）

施設利用者からの主な意見等	対応状況等
インターネットで予約できたり、部屋の予約状況を提示してもらえると便利になると思う	ご要望に全てお応えすることは難しいが、より便利にご利用いただけるよう、頂いたご意見も含め、施設管理に努めたい
休館日を日曜日にしてほしい（月曜日を開けてほしい）	随時、所管課と協議・検討を行っている

8 総合的な評価（指定管理者、施設所管課記入）

評価項目	指定管理者の自己評価		市の評価		改善 勧告
	評価	コメント	評価	コメント	
(1) 基本的な方針に基づく管理・運営体制	A	協定に基づき、適切に管理・運営している	A		
① 施設の管理運営に必要な人員及び有資格者等を計画どおり適切に配置しているか。	A	管理運営に必要な人員を確保し、運営している	A	引き続き、適切な人員の配置をしていただきたい。	
② 指定管理業務に必要な知識及びサービスの向上のため、研修等人材育成に努めているか。	A	定期的にスタッフ間でのミーティングを行い、人材育成に取り組んでいる	A	引き続き、サービス向上に向けて努めていただきたい。	
③ 通常の安全管理や緊急時の対応について、職員が適切に行える環境を整備しているか。	A	消防計画に基づく避難訓練の実施や職員の勉強会を実施した	A	引き続き訓練や勉強会を実施し、安全管理に努めていただきたい。	
④ 各業務日誌等の管理記録を適切に整備・保管しているか。	A	各業務日誌等の管理記録を適切に整備・保管している	A	引き続き、適切な管理・保管をしていただきたい。	
⑤ 個人情報の取り扱い及び保護の対策について適切に行われているか。	A	個人情報保護規定を整備した	A	適切な情報管理をしていただきたい。	
⑥ 法令等を遵守し、市と締結している協定に基づいた管理・運営を遂行しているか。	A	法令等を遵守し、市と締結している協定に基づいた管理・運営を遂行している	A	引き続き、適切な管理・運営をしていただきたい。	
(2) 施設管理の状況	A	適切に施設管理を行っている	A		
① 市の承認した内容に基づき、施設の開館及び利用時間、利用料金設定を遵守しているか。	A	遵守している	A	引き続き、順守していただきたい。	
② 施設内、設備等の清掃及び保守点検等を適切に行い、良好な施設環境を維持しているか。	A	適切に管理を行っている	A	引き続き、適切な施設環境整備をしていただきたい。	
③ 協定に基づき施設設備や備品等の適切な修繕対応を行っているか。	A	適切に修繕対応を行っている	A	今後も修繕計画をたて、適切な修繕対応をしていただきたい。	
④ 設備維持と事故等防止のため、必要な専門的点検を実施し安全確認を行っているか。	A	必要な専門的点検を実施した	A	引き続き、適切な管理運営をしていただきたい。	
(3) 利用者へのサービス提供と満足度	A	適正に行われた	A		
① 利用者の利便性を意識した迅速な利用許可手続きや施設情報の提供を行っているか。	A	行っている	A	引き続き、ワンストップでの対応等、サービス向上に向けて努めていただきたい。	
② 利用者アンケート等により利用者の意見を把握し反映する取り組みを行ったか。	A	アンケートを行い利用者の意見を反映させている	A	引き続き、サービス向上に向けて努めていただきたい。	
③ 要望及び苦情等に対する対応が十分になされたか。	A	以前より要望があったWi-Fi環境の導入等について、所管課と協議している	A	引き続き、サービス向上に向けて努めていただきたい。	
④ 施設の目的を活かし利用者の充実のため新たな取り組みを実施したか。	A	展示スペースのレイアウト変更、パネル展の開催など、展示協力を実施した	A	引き続き、サービス向上に向けて努めていただきたい。	
⑤ モニタリング・アンケートの結果、利用者の満足が得られていたか。	A	99%の利用者が満足している	A	今後も利用者満足と利用者数の向上に向けた取り組みに期待します。	
⑥ 利用者に対し職員の対応、身なり等は適切であるか。	A	積極的なコミュニケーションを図ったり、迷い人(会場がどこかわからない人、センター以外の場所で行われるものについての案内)など、親身になって対応している。	A	今後も親切丁寧な対応をお願いします。	
(4) 運営の状況（収支の実績等）	A	適正に行われた	A		
① 収支計画及び事業計画と比較し実績の状況は妥当であるか。	A	概ね事業計画通りの実績となった	A	引き続き、適切な施設管理に努めていただきたい。	
② 積極的に収入の創出（増）に努め、又収入の増加に繋がる具体的な取り組みがあったか。	A	FAX、レターボックスサービスの提供で収入増加に努めた	A	新規自主事業の導入等で、更なる増収を図っていただきたい。	
③ 積極的に経費縮減に努め、又具体的に経費の縮減が図られた実績が見られるか。	A	閉館から開館時間までの間ブレーカー（主電源）を切る。ミーティングスペースなどは天気・利用者の動向を見ながら電気を点灯させるなど、常に節電を意識している。	A	引き続き、適切な施設管理をしていただきたい。	
④ 指定管理業務における専用口座及び諸帳簿等を備え適正な経理が行われているか。	A	NPO会計基準に則り処理されている	A	引き続き、適切な施設管理をしていただきたい。	

総合評価	指定管理者の自己評価（指定管理者記入）	評価	市の評価（施設所管課記入）	評価
	<指定管理者の所見> ●年間を通じて、事故なく施設の管理運営ができた。 ●施設内の展示スペースについて、より来館者の目に留まるようレイアウト変更を行ったところ、多くの方が立ち止まるようになった。 ●施設への要望およびアンケートより寄せられた意見について、汲み取れてはいるが未だ反映できていないものもある。特に多く寄せられる休館日の設定について、引き続き所管課と協議を続けていきたい。	A	<施設所管課の所見> 事業計画に基づいて、おおむね適正に管理運営が行われたと認めます。引き続き、サービス向上に向けた適正な管理運営をお願いいたします。	A

別紙様式 6

指定管理者制度導入施設の管理運営に関する評価票（評価対象年度：令和6年度）

施設 の 名 称	栗原市一迫金田地区コミュニティセンター、栗原市一迫農村環境改善センター
施設 所 管 部 署 名	企画部市民協働課

1 評価対象施設の概要（施設所管課記入）

施 設 名 称	栗原市一迫金田地区コミュニティセンター、栗原市一迫農村環境改善センター		
施 設 所 在 地	栗原市一迫字川口中野30番地		
設 置 年 月	昭和56年8月	設置根拠条例	栗原市コミュニティ施設条例、栗原市農村環境改善センター条例
設 置 目 的	実際生活に即する教育、学術及び文化の振興及び農村の環境整備の組織的な推進を図る為		
施 設 概 要	面 積	延床面積 1,099.0㎡、敷地面積 2,793.0㎡	
	構 造	鉄筋コンクリー造 2階建て	
	施設内容	保健室・老人室、調理実習室、多目的ホール、生活改善室 青年の室、農事研修室、試食室・子供の室	
休 館 日	1月1日から1月3日まで及び12月29日から12月31日まで ※ 条例から変更の有無 ☐ 有 ☒ 無		
開館時間	栗原市一迫金田地区コミュニティセンター 午前9時00分 ～ 午後10時00分、 栗原市一迫農村環境改善センター 午前9時00分 ～ 午後9時30分 ※条例から変更の有無 ☐ 有 ☒ 無		
施 設 利 用 料 金	利用料金制	☐ 採用 ☐ 採用無 ☒ 指定管理料と併用 ☐ 指定管理料のみ	
	設定金額	保健室・老人室、調理実習室、生活改善室、青年の室、試食室・子供の室 1時間につき 110円 多目的ホール 1時間につき 310円 農事研修室 1時間につき 210円	
		※ 条例から変更の有無 ☐ 有 ☒ 無	

2 指定管理者等の概要（施設所管課記入）

指 定 管 理 者	事業者等名称	一迫地区金田コミュニティ推進協議会		
	事務所所在地	栗原市一迫字川口中野30番地		
指 定 の 期 間	令和5年4月1日 ～ 令和8年3月31日 （3年間）			
指定にかかる選定方法	☐ 公募 ☒ 非公募	指定管理料	8, 2 5 3, 5 6 8 円（3 年 間）	

3 施設管理の経過（施設所管課記入）

期 間	管理形態	施設管理を行った団体等	摘要
平成19年4月～平成25年3月	管理委託	一迫地区金田コミュニティ推進協議会	
平成25年4月～令和7年3月	指定管理	一迫地区金田コミュニティ推進協議会	H28・H30・R2・R5 更新

4 施設の利用実績（指定管理者記入）

	事業計画	実 績		計画との比率 (%)	前年度との比較 (%)
	評価対象年度 (令和6年度)	前年度 (令和5年度)	評価対象年度 (令和6年度)		
開 館 日 数	290日	287日	291日	100.3%	101.4%
利用者数（延べ人数）	5,000人	3,930人	3,913人	78.3%	99.6%
利 用 料 金 収 入	50,000円	49,027円	34,066円	68.1%	69.5%
主 な 増 減 要 因 (前 年 比)	2行政区が集会所として使っていたり、社会教育団体が利用しているので利用人数の割には利用収入は少なくなる事もある。又、コロナ禍で縮小されていた行事が復活したが、利用団体の解散もあり、以前のように戻っていない。				

5 自主事業等の実績 (指定管理者記入)

年月日	事業名	事業内容	対象者	参加者数
なし				

6 施設の管理運営における課題 (指定管理者、施設所管課記入)

指定管理者 (指定管理者記入)	市 (施設所管課記入)
建物が古くあちこちに劣化が見られ、修繕が不可能な所もいたる所に見られる。ある程度しょうがないと諦めてはいるが、安全に関し業者から指摘のあった物件については早めに対応して欲しいと願います。	経年劣化による施設修繕箇所につきましては、予算の範囲内で優先順位の高いものから対応するよう、検討してまいります。

7 施設利用者からの主な意見等とその対応状況 (指定管理者記入)

施設利用者からの主な意見等	対応状況等
畳の部屋をテーブルと椅子に変えて欲しい。	どうしても座れない人には椅子を提供しているし、執行部でどうすべきか考えている。
行政区の集会所は管理費に15～20万以上は必要なのに中町と東町は何でも無料で使えるのは不公平だと思う。	「市の条例により無料となっている」と話したもののやはり不公平感を感じる。
2階の農事研修室及び青年の室にエアコンを設置して欲しい。	利用者の熱中症対策の観点から設置に向けて、市とも協議していきたい。
多目的ホールが夏暑く、冬寒すぎる。冷暖房設備を改善してほしい。	栗原市と相談して対応していきたいと思います。
2階使用時階段の利用が高齢化の為大変です。	栗原市と相談して対応していきたいと思います。

8 総合的な評価（指定管理者、施設所管課記入）

評価項目	指定管理者の自己評価		市の評価		改善 勧告
	評価	コメント	評価	コメント	
(1) 基本的な方針に基づく管理・運営体制	A		A		
① 施設の管理運営に必要な人員及び有資格者等を計画どおり適切に配置しているか。	A		A	引き続き、適切な人員配置をしていただきたい。	
② 指定管理業務に必要な知識及びサービスの向上のため、研修等人材育成に努めているか。	B	警備員には講習が必要と思う。	B	警備が適切に行われるような警備会社と協議をしていただきたい。	
③ 通常の安全管理や緊急時の対応について、職員が適切に行える環境を整備しているか。	A	防災訓練を年2回実施している。	A	引き続き、訓練を実施し、安全管理に努めていただきたい。	
④ 各業務日誌等の管理記録を適切に整備・保管しているか。	A		A	引き続き、適切な管理・保管をしていただきたい。	
⑤ 個人情報の取り扱い及び保護の対策について適切に行われているか。	A		A	適切な情報管理をしていただきたい。	
⑥ 法令等を遵守し、市と締結している協定に基づいた管理・運営を遂行しているか。	A		A	引き続き、適切な管理運営をしていただきたい。	
(2) 施設管理の状況	A		A		
① 市の承認した内容に基づき、施設の開館及び利用時間、利用料金設定を遵守しているか。	A	市の条例に基づき運用している。	A	変更する場合は事前に届出願います。	
② 施設内、設備等の清掃及び保守点検等を適切に行い、良好な施設環境を維持しているか。	A		A	引き続き、適切な施設環境整備をしていただきたい。	
③ 協定に基づき施設設備や備品等の適切な修繕対応を行っているか。	A		A	今後も協定に基づいた適切な修繕対応をしていただきたい。	
④ 設備維持と事故等防止のため、必要な専門的点検を実施し安全確認を行っているか。	A	委託等で対応。	A	引き続き、施設の適切な管理に努めていただきたい。	
⑤ 地域コミュニティと連携し活用されているか。	A		A	引き続き、適切な管理運営をしていただきたい。をしていただきたい。	
(3) 利用者へのサービス提供と満足度	A		A		
① 利用者の利便性を意識した迅速な利用許可手続きや施設情報の提供を行っているか。	A		A	引き続き、サービス向上に向けて努めていただきたい。	
② 利用者アンケート等により利用者の意見を把握し反映する取り組みを行ったか。	A	アンケートをお願いしても書いてくれる人はいないので意見を聞いている	A	アンケート記入の声がけをお願いいたします。	
③ 要望及び苦情等に対する対応が十分になされたか。	A		A	引き続き、サービス向上に向けて努めていただきたい。	
④ 施設の目的を活かし利用者の充実のため新たな取り組みを実施したか。	A	新たな取り組みはないが満足されていると思う	A	新規事業の実施を検討願います。	
⑤ モニタリング・アンケートの結果、利用者の満足が得られていたか。	A		A	引き続き、親切丁寧な対応をお願いいたします。	
⑥ 利用者に対し職員の対応、身なり等は適切であるか。	A		A	引き続き、親切丁寧な対応をお願いいたします。	
(4) 運営の状況（収支の実績等）	B		A		
① 収支計画及び事業計画と比較し実績の状況は妥当であるか。	A	団体の印刷機の利用が多く、収入が増えた形になっている。	A	引き続き、収入の充実を期待します。	
② 積極的に収入の創出（増）に努め、又収入の増加に繋がる具体的な取り組みがあったか。	C	残念ながら取り組んでいない。	B	利用団体が減免団体のため難しいと思いますが、新規事業の実施を検討願います。	
③ 積極的に経費削減に努め、又具体的に経費の削減が図られた実績が見られるか。	A	節電、節水、燃料費の削減等には努めている。	A	引き続き、削減等に努めていただきたい。	
④ 指定管理業務における専用口座及び諸帳簿等を備え適正な経理が行われているか。	A		A	引き続き、適正な経理をしていただきたい。	

総合評価	指定管理者の自己評価（指定管理者記入）	評価	市の評価（施設所管課記入）	評価
	<指定管理者の所見> ・コミュニティ事業がコロナ制限解除後、徐々に回復傾向にあるがまだまだ完全に戻っていない。 ・各団体からコピー機や印刷機の利用が多く大変重宝されている。 ・光熱水道費はサービス向上の妨げにならない程度の節電節水等を実施し、経費削減を図る。今後も地域に根ざした地元組織として、地域の声や意見を取り入れ、管理運営して行きたい	A	<施設所管課の所見> 事業計画に基づいて、おおむね適正に管理運営が行われたと認めます。今後もコロナ禍以前の状態まで回復できるように引き続き、適正な管理運営をお願いいたします。	A

別紙様式 6

指定管理者制度導入施設の管理運営に関する評価票（評価対象年度：令和6年度）

施設の名 称	栗原市一迫長崎地区コミュニティセンター
施設所管部署名	企画部市民協働課

1 評価対象施設の概要（施設所管課記入）

施 設 名 称	栗原市一迫長崎地区コミュニティセンター		
施 設 所 在 地	栗原市一迫字上中島 3 9 番地 1		
設 置 年 月	昭和52年1月	設置根拠条例	栗原市コミュニティ施設条例
設 置 目 的	実際生活に即する教育、学術及び文化の振興及び地域農業の発展を図るため		
施 設 概 要	面 積	延床面積 527.0㎡、敷地面積 10,226.0㎡	
	構 造	軽量鉄骨造平屋建て	
	施設内容	会議室、講義室、調理実習室、軽運動場、管理棟	
休 館 日	1月1日から1月3日まで及び12月29日から12月31日まで ※ 条例から変更の有無 ☐ 有 ☒ 無		
開 館 時 間	午前9時00分 ～ 午後10時00分 ※条例から変更の有無 ☐ 有 ☒ 無		
施 設 利 用 料 金	利用料金制	☐ 採用 ☐ 採用無 ☒ 指定管理料と併用 ☐ 指定管理料のみ	
	設定金額	会議室・講義室・調理実習室・管理棟 1時間につき 1 1 0 円 軽運動場 1時間につき 3 1 0 円	
		※ 条例から変更の有無 ☐ 有 ☒ 無	

2 指定管理者等の概要（施設所管課記入）

指 定 管 理 者	事業者等名称	一迫地区長崎コミュニティ推進協議会		
	事務所所在地	栗原市一迫字上中島39番地1		
指 定 の 期 間	令和5年4月1日 ～ 令和8年3月31日 （3年間）			
指定にかかる選定方法	☐ 公募	☒ 非公募	指定管理料	6,803,568円（3年間）

3 施設管理の経過（施設所管課記入）

期 間	管理形態	施設管理を行った団体等	摘要
平成19年4月～平成25年3月	管理委託	一迫地区長崎コミュニティ推進協議会	
平成25年4月～令和2年3月	指定管理	一迫地区長崎コミュニティ推進協議会	
令和2年4月～令和6年3月	指定管理	一迫地区長崎コミュニティ推進協議会	

4 施設の利用実績（指定管理者記入）

	事業計画	実 績		計画との比率 (%)	前年度との比較 (%)
	評価対象年度 (令和6年度)	前年度 (令和5年度)	評価対象年度 (令和6年度)		
開 館 日 数	260日	262日	259日	99.6%	98.9%
利用者数（延べ人数）	2,000人	1,835人	2,313人	115.7%	126.0%
利 用 料 金 収 入	3,000円	3,208円	1,628円	54.3%	50.7%
主 な 増 減 要 因 （ 前 年 比 ）	長崎コミュニティ推進協議会の事業の回数を増やしたことや、悪天候の為、軽運動場で大会を行う機会が何度かあり、利用者の増大に繋がった。施設を利用される方々は、施設利用料が免除されている団体が殆どなので利用料の増収には繋がらなかった。				

5 自主事業等の実績 (指定管理者記入)

年月日	事業名	事業内容	対象者	参加者数
令和7年3月9日	ポッチャ大会	ポッチャ競技 (16チームで試合を実施)	長崎住民	52人

6 施設の管理運営における課題 (指定管理者、施設所管課記入)

指定管理者 (指定管理者記入)	市 (施設所管課記入)
軽運動場の排煙窓が老朽化のため開けられず、夏場は風通しが悪く高温となり軽運動場の利用ができない日が数か月続きます。排煙窓を開け閉めできるように点検と修繕をお願いしたいのと、軽運動場の建物の隙間から鳥が入り込み、外に逃がすことができないことが多々あります。改修工事の際に点検、修繕も併せてお願いしたいです。	老朽化による施設修繕箇所につきましては、優先順位の高いものから対応するよう、検討してまいります。

7 施設利用者からの主な意見等とその対応状況 (指定管理者記入)

施設利用者からの主な意見等	対応状況等
会議室のフローリング化 (テーブルと椅子に)	足や膝の悪い方には椅子を提供して対応しています。
全室エアコンの設置をして欲しい。	熱中症対策の為、エアコンのある部屋に変更していただくなどしたが、市とも協議していきたいです。

8 総合的な評価 (指定管理者、施設所管課記入)

評価項目	指定管理者の自己評価		市の評価		改善 勧告
	評価	コメント	評価	コメント	
(1) 基本的な方針に基づく管理・運営体制	A		A		
① 施設の管理運営に必要な人員及び有資格者等を計画どおり適切に配置しているか。	A	必要な人員、有資格者を適切に配置している。	A	引き続き、適切な人員配置をしていただきたい。	
② 指定管理業務に必要な知識及びサービスの向上のため、研修等人材育成に努めているか。	A		A	引き続き、サービス向上に向けて努めていただきたい。	
③ 通常の安全管理や緊急時の対応について、職員が適切に行える環境を整備しているか。	A	緊急時のマニュアルの徹底や危険な個所の確認を行った。	A	引き続き、訓練を実施し、安全管理に努めていただきたい。	
④ 各業務日誌等の管理記録を適切に整備・保管しているか。	A		A	引き続き、適切な管理・保管をしていただきたい。	
⑤ 個人情報の取り扱い及び保護の対策について適切に行われているか。	A	守秘義務や管理を徹底している。	A	適切な情報管理をしていただきたい。	
⑥ 法令等を遵守し、市と締結している協定に基づいた管理・運営を遂行しているか。	A	協定に基づいて管理、運営を行った。	A	引き続き、適切な管理運営をしていただきたい。	
(2) 施設管理の状況	A		A		
① 市の承認した内容に基づき、施設の開館及び利用時間、利用料金設定を遵守しているか。	A	開館、利用時間、利用料金設定を遵守した。	A	変更する場合は事前に届出願います。	
② 施設内、設備等の清掃及び保守点検等を適切に行い、良好な施設環境を維持しているか。	A	保守点検を適切に行った。	A	引き続き、適切な施設環境整備をしていただきたい。	
③ 協定に基づき施設設備や備品等の適切な修繕対応を行っているか。	A		A	今後も協定に基づいた適切な修繕対応をしていただきたい。	
④ 設備維持と事故等防止のため、必要な専門的点検を実施し安全確認を行っているか。	A	業者に委託し、専門的点検を実施した。	A	専門的な点検となることから、引き続き適切な管理をしていただきたい。	
⑤ 地域コミュニティと連携し活用されているか。	A	地域住民のニーズに合わせ活用できた。	A	引き続き適切な管理運営をしていただきたい。	
(3) 利用者へのサービス提供と満足度	A		A		
① 利用者の利便性を意識した迅速な利用許可手続きや施設情報の提供を行っているか。	A	迅速に対応した。	A	引き続き、サービス向上に向けて努めていただきたい。	
② 利用者アンケート等により利用者の意見を把握し反映する取り組みを行ったか。	A		A	引き続きアンケート記入の声掛けをお願いいたします	
③ 要望及び苦情等に対する対応が十分になされたか。	A	丁寧に理由を説明しご理解いただいた。	A	引き続き、サービス向上に向けて努めていただきたい。	
④ 施設の目的を活かし利用者の充実のため新たな取り組みを実施したか。	A	ニーズにお応えし皆様に喜んでいただけた。	A	今後も積極的な意見の取り入れをお願いいたします。	
⑤ モニタリング・アンケートの結果、利用者の満足が得られていたか。	A		A	引き続き、親切丁寧な対応をお願いいたします。	
⑥ 利用者に対し職員の対応、身なり等は適切であるか。	A		A	引き続き、親切丁寧な対応をお願いいたします。	
(4) 運営の状況（収支の実績等）	A		A		
① 収支計画及び事業計画と比較し実績の状況は妥当であるか。	A		A	利用者の増加に向けた事業等の実施を検討願います。	
② 積極的に収入の創出（増）に努め、又収入の増加に繋がる具体的な取り組みがあったか。	B	施設利用料免除団体の利用が殆どなので増収には繋がらなかった。	B	利用団体が減免団体のため難しとは思いますが、引き続き、新規事業の実施を検討願います。	
③ 積極的に経費縮減に努め、又具体的に経費の縮減が図られた実績が見られるか。	A	節電、節水に努めた。	A	引き続き、施設の適切な管理に努めていただきたい。	
④ 指定管理業務における専用口座及び諸帳簿等を備え適正な経理が行われているか。	A		A	引き続き、適正な経理をしていただきたい。	

総合評価	指定管理者の自己評価（指定管理者記入）	評価	市の評価（施設所管課記入）	評価
	＜指定管理者の所見＞ 事業計画に基づき、今後も地域に根差した地元組織として地区住民の方々のご意見をお聞きしながら更なるサービスの提供に努め、管理運営を行っていきたいと思います。	A	＜施設所管課の所見＞ 事業計画に基づいて、おおむね適正に管理運営が行われたと認めます。引き続き、サービス向上に向けた適正な管理運営をお願いいたします。	A

別紙様式 6

指定管理者制度導入施設の管理運営に関する評価票（評価対象年度：令和6年度）

施設の名 称	栗原市一迫姫松地区コミュニティセンター 一迫農村婦人の家
施設所管部署名	栗原市企画部市民協働課

1 評価対象施設の概要（施設所管課記入）

施 設 名 称	栗原市一迫姫松地区コミュニティセンター、一迫農村婦人の家		
施 設 所 在 地	栗原市一迫北沢十文字62番地5		
設 置 年 月	昭和58年3月	設置根拠条例	栗原市コミュニティ施設条例 栗原市農村婦人の家条例
設 置 目 的	実際生活に即する教育、学術及び文化の振興及び地域農業の発展を図るため		
施 設 概 要	面 積	延床面積 662.0㎡、敷地面積 5,803.0㎡	
	構 造	軽量鉄骨造平屋建て	
	施設内容	保健室（和室）、研修室（和室）、軽運動場、加工室、事務室、トイレ	
休 館 日	1月1日から1月3日まで及び12月29日から12月31日まで ※ 条例から変更の有無 ☐ 有 ☒ 無		
開 館 時 間	午前9時00分 ～ 午後10時00分 ※条例から変更の有無 ☐ 有 ☒ 無		
施 設 利 用 料 金	利用料金制	☐ 採用 ☐ 採用無 ☒ 指定管理料と併用 ☐ 指定管理料のみ	
	設定金額	保健室、研修室、加工室 1時間につき 1 1 0 円 軽運動場 1時間につき 3 1 0 円	
		※ 条例から変更の有無 ☐ 有 ☒ 無	

2 指定管理者等の概要（施設所管課記入）

指 定 管 理 者	事業者等名称	一迫姫松地区コミュニティ推進協議会		
	事務所所在地	栗原市一迫北沢十文字 6 2 番地 5		
指 定 の 期 間	令和 5 年 4 月 1 日 ～ 令和 8 年 3 月 3 1 日 （3 年間）			
指定にかかる選定方法	☐ 公募	☒ 非公募	指定管理料	6, 1 1 3, 5 6 8 円（3 年間）

3 施設管理の経過（施設所管課記入）

期 間	管理形態	施設管理を行った団体等	摘要
平成19年4月～平成25年3月	管理委託	一迫姫松地区コミュニティ推進協議会	
平成25年4月～令和4年3月	指定管理	一迫姫松地区コミュニティ推進協議会	令和2年更新
令和2年4月～令和7年3月	指定管理	一迫姫松地区コミュニティ推進協議会	

4 施設の利用実績（指定管理者記入）

	事業計画	実 績		計画との比率 (%)	前年度との比較 (%)
	評価対象年度 (令和6年度)	前年度 (令和5年度)	評価対象年度 (令和6年度)		
開 館 日 数	359日	359日	359日	100.0%	100.0%
利用者数（延べ人数）	1,400人	1,396人	1,612人	115.1%	115.5%
利 用 料 金 収 入	122,144円	144,823円	111,991円	91.7%	77.3%
主 な 増 減 要 因 (前 年 比)	利用者数の増に関しては、今年度は選挙の投票所として利用された事によるものであり、前年度とほぼ変わらない状況である。利用料金収入の減は調理加工室での加工料の減が大きい要因となっている。				

5 自主事業等の実績 (指定管理者記入)

年月日	事業名	事業内容	対象者	参加者数
なし				

6 施設の管理運営における課題 (指定管理者、施設所管課記入)

指定管理者 (指定管理者記入)	市 (施設所管課記入)
施設の経年劣化箇所が建物や備品 (農産加工機械等) において増えてきている。施設を安心安全、快適に利用していただけるよう市と協議の上、修繕を検討していきたい。	経年劣化による施設修繕箇所につきましては、予算の範囲内で優先順位の高いものから対応するように検討してまいります。

7 施設利用者からの主な意見等とその対応状況 (指定管理者記入)

施設利用者からの主な意見等	対応状況等
高齢者や足が不自由な方が座敷に座るのが大変である。	和室一部屋はソファを設置し、大きな和室は座敷用イスの購入を今後検討したいと思います。
軽運動場の暗幕破損	以前よりご意見いただいておりますが、今年度市の方で修繕していただきました。
軽運動場更衣室の床に歪みがある。	栗原市担当部署へ報告し、修繕していただきました。
土日でも施設利用ができて助かります。	農産加工では土日を含めての利用が多く、利用者さんから感謝の言葉をいただいております。

8 総合的な評価 (指定管理者、施設所管課記入)

評価項目	指定管理者の自己評価		市の評価		改善 勧告
	評価	コメント	評価	コメント	
(1) 基本的な方針に基づく管理・運営体制	A		A		
① 施設の管理運営に必要な人員及び有資格者等を計画どおり適切に配置しているか。	A	管理人、警備員を配置し、共に防災管理者資格を取得している。	A	引き続き、適切な人員の配置をしていただきたい。	
② 指定管理業務に必要な知識及びサービスの向上のため、研修等人材育成に努めているか。	A		A	引き続き、サービス向上に向けて努めていただきたい	
③ 通常の安全管理や緊急時の対応について、職員が適切に行える環境を整備しているか。	A	自主防災事業で被災時の対応の講演を聴講し、緊急時に備えている。	A	引き続き、訓練等を実施し、安全管理に努めていただきたい。	
④ 各業務日誌等の管理記録を適切に整備・保管しているか。	A		A	引き続き、適切な管理・保管をしていただきたい。	
⑤ 個人情報の取り扱い及び保護の対策について適切に行われているか。	A	個人情報厳重に管理している。	A	適切な情報管理をしていただきたい。	
⑥ 法令等を遵守し、市と締結している協定に基づいた管理・運営を遂行しているか。	A	指定管理者協定書に基づき管理運営を行った。	A	引き続き、適切な管理運営をしていただきたい。	
(2) 施設管理の状況	A		A		
① 市の承認した内容に基づき、施設の開館及び利用時間、利用料金設定を遵守しているか。	A	遵守し、利用いただいている。	A	変更する場合は事前に届出願います。	
② 施設内、設備等の清掃及び保守点検等を適切に行い、良好な施設環境を維持しているか。	A	消防設備点検、施設床清掃を委託し実施している。	A	引き続き、適切な施設環境整備をしていただきたい。	
③ 協定に基づき施設設備や備品等の適切な修繕対応を行っているか。	A	市と相談しながら修繕対応している。	A	今後も協定に基づいた適切な修繕対応をしていただきたい。	
④ 設備維持と事故等防止のため、必要な専門的点検を実施し安全確認を行っているか。	A	農産加工機械設備の保守点検を専門業者に委託し実施している。	A	専門的な点検となることから、引き続き、適切な管理をしていただきたい。	
(3) 利用者へのサービス提供と満足度	A		A		
① 利用者の利便性を意識した迅速な利用許可手続きや施設情報の提供を行っているか。	A		A	引き続き、サービス向上に向けて努めていただきたい	
② 利用者アンケート等により利用者の意見を把握し反映する取り組みを行ったか。	B	いただいたご意見は、役員で検討し、反映できるよう取り組んでいる。	B	引き続き、サービス向上に向けて努めていただきたい	
③ 要望及び苦情等に対する対応が十分になされたか。	A	役員で共有し、改善できるよう取り組んでいる。	A	引き続き、サービス向上に向けて努めていただきたい	
④ 施設の目的を活かし利用者の充実のため新たな取り組みを実施したか。	A		A	新規事業の実施を検討願います。	
⑤ モニタリング・アンケートの結果、利用者の満足が得られていたか。	A		A	引き続き、親切丁寧な対応をお願いいたします。	
⑥ 利用者に対し職員の対応、身なり等は適切であるか。	A		A	引き続き、親切丁寧な対応をお願いいたします。	
(4) 運営の状況（収支の実績等）	A		A		
① 収支計画及び事業計画と比較し実績の状況は妥当であるか。	A		A	利用者の増加に向けた事業等の実施を検討願います。	
② 積極的に収入の創出（増）に努め、又収入の増加に繋がる具体的な取り組みがあったか。	B	収入減となっている為、今後、課題としていきたい。	B	利用団体が減免団体のため難しいと思いますが、新規事業の実施を検討願います。	
③ 積極的に経費縮減に努め、又具体的に経費の縮減が図られた実績が見られるか。	A	光熱費が値上がりしている為、節電、節水は常に心掛けている。	A	引き続き、施設の適切な管理に努めていただきたい。	
④ 指定管理業務における専用口座及び諸帳簿等を備え適正な経理が行われているか。	A	専用口座で管理している。	A	引き続き、適正な経理をしていただきたい。	

総合評価	指定管理者の自己評価（指定管理者記入）		市の評価（施設所管課記入）	
	＜指定管理者の所見＞	評価	＜施設所管課の所見＞	評価
	子ども会、婦人会、老人クラブ等の団体の解散や活動が減っている事に伴い、施設の利用も減少している状況である。地域のコミュニティ施設として、たくさんの方に気軽に利用していただけるよう事業を検討していきたいと考えております。管理運営に関しては、今後も市民の信頼に応え、また法令や協定に従い、業務を実施していきたいと思っております。	A	事業計画に基づいて、おおむね適正に管理運営が行われたと認めます。引き続き、サービス向上に向けた適正な管理運営をお願いいたします。	A

別紙様式6

指定管理者制度導入施設の管理運営に関する評価票(評価対象年度:令和6年度)

施 設 の 名 称	栗原市築館高齢者福祉センター
施 設 所 管 部 署 名	市民生活部 社会福祉課

1 評価対象施設の概要 (施設所管課記入)

施 設 名 称	栗原市築館高齢者福祉センター		
施 設 所 在 地	栗原市築館薬師三丁目6番1号		
設 置 年 月	昭和55年3月	設置根拠条例	栗原市高齢者福祉センター条例
設 置 目 的	高齢者等市民の福祉の増進と社会活動への参加の促進を図る。		
施 設 概 要	面 積	延床面積 907. 41 m ² 、 敷地面積 2, 371. 34 m ²	
	構 造	鉄筋コンクリート造 2階建	
	施設内容	玄関、ホール、会議室 外	
休 館 日	月曜日、12月29日～1月3日 ※ 条例から変更の有無 ☐ 有 ☒ 無		
開 館 時 間	午前 9時 00分 ～ 午後 9時 30分 ※ 条例から変更の有無 ☐ 有 ☒ 無		
施 設 利 用 料 金	利用料金制	☐ 採用 ☐ 採用無 ☒ 指定管理料と併用 ☐ 指定管理料のみ	
	設定金額	使用料、観覧料等の設定ごとに記載 ・ホール 1時間 310円 ・研修室(和室) 1時間 110円 ・研修室及び会議室 1時間 110円 ・調理室 1時間 110円 ※ 条例から変更の有無 ☐ 有 ☒ 無	

2 指定管理者等の概要 (施設所管課記入)

指 定 管 理 者	事業者等名称	社会福祉法人 栗原市社会福祉協議会		
	事務所所在地	栗原市築館薬師三丁目6番2号		
指 定 の 期 間	令和6年4月1日～令和11年3月31日（5年間）			
指定にかかる選定方法	☐ 公募	☒ 非公募	指定管理料	18, 200, 000円（5年間）

3 施設管理の経過 (施設所管課記入)

期 間	管理形態	施設管理を行った団体等	摘要
平成18年9月 ～ 令和11年3月	指定管理	社会福祉法人 栗原市社会福祉協議会	R6.4更新
年 月 ～ 年 月			
年 月 ～ 年 月			

4 施設の利用実績 (指定管理者記入)

	事業計画	実 績		計画との比率 (%)	前年度との比較 (%)
	評価対象年度 (令和6年度)	前年度 (令和5年度)	評価対象年度 (令和6年度)		
開 館 日 数	307日	309日	307日	100.0%	99.4%
利用者数(延べ人数)	4,550人	3,693人	3,884人	85.4%	105.2%
利 用 料 金 収 入	157,000円	152,486円	148,610円	94.7%	97.5%
主 な 増 減 要 因 (前 年 比)	前年度に比べ、利用者数は191名の増となったが、利用料が3,876円減収となった。				

5 自主事業等の実績（指定管理者記入）

年月日	事業名	事業内容	対象者	参加者数
なし				

6 施設の管理運営における課題（指定管理者、施設所管課記入）

指定管理者（指定管理者記入）	市（施設所管課記入）
施設の経年（老朽化）から、修繕箇所が多くなってきている。経費節減に努めながら、必要な修繕を行っていききたい。大規模修繕が伴う場合は、市と協議をし、修繕を行っていききたい。	建築から40年以上経過し、施設内外において老朽化が目立っております。施設管理における修繕については、指定管理者基本協定書に基づき、協議しながら計画的に行いたいと考えております。令和7年度については、和室にエアコンの設置を予定しています。

7 施設利用者からの主な意見等とその対応状況（指定管理者記入）

施設利用者からの主な意見等	対応状況等
1階調理室に網戸ができ、定期的に喚起できるようになった。	今年度に網戸設置していただきました。不具合がある際は、市に報告いたします。
照明器具をLED対応にしていだきたい。	令和7年度修繕予定。
1F和室に冷房がないので、窓を開けて使用するが、網戸もないため、夏場は蚊が入るのでなんとかしてほしい。	栗原市と相談して対応していきたいと思います。
2階の畳を新しく交換して欲しい。	栗原市と相談して対応していきたいと思います。
1階多目的ホールのエアコンのリモコンが1つしかなく、代替品が入手できないため、エアコンを新設してほしい。	栗原市と相談して対応していきたいと思います。

8 総合的な評価（指定管理者、施設所管課記入）

評価項目	指定管理者の自己評価		市の評価		改善 勧告
	評価	コメント	評価	コメント	
(1) 基本的な方針に基づく管理・運営体制	A		A	サービス向上を常に意識し、改善を行っている。	
① 施設の管理運営に必要な人員及び有資格者等を計画どおり適切に配置しているか。	A	防火管理者等を適切に配置している。	A	適正であると認めます。	
② 指定管理業務に必要な知識及びサービスの向上のため、研修等人材育成に努めているか。	A	外部研修等に参加し、人材育成に努めている。	A	適正であると認めます。	
③ 通常の安全管理や緊急時の対応について、職員が適切に行える環境を整備しているか。	A	消防訓練や緊急時の職員初動マニュアルを整備し、対応を行っている。	A	マニュアルを整備し、災害対応の準備ができています。	
④ 各業務日誌等の管理記録を適切に整備・保管しているか。	A		A	適正であると認めます。	
⑤ 個人情報の取り扱い及び保護の対策について適切に行われているか。	A	ヨ法入の個人情報保護規定に基づき、守秘義務及び管理を徹底している。	A	法人の規定に基づき対応している。	
⑥ 法令等を遵守し、市と締結している協定に基づいた管理・運営を遂行しているか。	A		A	適正であると認めます。	
(2) 施設管理の状況	A	適切に施設管理を行い、必要な保守点検等を行っている。	A	特に問題もなく、適正に管理運営がされています。	
① 市の承認した内容に基づき、施設の開館及び利用時間、利用料金設定を遵守しているか。	A	施設の開館及び利用時間、利用料金設定を遵守している。	A	適正であると認めます。	
② 施設内、設備等の清掃及び保守点検等を適切に行い、良好な施設環境を維持しているか。	A	良好な施設環境整備に努めている。	A	適正であると認めます。	
③ 協定に基づき施設設備や備品等の適切な修繕対応を行っているか。	A	必要な修繕を行い、10万円以上となる修繕は市と協議し行っている。	A	適正であると認めます。	
④ 設備維持と事故等防止のため、必要な専門的点検を実施し安全確認を行っているか。	A	必要な保守・点検業務を実施し、施設の維持管理に努めている。	A	適正であると認めます。	
(3) 利用者へのサービス提供と満足度	B	利用者に対し適切・迅速な対応が出来るように取り組んでいきたい。	A	利用者ニーズを捉えられる取り組みを期待します。	
① 利用者の利便性を意識した迅速な利用許可手続きや施設情報の提供を行っているか。	A	申請手続きの時間短縮のため、金額計算表等作成し対応している。	A	適正であると認めます。	
② 利用者アンケート等により利用者の意見を把握し反映する取り組みを行ったか。	B	アンケートの実施ができなかったため、今後実施したい。	B	利用者の声を拾い上げているが、アンケートの実施を行い、利用者の意見を把握するようお願いします。	
③ 要望及び苦情等に対する対応が十分になされたか。	A		A	適正であると認めます。	
④ 施設の目的を活かし利用者の充実のため新たな取り組みを実施したか。	-		-		
⑤ モニタリング・アンケートの結果、利用者の満足が得られていたか。	B		B	ユーザーの評価をチェックし、サービス提供の参考に役立てられるようお願いします。	
⑥ 利用者に対し職員の応対、身なり等は適切であるか。	A		A	適正であると認めます。	
(4) 運営の状況（収支の実績等）	A	適正な経理を行い、運営している。	A	特に問題もなく、適正に管理運営がされています。	
① 収支計画及び事業計画と比較し実績の状況は妥当であるか。	A		B	利用者数以外は、適正であると認めます。	
② 積極的に収入の創出（増）に努め、又収入の増加に繋がる具体的な取り組みがあったか。	B	利用しやすい環境整備に努めていきたい。	A	適正であると認めます。	
③ 積極的に経費縮減に努め、又具体的に経費の縮減が図られた実績が見られるか。	A		A	適正であると認めます。	
④ 指定管理業務における専用口座及び諸帳簿等を備え適正な経理が行われているか。	A		A	適正であると認めます。	

総合評価	指定管理者の自己評価（指定管理者記入）	評価	市の評価（施設所管課記入）	評価
	＜指定管理者の所見＞ 法令等を遵守し、市と締結している協定に基づき、保守・点検を行っている。また、防火管理者等の配置を行い、適切に管理・運営を行っている。	A	＜施設所管課の所見＞ 適正に管理され、収支は保たれております。しかし、利用者数の伸びに収入が伴っていない原因や、利用者アンケートの集約を図るなど、施設の効果的な取り組みに期待します。	A

別紙様式6

指定管理者制度導入施設の管理運営に関する評価票(評価対象年度:令和6年度)

施設 の 名 称	栗原市栗駒高齢者地域福祉施設
施設所管部署名	市民生活部 社会福祉課

1 評価対象施設の概要(施設所管課記入)

施 設 名 称	栗原市栗駒高齢者地域福祉施設		
施 設 所 在 地	栗原市栗駒八幡西沢10番地1		
設 置 年 月	平成8年4月	設置根拠条例	栗原市高齢者福祉センター条例
設 置 目 的	高齢者等市民の福祉の増進と社会活動への参加の促進を図る		
施 設 概 要	面 積	延床面積 1468.70㎡、 敷地面積 7378.00㎡	
	構 造	鉄筋コンクリート造、一部鉄骨造、屋内ゲートボール場	
	施設内容	(施設内の設置室内容) 賢候ホール、和室、調理実習室、屋内ゲートボール場	
休 館 日	※ 条例から変更の有無 ☒ 有 ☐ 無		
開 館 時 間	午前8時30分 ~ 午後5時00分 ※ 条例から変更の有無 ☒ 有 ☐ 無		
施 設 利 用 料 金	利用料金制	☐ 採用 ☐ 採用無 ☒ 指定管理料と併用 ☐ 指定管理料のみ	
	設定金額	使用料、観覧料等の設定ごとの記載 ・健康ホール 1時間310円 ・和室 1時間110円 ・調理実習室 1時間110円 ・屋内ゲートボール場 1時間310円 ※条例から変更の有無 ☐ 有 ☒ 無	

2 指定管理者等の概要(施設所管課記入)

指 定 管 理 者	事業者等名称	公益社団法人栗原市シルバー人材センター		
	事務所所在地	栗原市若柳字川南戸の西4番地		
指 定 の 期 間	令和6年4月1日 ～ 令和11年3月31日（5年間）			
指定にかかる選定方法	☐ 公募	☒ 非公募	指定管理料	21, 800, 000円（5年間）

3 施設管理の経過(施設所管課記入)

期 間	管理形態	施設管理を行った団体等	摘要
平成18年4月 ~ 令和11年3月	指定管理	公益社団法人栗原市シルバー人材センター	R6.4更新
年 月 ~ 年 月			
年 月 ~ 年 月			

4 施設の利用実績(指定管理者記入)

	事業計画	実 績		計画との比率 (%)	前年度との比較 (%)
	評価対象年度 (令和6年度)	前年度 (令和5年度)	評価対象年度 (令和6年度)		
開 館 日 数	247日	243日	247日	100.0%	101.6%
利用者数(延べ人数)	4,500人	4,967人	4,367人	97.0%	87.9%
利 用 料 金 収 入	80,000円	89,844円	65,627円	82.0%	73.0%
主 な 増 減 要 因 (前 年 比)	ゲートボール場利用団体の利用日数減によるもの				

5 自主事業等の実績（指定管理者記入）

年月日	事業名	事業内容	対象者	参加者数
なし				

6 施設の管理運営における課題（指定管理者、施設所管課記入）

指定管理者（指定管理者記入）	市（施設所管課記入）
・鉄骨ビニールハウスの撤去を希望。 ・施設老朽化に伴い、建物内倉庫の雨漏りの外、調理室にも若干の雨漏りがみられる。	建築から25年以上経過し、施設内外において老朽化が目立っております。令和6年度は、ホールへのエアコン設置と屋内ゲートボール上のLED化工事を実施しました。施設管理における修繕については、指定管理者基本協定書に基づき、協議しながら計画的に行いたいと考えております。令和7年度についても予算の範囲内で対応してまいります。

7 施設利用者からの主な意見等とその対応状況（指定管理者記入）

施設利用者からの主な意見等	対応状況等
特に意見、要望なし	

8 総合的な評価（指定管理者、施設所管課記入）

評価項目	指定管理者の自己評価		市の評価		改善 勧告
	評価	コメント	評価	コメント	
(1) 基本的な方針に基づく管理・運営体制	A		A	適正に管理運営されています。	
① 施設の管理運営に必要な人員及び有資格者等を計画どおり適切に配置しているか。	A	市役所OBを配置している	A	適正であると認めます。	
② 指定管理業務に必要な知識及びサービスの向上のため、研修等人材育成に努めているか。	A	指定管理業務知識のある人材を配置している	A	適正ですが、研修等に参加しスキルアップに努めるようお願いします。	
③ 通常の安全管理や緊急時の対応について、職員が適切に行える環境を整備しているか。	A	適切に行っている	A	適正であると認めます。	
④ 各業務日誌等の管理記録を適切に整備・保管しているか。	A	適切に行っている	A	適正であると認めます。	
⑤ 個人情報の取り扱い及び保護の対策について適切に行われているか。	A	適切に行っている	A	適正であると認めます。	
⑥ 法令等を遵守し、市と締結している協定に基づいた管理・運営を遂行しているか。	A	適切に行っている	A	適正であると認めます。	
(2) 施設管理の状況	A		A	適正に管理運営されています。	
① 市の承認した内容に基づき、施設の開館及び利用時間、利用料金設定を遵守しているか。	A	適切に行っている	A	適正であると認めます。	
② 施設内、設備等の清掃及び保守点検等を適切に行い、良好な施設環境を維持しているか。	A	適切に行っている	A	適正であると認めます。	
③ 協定に基づき施設設備や備品等の適切な修繕対応を行っているか。	A	適切に行っている	A	適正であると認めます。	
④ 設備維持と事故等防止のため、必要な専門的点検を実施し安全確認を行っているか。	A	適切に行っている	A	適正であると認めます。	
(3) 利用者へのサービス提供と満足度	A		A	適正に管理運営されています。	
① 利用者の利便性を意識した迅速な利用許可手続きや施設情報の提供を行っているか。	A	迅速に行っている	A	適正であると認めます。	
② 利用者アンケート等により利用者の意見を把握し反映する取り組みを行ったか。	A	適切に行っている	A	適正であると認めます。	
③ 要望及び苦情等に対する対応が十分になされたか。	A	苦情はなかった	A	適正であると認めます。	
④ 施設の目的を活かし利用者の充実のため新たな取り組みを実施したか。	B	新たな取り組みはない	—	貸館を目的としているため、評価の対象としない。	
⑤ モニタリング・アンケートの結果、利用者の満足が得られていたか。	A	満足度が得られている	A	適正であると認めます。	
⑥ 利用者に対し職員の対応、身なり等は適切であるか。	A	適切である	A	適正であると認めます。	
(4) 運営の状況（収支の実績等）	A		A	適正に管理運営されています。	
① 収支計画及び事業計画と比較し実績の状況は妥当であるか。	A	妥当である	B	利用者数以外は適正であると認めます。	
② 積極的に収入の創出（増）に努め、又収入の増加に繋がる具体的な取り組みがあったか。	B	具体的な取り組みはない	A	適正であると認めます。	
③ 積極的に経費縮減に努め、又具体的に経費の縮減が図られた実績が見られるか。	A	常に経費縮減に努めている。	A	適正であると認めます。	
④ 指定管理業務における専用口座及び諸帳簿等を備え適正な経理が行われているか。	A	適切に行っている	A	適正であると認めます。	

総合評価	指定管理者の自己評価（指定管理者記入）	評価	市の評価（施設所管課記入）	評価
	<指定管理者の所見> ・令和6年度のエアコン設置により、快適な状態で施設が利用できるため、今後の利用者増加に期待したい。 ・令和6年度のアンケートでは、特に要望等はなかった。今後も、利用しやすい環境づくりを推進していきたい。	A	<施設所管課の所見> 適正に管理され、収支は保たれておりますが、夏も快適に利用できることを周知するなど、利用者数が前年度比12%減となった状況を整理し、利用者の確保に向けた取り組みをお願いします。	A

別紙様式6

指定管理者制度導入施設の管理運営に関する評価票(評価対象年度:令和6年度)

施 設 の 名 称	栗原市一迫老人福祉センター
施 設 所 管 部 署 名	市民生活部 社会福祉課

1 評価対象施設の概要 (施設所管課記入)

施 設 名 称	栗原市一迫老人福祉センター		
施 設 所 在 地	栗原市一迫真坂字高橋20－1		
設 置 年 月	昭和59年3月	設置根拠条例	栗原市高齢者福祉センター条例
設 置 目 的	高齢者等市民の福祉の増進と社会活動への参加の促進を図る		
施 設 概 要	面 積	延床面積669.03㎡、敷地面積9,311.00㎡	
	構 造	鉄筋コンクリート造平屋建	
	施設内容	(施設内の設置室内容) 健康管理室、生活相談室、教養娯楽室、図書及び会議室、料理実習室、集会室	
休 館 日	12月29日～1月3日 ※ 条例から変更の有無 ☒ 有 ☐ 無		
開 館 時 間	午前9時 ～ 午後9時 ※ 条例から変更の有無 ☐ 有 ☒ 無		
施 設 利 用 料 金	利用料金制	☐ 採用 ☐ 採用無 ☒ 指定管理料と併用 ☐ 指定管理料のみ	
	設定金額	使用料、観覧料等の設定ごとに記載 健康管理室 1時間110円、生活相談室 1時間110円 教養娯楽室 1時間110円、図書及び会議室 1時間110円 料理実習室 1時間110円、集会室 1時間310円 ※ 条例から変更の有無 ☐ 有 ☒ 無	

2 指定管理者等の概要 (施設所管課記入)

指 定 管 理 者	事業者等名称	栗原市一迫地区老人クラブ連合会		
	事務所所在地	栗原市一迫真坂字高橋20－1 栗原市一迫老人福祉センター内		
指 定 の 期 間	令和6年4月1日～令和10年3月31日（5年間）			
指定にかかる選定方法	☐ 公募 ☒ 非公募	指定管理料	30, 550, 000円（5年間）	

3 施設管理の経過 (施設所管課記入)

期 間	管理形態	施設管理を行った団体等	摘要
平成17年4月～平成28年3月	直営		
平成28年4月～令和7年3月	指定管理	栗原市一迫地区老人クラブ連合会	
年 月 ～ 年 月			

4 施設の利用実績 (指定管理者記入)

	事業計画	実 績		計画との比率 (%)	前年度との比較 (%)
	評価対象年度 (令和6年度)	前年度 (令和5年度)	評価対象年度 (令和6年度)		
開 館 日 数	359日	360日	359日	100.0%	99.7%
利用者数(延べ人数)	4,000人	3,274人	4,996人	124.9%	152.6%
利 用 料 金 収 入	29,000円	30,649円	28,927円	99.7%	94.4%
主 な 増 減 要 因 (前 年 比)	コロナウイルス感染防止対策も和らぎ、だいが利用者も増加してきました。ただ行政関連、自治会、スポ少、指定管理者に関しての利用料金が免除対象のため、利用料金に関しては計画以上の成果を達成することが出来ませんでした。				

5 自主事業等の実績（指定管理者記入）

年月日	事業名	事業内容	対象者	参加者数

6 施設の管理運営における課題（指定管理者、施設所管課記入）

指定管理者（指定管理者記入）	市（施設所管課記入）
市民の高齢者福祉活動の拠点として、施設を気軽に利用していただけるよう、施設内設備の点検や清掃等に配慮し、良好な施設環境づくりに務めています。利用者の方々が不便を感じる意見を確認しながら、サービス低下にならないよう運営してまいります。今後、規模の大きい修繕がありましたら協議の程、宜しく願います。	建築から40年以上経過し、施設内外において老朽化が目立っております。令和6年度は、エアコン設置工事を実施しています。施設管理における修繕については、指定管理者基本協定書に基づき、協議しながら計画的に行いたいと考えております。令和7年度についても予算の範囲内で対応してまいります。

7 施設利用者からの主な意見等とその対応状況（指定管理者記入）

施設利用者からの主な意見等	対応状況等
自治会での利用なので、利用料金は発生しませんが、施設内も清掃が行き届いており、とてもきれいです。今後も利用していきたいと思います。	週に一度、清掃員が利用する部屋全て清掃してるので、きれいに保たれています。
利用する際には、テキパキと丁寧に案内していただき、利用者も安心して利用できます。自治会会員一同、対応に満足し感謝しています。	利用者さんには常に丁寧に対応するよう、心掛けています。

8 総合的な評価（指定管理者、施設所管課記入）

評価項目	指定管理者の自己評価		市の評価		改善 勧告
	評価	コメント	評価	コメント	
(1) 基本的な方針に基づく管理・運営体制	A		A	適正に管理運営がされています。	
①施設の管理運営に必要な人員及び有資格者等を計画どおり適切に配置しているか。	A	従業員・警備員でローテーションを行い、対応している。	A	適正であると認めます。	
②指定管理業務に必要な知識及びサービスの向上のため、研修等人材育成に努めているか。	A	行っている。	A	適正であると認めます。	
③通常の安全管理や緊急時の対応について、職員が適切に行える環境を整備しているか。	A	避難訓練等を年2回実施している。	A	適正であると認めます。	
④各業務日誌等の管理記録を適切に整備・保管しているか。	A	行っている。	A	適正であると認めます。	
⑤個人情報の取り扱い及び保護の対策について適切に行われているか。	A	行っている。	A	適正であると認めます。	
⑥法令等を遵守し、市と締結している協定に基づいた管理・運営を遂行しているか。	A	行っている。	A	適正であると認めます。	
(2) 施設管理の状況	A		A	適正に管理運営がされています。	
①市の承認した内容に基づき、施設の開館及び利用時間、利用料金設定を遵守しているか。	A	遵守している。	A	適正であると認めます。	
②施設内、設備等の清掃及び保守点検等を適切に行い、良好な施設環境を維持しているか。	A	行っている。	A	適正であると認めます。	
③協定に基づき施設設備や備品等の適切な修繕対応を行っているか。	A	行っている。	A	適正であると認めます。	
④設備維持と事故等防止のため、必要な専門的点検を実施し安全確認を行っているか。	A	専門業者に点検してもらっている。	A	適正であると認めます。	
(3) 利用者へのサービス提供と満足度	A		A	適正に管理運営がされています。	
①利用者の利便性を意識した迅速な利用許可手続きや施設情報の提供を行っているか。	A	行っている。	A	適正であると認めます。	
②利用者アンケート等により利用者の意見を把握し反映する取り組みを行ったか。	A	アンケート結果に基づき対応している。	A	適正であると認めます。	
③要望及び苦情等に対する対応が十分になされたか。	A	すぐに対応している。	A	適正であると認めます。	
④施設の目的を活かし利用者の充実のため新たな取り組みを実施したか。	—		—	貸館を目的としているため、評価の対象としない。	
⑤モニタリング・アンケートの結果、利用者の満足が得られていたか。	A	得られている。	A	適正であると認めます。	
⑥利用者に対し職員の対応、身なり等は適切であるか。	A	適切である。	A	適正であると認めます。	
(4) 運営の状況（収支の実績等）	A		A	適正に管理運営がされています。	
①収支計画及び事業計画と比較し実績の状況は妥当であるか。	A	妥当である。	A	適正であると認めます。	
②積極的に収入の創出（増）に努め、又収入の増加に繋がる具体的な取り組みがあったか。	—		A	利用促進に繋がる取り組みを期待します。	
③積極的に経費縮減に努め、又具体的に経費の縮減が図られた実績が見られるか。	A	経費節減の実績を得られた。	A	適正であると認めます。	
④指定管理業務における専用口座及び諸帳簿等を備え適正な経理が行われているか。	A	適正に行われている。	A	適正であると認めます。	

	指定管理者の自己評価（指定管理者記入）	評価	市の評価（施設所管課記入）	評価
	<指定管理者の所見>	A	<施設所管課の所見>	A
総合評価	利用者の皆さんに、気持ちよく利用して頂けるように、各部屋の掃除を徹底しています。 栗原市内の利用者だけではなく、市外一般の団体等、会議等の会場として施設の貸し出しを活用しています。		適正に管理され、利用者数も前年度比52%増となっております。収支は減免対象の利用者が多く、利用料金の増には結び付いていない状況ではありますが、これまで通り快適な環境で利用していただけるような取り組みをお願いします。	

別紙様式6

指定管理者制度導入施設の管理運営に関する評価票(評価対象年度:令和6年度)

施 設 の 名 称	栗原市鶯沢老人福祉センター
施 設 所 管 部 署 名	市民生活部 社会福祉課

1 評価対象施設の概要 (施設所管課記入)

施 設 名 称	栗原市鶯沢老人福祉センター		
施 設 所 在 地	栗原市鶯沢南郷下久保21番地1		
設 置 年 月	平成元年4月	設置根拠条例	栗原市高齢者福祉センター条例
設 置 目 的	高齢者等市民の福祉の増進と社会活動への参加の促進を図る。		
施 設 概 要	面 積	延床面積807. 4㎡、 敷地面積3, 604. 58㎡	
	構 造	木造 平屋建	
	施設内容	栄養指導室、教養娯楽室、相談室、工作室、集会室、運動指導室、図書室 外	
休 館 日	土曜日、日曜日、祝日、12月29日～1月3日 ※ 条例から変更の有無 ☒ 有 ☐ 無		
開 館 時 間	午前8時30分 ～ 午後5時00分 ※ 条例から変更の有無 ☐ 有 ☒ 無		
施 設 利 用 料 金	利用料金制	☐ 採用 ☐ 採用無 ☒ 指定管理料と併用 ☐ 指定管理料のみ	
	設定金額	集会室及び運動指導室 1時間につき300円、栄養指導室 1時間につき100円 教養娯楽室 1時間につき100円、相談室 外 1時間につき100円 ※ 条例から変更の有無 ☐ 有 ☒ 無	

2 指定管理者等の概要 (施設所管課記入)

指 定 管 理 者	事業者等名称	社会福祉法人 栗原市社会福祉協議会		
	事務所所在地	栗原市築館薬師三丁目6番2号		
指 定 の 期 間	令和6年4月1日～令和11年3月31日（5年間）			
指定にかかる選定方法	☐ 公募	☒ 非公募	指定管理料	11,100,000円（5年間）

3 施設管理の経過 (施設所管課記入)

期 間	管理形態	施設管理を行った団体等	摘要
平成18年9月 ～ 令和11年3月	指定管理	社会福祉法人 栗原市社会福祉協議会	R6.4更新
年 月 ～ 年 月			
年 月 ～ 年 月			

4 施設の利用実績 (指定管理者記入)

	事業計画	実 績		計画との比率 (%)	前年度との比較 (%)
	評価対象年度 (令和6年度)	前年度 (令和5年度)	評価対象年度 (令和6年度)		
開 館 日 数	243日	242日	243日	100.0%	100.4%
利用者数(延べ人数)	2,000人	1,218人	1,254人	62.7%	103.0%
利 用 料 金 収 入	5,000円	3,887円	3,348円	67.0%	86.1%
主 な 増 減 要 因 (前 年 比)	前年度に比べ、利用者数は36名の増となったが、利用料が539円減収となった。				

5 自主事業等の実績（指定管理者記入）

年月日	事業名	事業内容	対象者	参加者数
なし				

6 施設の管理運営における課題（指定管理者、施設所管課記入）

指定管理者（指定管理者記入）	市（施設所管課記入）
施設の経年（老朽化）から、修繕箇所が多くなってきている。経費節減に努めながら、必要な修繕を行っていききたい。大規模修繕と伴う場合は、市と協議をし、修繕を行っていき	建築から30年以上経過し、施設内外において老朽化が目立っております。令和6年度は、トイレ修繕工事を実施しています。施設管理における修繕については、指定管理者基本協定書に基づき、協議しながら計画的に行いたいと考えております。令和7年度についても予算の範囲内で対応してまいります。

7 施設利用者からの主な意見等とその対応状況（指定管理者記入）

施設利用者からの主な意見等	対応状況等
男子トイレ全ての小便器が流れるようになり、快適に利用している。	今年度フラッシュバルブの修繕をしていただきました。不具合がある際は、市に報告いたします。

8 総合的な評価（指定管理者、施設所管課記入）

評価項目	指定管理者の自己評価		市の評価		改善 勧告
	評価	コメント	評価	コメント	
(1) 基本的な方針に基づく管理・運営体制	A	法令等遵守し、市と締結している協定に基づき、適切に管理・運営している。	A	サービス向上を常に意識し、改善を行っている。	
① 施設の管理運営に必要な人員及び有資格者等を計画どおり適切に配置しているか。	A	防火管理者等を適切に配置している。	A	適正であると認めます。	
② 指定管理業務に必要な知識及びサービスの向上のため、研修等人材育成に努めているか。	A	外部研修等に参加し、人材育成に努めている。	A	適正であると認めます。	
③ 通常の安全管理や緊急時の対応について、職員が適切に行える環境を整備しているか。	A	消防訓練や緊急時の職員初動マニュアルを整備し、対応を行っている。	A	マニュアルを整備し、災害対応の準備ができています。	
④ 各業務日誌等の管理記録を適切に整備・保管しているか。	A		A	適正であると認めます。	
⑤ 個人情報の取り扱い及び保護の対策について適切に行われているか。	A	当法人の個人情報保護規定に基づき、守秘義務及び管理を徹底している。	A	法人の規定に基づき対応している。	
⑥ 法令等を遵守し、市と締結している協定に基づいた管理・運営を遂行しているか。	A		A	適正であると認めます。	
(2) 施設管理の状況	A	適切に施設管理を行い、必要な保守・点検等を行っている。	A	特に問題もなく、適正に管理運営がされています。	
① 市の承認した内容に基づき、施設の開館及び利用時間、利用料金設定を遵守しているか。	A		A	適正であると認めます。	
② 施設内、設備等の清掃及び保守点検等を適切に行い、良好な施設環境を維持しているか。	A	良好な施設環境整備に努めている。	A	適正であると認めます。	
③ 協定に基づき施設設備や備品等の適切な修繕対応を行っているか。	A		A	適正であると認めます。	
④ 設備維持と事故等防止のため、必要な専門的点検を実施し安全確認を行っているか。	A		A	適正であると認めます。	
(3) 利用者へのサービス提供と満足度	B	利用者に対し、適切・迅速な対応ができるように取り組んでいきたい。	A	利用者ニーズを捉えられる取り組みを期待します。	
① 利用者の利便性を意識した迅速な利用許可手続きや施設情報の提供を行っているか。	A		A	適正であると認めます。	
② 利用者アンケート等により利用者の意見を把握し反映する取り組みを行ったか。	B	アンケートを実施し、利用者の意見を反映していきたい。	B	アンケートの実施を行い、利用者の意見を把握するようお願いします。	
③ 要望及び苦情等に対する対応が十分になされたか。	A		A	適正であると認めます。	
④ 施設の目的を活かし利用者の充実のため新たな取り組みを実施したか。	-		-		
⑤ モニタリング・アンケートの結果、利用者の満足が得られていたか。	B		B	ユーザーの評価をチェックし、サービス提供の参考に役立てられるようお願いします。	
⑥ 利用者に対し職員の応対、身なり等は適切であるか。	A		A	適正であると認めます。	
(4) 運営の状況（収支の実績等）	A	適正な経理を行い、運営している。	A	特に問題もなく、適正に管理運営がされています。	
① 収支計画及び事業計画と比較し実績の状況は妥当であるか。	A		B	利用者数以外は、適正であると認めます。	
② 積極的に収入の創出（増）に努め、又収入の増加に繋がる具体的な取り組みがあったか。	A	利用者が利用しやすい環境整備に努め、利用を増やしたい。	A	適正であると認めます。	
③ 積極的に経費縮減に努め、又具体的に経費の縮減が図られた実績が見られるか。	A		A	適正であると認めます。	
④ 指定管理業務における専用口座及び諸帳簿等を備え適正な経理が行われているか。	A		A	適正であると認めます。	

総合評価	指定管理者の自己評価（指定管理者記入）	評価	市の評価（施設所管課記入）	評価
	＜指定管理者の所見＞ 法令等を遵守し、市と締結している協定に基づき、保守・点検を行っている。また、防火管理者等の配置も行い、適切に管理・運営を行っている。	A	＜施設所管課の所見＞ 適正に管理され、収支は保たれておりますが、利用者アンケートが未実施となっているので、利用者の意見を集約し、ニーズに応えられる取り組みに期待します。	A

別紙様式6

指定管理者制度導入施設の管理運営に関する評価票(評価対象年度:令和6年度)

施設 の 名 称	栗原市瀬峰ふれあいセンター
施設 所 管 部 署 名	市民生活部 社会福祉課

1 評価対象施設の概要 (施設所管課記入)

施 設 名 称	栗原市瀬峰ふれあいセンター		
施 設 所 在 地	栗原市瀬峰下田地内		
設 置 年 月	平成13年6月	設置根拠条例	栗原市介護予防拠点施設条例
設 置 目 的	高齢者等の介護予防と健康増進のための事業を進めるとともに、地域住民と高齢者が一体となった介護知識と介護方法の普及を図る。		
施 設 概 要	面 積	延床面積 611.99 m ² 、 敷地面積 3,939.43 m ²	
	構 造	木造・鉄筋コンクリート造り 平屋建	
	施設内容	研修室、室内ゲートボール場	
休 館 日	※ 条例から変更の有無 ☐ 有 ☒ 無		
開 館 時 間	午前 9時00分 ～ 午後 9時00分 ※ 条例から変更の有無 ☐ 有 ☒ 無		
施 設 利 用 料 金	利用料金制	☐ 採用 ☐ 採用無 ☒ 指定管理料と併用 ☐ 指定管理料のみ	
	設定金額	使用料、観覧料等の設定ごとに記載 室内ゲートボール場 1時間310円	
		※ 条例から変更の有無 ☐ 有 ☒ 無	

2 指定管理者等の概要 (施設所管課記入)

指 定 管 理 者	事業者等名称	栗原市瀬峰地区老人クラブ連合会		
	事務所所在地	栗原市瀬峰寺浦29-1		
指 定 の 期 間	令和4年4月1日～ 令和7年3月31日 （ 3年間）			
指定にかかる選定方法	☐ 公募 ☒ 非公募	指定管理料	1,080,000円 （ 3年間）	

3 施設管理の経過 (施設所管課記入)

期 間	管理形態	施設管理を行った団体等	摘要
平成18年9月～令和7年3月	指定管理	栗原市瀬峰地区老人クラブ連合会	令和4年4月更新
年 月 ~ 年 月			
年 月 ~ 年 月			

4 施設の利用実績 (指定管理者記入)

	事業計画	実 績		計画との比率 (%)	前年度との比較 (%)
	評価対象年度 (令和6年度)	前年度 (令和5年度)	評価対象年度 (令和6年度)		
開 館 日 数	100日	96日	123日	123.0%	128.1%
利用者数(延べ人数)	1,300人	1,324人	1,553人	119.5%	117.3%
利 用 料 金 収 入	72,000円	72,450円	79,450円	110.3%	109.7%
主 な 増 減 要 因 (前 年 比)	健康意識の高まりや、冬場でも屋内でスポーツができる施設があるとの認識が浸透してベタ ンク愛好者のグループが年間利用することが増加の要因と思われる。				

5 自主事業等の実績（指定管理者記入）

年月日	事業名	事業内容	対象者	参加者数
4月21日	瀬峰ふれあいセンター親睦ゲートボール大会	ゲートボール場の利用促進とゲートボール愛好者の親睦を図る	市内愛好者	30人
7月21日	瀬峰ふれあいセンター親睦ゲートボール大会	ゲートボール場の利用促進とゲートボール愛好者の親睦を図る	市内愛好者	30人
10月6日	瀬峰ふれあいセンター親睦ゲートボール大会	ゲートボール場の利用促進とゲートボール愛好者の親睦を図る	市内愛好者	30人
1月19日	瀬峰ふれあいセンター親睦ゲートボール大会	ゲートボール場の利用促進とゲートボール愛好者の親睦を図る	市内愛好者	30人

6 施設の管理運営における課題（指定管理者、施設所管課記入）

指定管理者（指定管理者記入）	市（施設所管課記入）
全国的にゲートボール愛好者の減少が顕著で、利用日数の増加は見込めない状況である。 そのような状況で、昨年から市老連大会で新種目としてモルック競技が取り入れられた。 地区老連でも施設の利活用に向けて新たな屋内競技として取り組みを進めていきたいと思っている。	競技人口の減少など厳しい状況ではありますが、施設の認知度が浸透し、利用者増につながっているとのことです。新種目の利用も含め、施設の利活用に向けた取り組みに期待しています。また、施設管理における修繕については、指定管理者基本協定書に基づき、協議しながら計画的に行いたいと考えております。令和7年度についても予算の範囲内で対応してまいります。

7 施設利用者からの主な意見等とその対応状況（指定管理者記入）

施設利用者からの主な意見等	対応状況等
ゲートボール場進入路脇のU字溝が一段低く、車での走行や、歩行時に高齢の利用者には危険なので改善して欲しいと要望された。	約10メートルほどのU字溝にコンクリートの蓋を購入して、役員たちの協力で改修した。

8 総合的な評価（指定管理者、施設所管課記入）

評価項目	指定管理者の自己評価		市の評価		改善 勧告
	評価	コメント	評価	コメント	
(1) 基本的な方針に基づく管理・運営体制	A		A	適正に管理運営がされています。	
① 施設の管理運営に必要な人員及び有資格者等を計画どおり適切に配置しているか。	A		A	適正であると認めます。	
② 指定管理業務に必要な知識及びサービスの向上のため、研修等人材育成に努めているか。	A		A	適正であると認めます。	
③ 通常の安全管理や緊急時の対応について、職員が適切に行える環境を整備しているか。	A		A	適正であると認めます。	
④ 各業務日誌等の管理記録を適切に整備・保管しているか。	A		A	適正であると認めます。	
⑤ 個人情報取り扱い及び保護の対策について適切に行われているか。	A		A	適正であると認めます。	
⑥ 法令等を遵守し、市と締結している協定に基づいた管理・運営を遂行しているか。	A		A	適正であると認めます。	
(2) 施設管理の状況	A		A	適正に管理運営がされています。	
① 市の承認した内容に基づき、施設の開館及び利用時間、利用料金設定を遵守しているか。	A		A	適正であると認めます。	
② 施設内、設備等の清掃及び保守点検等を適切に行い、良好な施設環境を維持しているか。	A		A	適正であると認めます。	
③ 協定に基づき施設設備や備品等の適切な修繕対応を行っているか。	A		A	適正であると認めます。	
④ 設備維持と事故等防止のため、必要な専門的点検を実施し安全確認を行っているか。	A		A	適正であると認めます。	
(3) 利用者へのサービス提供と満足度	A		A	適正に管理運営がされています。	
① 利用者の利便性を意識した迅速な利用許可手続きや施設情報の提供を行っているか。	A		A	適正であると認めます。	
② 利用者アンケート等により利用者の意見を把握し反映する取り組みを行ったか。	A		A	適正であると認めます。	
③ 要望及び苦情等に対する対応が十分になされたか。	A		A	適正であると認めます。	
④ 施設の目的を活かし利用者の充実のため新たな取り組みを実施したか。	A		A	適正であると認めます。	
⑤ モニタリング・アンケートの結果、利用者の満足が得られていたか。	A		A	適正であると認めます。	
⑥ 利用者に対し職員の対応、身なり等は適切であるか。	A		A	適正であると認めます。	
(4) 運営の状況（収支の実績等）	A		A	適正に管理運営がされています。	
① 収支計画及び事業計画と比較し実績の状況は妥当であるか。	A		A	適正であると認めます。	
② 積極的に収入の創出（増）に努め、又収入の増加に繋がる具体的な取り組みがあったか。	A		A	適正であると認めます。	
③ 積極的に経費縮減に努め、又具体的に経費の縮減が図られた実績が見られるか。	A		A	適正であると認めます。	
④ 指定管理業務における専用口座及び諸帳簿等を備え適正な経理が行われているか。	A		A	適正であると認めます。	

総合評価	指定管理者の自己評価（指定管理者記入）	評価	市の評価（施設所管課記入）	評価
	<指定管理者の所見> 屋内競技場としての、特性を生かして冬期間でも利用できることをPRして1月～3月にかけての利用日数が多くなってきた。	A	<施設所管課の所見> 適正に管理され、収支は保たれておりますが、利用者アンケートが未実施となっているので、利用者の意見を集約し、ニーズに応えられる取り組みに期待します。	A

別紙様式6

指定管理者制度導入施設の管理運営に関する評価票(評価対象年度:令和6年度)

施設 の 名 称	栗原市栗駒高齢者コミュニティセンター
施設 所 管 部 署 名	市民生活部 社会福祉課

1 評価対象施設の概要 (施設所管課記入)

施 設 名 称	栗原市栗駒高齢者コミュニティセンター		
施 設 所 在 地	栗原市栗駒岩ヶ崎上小路136番地		
設 置 年 月	昭和59年2月	設置根拠条例	栗原市老人福祉施設条例
設 置 目 的	市に住所を有する60歳以上の老人に対し、教育の向上、レクリエーション等の場を提供し、老人の心身の健康増進を図る。		
施 設 概 要	面 積	延床面積328. 13㎡、 敷地面積1, 707. 93㎡	
	構 造	鉄骨造、一部木造 平屋建	
	施設内容	保健体育室、創作室、教養室 外	
休 館 日	月曜日、12月29日～1月3日 ※ 条例から変更の有無 ☐ 有 ☒ 無		
開 館 時 間	午前8時30分 ～ 午後5時00分 ※ 条例から変更の有無 ☐ 有 ☒ 無		
施 設 利 用 料 金	利用料金制	☐ 採用 ☐ 採用無 ☒ 指定管理料と併用 ☐ 指定管理料のみ	
	設定金額	保健体育室 1時間につき300円、創作室 1時間100円、教養室 1時間につき100円 ※ 条例から変更の有無 ☐ 有 ☒ 無	

2 指定管理者等の概要 (施設所管課記入)

指 定 管 理 者	事業者等名称	社会福祉法人 栗原市社会福祉協議会		
	事務所所在地	栗原市築館薬師三丁目6番2号		
指 定 の 期 間	令和6年4月1日～令和11年3月31日（5年間）			
指定にかかる選定方法	☐ 公募 ☒ 非公募	指定管理料	3, 250, 000円（5年間）	

3 施設管理の経過 (施設所管課記入)

期 間	管理形態	施設管理を行った団体等	摘要
平成18年9月 ～ 令和11年3月	指定管理	社会福祉法人 栗原市社会福祉協議会	R6.4更新
年 月 ～ 年 月			
年 月 ～ 年 月			

4 施設の利用実績 (指定管理者記入)

	事業計画	実 績		計画との比率 (%)	前年度との比較 (%)
	評価対象年度 (令和6年度)	前年度 (令和5年度)	評価対象年度 (令和6年度)		
開 館 日 数	306日	309日	306日	100.0%	99.0%
利用者数(延べ人数)	3,400人	3,500人	2,881人	84.7%	82.3%
利 用 料 金 収 入	168,000円	159,150円	140,006円	83.3%	88.0%
主 な 増 減 要 因 (前 年 比)	前年度に比べ、利用者数は619名の減となり、利用料も19,144円減収となった。				

5 自主事業等の実績（指定管理者記入）

年月日	事業名	事業内容	対象者	参加者数
なし				

6 施設の管理運営における課題（指定管理者、施設所管課記入）

指定管理者（指定管理者記入）	市（施設所管課記入）
施設の経年（老朽化）から、修繕箇所が多くなってきている。経費節減に努めながら、必要な修繕を行っていききたい。大規模修繕と伴う場合は、市と協議をし、修繕を行っていききたい。	建築から40年以上経過し、施設内外において老朽化が目立っております。令和6年度は、暖房機器修繕工事を実施しています。施設管理における修繕については、指定管理者基本協定書に基づき、協議しながら計画的に行いたいと考えております。令和7年度については、保健体育室にエアコンの設置を予定しています。

7 施設利用者からの主な意見等とその対応状況（指定管理者記入）

施設利用者からの主な意見等	対応状況等
体育館の防排煙窓が開くようになり、適切に喚起ができるようになった。	今年度修繕していただきました。不具合がある際は、市に報告いたします。
トイレの壁付暖房の調子が悪い。	今年度修繕していただきました。不具合がある際は、市に報告いたします。
創作室の照明をLEDに交換して欲しい。	栗原市と相談して対応していききたいと思います。
創作室の冷房がほしい。	栗原市と相談して対応していききたいと思います。

8 総合的な評価（指定管理者、施設所管課記入）

評価項目	指定管理者の自己評価		市の評価		改善 勧告
	評価	コメント	評価	コメント	
(1) 基本的な方針に基づく管理・運営体制	A	法令等遵守し市と締結している協定に基づき、適切に管理・運営している。	A	サービス向上を常に意識し、改善を行っている。	
① 施設の管理運営に必要な人員及び有資格者等を計画どおり適切に配置しているか。	A	防火管理者等を適切に配置している。	A	適正であると認めます。	
② 指定管理業務に必要な知識及びサービスの向上のため、研修等人材育成に努めているか。	A	外部研修等に参加し、人材育成に努めている。	A	適正であると認めます。	
③ 通常の安全管理や緊急時の対応について、職員が適切に行える環境を整備しているか。	A	消防訓練や緊急時の職員初動マニュアルを整備し、対応を行っている。	A	マニュアルを整備し、災害対応の準備ができています。	
④ 各業務日誌等の管理記録を適切に整備・保管しているか。	A		A	適正であると認めます。	
⑤ 個人情報の取り扱い及び保護の対策について適切に行われているか。	A	当法人の個人情報保護規定に基づき、守秘義務及び管理を徹底している。	A	法人の規定に基づき対応している。	
⑥ 法令等を遵守し、市と締結している協定に基づいた管理・運営を遂行しているか。	A		A	適正であると認めます。	
(2) 施設管理の状況	A	適切に施設管理を行い、必要な保守・点検等を行っている。	A	特に問題もなく、適正に管理運営がされています。	
① 市の承認した内容に基づき、施設の開館及び利用時間、利用料金設定を遵守しているか。	A	施設の開館及び利用時間、利用料金設定を遵守している。	A	適正であると認めます。	
② 施設内、設備等の清掃及び保守点検等を適切に行い、良好な施設環境を維持しているか。	A	良好な施設環境整備に努めている。	A	適正であると認めます。	
③ 協定に基づき施設設備や備品等の適切な修繕対応を行っているか。	A		A	適正であると認めます。	
④ 設備維持と事故等防止のため、必要な専門的点検を実施し安全確認を行っているか。	A		A	適正であると認めます。	
(3) 利用者へのサービス提供と満足度	B	利用者に対し適切・迅速な対応ができるように取り組んでいきたい。	A	利用者ニーズを捉えられる取り組みを期待します。	
① 利用者の利便性を意識した迅速な利用許可手続きや施設情報の提供を行っているか。	A	申請手続きの時間短縮のため、金額計算表等作成し対応している。	A	適正であると認めます。	
② 利用者アンケート等により利用者の意見を把握し反映する取り組みを行ったか。	B	アンケートを実施し、利用者の意見を反映していきたい。	B	アンケートの実施を行い、利用者の意見を把握するようお願いします。	
③ 要望及び苦情等に対する対応が十分になされたか。	A		A	適正であると認めます。	
④ 施設の目的を活かし利用者の充実のため新たな取り組みを実施したか。	-		-		
⑤ モニタリング・アンケートの結果、利用者の満足が得られていたか。	B		B	ユーザーの評価をチェックし、サービス提供の参考に役立てられるようお願いします。	
⑥ 利用者に対し職員の対応、身なり等は適切であるか。	A	普段から清潔感のある身なりを心がけている。	A	適正であると認めます。	
(4) 運営の状況（収支の実績等）	A	適正な経理を行い、運営している。	A	特に問題もなく、適正に管理運営がされています。	
① 収支計画及び事業計画と比較し実績の状況は妥当であるか。	A		B	利用者数以外は、適正であると認めます。	
② 積極的に収入の創出（増）に努め、又収入の増加に繋がる具体的な取り組みがあったか。	A	利用者が利用しやすい環境整備に努め、利用を増やしたい。	A	適正であると認めます。	
③ 積極的に経費縮減に努め、又具体的に経費の縮減が図られた実績が見られるか。	A		A	適正であると認めます。	
④ 指定管理業務における専用口座及び諸帳簿等を備え適正な経理が行われているか。	A		A	適正であると認めます。	

総合評価	指定管理者の自己評価（指定管理者記入）		市の評価（施設所管課記入）	
	＜指定管理者の所見＞		＜施設所管課の所見＞	
	法令等を遵守し、市と締結している協定に基づき、保守・点検を行っている。また、防火管理者等の配置も行い、適切に管理・運営を行っている。		適正に管理され、収支は保たれておりますが、利用者アンケートが未実施となっているので、利用者の意見を集約し、ニーズに応えられる取り組みに期待します。また、利用者数が前年度比17%減となった状況を整理し、利用者の確保に向けた取り組みをお願いします。	

別紙様式6

指定管理者制度導入施設の管理運営に関する評価票(評価対象年度:令和6年度)

施設 の 名 称	栗原市栗駒老人憩いの家
施設 所 管 部 署 名	市民生活部 社会福祉課

1 評価対象施設の概要 (施設所管課記入)

施 設 名 称	栗原市栗駒老人憩いの家		
施 設 所 在 地	栗原市栗駒岩ヶ崎上小路136番地		
設 置 年 月	昭和52年4月	設置根拠条例	栗原市老人福祉施設条例
設 置 目 的	市に住所を有する60歳以上の老人に対し、教育の向上、レクリエーション等の場を提供し、老人の心身の健康増進を図る。		
施 設 概 要	面 積	延床面積236.70㎡、 敷地面積1,707.93㎡	
	構 造	木造 平屋建	
	施設内容	集会室、小会議室、研修室 外	
休 館 日	月曜日、12月29日～1月3日 ※ 条例から変更の有無 ☐ 有 ☒ 無		
開 館 時 間	午前8時30分 ～ 午後5時00分 ※ 条例から変更の有無 ☐ 有 ☒ 無		
施 設 利 用 料 金	利用料金制	☐ 採用 ☐ 採用無 ☒ 指定管理料と併用 ☐ 指定管理料のみ	
	設定金額	集会室 1時間につき100円、研修室 1時間につき100円 小会議室 1時間につき100円 ※ 条例から変更の有無 ☐ 有 ☒ 無	

2 指定管理者等の概要 (施設所管課記入)

指 定 管 理 者	事業者等名称	社会福祉法人 栗原市社会福祉協議会		
	事務所所在地	栗原市築館薬師三丁目6番2号		
指 定 の 期 間	令和6年4月1日～令和11年3月31日（5年間）			
指定にかかる選定方法	☐ 公募	☒ 非公募	指定管理料	6,100,000円（5年間）

3 施設管理の経過 (施設所管課記入)

期 間	管理形態	施設管理を行った団体等	摘要
平成18年9月 ～ 令和11年3月	指定管理	社会福祉法人 栗原市社会福祉協議会	R6.4更新
年 月 ～ 年 月			
年 月 ～ 年 月			

4 施設の利用実績 (指定管理者記入)

	事業計画	実 績		計画との比率 (%)	前年度との比較 (%)
	評価対象年度 (令和6年度)	前年度 (令和5年度)	評価対象年度 (令和6年度)		
開 館 日 数	306日	309日	306日	100.0%	99.0%
利用者数(延べ人数)	1,650人	1,995人	2,068人	125.3%	103.7%
利 用 料 金 収 入	34,000円	39,072円	43,285円	127.3%	110.8%
主 な 増 減 要 因 (前 年 比)	前年度に比べ、利用者数が73名増加したことにより、利用料も4,213円の増収となった。				

5 自主事業等の実績（指定管理者記入）

年月日	事業名	事業内容	対象者	参加者数
なし				

6 施設の管理運営における課題（指定管理者、施設所管課記入）

指定管理者（指定管理者記入）	市（施設所管課記入）
施設の経年（老朽化）から、修繕箇所が多くなってきている。経費節減に努めながら、必要な修繕を行っていききたい。大規模修繕と伴う場合は、市と協議をし、修繕を行っていき	建築から40年以上経過し、施設内外において老朽化が目立っております。令和6年度は、空気調和設備改修工事を実施しています。施設管理における修繕については、指定管理者基本協定書に基づき、協議しながら計画的に行いたいと考えております。令和7年度についても予算の範囲内で対応してまいります。

7 施設利用者からの主な意見等とその対応状況（指定管理者記入）

施設利用者からの主な意見等	対応状況等
トイレのウォシュレット直り、快適に利用している。	今年度修繕していただきました。不具合がある際は、市に報告いたします。

8 総合的な評価（指定管理者、施設所管課記入）

評価項目	指定管理者の自己評価		市の評価		改善 勧告
	評価	コメント	評価	コメント	
(1) 基本的な方針に基づく管理・運営体制	A	法令等遵守し、市と締結している協定に基づき、適切に管理・運営している。	A	サービス向上を常に意識し、改善を行っている。	
① 施設の管理運営に必要な人員及び有資格者等を計画どおり適切に配置しているか。	A	防火管理者等を適切に配置している。	A	適正であると認めます。	
② 指定管理業務に必要な知識及びサービスの向上のため、研修等人材育成に努めているか。	A	外部研修等に参加し、人材育成に努めている。	A	適正であると認めます。	
③ 通常の安全管理や緊急時の対応について、職員が適切に行える環境を整備しているか。	A	消防訓練や緊急時の職員初動マニュアルを整備し、対応を行っている。	A	マニュアルを整備し、災害対応の準備ができています。	
④ 各業務日誌等の管理記録を適切に整備・保管しているか。	A		A	適正であると認めます。	
⑤ 個人情報の取り扱い及び保護の対策について適切に行われているか。	A	当法人の個人情報保護規定に基づき、守秘義務及び管理を徹底している。	A	法人の規定に基づき対応している。	
⑥ 法令等を遵守し、市と締結している協定に基づいた管理・運営を遂行しているか。	A		A	適正であると認めます。	
(2) 施設管理の状況	A	適切に施設管理を行い、必要な保守・点検等を行っている。	A	特に問題もなく、適正に管理運営がされています。	
① 市の承認した内容に基づき、施設の開館及び利用時間、利用料金設定を遵守しているか。	A	施設の開館及び利用時間、利用料金設定を遵守している。	A	適正であると認めます。	
② 施設内、設備等の清掃及び保守点検等を適切に行い、良好な施設環境を維持しているか。	A	良好な施設環境整備に努めている。	A	適正であると認めます。	
③ 協定に基づき施設設備や備品等の適切な修繕対応を行っているか。	A		A	適正であると認めます。	
④ 設備維持と事故等防止のため、必要な専門的点検を実施し安全確認を行っているか。	A		A	適正であると認めます。	
(3) 利用者へのサービス提供と満足度	B	利用者に対し適切・迅速な対応ができるように取り組んでいきたい。	A	利用者ニーズを捉えられる取り組みを期待します。	
① 利用者の利便性を意識した迅速な利用許可手続きや施設情報の提供を行っているか。	A	申請手続きの時間短縮のため、金額計算表等作成し対応している。	A	適正であると認めます。	
② 利用者アンケート等により利用者の意見を把握し反映する取り組みを行ったか。	B	アンケートを実施し、利用者の意見を反映していきたい。	B	アンケートの実施を行い、利用者の意見を把握するようお願いします。	
③ 要望及び苦情等に対する対応が十分になされたか。	A		A	適正であると認めます。	
④ 施設の目的を活かし利用者の充実のため新たな取り組みを実施したか。	-		-		
⑤ モニタリング・アンケートの結果、利用者の満足が得られていたか。	B		B	ユーザーの評価をチェックし、サービス提供の参考に役立てられるようお願いします。	
⑥ 利用者に対し職員の応対、身なり等は適切であるか。	A	普段から清潔感のある身なりを心がけている。	A	適正であると認めます。	
(4) 運営の状況（収支の実績等）	A	適正な経理を行い、運営している。	A	特に問題もなく、適正に管理運営がされています。	
① 収支計画及び事業計画と比較し実績の状況は妥当であるか。	A		A	適正であると認めます。	
② 積極的に収入の創出（増）に努め、又収入の増加に繋がる具体的な取り組みがあったか。	A	利用者が利用しやすい環境整備に努め、利用を増やしたい。	A	適正であると認めます。	
③ 積極的に経費縮減に努め、又具体的に経費の縮減が図られた実績が見られるか。	A		A	適正であると認めます。	
④ 指定管理業務における専用口座及び諸帳簿等を備え適正な経理が行われているか。	A		A	適正であると認めます。	

総合 評価	指定管理者の自己評価（指定管理者記入）	評価	市の評価（施設所管課記入）	評価
	＜指定管理者の所見＞ 法令等を遵守し、市と締結している協定に基づき、保守・点検を行っている。また、防火管理者等の配置も行い、適切に管理・運営を行っている。	A	＜施設所管課の所見＞ 適正に管理され、収支は保たれておりますが、利用者アンケートが未実施となっているので、利用者の意見を集約し、ニーズに応えられる取り組みに期待します。	A

別紙様式6

指定管理者制度導入施設の管理運営に関する評価票(評価対象年度:令和6年度)

施 設 の 名 称	栗原市志波姫老人憩いの家
施 設 所 管 部 署 名	市民生活部 社会福祉課

1 評価対象施設の概要 (施設所管課記入)

施 設 名 称	栗原市志波姫老人憩いの家		
施 設 所 在 地	栗原市志波姫沼崎原83番地1		
設 置 年 月	昭和54年3月	設置根拠条例	栗原市老人福祉施設条例
設 置 目 的	市に住所を有する60歳以上の老人に対し、教育の向上、レクリエーション等の場を提供し、老人の心身の健康増進を図る。		
施 設 概 要	面 積	延床面積263. 67㎡、 敷地面積1, 684. 80㎡	
	構 造	木造 平屋建	
	施設内容	集会室、娯楽室 外	
休 館 日	土曜日、日曜日、祝日、12月29日～1月3日 ※ 条例から変更の有無 ☐ 有 ☒ 無		
開 館 時 間	午前9時00分 ～ 午後5時00分 ※ 条例から変更の有無 ☐ 有 ☒ 無		
施 設 利 用 料 金	利用料金制	☐ 採用 ☐ 採用無 ☒ 指定管理料と併用 ☐ 指定管理料のみ	
	設定金額	集会室 1時間につき100円、娯楽室 1時間につき100円 ※ 条例から変更の有無 ☐ 有 ☒ 無	

2 指定管理者等の概要 (施設所管課記入)

指 定 管 理 者	事業者等名称	社会福祉法人 栗原市社会福祉協議会		
	事務所所在地	栗原市築館薬師三丁目6番2号		
指 定 の 期 間	令和6年4月1日～令和11年3月31日（5年間）			
指定にかかる選定方法	☐ 公募	☒ 非公募	指定管理料	1,700,000円（5年間）

3 施設管理の経過 (施設所管課記入)

期 間	管理形態	施設管理を行った団体等	摘要
平成18年9月 ～ 令和11年3月	指定管理	社会福祉法人 栗原市社会福祉協議会	R6.4更新
年 月 ～ 年 月			
年 月 ～ 年 月			

4 施設の利用実績 (指定管理者記入)

	事業計画	実 績		計画との比率 (%)	前年度との比較 (%)
	評価対象年度 (令和6年度)	前年度 (令和5年度)	評価対象年度 (令和6年度)		
開 館 日 数	243日	244日	243日	100.0%	99.6%
利用者数(延べ人数)	1,550人	1,223人	1,035人	66.8%	84.6%
利 用 料 金 収 入	15,000円	20,735円	16,500円	110.0%	79.6%
主 な 増 減 要 因 (前 年 比)	前年度に比べ、利用者数は188名の減となり、利用料も4,235円減収となった。				

5 自主事業等の実績（指定管理者記入）

年月日	事業名	事業内容	対象者	参加者数
なし				

6 施設の管理運営における課題（指定管理者、施設所管課記入）

指定管理者（指定管理者記入）	市（施設所管課記入）
施設の経年（老朽化）から、修繕箇所が多くなってきている。経費節減に努めながら、必要な修繕を行っていききたい。大規模修繕と伴う場合は、市と協議をし、修繕を行っていききたい。	建築から40年以上経過し、施設内外において老朽化が目立っております。令和6年度は、床修繕工事等を実施しています。施設管理における修繕については、指定管理者基本協定書に基づき、協議しながら計画的に行いたいと考えております。令和7年度についても予算の範囲内で対応してまいります。

7 施設利用者からの主な意見等とその対応状況（指定管理者記入）

施設利用者からの主な意見等	対応状況等
廊下の床を直してもらい、安全に歩けて嬉しい。	今年度修繕していただきました。不具合がある際は、市に報告いたします。
多目的室の畳が老朽化しているので替えてほしい。	令和7年度修繕予定。
照明器具をLEDにして欲しい	栗原市と相談して対応したいと思います。
駐車スペースの枠線を分かりやすくして欲しい	社協で対応したいと思います。
敷地内にある桜の木が電線に架かっていて危険なため、木を伐採してほしい。	栗原市と相談して対応したいと思います。
多目的室、相談室、和室のエアコンを交換をしていただき、快適に過ごしている。	今年度新しいエアコンに取替をしていただきました。不具合がある際は、市に報告いたします。

8 総合的な評価（指定管理者、施設所管課記入）

評価項目	指定管理者の自己評価		市の評価		改善 勧告
	評価	コメント	評価	コメント	
(1) 基本的な方針に基づく管理・運営体制	A	法令等遵守し、市と締結している協定に基づき、適切に管理・運営している。	A	サービス向上を常に意識し、改善を行っている。	
① 施設の管理運営に必要な人員及び有資格者等を計画どおり適切に配置しているか。	A	防火管理者等を適切に配置している。	A	適正であると認めます。	
② 指定管理業務に必要な知識及びサービスの向上のため、研修等人材育成に努めているか。	A	外部研修等に参加し、人材育成に努めている。	A	適正であると認めます。	
③ 通常の安全管理や緊急時の対応について、職員が適切に行える環境を整備しているか。	A	消防訓練や緊急時の職員初動マニュアルを整備し、対応を行っている。	A	マニュアルを整備し、災害対応の準備ができています。	
④ 各業務日誌等の管理記録を適切に整備・保管しているか。	A		A	適正であると認めます。	
⑤ 個人情報の取り扱い及び保護の対策について適切に行われているか。	A	当法人の個人情報保護規定に基づき守秘義務及び管理を徹底している。	A	法人の規定に基づき対応している。	
⑥ 法令等を遵守し、市と締結している協定に基づいた管理・運営を遂行しているか。	A		A	適正であると認めます。	
(2) 施設管理の状況	A	適切に施設管理を行い、必要な保守・点検等を行っている。	A	特に問題もなく、適正に管理運営がされています。	
① 市の承認した内容に基づき、施設の開館及び利用時間、利用料金設定を遵守しているか。	A	施設の開館及び利用時間、利用料金設定を遵守している。	A	適正であると認めます。	
② 施設内、設備等の清掃及び保守点検等を適切に行い、良好な施設環境を維持しているか。	A	良好な施設環境整備に努めている。	A	適正であると認めます。	
③ 協定に基づき施設設備や備品等の適切な修繕対応を行っているか。	A	必要な修繕を行い、10万円以上となる修繕は市と協議し行っている。	A	適正であると認めます。	
④ 設備維持と事故等防止のため、必要な専門的点検を実施し安全確認を行っているか。	A	必要な保守・点検業務を実施し、施設の維持管理に努めている。	A	適正であると認めます。	
(3) 利用者へのサービス提供と満足度	B	利用者に対し、適切・迅速な対応ができるように取り組んでいきたい。	A	利用者ニーズを捉えられる取り組みを期待します。	
① 利用者の利便性を意識した迅速な利用許可手続きや施設情報の提供を行っているか。	A		A	適正であると認めます。	
② 利用者アンケート等により利用者の意見を把握し反映する取り組みを行ったか。	B	アンケートを実施し、利用者の意見を反映していきたい。	B	アンケートの実施を行い、利用者の意見を把握するようお願いします。	
③ 要望及び苦情等に対する対応が十分になされたか。	A		A	適正であると認めます。	
④ 施設の目的を活かし利用者の充実のため新たな取り組みを実施したか。	-		-		
⑤ モニタリング・アンケートの結果、利用者の満足が得られていたか。	B		B	ユーザーの評価をチェックし、サービス提供の参考に役立てられるようお願いします。	
⑥ 利用者に対し職員の応対、身なり等は適切であるか。	A		A	適正であると認めます。	
(4) 運営の状況（収支の実績等）	A	適正な経理を行い、運営している。	A	特に問題もなく、適正に管理運営がされています。	
① 収支計画及び事業計画と比較し実績の状況は妥当であるか。	A		B	利用者数以外は、適正であると認めます。	
② 積極的に収入の創出（増）に努め、又収入の増加に繋がる具体的な取り組みがあったか。	B	利用者が利用しやすい環境整備に努め、利用者を増やしたい。	A	適正であると認めます。	
③ 積極的に経費縮減に努め、又具体的に経費の縮減が図られた実績が見られるか。	A		A	適正であると認めます。	
④ 指定管理業務における専用口座及び諸帳簿等を備え適正な経理が行われているか。	A		A	適正であると認めます。	

総合評価	指定管理者の自己評価（指定管理者記入）		市の評価（施設所管課記入）	
	＜指定管理者の所見＞		＜施設所管課の所見＞	
	法令等を遵守し、市と締結している協定に基づき、保守・点検を行っている。また、防火管理者等の配置も行い、適切に管理・運営を行っている。		適正に管理され、収支は保たれておりますが、利用者アンケートが未実施となっているので、利用者の意見を集約し、ニーズに応えられる取り組みに期待します。また、利用者数が前年度比15%減となった状況を整理し、利用者の確保に向けた取り組みをお願いします。	
	A		A	

別紙様式6

指定管理者制度導入施設の管理運営に関する評価票(評価対象年度:令和6年度)

施 設 の 名 称	栗原市高清水デイサービスセンター
施 設 所 管 部 署 名	市民生活部 社会福祉課

1 評価対象施設の概要 (施設所管課記入)

施 設 名 称	栗原市高清水デイサービスセンター		
施 設 所 在 地	栗原市高清水東館34番地		
設 置 年 月	平成7年3月	設置根拠条例	栗原市デイサービスセンター条例
設 置 目 的	在宅の虚弱老人等に対し、通所による介護サービスを提供することによって、これらの者の生活の助長、社会的孤立感の解消及び心身機能の維持向上等を図るとともに、その家族の精神的な負担軽減を図ることを目的として設置した施設である。		
施 設 概 要	面 積	延床面積2, 505. 76㎡、 敷地面積3, 460. 00㎡	
	構 造	鉄筋コンクリート造2階建	
	施設内容	(施設内の設置室内容) 食堂、日常生活訓練室、養護室、浴室、事務室等	
休 館 日	日曜日、12月31日～1月3日 ※ 条例から変更の有無 ☒ 有 ☐ 無		
開 館 時 間	午前8時30分 ～ 午後5時30分 ※ 条例から変更の有無 ☒ 有 ☐ 無		
施 設 利 用 料 金	利用料金制	☒ 採用 ☐ 採用無 ☐ 指定管理料と併用 ☐ 指定管理料のみ	
	設定金額	使用料、観覧料等の設定ごとに記載 条例のとおり ※ 条例から変更の有無 ☐ 有 ☒ 無	

2 指定管理者等の概要 (施設所管課記入)

指 定 管 理 者	事業者等名称	社会福祉法人 栗原市社会福祉協議会		
	事務所所在地	栗原市築館薬師三丁目6番2号		
指 定 の 期 間	令和4年4月1日～令和7年3月31日(3年間)			
指定にかかる選定方法	☐ 公募	☒ 非公募	指定管理料	なし（3年間）

3 施設管理の経過 (施設所管課記入)

期 間	管理形態	施設管理を行った団体等	摘要
平成18年9月 ～ 令和7年3月	指定管理	社会福祉法人 栗原市社会福祉協議会	R4.4更新
年 月 ～ 年 月			
年 月 ～ 年 月			

4 施設の利用実績 (指定管理者記入)

	事業計画	実 績		計画との比率 (%)	前年度との比較 (%)
	評価対象年度 (令和6年度)	前年度 (令和5年度)	評価対象年度 (令和6年度)		
開 館 日 数	309日	310日	308日	99.7%	99.4%
利用者数(延べ人数)	5,075人	5,684人	4,857人	95.7%	85.5%
利 用 料 金 収 入	0円	0円	0円	—	—
主 な 増 減 要 因 (前 年 比)	利用者定員を令和3年度より25名通常規模に変更となったが、感染症の影響や終了者も多くあり、予定した事業計画より利用人数が減少した。				

5 自主事業等の実績（指定管理者記入）

年月日	事業名	事業内容	対象者	参加者数
令和6年6月26日(水)	地域住民参加型交流会	デイ事業説明、健康体操、相談ブース	地域住民	36人
令和6年12月5日(木)	地域住民参加型交流会	デイ事業説明、健康体操、ものづくり体験、相談ブース	地域住民	24人

6 施設の管理運営における課題（指定管理者、施設所管課記入）

指定管理者（指定管理者記入）	市（施設所管課記入）
施設の老朽化が進んできており、劣化が著しい。施設管理における修繕については、脱衣所床と照明設備・暖房設備改修と特殊浴槽の電源基盤を交換していただいたが、シャワーの温度調節部分の不具合により、一定温度の供給ができない状態が継続している。一般浴槽の部品交換については栗原市に報告と修繕予定の回答をいただいております。職員玄関の風よけが劣化により倒れた。天候により利用者出入りもあるため仕切り設置の検討をいただきたい。	建築から30年以上経過し、施設内外において老朽化が目立ち始めています。令和6年度は脱衣所床と照明設備のLED化の工事をしてありますが、施設管理における修繕については、指定管理者基本協定書に基づき、協議のうえで判断させていただきます。

7 施設利用者からの主な意見等とその対応状況（指定管理者記入）

施設利用者からの主な意見等	対応状況等
連絡帳の内容について、様子等がきちんと記入されているので助かっている。	これからもデイサービスでの利用状況や訓練内容など、わかりやすい記入を心がけてまいります。
こちらに伺ってかなり歩けるようになりました。	無理なく身体を動かすことで、日々の生活動作が続けられるように支援していきます。
年を取ると世間のお茶のみは迷惑をかけるので、デイサービスに出かけることで友達ができました。	その人らしく安心と楽しみが持てるように、活動においても工夫してまいります。

8 総合的な評価（指定管理者、施設所管課記入）

評価項目	指定管理者の自己評価		市の評価		改善 勧告
	評価	コメント	評価	コメント	
(1) 基本的な方針に基づく管理・運営体制	A	協定に基づき、適切に管理・運営をしている。研修により、職員の資質向上に努めている。	A	必要な規則等を整備し、職員の資質向上に努めている。	
① 施設の管理運営に必要な人員及び有資格者等を計画どおり適切に配置しているか。	A	設置基準に基づき、職員配置を行っている。	A	適正であると認めます。	
② 指定管理業務に必要な知識及びサービスの向上のため、研修等人材育成に努めているか。	A	所内研修会・サービス向上検討会等を計画的に企画し実施、外部研修会へ職員を参加させ、資質並びにサービスの向上を図っている。	A	常に、サービス意識の向上に努め、資質向上を図っている。	
③ 通常の安全管理や緊急時の対応について、職員が適切に行える環境を整備しているか。	A	非常災害時対応マニュアル等を整備し、非常時の訓練等を消防署立会いにより実施している。	A	災害時の対応訓練ができています。	
④ 各業務日誌等の管理記録を適切に整備・保管しているか。	A	法令・県条例等に基づき整備・保管をしている。	A	適正であると認めます。	
⑤ 個人情報の取り扱い及び保護の対策について適切に行われているか。	A	当法人の個人情報保護規程に基づき、守秘義務を遵守し、保管管理を徹底している。	A	適正であると認めます。	
⑥ 法令等を遵守し、市と締結している協定に基づいた管理・運営を遂行しているか。	A	協定に基づき、管理運営を遂行している。	A	適正であると認めます。	
(2) 施設管理の状況	A	保守・点検を適切に実施している。	A	適切な管理運営に努めている。	
① 市の承認した内容に基づき、施設の開館及び利用時間、利用料金設定を遵守しているか。	A	介護保険法、関係法令等を遵守し、介護サービスの提供及び介護報酬に応じた利用料金を設定。	A	適正であると認めます。	
② 施設内、設備等の清掃及び保守点検等を適切に行い、良好な施設環境を維持しているか。	A	日々の業務後に清掃を行ない、定期的に点検を行っている。	A	適正であると認めます。	
③ 協定に基づき施設設備や備品等の適切な修繕対応を行っているか。	A	協定に基づき対応している。	A	適正であると認めます。	
④ 設備維持と事故等防止のため、必要な専門的点検を実施し安全確認を行っているか。	B	職員で小まめに確認し、不具合が生じる前に専門業者へ点検依頼している。	A	適正であると認めます。	
(3) 利用者へのサービス提供と満足度	A	「介護サービスに関するアンケート」を実施し、要望・指摘事項について改善を図った。	A	特に問題なく運営されている。	
① 利用者の利便性を意識した迅速な利用許可手続きや施設情報の提供を行っているか。	A	地域包括支援センターやケアマネジャーへ情報提供を行い、利用者の選択に基づき、契約を行い、迅速に利用できる対応を行った。	A	施設情報の共有を図り、手続きの迅速化に努めている。	
② 利用者アンケート等により利用者の意見を把握し反映する取り組みを行ったか。	A	「介護サービスに関するアンケート」を8月～9月にかけて実施。要望や指摘事項について、改善・対応を検討し、検討内容を家書に回答。	A	適正であると認めます。	
③ 要望及び苦情等に対する対応が十分になされたか。	A	利用者・家族様との対話やアンケート等で頂いた要望に出来る限り対応した。	A	適正であると認めます。	
④ 施設の目的を活かし利用者の充実のため新たな取り組みを実施したか。	A	月1回デイよりも発行、社協支部委員等へ配布。また、出前講座等により施設の目的などの説明を行っている。	A	適正であると認めます。	
⑤ モニタリング・アンケートの結果、利用者の満足が得られていたか。	A	アンケート結果、事業についての満足度は「とても満足71%」、「まあまあ満足29%」計100%満足の回答をいただいた。	A	適正であると認めます。	
⑥ 利用者に対し職員の対応、身なり等は適切であるか。	A	アンケート結果から言葉遣いや身だしなみについて、満足度は71%と昨年より改善されている。	A	適正であると認めます。	
(4) 運営の状況（収支の実績等）	B	新規確保に努めたが、終了者が上回り、収支差額も41.9%の減となった。	B	収支の改善に期待します。	
① 収支計画及び事業計画と比較し実績の状況は妥当であるか。	B	利用者の終了（死去や長期入所）が相次ぎ、延べ利用人数が減少。	B	収支及び利用者数等とも、計画通りの運営となるようお願いします。	
② 積極的に収入の創出（増）に努め、又収入の増加に繋がる具体的な取り組みがあったか。	B	地域参加型交流会、出前講座や月1回のデイだよりの発行を継続し、PRに努めている。	B	地域参加型交流会、出前講座などの地道な取り組みに期待します。	
③ 積極的に経費縮減に努め、又具体的に経費の縮減が図られた実績が見られるか。	A	一日あたりの職員配置数を最小限とし、効率よく運営を行い人件費支出を抑えた。	A	収益が減少しているため、今後も経費の縮減につながる取り組みに期待します。	
④ 指定管理業務における専用口座及び諸帳簿等を備え適正な経理が行われているか。	A	総務課にて適正に行っている。	A	適正であると認めます。	

総合評価	指定管理者の自己評価（指定管理者記入）	評価	市の評価（施設所管課記入）	評価
	<指定管理者の所見>	B	<施設所管課の所見>	A
	利用者数は、事業計画と比較して登録者人数が8件減少したことと、複数回利用の終了者が多かった。延べ人数が対前年度比で14.5%減（収入額12.3%減）。しかし、人件費高騰により人件費は対前年度比で3.8%減にしかならず、収支実績が大幅減となった。前年度は冬場の施設内が寒く、ブルーヒーターを併用していたが、暖房設備改修により、燃料費の削減につながった。今後も支出削減を継続しつつ、収入増に繋がる取り組みを実施していく。 6月、12月と地域住民参加型交流会を開催し60名の参加があった。		適切な管理運営がされています。利用者の減により収支の実績値が計画値を下回ったため、今後も新たな利用者の確保に向けた取り組みに期待します。	

別紙様式6

指定管理者制度導入施設の管理運営に関する評価票(評価対象年度:令和6年度)

施 設 の 名 称	栗原市金成デイサービスセンター
施 設 所 管 部 署 名	市民生活部 社会福祉課

1 評価対象施設の概要 (施設所管課記入)

施 設 名 称	栗原市金成デイサービスセンター		
施 設 所 在 地	栗原市金成沢辺町沖200番地		
設 置 年 月	平成10年6月	設置根拠条例	栗原市デイサービスセンター条例
設 置 目 的	在宅の虚弱老人等に対し、通所による介護サービスを提供することによって、これらの者の生活の助長、社会的孤立感の解消及び心身機能の維持向上等を図るとともに、その家族の精神的な負担軽減を図ることを目的として設置した施設である。		
施 設 概 要	面 積	延床面積1, 989. 70㎡、 敷地面積12, 589. 22㎡	
	構 造	鉄筋コンクリート造3階建(うち1階部分の一部)	
	施設内容	(施設内の設置室内容) 食堂、日常訓練室、養護室、浴室、事務室等	
休 館 日	日曜日、12月31日～1月3日 ※ 条例から変更の有無 ☒ 有 ☐ 無		
開 館 時 間	午前8時30分 ～ 午後5時30分 ※ 条例から変更の有無 ☒ 有 ☐ 無		
施 設 利 用 料 金	利用料金制	☒ 採用 ☐ 採用無 ☐ 指定管理料と併用 ☐ 指定管理料のみ	
	設定金額	使用料、観覧料等の設定ごとに記載 条例のとおり ※ 条例から変更の有無 ☐ 有 ☒ 無	

2 指定管理者等の概要 (施設所管課記入)

指 定 管 理 者	事業者等名称	社会福祉法人 栗原市社会福祉協議会		
	事務所所在地	栗原市築館薬師三丁目6番2号		
指 定 の 期 間	令和4年4月1日～令和7年3月31日(3年間)			
指定にかかる選定方法	☐ 公募	☒ 非公募	指定管理料	なし（3年間）

3 施設管理の経過 (施設所管課記入)

期 間	管理形態	施設管理を行った団体等	摘要
平成18年 9月 ～ 令和7年 3月	指定管理	社会福祉法人 栗原市社会福祉協議会	R4.4更新
年 月 ～ 年 月			
年 月 ～ 年 月			

4 施設の利用実績 (指定管理者記入)

	事業計画	実 績		計画との比率 (%)	前年度との比較 (%)
	評価対象年度 (令和6年度)	前年度 (令和5年度)	評価対象年度 (令和6年度)		
開 館 日 数	309日	309日	308日	99.7%	99.7%
利用者数(延べ人数)	4,640人	4,880人	4,514人	97.3%	92.5%
利 用 料 金 収 入	0円	0円	0円	—	—
主 な 増 減 要 因 (前 年 比)	台風の影響もあり、計画時より1日休業している。1月以降、利用者(複数回利用)の長期入所や入院等で充足率が80%台(12月一日平均14.6名)から70%台(3月一日平均12.7名)と大幅な減少となってしまった。その後、新規契約に至らず、低迷が続いている。				

5 自主事業等の実績（指定管理者記入）

年月日	事業名	事業内容	対象者	参加者数
令和6年6月5日(水)	地域住民交流会	出前講座、軽体操、デイ見学、相談ブース	地域住民	73人
令和6年10月30日(水)	住民交流会	健康体操、レクリエーション交流会、口腔ケア・軽体操	地域住民	26人

6 施設の管理運営における課題（指定管理者、施設所管課記入）

指定管理者（指定管理者記入）	市（施設所管課記入）
令和6年度、全体的に老朽化が進んでいますが、特別浴槽・水回りは改修され、おおそ改善されてきてます。 夏に空調設備の故障があり、市から多くの協力を頂きました。 今年度は、早めのエアコン稼働状況を確認願います。 また、冬期は配管の一部が凍結したことにより脱衣室の漏水が見られた。そのため、空調が不調となり、ブルーヒーター等で対応を行った。重油代の高騰を含む光熱費の増加がみられるようになってきてます。	建築から25年以上経過し、施設内外において老朽化が目立ちはじめています。令和6年度は特殊浴槽修繕工事をしてありますが、施設管理における修繕については、指定管理者基本協定書に基づき、協議のうえで判断させていただきます。

7 施設利用者からの主な意見等とその対応状況（指定管理者記入）

施設利用者からの主な意見等	対応状況等
感染症対策を徹底している。	送迎時に検温、消毒、マスク着用の協力いただいています。引き続き必要に応じての対応行っておりまいます。
機能訓練(体操・リハビリ)について、体を動かす機会が無いから、家でやるよりやる気が出る。	様々な要素を取り入れ、全身を動かしていただける実用的な体操を行っております。利用者様のニーズに合わせられるよう改善していきたいと思ひます。
利用日以外に利用希望した際、すぐに対応していただきありがたい。	臨時利用や振替利用については、お気軽に相談いただき、柔軟に対応してまいります。
連絡帳の内容について、デイの様子や体調の様子が分かり安心です。	詳しく利用時の様子がわかるような記入を心がけております。手帳をご覧になるご家族様もいることから継続して利用状況をお伝えしていきます。
送迎について、家族の都合で対応してもらったり、状態に合わせて対応していただいている。	送迎時はご家族様とのコミュニケーションが図れる場なので、情報交換していきながら様子をお伝えしてまいります。遅れる際は事前に連絡いたします。
送迎について、時間の変動があります。	送迎について、各利用者様の準備状況や交通事情などで遅れる事があります。ご協力を頂きながら、無理の無い時間設定の呼びかけをし、遅くなる際は電話でお伝えいたします。
入浴について、家で出来ない分お風呂に入れてくれる。	利用者のその日の状態や体調によって入浴の判断をし、気持ちよく安心して行えるように支援していきます。
関わり方について、話を聴いてくれたり話かけてくれたりしてくれる。	利用者への声掛けや説明時の対応に気をつけております。利用者様の変化を見逃さぬよう、しっかりと状態確認をしていきたいと思ひます。

8 総合的な評価（指定管理者、施設所管課記入）

評価項目	指定管理者の自己評価		市の評価		改善 勧告
	評価	コメント	評価	コメント	
(1) 基本的な方針に基づく管理・運営体制	A	協定に基づき、適切に管理・運営をしている。研修により、職員の資質向上に努めている。	A	必要な規則等を整備し、職員の資質向上に努めている。	
① 施設の管理運営に必要な人員及び有資格者等を計画どおり適切に配置しているか。	A	設置基準に基づき、職員配置を行っている。	A	適正であると認めます。	
② 指定管理業務に必要な知識及びサービスの向上のため、研修等人材育成に努めているか。	A	所内研修会、サービス向上検討会を計画的に企画し実施、外部研修会へ職員を参加させ、資質並びにサービスの向上を図っている。	A	常に、サービス意識の向上に努め、資質向上を図っている。	
③ 通常の安全管理や緊急時の対応について、職員が適切に行える環境を整備しているか。	A	非常災害時対応マニュアル等を整備し、非常時の訓練等を消防署立合いにより実施している。	A	災害時の対応訓練ができています。	
④ 各業務日誌等の管理記録を適切に整備・保管しているか。	A	法令・県条例等に基づき整備・保管をしている。	A	適正であると認めます。	
⑤ 個人情報の取り扱い及び保護の対策について適切に行われているか。	A	当法人の個人情報保護規定に基づき、守秘義務を遵守し、保管管理を徹底している。	A	適正であると認めます。	
⑥ 法令等を遵守し、市と締結している協定に基づいた管理・運営を遂行しているか。	A	協定に基づき、適切に管理・運営をしている。研修により、職員の資質向上に努めている。	A	適正であると認めます。	
(2) 施設管理の状況	A	適切に保守・点検等を行っている。	A	適切な管理運営に努めている。	
① 市の承認した内容に基づき、施設の開館及び利用時間、利用料金設定を遵守しているか。	A	介護保険法、関係法令を遵守した介護サービスの提供及び介護報酬に応じた利用料金を設定。	A	適正であると認めます。	
② 施設内、設備等の清掃及び保守点検等を適切に行い、良好な施設環境を維持しているか。	A	日々の業務後に清掃を行い、定期的に点検を行っている。	A	適正であると認めます。	
③ 協定に基づき施設設備や備品等の適切な修繕対応を行っているか。	A	協定に基づき対応している。	A	適正であると認めます。	
④ 設備維持と事故等防止のため、必要な専門的点検を実施し安全確認を行っているか。	B	職員で確認し、不具合が生じる前に専門業者へ点検依頼している。空調関係に不具合が見られる。	A	適正であると認めます。	
(3) 利用者へのサービス提供と満足度	A	「介護サービスに関するアンケート」を実施し、要望・指摘事項について改善を図った。	A	特に問題なく運営されている。	
① 利用者の利便性を意識した迅速な利用許可手続きや施設情報の提供を行っているか。	A	各事業所との情報交換を円滑に行い利用者の選択に基づき、迅速に利用できる対応を行った。	A	施設情報の共有を図り、手続きの迅速化に努めている。	
② 利用者アンケート等により利用者の意見を把握し反映する取り組みを行ったか。	A	「介護サービスに関するアンケート」を8月～9月にかけて実施。要望や指摘事項について、改善・対応を検討し、検討内容を策案に回答。	A	適正であると認めます。	
③ 要望及び苦情等に対する対応が十分になされたか。	A	アンケート等で頂いた要望にできる限り対応した。	A	適正であると認めます。	
④ 施設の目的を活かし利用者の充実のため新たな取り組みを実施したか。	A	月1回デイだよりを発行。社協支部委員等へ配布。また、出前講座等により施設の目的などの説明を行っている。	A	適正であると認めます。	
⑤ モニタリング・アンケートの結果、利用者の満足が得られていたか。	A	アンケート結果、事業についての満足度はほぼ満足であった。	A	適正であると認めます。	
⑥ 利用者に対し職員の対応、身なり等は適切であるか。	A	アンケート結果から言葉遣いや身だしなみについて、ほぼ満足であった。	A	適正であると認めます。	
(4) 運営の状況（収支の実績等）	B	予算よりも収支実績を上回ることができたが、昨年度対比で6割減の収支実績となってしまった。	B	計画値は、昨年度から大きく上回り設定したため、達成できない項目があるが、計画値から大きく乖離していない。	
① 収支計画及び事業計画と比較し実績の状況は妥当であるか。	B	入所などによる充足率の低下が見られる。	B	収支及び利用者数等とも、計画通りの運営となるようお願いします。	
② 積極的に収入の創出（増）に努め、又収入の増加に繋がる具体的な取り組みがあったか。	B	毎月デイだよりの発行や臨時利用の声掛けを行った。	A	地道な取り組みに期待します。	
③ 積極的に経費削減に努め、又具体的に経費の削減が図られた実績が見られるか。	B	人件費や事業費（水道光熱費）の高騰により支出増となっている。	B	削減に繋がる取り組みに期待します。	
④ 指定管理業務における専用口座及び諸帳簿等を備え適正な経理が行われているか。	A	総務課にて適正に行っている。	A	適正であると認めます。	

総合評価	指定管理者の自己評価（指定管理者記入）		市の評価（施設所管課記入）	
	指定管理者の所見	評価	施設所管課の所見	評価
	4～12月までは一日あたり15.1名と充足率83.9%と高稼働であったが、1月以降は13.2名、充足率73.3%と低迷し、収入を維持することができなかった。事業費（主に光熱費）支出が増加となったが、今後はできる限り支出削減を継続し、適切な運営管理に努めていく。	B	適切な管理運営がされています。利用者の減により収支の実績値が計画値を下回ったため、今後も新たな利用者の確保、経費の削減に向けた取り組みに期待します。	A

別紙様式6

指定管理者制度導入施設の管理運営に関する評価票(評価対象年度:令和6年度)

施設の名 称	栗原市一迫高齢者生活福祉センター
施設所管部署名	市民生活部 社会福祉課

1 評価対象施設の概要(施設所管課記入)

施 設 名 称	栗原市一迫高齢者生活福祉センター		
施 設 所 在 地	栗原市一迫真坂字高橋20番地1		
設 置 年 月	平成4年3月	設置根拠条例	栗原市高齢者生活福祉センター条例
設 置 目 的	高齢者の心身の健康を保持し、ふれあいを深めるとともに、高齢者に通所及び居住等の方法により各種サービスを提供することによって高齢者福祉の増進を図る。		
施 設 概 要	面 積	延床面積779. 57㎡、 敷地面積9, 3110. 00㎡	
	構 造	鉄筋コンクリート造 平屋建	
	施設内容	通所介護部門:ホール、介護室、浴室 外 居住部門:ホール、居住部屋、浴室 外	
休 館 日	日曜日、12月31日～1月3日 ※ 条例から変更の有無 ☐ 有 ☒ 無		
開 館 時 間	午前8時30分 ～ 午後5時30分 ※ 条例から変更の有無 ☒ 有 ☐ 無		
施 設 利 用 料 金	利用料金制	☐ 採用 ☐ 採用無 ☒ 指定管理料と併用 ☐ 指定管理料のみ	
	設定金額	居住部門のみ利用料金あり。 (入居者の収入金額に応じた階層区分あり) ※ 条例から変更の有無 ☐ 有 ☒ 無	

2 指定管理者等の概要(施設所管課記入)

指 定 管 理 者	事業者等名称	社会福祉法人 栗原市社会福祉協議会		
	事務所所在地	栗原市築館薬師三丁目6番2号		
指 定 の 期 間	令和4年4月1日～令和7年3月31日（3年間）			
指定にかかる選定方法	☐ 公募	☒ 非公募	指定管理料	5,720,000円（3年間）

3 施設管理の経過(施設所管課記入)

期 間	管理形態	施設管理を行った団体等	摘要
平成18年9月～令和7年3月	指定管理	社会福祉法人 栗原市社会福祉協議会	R4.4更新
年 月～年 月			
年 月～年 月			

4 施設の利用実績(指定管理者記入)

	事業計画	実 績		計画との比率 (%)	前年度との比較 (%)
	評価対象年度 (令和6年度)	前年度 (令和5年度)	評価対象年度 (令和6年度)		
開 館 日 数	200日	309日	200日	100.0%	64.7%
利用者数(延べ人数)	350人	432人	207人	59.1%	47.9%
利 用 料 金 収 入	450,000円	92,080円	44,880円	10.0%	48.7%
主 な 増 減 要 因 (前 年 比)	7月8月9月と居住利用がなかったため、前年度に比べ、利用者数225名の減となり、利用料も47,200円減収となった。				

5 自主事業等の実績（指定管理者記入）

年月日	事業名	事業内容	対象者	参加者数
なし				

6 施設の管理運営における課題（指定管理者、施設所管課記入）

指定管理者（指定管理者記入）	市（施設所管課記入）
施設の経年（老朽化）から、修繕箇所が多くなってきている。経費節減に努めながら、必要な修繕を行っていききたい。大規模修繕と伴う場合は、市と協議をし、修繕を行っていききたい。	建築から30年以上経過し、施設内外において老朽化が目立っております。施設管理における修繕については、指定管理者基本協定書に基づき、協議しながら計画的に行いたいと考えております。令和7年度についても予算の範囲内で対応してまいります。

7 施設利用者からの主な意見等とその対応状況（指定管理者記入）

施設利用者からの主な意見等	対応状況等
おおむね修繕していただき、ありがたいとの声を寄せられた。	不具合がある際、市に対応していただいています。

8 総合的な評価（指定管理者、施設所管課記入）

評価項目	指定管理者の自己評価		市の評価		改善 勧告
	評価	コメント	評価	コメント	
(1) 基本的な方針に基づく管理・運営体制	A	法令等遵守し、市と締結している協定に基づき、適切に管理・運営している。	A	サービス向上を常に意識し、改善を行っている。	
① 施設の管理運営に必要な人員及び有資格者等を計画どおり適切に配置しているか。	A	防火管理者等を適切に配置している。	A	適正であると認めます。	
② 指定管理業務に必要な知識及びサービスの向上のため、研修等人材育成に努めているか。	A	外部研修等に参加し、人材育成に努めている。	A	適正であると認めます。	
③ 通常の安全管理や緊急時の対応について、職員が適切に行える環境を整備しているか。	A	消防訓練や緊急時の職員初動マニュアルを整備し、対応を行っている。	A	マニュアルを整備し、災害対応の準備ができています。	
④ 各業務日誌等の管理記録を適切に整備・保管しているか。	A		A	適正であると認めます。	
⑤ 個人情報の取り扱い及び保護の対策について適切に行われているか。	A	個人情報の個人情報保護規定に基づき、守秘義務及び管理を徹底している。	A	法人の規定に基づき対応している。	
⑥ 法令等を遵守し、市と締結している協定に基づいた管理・運営を遂行しているか。	A		A	適正であると認めます。	
(2) 施設管理の状況	A	適切に施設管理を行い、必要な保守・点検等を行っている。	A	特に問題もなく、適正に管理運営がされています。	
① 市の承認した内容に基づき、施設の開館及び利用時間、利用料金設定を遵守しているか。	A	施設の開館及び利用時間、利用料金設定を遵守している。	A	適正であると認めます。	
② 施設内、設備等の清掃及び保守点検等を適切に行い、良好な施設環境を維持しているか。	A	良好な施設環境整備に努めている。	A	適正であると認めます。	
③ 協定に基づき施設設備や備品等の適切な修繕対応を行っているか。	A		A	適正であると認めます。	
④ 設備維持と事故等防止のため、必要な専門的点検を実施し安全確認を行っているか。	A		A	適正であると認めます。	
(3) 利用者へのサービス提供と満足度	B	利用者に対し、適切・迅速な対応ができるように取り組んでいきたい。	A	利用者ニーズを捉えられる取り組みを期待します。	
① 利用者の利便性を意識した迅速な利用許可手続きや施設情報の提供を行っているか。	A		A	適正であると認めます。	
② 利用者アンケート等により利用者の意見を把握し反映する取り組みを行ったか。	B	アンケートを実施し、利用者の意見を反映していきたい。	B	アンケートの実施を行い、利用者の意見を把握するようお願いします。	
③ 要望及び苦情等に対する対応が十分になされたか。	A		A	適正であると認めます。	
④ 施設の目的を活かし利用者の充実のため新たな取り組みを実施したか。	-		-		
⑤ モニタリング・アンケートの結果、利用者の満足が得られていたか。	B		B	ユーザーの評価をチェックし、サービス提供の参考に役立てられるようお願いします。	
⑥ 利用者に対し職員の対応、身なり等は適切であるか。	A		A	適正であると認めます。	
(4) 運営の状況（収支の実績等）	A	適正な経理を行い、運営している。	A	特に問題もなく、適正に管理運営がされています。	
① 収支計画及び事業計画と比較し実績の状況は妥当であるか。	A		B	利用者数以外は、適正であると認めます。	
② 積極的に収入の創出（増）に努め、又収入の増加に繋がる具体的な取り組みがあったか。	A	利用者が利用しやすい環境整備に努め、利用を増やしたい。	A	適正であると認めます。	
③ 積極的に経費削減に努め、又具体的に経費の削減が図られた実績が見られるか。	A		A	適正であると認めます。	
④ 指定管理業務における専用口座及び諸帳簿等を備え適正な経理が行われているか。	A		A	適正であると認めます。	

総合評価	指定管理者の自己評価(指定管理者記入)		市の評価(施設所管課記入)	
	指定管理者の所見	評価	施設所管課の所見	評価
	法令等を遵守し、市と締結している協定に基づき、保守・点検を行っている。また、防火管理者等の配置も行い、適切に管理・運営を行っている。	A	適切に管理・運営されています。 当施設は、高齢等のため独立して生活することに不安のある方が利用する施設であるため、今後も地域包括支援センター等の関係機関と連携を図り、必要に応じて利用できる環境づくりをお願いします。また、利用者アンケートの集約を図り、よりニーズに応えられる取り組みに期待します。	A

別紙様式6

指定管理者制度導入施設の管理運営に関する評価票(評価対象年度:令和6年度)

施設 の 名 称	栗原市一迫高齢者生活福祉センター(デイサービス部分のみ)
施設所管部署名	市民生活部 社会福祉課

1 評価対象施設の概要(施設所管課記入)

施 設 名 称	栗原市一迫高齢者生活福祉センター（デイサービスセンター部分のみ）		
施 設 所 在 地	栗原市一迫真坂字高橋20番地1		
設 置 年 月	平成4年4月	設置根拠条例	栗原市高齢者生活福祉センター条例
設 置 目 的	在宅の虚弱老人等に対し、通所による介護サービスを提供することによって、これらの者の生活の助長、社会的孤立感の解消及び心身機能の維持向上等を図るとともに、その家族の精神的な負担軽減を図ることを目的として設置した施設である。		
施 設 概 要	面 積	延床面積 779.57 m ² 、 敷地面積 9,311.00 m ²	
	構 造	鉄筋コンクリート造平屋建	
	施設内容	（施設内の設置室内容） 食堂、日常生活訓練室、養護室、浴室、事務室等	
休 館 日	日曜日、12月31日～1月3日 ※ 条例から変更の有無 ☒ 有 ☐ 無		
開 館 時 間	午前 8時 30分 ～ 午後 5時 30分 ※ 条例から変更の有無 ☒ 有 ☐ 無		
施 設 利 用 料 金	利用料金制	☒ 採用 ☐ 採用無 ☐ 指定管理料と併用 ☐ 指定管理料のみ	
	設定金額	使用料、観覧料等の設定ごとに記載 条例のとおり ※ 条例から変更の有無 ☐ 有 ☒ 無	

2 指定管理者等の概要(施設所管課記入)

指 定 管 理 者	事業者等名称	社会福祉法人 栗原市社会福祉協議会		
	事務所所在地	栗原市築館薬師三丁目6番2号		
指 定 の 期 間	令和4年4月1日～令和7年3月31日(3年間)			
指定にかかる選定方法	☐ 公募 ☒ 非公募	指定管理料	なし（3年間）	

3 施設管理の経過(施設所管課記入)

期 間	管理形態	施設管理を行った団体等	摘要
平成18年9月～令和7年3月	指定管理	社会福祉法人 栗原市社会福祉協議会	R4.4更新
年 月 ～ 年 月			
年 月 ～ 年 月			

4 施設の利用実績(指定管理者記入)

	事業計画	実 績		計画との比率 (%)	前年度との比較 (%)
	評価対象年度 (令和6年度)	前年度 (令和5年度)	評価対象年度 (令和6年度)		
開 館 日 数	309日	305日	308日	99.7%	101.0%
利用者数(延べ人数)	3,391人	3,567人	3,177人	93.7%	89.1%
利 用 料 金 収 入	0円	0円	0円	—	—
主 な 増 減 要 因 (前 年 比)	新型コロナウイルスが5類になったものの、本人や同居親族が感染した際には休んでいただく対応をとっている。また、新規利用者は獲得したが同等の人数が施設入所等になり大きな増収には至らなかったのが現状。				

5 自主事業等の実績（指定管理者記入）

年月日	事業名	事業内容	対象者	参加者数
令和6年7月23日(火)	地域住民参加型交流会	デイの役割(講話)・軽体操・福祉用具相談	地域住民	41名
令和6年12月6日(金)	一迫・花山合同モルック大会	モルックによる交流	デイ利用者、 老人クラブ連合	28名
令和7年3月12日(水)	配食サービスとの交流会	介護保険制度説明・軽体操・ゲーム	配食利用者・老連	19名

6 施設の管理運営における課題（指定管理者、施設所管課記入）

指定管理者(指定管理者記入)	市(施設所管課記入)
今年度は、一般浴槽内のタイルの修繕を行ったが、また所々にタイル剥がれが見えてきている。 また、機械浴については浴槽ローラーのひび割れやシャワーミキシング、座面マット取り付け部分の損傷など、納入後14年目となり故障が増えてきている。	建築から30年以上経過し、施設内外において老朽化が目立ちます。令和6年度は漏水修繕事をしておりますが、施設管理における修繕については、指定管理者基本協定書に基づき、協議のうえで判断させていただきます。

7 施設利用者からの主な意見等とその対応状況（指定管理者記入）

施設利用者からの主な意見等	対応状況等
自分も足腰が痛く自宅で入浴できないので本人も喜んでいきます。	利用者様の心身状態に合わせた入浴方法で、安全かつ快適に入浴していただけるよう配慮します。
いろいろな作品を見て、いろいろ体験しているんだなと感じます	季節行事・外出行事・創作活動・ボランティア慰問等を実施し、皆様に楽しんでいただけるよう継続しています。
急な申し出にも対応してもらった。	受診等による振替利用や臨時利用をご希望の際は、お気軽に職員へ相談いただき柔軟な対応をします。

8 総合的な評価（指定管理者、施設所管課記入）

評価項目	指定管理者の自己評価		市の評価		改善 勧告
	評価	コメント	評価	コメント	
(1) 基本的な方針に基づく管理・運営体制	A	協定に基づき適切に管理・運営をしている。研修により職員の資質向上に努めている。	A	必要な規則等を整備し、職員の資質向上に努めている。	
① 施設の管理運営に必要な人員及び有資格者等を計画どおり適切に配置しているか。	A	設置基準に基づき、適正な職員配置を行っている。	A	適正であると認めます。	
② 指定管理業務に必要な知識及びサービスの向上のため、研修等人材育成に努めているか。	A	所内研修・サービス向上検討会議等を計画的に企画し実施している。	A	常に、サービス意識の向上に努め、資質向上を図っている。	
③ 通常の安全管理や緊急時の対応について、職員が適切に行える環境を整備しているか。	A	非常災害時対応マニュアル等を整備し、非常時の訓練等を消防署と連携し、実施している。	A	災害時の対応訓練ができています。	
④ 各業務日誌等の管理記録を適切に整備・保管しているか。	A	法令・県条例に基づき整備、保管をしている。	A	適正であると認めます。	
⑤ 個人情報の取り扱い及び保護の対策について適切に行われているか。	A	法人の個人情報保護規程に基づき、守秘義務を遵守し保管管理を行っている。	A	適正であると認めます。	
⑥ 法令等を遵守し、市と締結している協定に基づいた管理・運営を遂行しているか。	A	協定に基づき、管理運営を遂行している。	A	適正であると認めます。	
(2) 施設管理の状況	A	適切に、保守・点検を行っている。	A	適切な管理運営に努めている。	
① 市の承認した内容に基づき、施設の開館及び利用時間、利用料金設定を遵守しているか。	A	介護保険法、関係法令等を遵守し介護サービスの提供および介護報酬に応じた利用料金を設定。	A	適正であると認めます。	
② 施設内、設備等の清掃及び保守点検等を適切に行い、良好な施設環境を維持しているか。	A	日々の業務後に清掃を行い定期的に点検を行っている。	A	適正であると認めます。	
③ 協定に基づき施設設備や備品等の適切な修繕対応を行っているか。	A	協定に基づき対応している。	A	適正であると認めます。	
④ 設備維持と事故等防止のため、必要な専門的点検を実施し安全確認を行っているか。	A	定期点検を業者へ委託し実施。	A	適正であると認めます。	
(3) 利用者へのサービス提供と満足度	A	「介護サービスに関するアンケート」を実施し要望・指摘事項について改善を行なった。	A	特に問題なく運営されている。	
① 利用者の利便性を意識した迅速な利用許可手続きや施設情報の提供を行っているか。	A	地域包括ケアマネージャーへ情報提供を行い、利用者の選択に基づき、迅速に対応した。	A	施設情報の共有を図り、手続きの迅速化に努めている。	
② 利用者アンケート等により利用者の意見を把握し反映する取り組みを行ったか。	A	「介護サービスに関するアンケート」を8月～9月にかけて実施。要望・改善点について検討し検討内容を家族へ回答した。	A	適正であると認めます。	
③ 要望及び苦情等に対する対応が十分になされたか。	A	アンケート等で頂いた要望に柔軟に対応している。	A	適正であると認めます。	
④ 施設の目的を活かし利用者の充実のため新たな取り組みを実施したか。	A	月1回デイより発行し支部委員へ配布。出前講座・見学交流会等により施設の目的等の説明を行った。	A	適正であると認めます。	
⑤ モニタリング・アンケートの結果、利用者の満足が得られていたか。	A	アンケート結果、事業についての満足度は「とても満足53%」「まあまあ満足31%」計84%の回答を頂いた。	A	適正であると認めます。	
⑥ 利用者に対し職員の対応、身なり等は適切であるか。	A	アンケート結果から言葉遣いや身だしなみについて「適切75%」「普通25%」計100%の回答頂いた。	A	適正であると認めます。	
(4) 運営の状況（収支の実績等）	B	利用者増強対策等で新規利用の確保に務めた。	B	収支の改善に期待します。	
① 収支計画及び事業計画と比較し実績の状況は妥当であるか。	C	利用者の施設入所や死亡での終了や長期ショート利用により収入が減少。	C	収支及び利用者数等とも、計画通りの運営となるようお願いします。	
② 積極的に収入の創出（増）に努め、又収入の増加に繋がる具体的な取り組みがあったか。	B	居宅支援事業所訪問・体験利用募集チラシ作成し店舗に掲示しPRに努めた。	B	収入の増加に繋がる取り組みに期待します。	
③ 積極的に経費削減に努め、又具体的に経費の削減が図られた実績が見られるか。	A	人件費及び事業費を削減できた。	A	適正であると認めます。	
④ 指定管理業務における専用口座及び諸帳簿等を備え適正な経理が行われているか。	A	総務課にて適正に行っている。	A	適正であると認めます。	

総合評価	指定管理者の自己評価（指定管理者記入）	評価	市の評価（施設所管課記入）	評価
	<指定管理者の所見>	B	<施設所管課の所見>	A
	収入については、新規利用者を19名獲得したものの終了者（施設入所等）が多くあった。また、介護度が高く、利用回数の多い利用者が施設入所や死亡で終了になり、新規利用者は介護度軽度になっていることにより計画を達成できなかったが、自主事業として増強対策として住民参加型交流会等を3回開催したり、体験利用チラシを地区店舗に掲示し新規利用者確保に努めた。支出については、工夫をしながら経費削減に努めたが、利用者様より寒いとの訴えあり暖房の使用頻度が高く光熱費が増した。今後も事業費削減を継続し、新規利用者確保の工夫を重ね改善に努める。		適切な管理運営がされています。支出実績値は、計画値を達成したものの、利用者数、収入実績値が下回っていることから、今後も新たな利用者の確保に向けた取り組みに期待します。	

別紙様式6

指定管理者制度導入施設の管理運営に関する評価票(評価対象年度:令和6年度)

施設 の 名 称	栗原市花山高齢者生活福祉センター (デイサービスセンター部分のみ)
施設所管部署名	市民生活部 社会福祉課

1 評価対象施設の概要 (施設所管課記入)

施 設 名 称	栗原市花山高齢者生活福祉センター（デイサービスセンター部分のみ）		
施 設 所 在 地	栗原市花山字百目木18番地の1		
設 置 年 月	平成12年 4月	設置根拠条例	栗原市高齢者生活福祉センター条例
設 置 目 的	在宅の虚弱老人に対し、通所による介護サービスを提供することによって、これらの物の生活の助長、社会的孤立の解消及び心身機能の維持向上を図るとともに、その家族の精神的な負担軽減を図ることを目的として設置した施設である。		
施 設 概 要	面 積	延床面積 1,354.58 m ² 、 敷地面積 1,762.28 m ²	
	構 造	鉄筋コンクリート造（一部鉄骨造）平屋建	
	施設内容	（施設内の設置室内容） 食堂、日常生活訓練室、養護室、浴室、事務室等	
休 館 日	火曜日、木曜日、土曜日、日曜日、12月31日～1月3日 ※ 条例から変更の有無 ☒ 有 ☐ 無		
開 館 時 間	午前 8時30分 ～ 午後 5時30分 ※ 条例から変更の有無 ☒ 有 ☐ 無		
施 設 利 用 料 金	利用料金制	☒ 採用 ☐ 採用無 ☐ 指定管理料と併用 ☐ 指定管理料のみ	
	設定金額	使用料、観覧料等の設定ごとに記載 条例のとおり ※ 条例から変更の有無 ☐ 有 ☒ 無	

2 指定管理者等の概要 (施設所管課記入)

指 定 管 理 者	事業者等名称	社会福祉法人 栗原市社会福祉協議会		
	事務所所在地	栗原市築館薬師三丁目6番2号		
指 定 の 期 間	令和4年 4月 1日～ 令和7年 3月31日（3年間）			
指定にかかる選定方法	☐ 公募 ☒ 非公募	指定管理料	なし（3年間）	

3 施設管理の経過 (施設所管課記入)

期 間	管理形態	施設管理を行った団体等	摘要
平成18年 9月 ～ 令和7年 3月	指定管理	社会福祉法人 栗原市社会福祉協議会	R4.4更新
年 月 ～ 年 月			
年 月 ～ 年 月			

4 施設の利用実績 (指定管理者記入)

	事業計画	実 績		計画との比率 (%)	前年度との比較 (%)
	評価対象年度 (令和6年度)	前年度 (令和5年度)	評価対象年度 (令和6年度)		
開 館 日 数	155日	257日	152日	98.1%	59.1%
利用者数(延べ人数)	1,051人	1,525人	1,074人	102.2%	70.4%
利 用 料 金 収 入	0円	0円	0円	—	—
主 な 増 減 要 因 (前 年 比)	コロナウイルス感染症や台風により休業日が3日あった。また、令和6年度より週3日(前年度は週5日)営業に変更したことにより、利用者数の減少となった。				

5 自主事業等の実績（指定管理者記入）

年月日	事業名	事業内容	対象者	参加者数
令和6年9月9日(月)	見学交流会	運営状況説明、施設内見学、軽体操、ゲーム	市内住民	34名

6 施設の管理運営における課題（指定管理者、施設所管課記入）

指定管理者(指定管理者記入)	市(施設所管課記入)
新規利用者数は4名あったものの、入院からの施設入所や独居の方の身体状況の悪化で施設入所が増えている。経費削減に努めているが、施設設備の老朽化で光熱費にかかる部分が多い。	建築から20年以上経過し、施設内外において劣化が見えはじめており、これまでの修繕は、指定管理者基本協定書に基づき、協議のうえで判断させていただいたところです。

7 施設利用者からの主な意見等とその対応状況（指定管理者記入）

施設利用者からの主な意見等	対応状況等
お風呂に入れて気持ちがいい。	利用者様の心身状態に合わせた入浴方法で安全かつ快適に入浴していただけるよう配慮いたします。
本人と楽しく会話してくれる。	利用者様、家族様と良好な信頼関係を築けるよう丁寧な対応を心がけてまいります。
利用日以外にも利用できることを教えていただき助かる。	受診による振替利用や臨時利用については、柔軟に対応いたしますので、お気軽にご相談ください。

8 総合的な評価（指定管理者、施設所管課記入）

評価項目	指定管理者の自己評価		市の評価		改善 勧告
	評価	コメント	評価	コメント	
(1) 基本的な方針に基づく管理・運営体制	A	協定に基づき、適切に管理・運営をしている。研修により、職員の資質向上に努めている。	A	必要な規則等を整備し、職員の資質向上に努めている。	
① 施設の管理運営に必要な人員及び有資格者等を計画どおり適切に配置しているか。	A	設置基準に基づき、職員配置を行っている。	A	適正であると認めます。	
② 指定管理業務に必要な知識及びサービスの向上のため、研修等人材育成に努めているか。	A	所内研修会・サービス向上検討会等を計画的に企画し実施。外部研修会へ職員を参加させ、資質並びにサービスの向上を図っている。	A	常に、サービス意識の向上に努め、資質向上を図っている。	
③ 通常の安全管理や緊急時の対応について、職員が適切に行える環境を整備しているか。	A	非常災害時対応マニュアル等を整備し、非常災害時の訓練等を消防署立ち合いにより実施している。	A	災害時の対応訓練ができています。	
④ 各業務日誌等の管理記録を適切に整備・保管しているか。	A	法令・県条例に基づき整備・保管をしている。	A	適正であると認めます。	
⑤ 個人情報の取り扱い及び保護の対策について適切に行われているか。	A	当法人の個人情報保護規定に基づき守秘義務を順守し、保管管理を徹底している。	A	適正であると認めます。	
⑥ 法令等を遵守し、市と締結している協定に基づいた管理・運営を遂行しているか。	A	協定に基づき、管理運営を遂行している。	A	適正であると認めます。	
(2) 施設管理の状況	A	保守・点検を適切に実施している。	A	適切な管理運営に努めている。	
① 市の承認した内容に基づき、施設の開館及び利用時間、利用料金設定を遵守しているか。	A	介護保険法、関係法令等を遵守し、介護サービスの提供及び介護報酬に応じた利用料金を設定。	A	適正であると認めます。	
② 施設内、設備等の清掃及び保守点検等を適切に行い、良好な施設環境を維持しているか。	A	日々の業務後に清掃を行い、定期的な点検を行っている。	A	適正であると認めます。	
③ 協定に基づき施設設備や備品等の適切な修繕対応を行っているか。	A	協定に基づき対応。	A	適正であると認めます。	
④ 設備維持と事故等防止のため、必要な専門的点検を実施し安全確認を行っているか。	A	定期点検を業者に委託し、実施している。	A	適正であると認めます。	
(3) 利用者へのサービス提供と満足度	A	「介護サービスに関するアンケート」を実施し、要望・指摘事項について検討・改善を図った。	A	特に問題なく運営されている。	
① 利用者の利便性を意識した迅速な利用許可手続きや施設情報の提供を行っているか。	A	地域包括支援センターやケアマネジャーへ情報提供を行ない、利用者の選択に基づき、契約を行い、迅速に利用できず対応を行った。	A	施設情報の共有を図り、手続きの迅速化に努めている。	
② 利用者アンケート等により利用者の意見を把握し反映する取り組みを行ったか。	A	「介護サービスに関するアンケート」を8月～9月にかけて実施。要望や指摘事項について、改善・対応を検討し、検討内容を家族に回答。	A	適正であると認めます。	
③ 要望及び苦情等に対する対応が十分になされたか。	A	アンケート等でいただいた要望に柔軟に対応できた。	A	適正であると認めます。	
④ 施設の目的を活かし利用者の充実のため新たな取り組みを実施したか。	A	月1回デイよりを発行。社協支部委員等へ配布し施設の目的などの説明を行っている。	A	適正であると認めます。	
⑤ モニタリング・アンケートの結果、利用者の満足が得られていたか。	A	アンケートの結果から、事業についての満足度は「とても満足が75%」「まあまあ満足が17%」計92%の満足の回答をいただいた。	A	適正であると認めます。	
⑥ 利用者に対し職員の対応、身なり等は適切であるか。	A	アンケートの結果から、言葉遣いや身だしなみについて80%の回答をいただいた。	A	適正であると認めます。	
(4) 運営の状況（収支の実績等）	B	利用者増強対策や経費削減に努めた。	B	収支の改善に期待します。	
① 収支計画及び事業計画と比較し実績の状況は妥当であるか。	C	入院からの施設入所が多くなってきている。	C	収支実績の改善に繋がる取り組みが急務です。	
② 積極的に収入の創出（増）に努め、又収入の増加に繋がる具体的な取り組みがあったか。	B	体験・見学会や地域を巻き込んだでの行事を実施した。	B	収支バランスが保持できる収入の増加に繋がる取り組みに期待します。	
③ 積極的に経費削減に努め、又具体的に経費の削減が図られた実績が見られるか。	B	人件費削減や節電・節水を行った。	B	昨年度より実施事業費（運営費）以外、支出が増となっており、削減に繋がる取り組みに期待します。	
④ 指定管理業務における専用口座及び諸帳簿等を備え適正な経理が行われているか。	A	総務課にて適切に行っている。	A	適正であると認めます。	

総合評価	指定管理者の自己評価（指定管理者記入）		市の評価（施設所管課記入）	
	＜指定管理者の所見＞	評価	＜施設所管課の所見＞	評価
	令和6年度より、事業費の圧縮を図るため、利用定員を15名（対前年度比+3名）とし週3回のサービス提供として行ってきた。居宅介護支援事業所へのPR活動や区長会・民協・支部委員会開催時にはデイの運営状況を報告し、地域を巻き込んだでの行事も実施。新規利用者4名のうち1名は、令和5年度交流会に参加した方が新規契約利用につながっている。	B	適切な管理運営をされています。収支の計画値がマイナスとなる状況で、利用者の新規開拓が望まれておりましたが、令和6年度末で閉館と残念な結果となりました。しかしながら、これまで事業を展開していただき感謝いたします。	A

別紙様式6

指定管理者制度導入施設の管理運営に関する評価票(評価対象年度:令和6年度)

施設の名 称	栗原市若柳認定こども園
施設所管部署名	市民生活部子育て支援課

1 評価対象施設の概要 (施設所管課記入)

施 設 名 称	栗原市若柳認定こども園			
施 設 所 在 地	栗原市若柳字川北塚原104番地1			
設 置 年 月	令和4年4月	設置根拠条例	栗原市認定こども園条例	
設 置 目 的	小学校就学前の子どもに対する教育及び保育並びに保護者に対する子育て支援の総合的な提供を推進するため。			
施 設 概 要	面 積	延床面積 4, 129㎡、 敷地面積 8, 866㎡		
	構 造	木造		
	施設内容	保育室、遊戯室、調理室、子育て支援センター、一時保育室、園庭		
休 館 日	日曜日、国民の祝日に関する法律に規定する休日、12月29日から翌年の1月3日まで ※ 条例から変更の有無 ☐ 有 ☒ 無			
開 館 時 間	午前 7時 30分 ~ 午後 6時 30分 ※ 条例から変更の有無 ☐ 有 ☒ 無			
施 設 利 用 料 金	利用料金制	☐ 採用 ☒ 採用無 ☐ 指定管理料と併用 ☐ 指定管理料のみ		
	設定金額	※ 条例から変更の有無 ☐ 有 ☒ 無		

2 指定管理者等の概要 (施設所管課記入)

指 定 管 理 者	事業者等名称	一般社団法人吉野学園		
	事務所所在地	栗原市若柳字川北塚原104番地1		
指 定 の 期 間	令和4年4月1日 ～ 令和9年3月31日（5年間）			
指定にかかる選定方法	☒ 公募 ☐ 非公募	指定管理料	1, 402, 555, 000円（5年間）	

3 施設管理の経過 (施設所管課記入)

期 間	管理形態	施設管理を行った団体等	摘要
令和4年4月 ~ 令和9年3月	指定管理	一般社団法人 吉野学園	
年 月 ~ 年 月			
年 月 ~ 年 月			

4 施設の利用実績 (指定管理者記入)

	事業計画	実 績		計画との比率 (%)	前年度との比較 (%)
	評価対象年度 (令和6年度)	前年度 (令和5年度)	評価対象年度 (令和6年度)		
開 館 日 数	295日	294日	295日	100.0%	100.3%
利用者数(延べ人数)	59,000人	56,902人	54,981人	93.2%	96.6%
利 用 料 金 収 入	0円	0円	0円	—	—
主 な 増 減 要 因 (前 年 比)	園児数の減少のため				

5 自主事業等の実績（指定管理者記入）

年月日	事業名	事業内容	対象者	参加者数
令和6年6月7日	幼児リトミック教室	音楽と触れ合いながらリズム感を養う。	3・4・5歳児	144人
令和6年9月25日	乳幼児リトミック教室	音楽に合わせて身体を動かす楽しさを体験する。	1・2歳児	56人
令和6年12月10・11日	サッカー教室	ボール遊びを通して友達と体をかす楽しさを体験する。	3・4・5歳児	139人
令和6年12月12・13日	乳幼児リトミック教室	リズム感などの音楽的能力を伸ばす。	全学年	218人
令和7年2月18・19日	サッカー教室	ボール遊びを通して友達と体をかす楽しさを体験する。	3・4・5歳児	142人
令和6年度	インクルーシブ保育・教育	障害・国籍の有無に関わらず同じ空間で保育をする。	4・5歳児	3人

6 施設の管理運営における課題（指定管理者、施設所管課記入）

指定管理者（指定管理者記入）	市（施設所管課記入）
○特別な配慮や支援を必要とする園児、食物アレルギーの園児が年々増加傾向にあり、園児によって状態や障害の程度が大きく異なるため、個々に応じた配慮や特別な知識が必要となる。そのために保健師・療育施設・医療施設等と連携し、支援を要する園児を支え、さらにその保護者に向き合って、より良い教育・保育に尽力する。 ○子育ての不安や悩みを抱えた保護者が多くなってきている。そのような保護者は相談や情報提供を強く求めている。育児不安を抱える保護者に寄り添い不安解消に努める。	・園児の多様なニーズに対応し、適切な支援を行うことは大変なことと思いますが、保健師・療育施設・医療施設等と連携し、個々の状況に応じた適切な支援の提供が行えるように園内でも専門知識や対応力を向上させるための研修や環境整備に努めていただきますようお願いいたします。 また、保護者の育児に関する不安や悩みに対しては、今後も保護者に寄り添い信頼関係を築き、より良い育児支援の提供が出来るような環境づくりをお願いします。

7 施設利用者からの主な意見等とその対応状況（指定管理者記入）

施設利用者からの主な意見等	対応状況等
こども園・小学校保護者利用駐車場内での逆走、スピードの出し過ぎ、子どもを抱っこした運転などの交通ルール違反が数多く見られる。事故につながるので対応策を考えてほしい。	運転マナーについて保護者・送迎に関わる祖父母に継続的に周知した。また、防犯ビデオで危険な運転をしている保護者を特定し注意をした。さらに、若柳小学校・認定こども園、教育委員会・子育て支援課の担当者が一堂に会して安全対策を協議をし、駐車場路面に徐行や停止線の表示をした。
こども園・小学校・中学校合同引き渡し訓練に1号認定（教育部）の保護者も参加させてほしい。	これまで合同引き渡し訓練は午後2時30分ということで1号認定の園児が降園してから実施してきた。災害はいつ起こるか分からない。一斉に行う必要があるということで1号認定の保護者も参加しての訓練を実施した。
3・4・5歳児の給食後の歯磨きは感染症対策で中止しているが、歯磨きの習慣をつけるためにも実施してほしい。	令和6年度は、感染性胃腸炎、新型コロナウイルス、インフルエンザ等の感染症が年間通して相次ぎ、歯磨き指導の再開時期を逃してしまった。令和7年5月から感染症対策を十分に講じながら実施することを保護者に周知した。
保育参観やクラス便りだけでは普段の子どもの様子が分からない。日中、子どもたちがどのような生活をしているのか知りたい。	フリー保育参観の日を設定したり、園児の普段の活動を「見える化」したドキュメンテーション（活動写真）を保育室の入り口に掲示したりした。さらに、日々の送迎時や連絡帳を活用し、園での様子を詳細に知らせた。また、希望により随時個別面談を実施した。
ほんのわずかだが「だめ」「いけません」などの制止の言葉を使う保育士、「早くしなさい」と手を引いて急かす保育士が見られたので注意してほしい。	一人一人に寄り添った保育の意識を共有するために園内で研修会を実施した。また、「子どもを尊重すること」「子どもの人権擁護」についてあらためて意識を高め、自らの保育を振り返るために全職員が「人権擁護に関するセルフチェックリスト」を行った。その結果に基づいて日々の保育の反省や課題を明確にし、保育の質の向上を図ったことで改善がされた。
ペーパーレス化の世の中になってきており、園便り等のお知らせをPDFで添付して、メールで一斉配信するなど工夫してほしい。	感染症情報などの緊急連絡やこども園からのお知らせを直接保護者へメール配信したことで確実かつ迅速に届けることができた。
感染症対策や観覧席の広さなどのために運動会・お遊戯会の観覧者の数が2名と限定している。せめて“家族まで”や“祖父母まで”に拡大してほしい。	運動会は、人数制限せず学年毎に実施する。お遊戯会については、0・1・2歳児は人数制限せず実施するが、3・4・5歳児はドリーム・バルでの開催で席数が550席のため各家庭3名以内での観覧で実施する。
食べ物の好き嫌いや排泄など家庭ではできない部分をたくさんフォローしていただきありがとうございます。	食事・排泄などは、一人一人の園児の発育や発達状態に応じて、急がせることなく無理のないように行い、上手にできたときには褒めるなどして、保育士が個に応じた対応を図った成果である。
小さい子に玩具や順番をゆずったり、進んで草取りやゴミ拾いをしてくれたりする子どもに育った。こども園での生活を通して心身の成長を感じる。	保育士の支援のもとで、友達と一緒に遊び、友達と共に生活し、いつの間にか成長していくことに園児はもとより保護者も喜びや満足感を味わっている。
初めての育児で分からないことばかりだが、保育士に質問したり、相談したりしたときは、いつも丁寧に教えていただき安心してこども園に通わせることができた。	日々、保護者とコミュニケーションを密接にとり、手厚いサポートを行っている。ときには、個別面談を行い育児不安や子育ての悩みの軽減に取り組んでいる。

8 総合的な評価（指定管理者、施設所管課記入）

評価項目	指定管理者の自己評価		市の評価		改善 勧告
	評価	コメント	評価	コメント	
(1) 基本的な方針に基づく管理・運営体制	A	こども園全職員が和と協働を大切にしながら一体となってこども園運営に努めた。	A	全般的に事業計画に基づいた適正な管理・運営であったことを確認した。	
① 施設の管理運営に必要な人員及び有資格者等を計画どおり適切に配置しているか。	A	安全・安心な保育、かつ支援児への丁寧な対応のために配置基準以上の人員及び有資格者を適切に配置した。	A	他の施設の勤務体制等も参考にし、適正な人員配置に努めてください。	
② 指定管理業務に必要な知識及びサービスの向上のため、研修等人材育成に努めているか。	A	保育・教育の専門性を高める研究保育、幅広い知見を得るための教職研修、職務・経験年数に応じたキャリアアップ研修に取り組んだ。	A	指定管理業務に必要な知識と保育士の質の向上のため、継続して人材育成に努めてください。	
③ 通常の安全管理や緊急時の対応について、職員が適切に行える環境を整備しているか。	B	安全管理の質を高めるために定期的な点検や事故の事例の共有などを行い、日頃から園内に潜むリスクを把握した。	B		
④ 各業務日誌等の管理記録を適切に整備・保管しているか。	A	法令に定める園児・職員・施設に関する帳簿・記録簿は適切に記載されているか管理職が定期的に点検した。	A		
⑤ 個人情報の取り扱い及び保護の対策について適切に行われているか。	A	情報管理実施要項に基づき、対象情報の分類及び情報の保管場所を明確化した。	A		
⑥ 法令等を遵守し、市と締結している協定に基づいた管理・運営を遂行しているか。	A	協定書に定める管理の水準について、定期的に達成状況を把握し改善に努めた。	A		
(2) 施設管理の状況	A	乳幼児の命を預かる施設として、安全安心、健康、快適を事業理念に施設管理に尽力した。	A	全般的に事業計画に基づいた適正な管理・運営であったことを確認した。	
① 市の承認した内容に基づき、施設の開館及び利用時間、利用料金設定を遵守しているか。	A	開館・利用時間は協定書を遵守し利用者のニーズに即したサービスに努めた。	A		
② 施設内、設備等の清掃及び保守点検等を適切に行い、良好な施設環境を維持しているか。	A	学校保健安全法施行規則に基づき安全点検を定期的・日常的実施し、安全安心・健康な環境作りを努めた。	A		
③ 協定に基づき施設設備や備品等の適切な修繕対応を行っているか。	A	毎日・毎月・4か月毎の頻繁な点検により修繕箇所の早期発見・修理を実施した。	A		
④ 設備維持と事故等防止のため、必要な専門的点検を実施し安全確認を行っているか。	A	遊具・消防設備等の点検・修繕を業者に定期的に委託し、設備の維持と事故防止を図った。	A	引き続き、事故防止、安全管理に努めてください。	
⑤ 職員一人一人の事故防止意識を高め、安全管理の徹底を行っているか。	A	事故・怪我はもとより、ヒヤリハット事例を記録・報告し、事故防止の研修を行い、危険の芽を摘み取り、改善の徹底を図った。	A	今後も職員で共有し合い、取り組んでください。	
⑥ 乳幼児の保育・教育業務に携わる職員の健康・安全管理に努めているか。	A	社会保険労務士による福利厚生や定期的に開催される衛生委員会における嘱託医の指導・助言に基づき職員の健康・安全を図った。	A		
(3) 利用者へのサービス提供と満足度	A	園児にとって安全安心な環境作りを最優先にして全ての職員が日々尽力した。	A	全般的に事業計画に基づいた適正な管理・運営であったことを確認した。	
① 利用者の利便性を意識した迅速な利用許可手続きや施設情報の提供を行っているか。	A	園・クラス・園長室便りで保育の様子、メールで感染症等の緊急性のある情報を提供した。	A		
② 利用者アンケート等により利用者の意見を把握し反映する取り組みを行ったか。	A	保護者アンケート、PTA役員会、日常の保護者との関わりの中で意見や要望を把握し運営に反映した。	A	引き続き、利用者の声に耳を傾けながら運営をお願いします。	
③ 要望及び苦情等に対する対応が十分になされたか。	A	職員全体で苦情や要望について情報を共有し、同様な事故が起きないようにした。苦情や要望から保育業務や環境を見直すヒントが得られこともあり、保護者に感謝の意を述べた。	A		
④ 施設の目的を活かし利用者の充実のため新たな取り組みを実施したか。	A	ハロウィン、クリスマス会、豆まき会などの活動を地域のボランティア団体と連携し実施したことで、地域社会とのつながりを子どもたちは実感した。	A		
⑤ モニタリング・アンケートの結果、利用者の満足が得られていたか。	A	「こども園の活動を通して、心身の成長を感じられるか」という保護者アンケートでは、[大変良い]、[良い]が未満児99%、以上児97%であり、満足度が極めて高い。	A		
⑥ 利用者に対し職員の対応、身なり等は適切であるか。	A	「どの職員も優しく、安心して子どもを預けることができる」と保護者の声が多数寄せられた。	A		
(4) 運営の状況（収支の実績等）	A	光熱水費・食料費・消耗費等の高騰という事態はあったが、適正な管理・運営に努めた。	A	全般的に事業計画に基づいた適正な管理・運営であったことを確認した。	
① 収支計画及び事業計画と比較し実績の状況は妥当であるか。	A	実情に即した事業・収支計画を立案したことで、事業計画は想定通りにほぼ実行できた。	A		
② 積極的に収入の創出（増）に努め、又収入の増加に繋がる具体的な取り組みがあったか。	B	支援センター利用者が前年比1.9倍(2687人)に及んだ。わらべ歌遊びやリトミック等の活動を工夫した成果である。	B		
③ 積極的に経費縮減に努め、又具体的に経費の縮減が図られた実績が見られるか。	A	物価は高騰したが、日々、光熱水費・消耗品等の節約を行ったことで経費縮減が図られた。	A		
④ 指定管理業務における専用口座及び諸帳簿等を備え適正な経理が行われているか。	A	指定管理業務に係る収支を適切に管理するために専用口座と会計帳簿を備えている。さらに、公認会計士に監査と会計を委託している。	A		

総合評価	指定管理者の自己評価（指定管理者記入）		市の評価（施設所管課記入）	
	＜指定管理者の所見＞		＜施設所管課の所見＞	
	A		A	
	「こども園は、お子さんを理解し、性格や長所を把握して保育・教育にあたっているか。」という保護者アンケートでは、[大変良い]、[良い]が未満児・以上児ともに100%である。また、「園での生活のお陰で、言動が日々成長し、家族だけではここまで育てることができなかった。（1歳児保護者）」「3年間楽しく通園できました。愛情あふれる保育と教育のお陰です。（5歳児保護者）」という保護者の感謝の声が多数寄せられた。日々、保育士が一人一人の園児・保護者に寄り添った丁寧な保育・教育の成果である。		保護者の評価が高いことは、日々の丁寧な保育や園児一人ひとりの個性や成長を理解し、寄り添った保育・教育の成果と市といたしましても高く評価しております。 今後も、園と家庭との良好な連携や信頼関係の継続を図りながら、さらなる質の向上を目指していただき、園児の安心・安全な環境づくりの提供をお願いします。	

別紙様式6

指定管理者制度導入施設の管理運営に関する評価票(評価対象年度:令和6年度)

施 設 の 名 称	くりはら斎苑
施 設 所 管 部 署 名	市民生活部 環境課

1 評価対象施設の概要 (施設所管課記入)

施 設 名 称	くりはら斎苑		
施 設 所 在 地	宮城県栗原市築館字荒田沢41番地		
設 置 年 月	平成13年8月	設置根拠条例	栗原市火葬場条例
設 置 目 的	栗原市の公衆衛生の向上を図ること		
施 設 概 要	面 積	延床面積 2,040.44㎡、 敷地面積 5,234.21㎡	
	構 造	鉄筋コンクリート造、一部鉄骨二階建(ハートビル法認可建物)	
	施設内容	(施設内の設置室内容) 火葬棟:告別室前室・告別室・炉前ホール・炉室・機械室・管理事務室・便所・倉庫 共通棟:収骨室・共通ロビー 待合棟:待合室(和室＋洋室)・待合ロビー・便所・エレベーター	
休 館 日	1月1日 ～ 1月3日 ※ 条例から変更の有無 ☐ 有 ☒ 無		
開 館 時 間	午前9時30分 ～ 午後4時30分 ※ 条例から変更の有無 ☐ 有 ☒ 無		
施 設 利 用 料 金	利用料金制	☐ 採用 ☐ 採用無 ☒ 指定管理料と併用 ☐ 指定管理料のみ	
	設定金額	死体15歳以上 17,000円(市内) 31,000円(市外) 死体15歳未満 13,000円(市内) 23,000円(市外) 死胎(妊娠4箇月以上の死胎) 5,500円(市内) 11,000円(市外) 改葬死体(死亡した日から10年以上) 1～5体 5,500円(市内) 11,000円(市外) 改葬死体(死亡した日から10年を経過していないもの) 5,500円(市内) 11,000円(市外) 肢体の一部 20kgごとに 4,500円(市内) 9,000円(市外) 胞衣、産汚物等 20kgごとに 3,100円(市内) 6,200円(市外)	
		※ 条例から変更の有無 ☐ 有 ☒ 無	

2 指定管理者等の概要 (施設所管課記入)

指 定 管 理 者	事業者等名称	グリーン観光バス株式会社		
	事務所所在地	宮城県栗原市築館字下宮野川北21番地1		
指 定 の 期 間	令和2年4月1日～令和7年3月31日（5年間）			
指定にかかる選定方法	☒ 公募 ☐ 非公募	指定管理料	192, 250, 000円（ 5年間）	

3 施設管理の経過 (施設所管課記入)

期 間	管理形態	施設管理を行った団体等	摘要
平成13年8月 ~ 平成22年3月	直営		
平成22年4月 ~ 令和2年3月	指定管理	グリーン観光バス株式会社	
令和2年4月 ~ 令和7年3月	指定管理	グリーン観光バス株式会社	

4 施設の利用実績（指定管理者記入）

	事業計画	実 績		計画との比率 (%)	前年度との比較 (%)
	評価対象年度 (令和6年度)	前年度 (令和5年度)	評価対象年度 (令和6年度)		
開 館 日 数	362日	363日	362日	100.0%	99.7%
利用者数(延べ人数)	23,000人	26,334人	26,578人	115.6%	100.9%
利 用 料 金 収 入	18,450,000円	19,778,700円	20,204,000円	109.5%	102.2%
主 な 増 減 要 因 (前 年 比)	火葬件数 12件の増で横ばい状態(1,200件⇒1,212件) 利用者数 横ばい状態 料金収入 生活保護17件の減少により2.2%の増(61人⇒44人)				

5 自主事業等の実績（指定管理者記入）

年月日	事業名	事業内容	対象者	参加者数
R6. 4～R7. 3	自動販売機収入	自動販売機収入	利用者	

6 施設の管理運営における課題（指定管理者、施設所管課記入）

指定管理者(指定管理者記入)	市(施設所管課記入)
・斎苑責任者(斎苑長)として常駐を心がけているが、不在の際は職員がマニュアルに沿って緊急対応し、救命処置を最優先としている。 ・経年劣化のため各機器類に不測の事態が発生する頻度が高くなっている。それに対処するためマニュアルどおり関係各所に連絡及び報告するよう周知している。	・施設の老朽化に伴い、各種設備機器の修繕箇所が増加していることから、市としては計画的に修繕していくこととしている。 ・利用者から要望の多かった待合室の椅子席への変更を令和7年2月に行った。

7 施設利用者からの主な意見等とその対応状況（指定管理者記入）

施設利用者からの主な意見等	対応状況等
・トイレが狭い、和式トイレを洋式にしてほしい。	・和式トイレを無くし、洋式トイレを広く取れるよう市と協議します。
・トイレの照明はもう少し明るいほうがよい。	・間接照明の為、少し暗く感じます。
・待合室は高齢者のために椅子席にしてほしい。	・市で令和7年2月頃に全部屋、椅子席にする予定です。
・喫煙室の通路に雨よけを設置してほしい。	・出口に傘を用意しています。
・喫煙室に空調機を設置してほしい。	・窓を開ければ問題ないと思います。
・2階にもテレビがあればよい。	・1階のテレビをご利用願います。

8 総合的な評価（指定管理者、施設所管課記入）

評価項目	指定管理者の自己評価		市の評価		改善 勧告
	評価	コメント	評価	コメント	
(1) 基本的な方針に基づく管理・運営体制	A		A		
① 施設の管理運営に必要な人員及び有資格者等を計画どおり適切に配置しているか。	A	危険物取扱者2名、防火管理資格者2名、救命講習終了者4名、安全運転管理者等を計画以上に配置している。	A		
② 指定管理業務に必要な知識及びサービスの向上のため、研修等人材育成に努めているか。	A	毎朝のミーティング、電話での対応等、常に相手の立場を尊重し行動。職員の訓練及び研修等を随時行い、情報の共有によるサービスの向上と人材育成に努めている。	A		
③ 通常の安全管理や緊急時の対応について、職員が適切に行える環境を整備しているか。	A	消防計画による防災訓練を実施し適切に対処できる環境を整備し、特に人命優先の心がけ。設備機器の故障等にはマニュアルを作成し職員が対処できるよう整備している。	A	職員間の連携が密に行われており、機器の故障等緊急時にも適切な対応がされている。	
④ 各業務日誌等の管理記録を適切に整備・保管しているか。	A	管理記録を適切に整備し保管している。	A		
⑤ 個人情報の取り扱い及び保護の対策について適切に行われているか。	A	個人情報保護規定及び情報公開規定に基づいて管理している。	A		
⑥ 法令等を遵守し、市と締結している協定に基づいた管理・運営を遂行しているか。	A	指定管理者協定書及び個人情報の保護を含めた管理・運営をしている。	A		
(2) 施設管理の状況	A		A		
① 市の承認した内容に基づき、施設の開館及び利用時間、利用料金設定を遵守しているか。	A	遵守している。	A		
② 施設内、設備等の清掃及び保守点検等を適切に行い、良好な施設環境を維持しているか。	A	清掃及び保守点検等を適切に実施し、施設環境を維持している。	A		
③ 協定に基づき施設設備や備品等の適切な修繕対応を行っているか。	A	市と協議しながら修繕対応をしているが、各設備等の老朽化・経年劣化により修繕費が増加傾向にある。	A	施設の老朽化により、故障が増加しているが、遅滞なく市に連絡し、適切に対応するとともに適正に施設を管理している。	
④ 設備維持と事故等防止のため、必要な専門的点検を実施し安全確認を行っているか。	A	専門業者と契約し、設備の維持点検を実施し安全確認をしている。	A		
⑤ 霊柩車の事故防止のため、必要な点検を実施し安全確認を行っているか。	A	安全運転管理者講習を受講し、毎日の運行前点検及び車両の法定点検を実施。安全確認を行っている。	A		
⑥ 霊柩車の円滑な運行管理を行っているか。	A	最大限、円滑に運行できるよう管理している。	A		
(3) 利用者へのサービス提供と満足度	A		A		
① 利用者の利便性を意識した迅速な利用許可手続きや施設情報の提供を行っているか。	A	利用者の利便性を重視し、迅速な利用許可及び施設情報の提供をしている。	A		
② 利用者アンケート等により利用者の意見を把握し反映する取り組みを行ったか。	A	利用者の意見を4半期ごとに取りまとめ、市と協議しながらできるものから即時改善している。	A		
③ 要望及び苦情等に対する対応が十分になされたか。	A	市の担当課と随時協議し対応している。	A	市との協議を定期的に実施し、市と役割を分担して適切に対応している。	
④ 施設の目的を活かし利用者の充実のため新たな取り組みを実施したか。	A	利用者が静かで安らかな気持ちになれるような環境作りを模索しながら実施している。	A		
⑤ モニタリング・アンケートの結果、利用者の満足が得られていたか。	A	アンケート結果を見ると利用者はほぼ満足しており、不満は少ないと思います。	A		
⑥ 利用者に対し職員の対応、身なり等は適切であるか。	A	適切でした。	A		
(4) 運営の状況（収支の実績等）	A		A		
① 収支計画及び事業計画と比較し実績の状況は妥当であるか。	A	経年劣化等による小さい修繕箇所が増加傾向にあり支出は増えると思われる。	A		
② 積極的に収入の創出（増）に努め、又収入の増加に繋がる具体的な取り組みがあったか。	A	収入の増加は事業特性上困難なため、支出の削減に努めている。	A		
③ 積極的に経費削減に努め、又具体的に経費の削減が図られた実績が見られるか。	A	燃料費(灯油・LPガス・軽油)及び電気料金等の値上がりのため、更なる削減に努めている。	A		
④ 指定管理業務における専用口座及び諸帳簿等を備え適正な経理が行われているか。	A	適正な経理を実施している。	A		

総合評価	指定管理者の自己評価(指定管理者記入)		市の評価(施設所管課記入)	
	指定管理者の所見	評価	施設所管課の所見	評価
	① 霊柩バスの運行はじめ住民の平等な利用が確保でき、事業計画と比較しても公の施設の効用を最大限に発揮できた。 ② 市民サービスの向上を図ることはできたが、燃料費等の値上がりの為施設の管理に係る経費の削減に努めた。	A	老朽化の進む施設全般の管理をよく行い、事業計画に沿った適切な管理運営が行われている。 緊急修繕時でも利用者からの大きな苦情もなく業務を行っていたことは高評価に値する。	A

別紙様式6

指定管理者制度導入施設の管理運営に関する評価票(評価対象年度:令和6年度)

施 設 の 名 称	栗原市栗駒農林水産物直売所
施 設 所 管 部 署 名	農林振興部 農政園芸課

1 評価対象施設の概要(施設所管課記入)

施 設 名 称	栗原市栗駒農林水産物直売所		
施 設 所 在 地	栗原市栗駒文字鍛冶屋103番地		
設 置 年 月	平成9年11月	設置根拠条例	栗原市農林水産物直売所条例
設 置 目 的	魅力ある山村地域社会の建設を推進するとともに、地域所得の向上、農業生産意欲の向上を図るため。		
施 設 概 要	面 積	延床面積 470.47㎡、 敷地面積 3,619㎡	
	構 造	木造一部鉄筋コンクリート造 1階	
	施設内容	物産展示コーナー、食品庫、更衣室、厨房、便所、事務室、風除室、藍染作品展示、織の工房、染の工房、展示通路、試食室、試作室	
休 館 日	水曜日、12月29日から翌年2月28日 ※ 条例から変更の有無 ☒ 有 ☐ 無		
開 館 時 間	午前10時00分 ～ 午後3時00分 ※ 条例から変更の有無 ☒ 有 ☐ 無		
施 設 利 用 料 金	利用料金制	☒ 採用 ☐ 採用無 ☐ 指定管理料と併用 ☐ 指定管理料のみ	
	設定金額	藍染施設 展示室観覧料 1利用につき大人1人 300円、子供150円 体験施設 1利用につき大人1人 820円、子供510円 販売施設 販売金額に対し 20% ※ 条例から変更の有無 ☐ 有 ☒ 無	

2 指定管理者等の概要(施設所管課記入)

指 定 管 理 者	事業者等名称	文字地域活性化推進協議会		
	事務所所在地	栗原市栗駒文字鍛冶屋103番地		
指 定 の 期 間	令和6年4月1日 ～ 令和11年3月31日（5年間）			
指定にかかる選定方法	☐ 公募	☒ 非公募	指定管理料	0円（ 年間）

3 施設管理の経過(施設所管課記入)

期 間	管理形態	施設管理を行った団体等	摘要
平成18年9月 ~ 平成31年3月	指定管理	文字地域活性化推進協議会	H21.26更新
平成31年4月 ~ 令和6年3月	指定管理	文字地域活性化推進協議会	
年 月 ~ 年 月			

4 施設の利用実績(指定管理者記入)

	事業計画	実 績		計画との比率 (%)	前年度との比較 (%)
	評価対象年度 (令和6年度)	前年度 (令和5年度)	評価対象年度 (令和6年度)		
開 館 日 数	210日	208日	208日	99.0%	100.0%
利用者数(延べ人数)	3,500人	3,431人	3,551人	101.5%	103.5%
利 用 料 金 収 入	5,140,000円	5,105,000円	6,196,000円	120.5%	121.4%
主 な 増 減 要 因 (前 年 比)	コロナ禍における来館者が回復したため。 藍フェアーの開催により、集客が増加したため。				

5 自主事業等の実績（指定管理者記入）

年月日	事業名	事業内容	対象者	参加者数
通年	藍染製品の販売	正藍染商品の展示販売	全ての人	205人
4月から11月・3月	食堂の運営	地場で取れた産品を食材とし提供する	全ての人	3,235人
6月から7月	藍染体験	藍染を体験してもらう	全ての人	213人

6 施設の管理運営における課題（指定管理者、施設所管課記入）

指定管理者（指定管理者記入）	市（施設所管課記入）
消防設備の点検と浄化槽の点検を他の市の施設と同様に市の方で一括で業者へ委託してもらいたい。（指定管理料が無いので施設管理の負担を軽減したい。）	協定に基づく施設の修繕等については、協議の上計画的に実施していきたいと考えるが、点検業務については指定管理者にて対応いただきたい。そのための費用については、さらなる商品販売戦略や、食堂の集客、独自事業の企画など、増収に向けた経営に努められたい。

7 施設利用者からの主な意見等とその対応状況（指定管理者記入）

施設利用者からの主な意見等	対応状況等
照明が暗いのでLED照明にしてほしい。	市に依頼しているが予算が付かない
エアコンが古いので電気代が高い、取り換えてほしい	見積書を提出し検討中です。

8 総合的な評価（指定管理者、施設所管課記入）

評価項目	指定管理者の自己評価		市の評価		改善 勧告
	評価	コメント	評価	コメント	
(1) 基本的な方針に基づく管理・運営体制	A		A		
① 施設の管理運営に必要な人員及び有資格者等を計画どおり適切に配置しているか。	A		A	適正であると認めます。	
② 指定管理業務に必要な知識及びサービスの向上のため、研修等人材育成に努めているか。	B	若い人材の確保が困難	B	事務等得意な人材を確保するか、不得意な場合は指導するなど検討されたい。	
③ 通常の安全管理や緊急時の対応について、職員が適切に行える環境を整備しているか。	B		B	緊急時の対応については周知徹底されたい。	
④ 各業務日誌等の管理記録を適切に整備・保管しているか。	A		A	指定管理に関する報告等求められるので、各種記録は適切に整備されたい。	
⑤ 個人情報の取り扱い及び保護の対策について適切に行われているか。	A		A	適正であると認めます。	
⑥ 法令等を遵守し、市と締結している協定に基づいた管理・運営を遂行しているか。	A		A	適正であると認めます。	
(2) 施設管理の状況	A		A		
① 市の承認した内容に基づき、施設の開館及び利用時間、利用料金設定を遵守しているか。	A		A	適正であると認めます。	
② 施設内、設備等の清掃及び保守点検等を適切に行い、良好な施設環境を維持しているか。	A		A	日常管理を適切に行われたい。	
③ 協定に基づき施設設備や備品等の適切な修繕対応を行っているか。	A		A	日常管理を適切に行われたい。	
④ 設備維持と事故等防止のため、必要な専門的点検を実施し安全確認を行っているか。	B		B	法定点検は適時適切に実施されたい。	
(3) 利用者へのサービス提供と満足度	A		A		
① 利用者の利便性を意識した迅速な利用許可手続きや施設情報の提供を行っているか。	A		A	施設情報の提供に取り組まれたい。	
② 利用者アンケート等により利用者の意見を把握し反映する取り組みを行ったか。	A		A	アンケート結果はよく分析、改善の検討をされたい。	
③ 要望及び苦情等に対する対応が十分になされたか。	A		A	要望及び苦情等には真摯に対応されたい。	
④ 施設の目的を活かし利用者の充実のため新たな取り組みを実施したか。	A	館内全て禁煙とコロナウイルス対策	A	利用者の声を聞きながら常に改善に取り組まれたい。	
⑤ モニタリング・アンケートの結果、利用者の満足が得られていたか。	/		B	利用者の満足が得られるよう運営されたい。	
⑥ 利用者に対し職員の応対、身なり等は適切であるか。	A		A	適正であると認めます。	
(4) 運営の状況（収支の実績等）	A		A		
① 収支計画及び事業計画と比較し実績の状況は妥当であるか。	A		B	収入は計画に近づいたものの、支出が多かった。	
② 積極的に収入の創出（増）に努め、又収入の増加に繋がる具体的な取り組みがあったか。	A	行者にんにくラーメン、餃子の販売を始めた。	A	新商品の開発、事業計画の改善等、継続して魅力ある施設づくりに努められたい。	
③ 積極的に経費縮減に努め、又具体的に経費の縮減が図られた実績が見られるか。	A		A	創意工夫で経費縮減に努められたい。	
④ 指定管理業務における専用口座及び諸帳簿等を備え適正な経理が行われているか。	A		A	適正であると認めます。	

総合評価	指定管理者の自己評価（指定管理者記入）	評価	市の評価（施設所管課記入）	評価
	＜指定管理者の所見＞ 節電、節水を心掛けました。 藍フェアでの来館者が増えた。 季節限定で新メニューを始めた。	A	＜施設所管課の所見＞ 事業の開催等による利用者数の増加や節電、節水の効果により、収入が計画を上回り、黒字となった。新商品、新規事業等に積極的に取り組み、引き続き経営の安定化を図られたい。	A

別紙様式6

指定管理者制度導入施設の管理運営に関する評価票(評価対象年度:令和6年度)

施設 の 名 称	栗原市花山農山村交流センター
施設 所 管 部 署 名	農林振興部 農政園芸課

1 評価対象施設の概要 (施設所管課記入)

施 設 名 称	栗原市花山農山村交流センター		
施 設 所 在 地	栗原市花山字本沢北ノ前133番地		
設 置 年 月	平成15年4月	設置根拠条例	栗原市花山農山村交流センター条例
設 置 目 的	自然景観を都市との交流を通して紹介し、地域への理解と活力ある街づくりに資するため。		
施 設 概 要	面 積	延床面積 678.70㎡、 敷地面積 2,107㎡	
	構 造	RC造平屋建て 1階	
	施設内容	風除室、ホール、ギャラリー管理室、休憩室兼研修室、押入れ、床の間、倉庫、HDWC、MWC、FWC、研修室、準備室、展示室	
休 館 日	火曜日、(休日の場合はその翌日)、12月29日から翌年1月3日 ※ 条例から変更の有無 ■有 □無		
開 館 時 間	午前9時00分 ～ 午後4時00分 ※ 条例から変更の有無 □有 ■無		
施 設 利 用 料 金	利用料金制	□採用 □採用無 ■指定管理料と併用 □指定管理料のみ	
	設定金額	展示室 一般(大学生ふくむ) 個人210円、団体160円 小学生、中学生及び高校生 個人110円、団体80円	
		研修室 1時間につき 210円 ※ 条例から変更の有無 □有 ■無	

2 指定管理者等の概要 (施設所管課記入)

指 定 管 理 者	事業者等名称	一般社団法人はなやまネットワーク		
	事務所所在地	栗原市花山字草木沢権現堂114番地		
指 定 の 期 間	令和6年4月1日～令和11年3月31日（5年間）			
指定にかかる選定方法	☒ 公募 ☐ 非公募	指定管理料	30,792,000円（ 5年間）	

3 施設管理の経過 (施設所管課記入)

期 間	管理形態	施設管理を行った団体等	摘要
平成18年9月 ~ 平成19年3月	管理委託	(株)花山地域振興公社	
平成19年4月 ~ 平成26年3月	指定管理	(株)ゆめぐり	
平成26年4月 ~ 平成31年3月	指定管理	花山地域開発株式会社	
平成31年4月 ~ 令和6年3月	指定管理	一般社団法人はなやまネットワーク	

4 施設の利用実績 (指定管理者記入)

	事業計画	実 績		計画との比率 (%)	前年度との比較 (%)
	評価対象年度 (令和6年度)	前年度 (令和5年度)	評価対象年度 (令和6年度)		
開 館 日 数	310日	316日	310日	100.0%	98.1%
利用者数(延べ人数)	9,300人	8,905人	8,449人	90.8%	94.9%
利 用 料 金 収 入	40,000円	65,720円	63,064円	157.7%	96.0%
主 な 増 減 要 因 (前 年 比)	利用者が456人減った。要因は新型コロナウイルスの影響がなくなり、観光客は都市部のイベント等に出かけるようになったことが考えられる。又、利用料金の収入増は、研修受け入れ時に花山農山村交流センターの資料館も同時に観覧していただくようにしたことが主な収入の増である。				

5 自主事業等の実績（指定管理者記入）

年月日	事業名	事業内容	対象者	参加者数
令和6年6月21日	研修	住み慣れた地域で暮らし続けるための取組	奥州市社会福祉協議会	20人
令和6年7月12日	研修	地域運営組織の取組	福島県一 葛尾むらづくり公社	4人
令和6年8月31日	研修	各種プロジェクト、乗合デマンド交通の内容と課題	青森県一 平川市西地区まちづくり委員会	10人
令和6年11月6日	研修	花山地区「小さな拠点」づくりに向けた取り組み	栃木県鹿沼市自治会連合会	54人
令和7年1月22日	研修	地域住民と地域おこし協力隊員との協力・連携体制取組	青森県弘前市相馬地区地域おこし協力隊活動応援協議会	11人

6 施設の管理運営における課題（指定管理者、施設所管課記入）

指定管理者（指定管理者記入）	市（施設所管課記入）
・そば打ち体験教室の指導者が亡くなり、花山地区内にあるそば店に依頼し実施している。土・日曜日に実施できないため、そば打ち体験教室が大幅に減った。 ・施設の老朽によって故障や破損が多くなってきている。交換部品が製造中止になり苦慮している。	・そば打ち以外の地域文化体験の実施を検討されるとともに、後継者の発見および育成に努められたい。 ・施設の修繕については、危険性と緊急性の両面から優先度を設定して対応していく。

7 施設利用者からの主な意見等とその対応状況（指定管理者記入）

施設利用者からの主な意見等	対応状況等
男子トイレの手洗いを修繕してほしいと意見がある。	栗原市に要望していると回答。

8 総合的な評価（指定管理者、施設所管課記入）

評価項目	指定管理者の自己評価		市の評価		改善 勧告
	評価	コメント	評価	コメント	
(1) 基本的な方針に基づく管理・運営体制	A		A		
① 施設の管理運営に必要な人員及び有資格者等を計画どおり適切に配置しているか。	A		A	適正であると認めます。	
② 指定管理業務に必要な知識及びサービスの向上のため、研修等人材育成に努めているか。	A	旧花山村の歴史・文化を紹介する施設であるので知識向上に努めている。	A	研修等継続して取り組まれたい。	
③ 通常の安全管理や緊急時の対応について、職員が適切に行える環境を整備しているか。	A	防災訓練を年2回実施。	A	緊急時の対応については常に周知徹底を図られたい。	
④ 各業務日誌等の管理記録を適切に整備・保管しているか。	A		A	適正であると認めます。	
⑤ 個人情報取り扱い及び保護の対策について適切に行われているか。	A		A	適正であると認めます。	
⑥ 法令等を遵守し、市と締結している協定に基づいた管理・運営を遂行しているか。	A		A	適正であると認めます。	
(2) 施設管理の状況	A		A		
① 市の承認した内容に基づき、施設の開館及び利用時間、利用料金設定を遵守しているか。	A		A	適正であると認めます。	
② 施設内、設備等の清掃及び保守点検等を適切に行い、良好な施設環境を維持しているか。	A	毎週、休館日に掃除を依頼している。	A	適正であると認めます。	
③ 協定に基づき施設設備や備品等の適切な修繕対応を行っているか。	A		A	適正であると認めます。	
④ 設備維持と事故等防止のため、必要な専門的点検を実施し安全確認を行っているか。	A		A	適正であると認めます。	
(3) 利用者へのサービス提供と満足度	A		A		
① 利用者の利便性を意識した迅速な利用許可手続きや施設情報の提供を行っているか。	A		A	ホームページ、SNSを活用されPRIに努められたい。	
② 利用者アンケート等により利用者の意見を把握し反映する取り組みを行ったか。	A		A	利用者の声を聞くため、継続的に実施されたい。	
③ 要望及び苦情等に対する対応が十分になされたか。	A		A	要望及び苦情等には真摯に対応されたい。	
④ 施設の目的を活かし利用者の充実のため新たな取り組みを実施したか。	A		A	企画展、新イベントなど、多角的に検討されたい。	
⑤ モニタリング・アンケートの結果、利用者の満足が得られていたか。	A		A	適正であると認めます。	
⑥ 利用者に対し職員の対応、身なり等は適切であるか。	A		A	適正であると認めます。	
(4) 運営の状況（収支の実績等）	A		A		
① 収支計画及び事業計画と比較し実績の状況は妥当であるか。	B	観光客が激減しており、観覧車が増えている。	B	効果的な集客の方法を検討されたい。	
② 積極的に収入の創出（増）に努め、又収入の増加に繋がる具体的な取り組みがあったか。	B	研修の受け入れを積極的に実施した。	A	研修の受け入れの努力を認めます。	
③ 積極的に経費縮減に努め、又具体的に経費の縮減が図られた実績が見られるか。	S	草刈・植木選定を職員で実施。又、除雪も同様に職員が実施した。	S	経費縮減の努力を認めます。	
④ 指定管理業務における専用口座及び諸帳簿等を備え適正な経理が行われているか。	A		A	適正であると認めます。	

総合評価	指定管理者の自己評価（指定管理者記入）	評価	市の評価（施設所管課記入）	評価
	＜指定管理者の所見＞ ・研修の受け入れを積極的に行ったことで、利用料金の増に繋がっている。令和5年度、6団体であったが令和6年度は13団体となっている。	A	＜施設所管課の所見＞ 新型コロナウイルス対策が緩和され、観光客が都市部に集中している厳しい状況ではあるが、綿密な事業の計画や積極的な研修の受け入れ等の経営努力により収支は黒字を維持している。 課題の集客であるが、研修の実施やホームページの活用等に継続して取り組まれるとともに、新たな事業の企画等で利用者数の増加に努められたい。	A

別紙様式6

指定管理者制度導入施設の管理運営に関する評価票(評価対象年度:令和6年度)

施設 の 名 称	栗原市若柳特産物直売センター
施設 所 管 部 署 名	農林振興部農政園芸課

1 評価対象施設の概要 (施設所管課記入)

施設名称	栗原市若柳特産物直売センター		
施設所在地	栗原市若柳字川北塚ノ根27番地1		
設置年月	平成23年7月	設置根拠条例	栗原市特産物直売センター条例
設置目的	農林業の振興及び地域資源の活用を促進するとともに、都市住民等との交流を行い、地域の活性化を図るため。		
施設概要	面積	延床面積 323.78㎡、 敷地面積 1, 829㎡	
	構造	木造1階	
	施設内容	直売所、加工室	
休館日	1月1日から1月3日 ※ 条例から変更の有無 ☒ 有 ☐ 無		
開館時間	午前 9時00分 ~ 午後 5時 00分 ※ 条例から変更の有無 ☒ 有 ☐ 無		
施設利用料金	利用料金制	☒ 採用 ☐ 採用無 ☐ 指定管理料と併用 ☐ 指定管理料のみ	
	設定金額	販売棚 利用する区画ごとの1月当たりの販売実績に100分の25を乗じて得た額(その額に100円未満の端数があるときは、これを切り捨てた額) ※ 条例から変更の有無 ☐ 有 ☒ 無	

2 指定管理者等の概要 (施設所管課記入)

指 定 管 理 者	事業者等名称	栗原市若柳地区農産物直売所くりでん出荷組合		
	事務所所在地	栗原市若柳字川北塚ノ根27番地1		
指 定 の 期 間	令和4年 4月 1日～ 令和9年 3月 31日（5年間）			
指定にかかる選定方法	☐ 公募 ☒ 非公募	指定管理料	0円（ 年間）	

3 施設管理の経過 (施設所管課記入)

期 間	管理形態	施設管理を行った団体等	摘要
平成24年4月 ~ 令和4年3月	指定管理	栗原市若柳地区農産物直売所くりでん出荷組合	令和4年更新
年 月 ~ 年 月			
年 月 ~ 年 月			

4 施設の利用実績 (指定管理者記入)

	事業計画	実 績		計画との比率 (%)	前年度との比較 (%)
	評価対象年度 (令和6年度)	前年度 (令和5年度)	評価対象年度 (令和6年度)		
開 館 日 数	361日	361日	361日	100.0%	100.0%
利用者数(延べ人数)	50,000人	40,605人	43,980人	88.0%	108.3%
利 用 料 金 収 入	16,000,000円	12,757,913円	16,924,568円	105.8%	132.7%
主 な 増 減 要 因 (前 年 比)	新規組合員加入により品数が増えたため、利用客が増加した。				

5 自主事業等の実績（指定管理者記入）

年月日	事業名	事業内容	対象者	参加者数
なし				

6 施設の管理運営における課題（指定管理者、施設所管課記入）

指定管理者（指定管理者記入）	市（施設所管課記入）
・天候不順による商品不足があった時の対策。 ・高齢化や法改正による漬物生産者の減少。 ・施設の老朽化対策 （店内照明・給湯器・外壁・消防設備等） ・物価高騰対策	比較的天候に左右されにくい加工品や季節外の野菜等を積極的に取り入れ、多彩な売り場づくりに努められたい。 引き続き施設や機械備品等は日常点検を適時行い、異常が発見され次第、報告をいただきたい。 施設の修繕については、危険性と緊急性の両面から優先度を設定して対応していく。

7 施設利用者からの主な意見等とその対応状況（指定管理者記入）

施設利用者からの主な意見等	対応状況等
商品が少ない	生産者へのメールや電話連絡
施設の老朽化	その都度業者へ見積依頼し、市へ提出相談
野菜等が新鮮で安い	近隣商店より少し価格を抑えた金額を生産者に提案
旬のものが手に入る	SNSや店内POPで旬のものを案内

8 総合的な評価（指定管理者、施設所管課記入）

評価項目	指定管理者の自己評価		市の評価		改善 勧告
	評価	コメント	評価	コメント	
(1) 基本的な方針に基づく管理・運営体制	A		A		
① 施設の管理運営に必要な人員及び有資格者等を計画どおり適切に配置しているか。	A	適正に実施している	A	適正であると認めます。	
② 指定管理業務に必要な知識及びサービスの向上のため、研修等人材育成に努めているか。	A	適正に実施している	A	経営力向上、商品力向上のための人材育成は積極的に取組まれたい。	
③ 通常の安全管理や緊急時の対応について、職員が適切に行える環境を整備しているか。	A	適正に実施している	A	自然災害が増えているため、緊急時の行動計画を定め、職員に周知徹底されたい。	
④ 各業務日誌等の管理記録を適切に整備・保管しているか。	A	適正に実施している	A	適正であると認めます。	
⑤ 個人情報の取り扱い及び保護の対策について適切に行われているか。	A	適正に実施している	A	適正であると認めます。	
⑥ 法令等を遵守し、市と締結している協定に基づいた管理・運営を遂行しているか。	A	適正に実施している	A	適正であると認めます。	
(2) 施設管理の状況	A		A		
① 市の承認した内容に基づき、施設の開館及び利用時間、利用料金設定を遵守しているか。	A	適正に実施している	A	適正であると認めます。	
② 施設内、設備等の清掃及び保守点検等を適切に行い、良好な施設環境を維持しているか。	A	適正に実施している	A	施設内設備に異常があった際には、適宜、市に報告されている。	
③ 協定に基づき施設設備や備品等の適切な修繕対応を行っているか。	A	適正に実施している	A	適正であると認めます。	
④ 設備維持と事故等防止のため、必要な専門的点検を実施し安全確認を行っているか。	A	適正に実施している	A	適正であると認めます。	
(3) 利用者へのサービス提供と満足度	A		A		
① 利用者の利便性を意識した迅速な利用許可手続きや施設情報の提供を行っているか。	A	適正に実施している	A	チラシのみではなくSNSを活用して広報活動に取り組んでいる。	
② 利用者アンケート等により利用者の意見を把握し反映する取り組みを行ったか。	A	適正に実施している	A	適正であると認めます。	
③ 要望及び苦情等に対する対応が十分になされたか。	A	適正に実施している	A	適正であると認めます。	
④ 施設の目的を活かし利用者の充実のため新たな取り組みを実施したか。	A	適正に実施している	A	適正であると認めます。	
⑤ モニタリング・アンケートの結果、利用者の満足が得られていたか。	A	適正に実施している	A	適正であると認めます。	
⑥ 利用者に対し職員の対応、身なり等は適切であるか。	A	適正に実施している	A	適正であると認めます。	
(4) 運営の状況（収支の実績等）	A		A		
① 収支計画及び事業計画と比較し実績の状況は妥当であるか。	A	適正に実施している	A	前年度よりも収入が増加している。	
② 積極的に収入の創出（増）に努め、又収入の増加に繋がる具体的な取り組みがあったか。	A	適正に実施している	A	今後も季節事業や周辺施設との連携事業に取り組まれたい。	
③ 積極的に経費縮減に努め、又具体的に経費の縮減が図られた実績が見られるか。	A	適正に実施している	A	適正であると認めます。	
④ 指定管理業務における専用口座及び諸帳簿等を備え適正な経理が行われているか。	A	適正に実施している	A	適正であると認めます。	

総合 評価	指定管理者の自己評価（指定管理者記入）	評価	市の評価（施設所管課記入）	評価
	<指定管理者の所見> ・商品確保、販売に日々努力している。（SNS、店内POP） ・SNS発信、地道な声掛け等で組合員の増加を図っている。（7名増） ・老朽箇所を工夫して、修繕に取り組んでいる。	A	<施設所管課の所見> SNSの活用や地域住民への声掛けにより、組合員数や収入の増加等、積極的な広報活動による効果が現れている。引き続き、物価高騰や商品不足に対する創意工夫に取り組み、経営の安定化を図られたい。	A

別紙様式6

指定管理者制度導入施設の管理運営に関する評価票(評価対象年度:令和6年度)

施設の名 称	栗原市瀬峰特産物直売センター
施設所管部署名	農林振興部 農政園芸課

1 評価対象施設の概要 (施設所管課記入)

施設名称	栗原市瀬峰特産物直売センター		
施設所在地	栗原市瀬峰下田185番地1		
設置年月	平成10年11月	設置根拠条例	栗原市特産物直売センター条例
設置目的	農林業の振興及び地域資源の活用を促進するとともに、都市住民等との交流を行い、地域の活性化を図るため。		
施設概要	面積	延床面積 21.53㎡、 敷地面積 21.53㎡	
	構造	木造1階	
	施設内容	野菜販売棚、即売棚、カウンター、便所	
休館日	日曜日、月曜日、火曜日、木曜日及び金曜日、12月31日から翌年1月3日 ※ 条例から変更の有無 ☐ 有 ☒ 無		
開館時間	午前9時00分 ~ 午後7時00分 ※ 条例から変更の有無 ☐ 有 ☒ 無		
施設利用料金	利用料金制	☒ 採用 ☐ 採用無 ☐ 指定管理料と併用 ☐ 指定管理料のみ	
	設定金額	食品 1月につき5,390円(1日につき110円加算) 雑貨 1月につき5,390円(1日につき110円加算) 構築物等 1㎡あたり1月につき140円 露店 1㎡あたり1月につき140円	
		※ 条例から変更の有無 ☐ 有 ☒ 無	

2 指定管理者等の概要 (施設所管課記入)

指 定 管 理 者	事業者等名称	瀬峰旬の市会		
	事務所所在地	栗原市瀬峰下田185番地1		
指 定 の 期 間	令和6年4月1日～令和11年3月31日（5年間）			
指定にかかる選定方法	☐ 公募 ☒ 非公募	指定管理料	0 円 （ 年間）	

3 施設管理の経過 (施設所管課記入)

期 間	管理形態	施設管理を行った団体等	摘要
平成18年4月 ~ 令和11年3月	指定管理	瀬峰旬の市会	H21.26.R6更新
年 月 ~ 年 月			
年 月 ~ 年 月			

4 施設の利用実績 (指定管理者記入)

	事業計画	実 績		計画との比率 (%)	前年度との比較 (%)
	評価対象年度 (令和6年度)	前年度 (令和5年度)	評価対象年度 (令和6年度)		
開 館 日 数	102日	102日	102日	100.0%	100.0%
利用者数(延べ人数)	4,000人	3,600人	3,554人	88.9%	98.7%
利 用 料 金 収 入	425,000円	338,621円	351,820円	82.8%	103.9%
主 な 増 減 要 因 (前 年 比)	会員減少と農産物の不足 農産加工を辞める人が多数 世代交代による				

5 自主事業等の実績（指定管理者記入）

年月日	事業名	事業内容	対象者	参加者数
令和6年5月1日	監査会	令和5年度収支決算監査	会員	3人
令和6年5月6日	総会	第27回総会	会員	5人
令和6年12月29日	大掃除	直売所の大掃除	会員	5人
令和7年1月8日	初売り		会員	5人
令和7年2月16日、17日	研修旅行	福島	会員	5人

6 施設の管理運営における課題（指定管理者、施設所管課記入）

指定管理者（指定管理者記入）	市（施設所管課記入）
①肥料や薬品の値上げで野菜単価を上げざるを得ない ②高齢化で会員不足 野菜不足 で大変です ③管理者も高齢化してきましたパソコン操作も大変になってきました ④米不足のため売り上げが伸びない	テラシの配布やSNSの活用等で新規会員の獲得に努められたい。米不足による影響を緩和するために、米以外の穀物や地元の特産物を積極的に取り入れ、魅力ある売り場づくりに努められたい。

7 施設利用者からの主な意見等とその対応状況（指定管理者記入）

施設利用者からの主な意見等	対応状況等
施設利用さんから階段の段差が無くなって歩きやすい	スロープを設置して転倒する人がいなくなりました
品薄ですねといわれます	会員さんが少なくなって対応に困っています
これから暑くなるので漬物や餅類は冷蔵庫で保管しては？	冷蔵庫も色々探しては見ていますがなかなか高く中古の安くて手ごろなのが見つかりません
新鮮で安いので助かっています	内税でぎりぎりの価格で頑張っています
クーラーを設置しました。	皆さんに大変喜ばれました
出来るだけ季節の野菜・山菜などを提供したい	少ないながら皆頑張っています

8 総合的な評価（指定管理者、施設所管課記入）

評価項目	指定管理者の自己評価		市の評価		改善 勧告
	評価	コメント	評価	コメント	
(1) 基本的な方針に基づく管理・運営体制	A		A		
① 施設の管理運営に必要な人員及び有資格者等を計画どおり適切に配置しているか。	B	会員が少なくアルバイト等で補う	B	少子高齢化が進む中、難題であるが、新規会員の獲得に努められたい。	
② 指定管理業務に必要な知識及びサービスの向上のため、研修等人材育成に努めているか。	A		A	適正であると認めます。	
③ 通常の安全管理や緊急時の対応について、職員が適切に行える環境を整備しているか。	A	最後の戸締りは2人で掛け声をして火の始末確認	A	災害時の行動計画を定め、対応できるようにされたい。	
④ 各業務日誌等の管理記録を適切に整備・保管しているか。	B		B	諸帳簿は適切に整備・保管されたい。	
⑤ 個人情報取り扱い及び保護の対策について適切に行われているか。	A		A	適正であると認めます。	
⑥ 法令等を遵守し、市と締結している協定に基づいた管理・運営を遂行しているか。	A		A	適正であると認めます。	
(2) 施設管理の状況	A		A		
① 市の承認した内容に基づき、施設の開館及び利用時間、利用料金設定を遵守しているか。	A		A	変更がある場合は手続きし、利用者に周知されたい。	
② 施設内、設備等の清掃及び保守点検等を適切に行い、良好な施設環境を維持しているか。	A		A	適正であると認めます。	
③ 協定に基づき施設設備や備品等の適切な修繕対応を行っているか。	A		A	適正であると認めます。	
④ 設備維持と事故等防止のため、必要な専門的点検を実施し安全確認を行っているか。	A		A	適正であると認めます。	
(3) 利用者へのサービス提供と満足度	B		B		
① 利用者の利便性を意識した迅速な利用許可手続きや施設情報の提供を行っているか。	A		A	SNSの更新及びそれ以外の情報提供にも取り組まれたい。	
② 利用者アンケート等により利用者の意見を把握し反映する取り組みを行ったか。	B	アンケート調査を怠っています	B	直接言えない声を得るためアンケートを実施されたい。	
③ 要望及び苦情等に対する対応が十分になされたか。	B	日により登板が変わり申し送りが不十分なときがある	B	要望及び苦情等には真摯に対応されたい。	
④ 施設の目的を活かし利用者の充実のため新たな取り組みを実施したか。	B	付箋を利用して黒板にはって対応	B	営業改善は常に心がけられたい。	
⑤ モニタリング・アンケートの結果、利用者の満足が得られていたか。	A	アンケート調査はしていませんが直接生の声を聞き改善しています	B	直接言えない声を得るためアンケートを実施されたい。	
⑥ 利用者に対し職員の応対、身なり等は適切であるか。	B	私服のため個人にまかせ	A	適正であると認めます。	
(4) 運営の状況（収支の実績等）	A		A		
① 収支計画及び事業計画と比較し実績の状況は妥当であるか。	B	年々減少しつつあります	A	黒字を維持しつつ、収入増に向けて取り組まれたい。	
② 積極的に収入の創出（増）に努め、又収入の増加に繋がる具体的な取り組みがあったか。	B		B	創意工夫で収入増に取り組まれたい。	
③ 積極的に経費縮減に努め、又具体的に経費の縮減が図られた実績が見られるか。	A	マイバッグ運動でレジ袋削減	A	適正であると認めます。	
④ 指定管理業務における専用口座及び諸帳簿等を備え適正な経理が行われているか。	A		A	適正であると認めます。	

総合評価	指定管理者の自己評価（指定管理者記入）		市の評価（施設所管課記入）	
	＜指定管理者の所見＞	評価	＜施設所管課の所見＞	評価
	施設の老朽化が進み、建物だけにすぎず人も高齢化になり運営するのも厳しい状況になってきています。無理をしないで健康に気をつけ持続できるように勤めて行きたいとおもいます。 試みるも新規会員になる専業農家がいまません。加工部門も少なくなってしまうマイナス要素はありません（加工部門の保健所も厳しくなりやめるひとが多く）	A	急な修繕は難しいため、常日頃の点検を欠かさず、施設の状況把握に常に努められたい。 SNSの活用や若年層を対象とした自主事業を実施することで、新規会員の獲得、後継者の確保に取り組まれたい。引き続き、地域に密着した直売所ならではの特長を生かし、安定した経営の推進に努められたい。	A

別紙様式6

指定管理者制度導入施設の管理運営に関する評価票(評価対象年度:令和6年度)

施 設 の 名 称	栗原市あやめの里
施 設 所 管 部 署 名	農林振興部 農政園芸課

1 評価対象施設の概要 (施設所管課記入)

施設名称		栗原市あやめの里		
施設所在地		栗原市一迫真坂字清水田川4番地1		
設置年月		平成12年3月	設置根拠条例	栗原市地域産物展示販売施設条例
設置目的		特用林産物、農産物等地域資源の活用及び生産を促進し、農林業者等の所得向上を図る。		
施設概要		面積	延床面積 498.41㎡、 敷地面積 2,665.94㎡	
		構造	木造1階建	
		施設内容	展示販売コーナー、事務室、荷受室、郷土料理試食室、郷土料理試作室、倉庫、デッキ	
休館日		1月から3月⇒火曜日、4月から12月⇒第1及び第3火曜日、12月31日から翌年1月3日 ※ 条例から変更の有無 ☒ 有 ☐ 無		
開館時間		午前9時30分 ~ 午後5時00分 ※ 条例から変更の有無 ☒ 有 ☐ 無		
施設利用料金		利用料金制	☒ 採用 ☐ 採用無 ☐ 指定管理料と併用 ☐ 指定管理料のみ	
		設定金額	販売行為をする場合の利用料金及び施設を設置する場合の利用料金については、栗原市地域産物展示販売施設条例第10条第2項で定める額と同じ。 ※ 条例から変更の有無 ☐ 有 ☒ 無	

2 指定管理者等の概要 (施設所管課記入)

指 定 管 理 者	事業者等名称	新みやぎ農業協同組合 (令和元年7月 栗っこ農協等5農協の合併により移行)		
	事務所所在地	栗原市築館字照越大ヶ原43番地1		
指 定 の 期 間	令和6年4月1日～ 令和11年3月31日 (5年間)			
指定にかかる選定方法	☐ 公募 ☒ 非公募	指定管理料	0円 (年間)	

3 施設管理の経過 (施設所管課記入)

期 間	管理形態	施設管理を行った団体等	摘要
平成17年4月 ~ 平成18年8月	管理委託	栗っこ農業協同組合	
平成18年9月 ~ 平成31年3月	指定管理	栗っこ農業協同組合	H21.26更新
平成31年4月 ~ 令和6年3月	指定管理	新みやぎ農業協同組合	

4 施設の利用実績 (指定管理者記入)

	事業計画	実 績		計画との比率 (%)	前年度との比較 (%)
	評価対象年度 (令和6年度)	前年度 (令和5年度)	評価対象年度 (令和6年度)		
開 館 日 数	336日	336日	332日	98.8%	98.8%
利用者数(延べ人数)	60,000人	58,270人	56,352人	93.9%	96.7%
利 用 料 金 収 入	18,330,000円	22,458,256円	20,373,310円	111.1%	90.7%
主 な 増 減 要 因 (前 年 比)	生産力・出荷力の低下による集約化や品揃えの悪化				

5 自主事業等の実績（指定管理者記入）

年月日	事業名	事業内容	対象者	参加者数
通年	地域物産販売	地域産物販売	地域住民および観光客など	56,352人

6 施設の管理運営における課題（指定管理者、施設所管課記入）

指定管理者（指定管理者記入）	市（施設所管課記入）
納入組合員の高齢化の影響により生産力・出荷力の低下による集約力や品揃えの悪化、同様の影響で利用客の減少することによる販売量が減少することによる販売高が減少しており、利用者のニーズを捉えながら、品質の良い商品を提供できるよう努めていきたい。	チラシの配布やSNSの活用等で、若年層を中心に組合員の新規獲得に努められたい。アンケート調査や顧客との意見交換を実施することで、フィードバックを繰り返しながら利用者のニーズを把握し、より魅力的な売り場づくりを設計されるよう努められたい。

7 施設利用者からの主な意見等とその対応状況（指定管理者記入）

施設利用者からの主な意見等	対応状況等

8 総合的な評価（指定管理者、施設所管課記入）

評価項目	指定管理者の自己評価		市の評価		改善 勧告
	評価	コメント	評価	コメント	
(1) 基本的な方針に基づく管理・運営体制	A		A		
① 施設の管理運営に必要な人員及び有資格者等を計画どおり適切に配置しているか。	A		A	適正であると認めます。	
② 指定管理業務に必要な知識及びサービスの向上のため、研修等人材育成に努めているか。	A		A	利用者が気持ちよく利用できるよう、研修等は適時実施されたい。	
③ 通常の安全管理や緊急時の対応について、職員が適切に行える環境を整備しているか。	A		A	緊急時の行動計画は周知徹底を図られたい。	
④ 各業務日誌等の管理記録を適切に整備・保管しているか。	A		A	適正であると認めます。	
⑤ 個人情報取り扱い及び保護の対策について適切に行われているか。	A		A	適正であると認めます。	
⑥ 法令等を遵守し、市と締結している協定に基づいた管理・運営を遂行しているか。	A		A	適正であると認めます。	
(2) 施設管理の状況	A		A		
① 市の承認した内容に基づき、施設の開館及び利用時間、利用料金設定を遵守しているか。	A		A	適正であると認めます。	
② 施設内、設備等の清掃及び保守点検等を適切に行い、良好な施設環境を維持しているか。	A		A	日常管理を適切に行われたい。	
③ 協定に基づき施設設備や備品等の適切な修繕対応を行っているか。	A		A	日常管理を適切に行われたい。	
④ 設備維持と事故等防止のため、必要な専門的点検を実施し安全確認を行っているか。	A		A	引き続き徹底的な安全確認を行われたい。	
(3) 利用者へのサービス提供と満足度	A		A		
① 利用者の利便性を意識した迅速な利用許可手続きや施設情報の提供を行っているか。	A		A	SNS等を活用し、利用者数増加のため積極的に宣伝されたい。	
② 利用者アンケート等により利用者の意見を把握し反映する取り組みを行ったか。	C	アンケート等配置しているが未記入	C	アンケート結果はよく分析、改善の参考にされたい。	
③ 要望及び苦情等に対する対応が十分になされたか。	A		A	適正であると認めます。	
④ 施設の目的を活かし利用者の充実のため新たな取り組みを実施したか。	A		A	魅力ある新規事業を適時実施されたい。	
⑤ モニタリング・アンケートの結果、利用者の満足が得られていたか。	B		B	利用者の要望を反映するよう努められたい。	
⑥ 利用者に対し職員の対応、身なり等は適切であるか。	A		A	適正であると認めます。	
(4) 運営の状況（収支の実績等）	A		A		
① 収支計画及び事業計画と比較し実績の状況は妥当であるか。	B	利用料金収入は事業計画を達成できなかった	B	収入増、経費削減の取り組みを計画的に実施されたい。	
② 積極的に収入の創出（増）に努め、又収入の増加に繋がる具体的な取り組みがあったか。	A		A	集客力向上につながる自主事業を適時実施されたい。	
③ 積極的に経費削減に努め、又具体的に経費の削減が図られた実績が見られるか。	B		A	創意工夫で経費削減に努められたい。	
④ 指定管理業務における専用口座及び諸帳簿等を備え適正な経理が行われているか。	A		A	部門毎の経理を確認、適正に実施されたい。	

総合評価	指定管理者の自己評価（指定管理者記入）	評価	市の評価（施設所管課記入）	評価
	<指定管理者の所見>	A	<施設所管課の所見>	A
	利用者数は、令和4年度と比較すると、△6,349人（対比89.9%）令和5年度比較△1,918人（96.7%）と年々減少傾向にあります。また、収入面では、食堂の停止等が大きな要因として挙げられます。 コロナ禍が終息した中で、各種イベントに取り組み、お客様の満足感や品揃えを充実し安全・安心な農産物を提供してまいります。		利用者数の減少傾向が見られるため、利用者の意見の反映や新規事業への積極的な取組等を実施し、集客の拡大に努められたい。 引き続き、節電、節水等の経費の削減に取り組み、より効率的な経営に取り組まれたい。	

別紙様式6

指定管理者制度導入施設の管理運営に関する評価票(評価対象年度:令和6年度)

施設の名 称	栗原市湖畔のみせ旬彩
施設所管部署名	農林振興部 農政園芸課

1 評価対象施設の概要 (施設所管課記入)

施設名称	栗原市湖畔のみせ旬彩		
施設所在地	栗原市花山字本沢合道46番地の5		
設置年月	平成13年4月	設置根拠条例	栗原市地域産物展示販売施設条例
設置目的	栗原市の豊かな森林資源を利用して生産される特用林産物や花木を農水産物として展示販売し、農林水産物の生産・販売量の拡大を促進して林業等の活性化を図り、生産活動の安定化及び林業従事者の所得の向上を図る。		
施設概要	面積	延床面積 220.00㎡、敷地面積 2,256.06㎡	
	構造	木造1階	
	施設内容	展示即売コーナー、地域産物試作・試食室、作業室、事務室	
休館日	11月20日から翌年3月31日まで ※ 条例から変更の有無 ☒ 有 ☐ 無		
開館時間	午前10時00分 ～ 午後4時00分 ※ 条例から変更の有無 ☒ 有 ☐ 無		
施設利用料金	利用料金制	☒ 採用 ☐ 採用無 ☐ 指定管理料と併用 ☐ 指定管理料のみ	
	設定金額	年額 188,570円 ※ 条例から変更の有無 ☐ 有 ☒ 無	

2 指定管理者等の概要 (施設所管課記入)

指 定 管 理 者	事業者等名称	一般社団法人はなやまネットワーク		
	事務所所在地	栗原市花山字草木沢権現堂114番地		
指 定 の 期 間	令和4年4月1日～令和9年3月31日（5年間）			
指定にかかる選定方法	☐ 公募 ☒ 非公募	指定管理料	円（ 年間）	

3 施設管理の経過 (施設所管課記入)

期 間	管理形態	施設管理を行った団体等	摘要
平成18年9月 ~ 平成23年8月	指定管理	花山特産品即売所利用組合	
平成24年4月 ~ 平成27年3月	指定管理	株式会社東北ダイケン	
平成28年4月 ~ 平成31年3月	指定管理	株式会社花山サンゼット	
平成31年4月 ~ 令和4年3月	指定管理	一般社団法人はなやまネットワーク	R4更新

4 施設の利用実績 (指定管理者記入)

	事業計画	実 績		計画との比率 (%)	前年度との比較 (%)
	評価対象年度 (令和6年度)	前年度 (令和5年度)	評価対象年度 (令和6年度)		
開 館 日 数	100日	103日	98日	98.0%	95.1%
利用者数(延べ人数)	6,800人	5,962人	6,023人	88.6%	101.0%
利 用 料 金 収 入	3,606,000円	3,867,501円	3,824,710円	106.1%	98.9%
主 な 増 減 要 因 (前 年 比)	利用者は前年より61人増えたが、食事をする観光客は減少した。 利用者の実績は、カフェ利用者と販売及び施設見学、トイレの利用者の総人数である。				

5 自主事業等の実績（指定管理者記入）

年月日	事業名	事業内容	対象者	参加者数
令和6年4月20日～29日	湖畔のみせ旬彩再開記念屋台	花山産岩魚の塩焼と山菜の販売	市民等	384人
令和6年6月22日～11月25日	オレンジカフェ「どんぐり」	認知症カフェの開催	市民等	194人
令和6年5月3日～5月26日	復興屋台	山菜・シイタケ・イワナの販売	市民等	727人
令和6年7月7日～7月28日	夏の感謝屋台	カキ氷・イワナの販売	市民等	263人
令和6年10月6日～10月27日	秋の感謝屋台	桃・リンゴ・菌床マイタケ・原木マイタケ・イワナの販売。	市民等	622人
令和6年10月13日	はなやまマルシェ	桃・リンゴ・菌床マイタケ・原木マイタケ・イワナの販売。	市民等	120人
令和6年11月23日～24日	イワナ祭り	イワナ塩焼きの販売	市民等	580人

6 施設の管理運営における課題（指定管理者、施設所管課記入）

指定管理者（指定管理者記入）	市（施設所管課記入）
・東日本大震災による放射能の影響で特用林産物である山菜の一部、天然キノコの販売が出来ない。 ・秋の感謝屋台で菌床マイタケ・原木マイタケの入荷が異常気候の影響で少なかった。 ・旬彩でなければ購入できない品物を用意できるかどうか。 ・花山地区に観光客が来ていない。	・放射能、新型コロナウイルス等、見えないものに制約されるが、できることから努力されたい。 ・SNSの活用や新聞・チラシ、目を引く案内看板、道の駅、花山青少年旅行村と連携した周知方法等を模索されたい。 ・旬彩でしか買えない特別感のある商品の他、旬彩独自のサービスなど、多角的な視点から模索されたい。

7 施設利用者からの主な意見等とその対応状況（指定管理者記入）

施設利用者からの主な意見等	対応状況等
認知症カフェで花山湖を眺ながらのケーキセットを食べて、お話をしたり、懐かしのフォークソングや民謡ミニコンサートを楽しむことができた。	オレンジカフェを引き続き開催する。
展示・販売コーナーで山菜・天然キノコを販売してほしいと多数のお客様より要望があった。10年も経過しているのにまだ販売できないのか。	福島第一原発事故の影響で販売できない旨を説明し、理解していただいている。非破壊式放射能測定を実施し、一部販売できるようになったが、限られた種類であることなどを説明。
異常気象による夏の気温が高かったことで、物販コーナーにエアコンは設置要望が多くあった。	指定管理施設であることを説明し、栗原市に要望すると回答。

8 総合的な評価（指定管理者、施設所管課記入）

評価項目	指定管理者の自己評価		市の評価		改善 勧告
	評価	コメント	評価	コメント	
(1) 基本的な方針に基づく管理・運営体制	A		A		
① 施設の管理運営に必要な人員及び有資格者等を計画どおり適切に配置しているか。	A		A	適正であると認めます。	
② 指定管理業務に必要な知識及びサービスの向上のため、研修等人材育成に努めているか。	A		A	接客・経営・運営まで多角的に研修に努められたい。	
③ 通常の安全管理や緊急時の対応について、職員が適切に行える環境を整備しているか。	A	防災訓練を年2回実施。	A	適正であると認めます。	
④ 各業務日誌等の管理記録を適切に整備・保管しているか。	A		A	各種記録は運営改善に生かされたい。	
⑤ 個人情報の取り扱い及び保護の対策について適切に行われているか。	A		A	適正であると認めます。	
⑥ 法令等を遵守し、市と締結している協定に基づいた管理・運営を遂行しているか。	A		A	適正であると認めます。	
(2) 施設管理の状況	A		A		
① 市の承認した内容に基づき、施設の開館及び利用時間、利用料金設定を遵守しているか。	A		A	適正であると認めます。	
② 施設内、設備等の清掃及び保守点検等を適切に行い、良好な施設環境を維持しているか。	A		A	適正であると認めます。	
③ 協定に基づき施設設備や備品等の適切な修繕対応を行っているか。	A		A	適正であると認めます。	
④ 設備維持と事故等防止のため、必要な専門的点検を実施し安全確認を行っているか。	A		A	適正であると認めます。	
⑤ 市内業者の活用や地元雇用の促進など、地域振興に寄与する提案があるか。	A	認知症カフェを開催した。	A	今後も積極的に地域に関わりながら運営に努められたい。	
⑥ 地域と連携した事業の実施や、地域活動への参加等による地域貢献の取組みが提案されているか。	A		A	今後も積極的に地域に関わりながら運営に努められたい。	
(3) 利用者へのサービス提供と満足度	A		A		
① 利用者の利便性を意識した迅速な利用許可手続きや施設情報の提供を行っているか。	A	販売目的の施設であり、常に口頭で聞き取りを行っている。	A	意見の収集は幅広く行われたい。	
② 利用者アンケート等により利用者の意見を把握し反映する取り組みを行ったか。	A	利用者アンケート用紙を設けている。	A	適正であると認めます。	
③ 要望及び苦情等に対する対応が十分になされたか。	A		A	要望及び苦情等には真摯に対応されたい。	
④ 施設の目的を活かし利用者の充実のため新たな取り組みを実施したか。	A	季節ごとに屋台を設置し楽しんでいただいた。	A	地域の特性を生かした事業、商品開発に努められたい。	
⑤ モニタリング・アンケートの結果、利用者の満足が得られていたか。	A		A	適正であると認めます。	
⑥ 利用者に対し職員の応対、身なり等は適切であるか。	A		A	適正であると認めます。	
(4) 運営の状況（収支の実績等）	A		A		
① 収支計画及び事業計画と比較し実績の状況は妥当であるか。	A		A	適正であると認めます。	
② 積極的に収入の創出（増）に努め、又収入の増加に繋がる具体的な取り組みがあったか。	A	はなやまマルシェを開催、初めてイワナ祭りを開催した。	A	事業の実施から結果まで精査され、次の事業立案に生かされたい。	
③ 積極的に経費縮減に努め、又具体的に経費の縮減が図られた実績が見られるか。	A		A	物価上昇が続いているため、効果的な経費縮減を検討されたい。	
④ 指定管理業務における専用口座及び諸帳簿等を備え適正な経理が行われているか。	A		A	適正であると認めます。	

総合評価	指定管理者の自己評価（指定管理者記入）		市の評価（施設所管課記入）	
	指定管理者の所見	評価	施設所管課の所見	評価
	新型コロナウイルスが第5類になったことで、観光客が多くなることを予想していたが、都市部で多様なイベントを開催した場所には人々は流れたようである。又、営業は赤字ではあるが従業員の整理等で赤字の縮小が図られた。 利用者の増加に繋がるイベントの開催を増やすことに努める。施設管理については、花山ダム湖の景観を損なわないよう管理に心がけており、利用者からは好評をいただいている。 今後も利用者の声に耳を傾けながら管理いたします。	A	物価や光熱水費の高騰が続く、厳しい状況であるが、人件費や事業費を節減する等、効率的な経営の効果がみられ、昨年度と比較して大幅な赤字の解消が図られた。引き続き新規顧客の獲得や、リピーターの確立など収入面の増加について検討するよう取り組まされたい。施設管理については、今後も利用者にとって快適な環境づくりに努められたい。	A

別紙様式6

指定管理者制度導入施設の管理運営に関する評価票(評価対象年度:令和6年度)

施 設 の 名 称	栗原市金成農村環境改善センター
施 設 所 管 部 署 名	農林振興部 農政園芸課

1 評価対象施設の概要 (施設所管課記入)

施 設 名 称	栗原市金成農村環境改善センター		
施 設 所 在 地	栗原市金成沢辺町沖200番地1		
設 置 年 月	平成3年7月	設置根拠条例	栗原市農村環境改善センター条例
設 置 目 的	市における農林畜産業等産業の振興、保険、福祉、教養及び知識の向上並びに住民生活の改善を図るとともに、地域の連帯感を高め、農村の環境整備を組織的に推進するため。		
施 設 概 要	面 積	延床面積 618.2㎡、 敷地面積 706.8㎡	
	構 造	鉄筋コンクリート造 1階	
	施設内容	農事研修室、創製作室、農産加工室	
休 館 日	12月29日から翌年1月3日まで ※ 条例から変更の有無 ☐ 有 ☒ 無		
開 館 時 間	午前9時00分 ～ 午後10時00分 ※ 条例から変更の有無 ☐ 有 ☒ 無		
施 設 利 用 料 金	利用料金制	☒ 採用 ☐ 採用無 ☐ 指定管理料と併用 ☐ 指定管理料のみ	
	設定金額	生活改善研修室 1時間あたり 290円、10時間以上の場合 2,900円 農事研修室 1時間あたり 180円、10時間以上の場合 1,800円 創製作室 1時間あたり 250円、10時間以上の場合 2,500円 農事情報室 1時間あたり 140円、10時間以上の場合 1,400円 会議室 1時間あたり 140円、10時間以上の場合 1,400円 ※ 条例から変更の有無 ☒ 有 ☐ 無	

2 指定管理者等の概要 (施設所管課記入)

指 定 管 理 者	事業者等名称	新みやぎ農業協同組合		
	事務所所在地	栗原市築館字照越大ヶ原43－1		
指 定 の 期 間	令和6年4月1日～令和11年3月31日（5年間）			
指定にかかる選定方法	☐ 公募	☒ 非公募	指定管理料	0円（ 年間）

3 施設管理の経過 (施設所管課記入)

期 間	管理形態	施設管理を行った団体等	摘要
平成17年4月 ~ 平成18年8月	管理委託	栗っこ農業協同組合	
平成18年9月 ~ 令和6年3月	指定管理	新みやぎ農業協同組合	H21.26更新

4 施設の利用実績 (指定管理者記入)

	事業計画	実 績		計画との比率 (%)	前年度との比較 (%)
	評価対象年度 (令和6年度)	前年度 (令和5年度)	評価対象年度 (令和6年度)		
開 館 日 数	241日	241日	241日	100.0%	100.0%
利用者数(延べ人数)	1,000人	1,198人	1,268人	126.8%	105.8%
利 用 料 金 収 入	0円	0円	0円	—	—
主 な 増 減 要 因 (前 年 比)	イベントおよび会議等の開催時の参加者が増加し計画利用を上回った。				

5 自主事業等の実績（指定管理者記入）

年月日	事業名	事業内容	対象者	参加者数
なし				

6 施設の管理運営における課題（指定管理者、施設所管課記入）

指定管理者（指定管理者記入）	市（施設所管課記入）
電気料やガス代の高騰による費用増が懸念される。修繕箇所が多くある。特に雨漏りに苦慮している。	節電等に努めるとともに、利用料金収入による経営改善を検討されたい。 施設の修繕については、危険性と緊急性の両面から優先度を設定して対応していく。

7 施設利用者からの主な意見等とその対応状況（指定管理者記入）

施設利用者からの主な意見等	対応状況等
雨漏りの修繕はしないのか。	市と修繕について話をしているところ。

8 総合的な評価（指定管理者、施設所管課記入）

評価項目	指定管理者の自己評価		市の評価		改善 勧告
	評価	コメント	評価	コメント	
(1) 基本的な方針に基づく管理・運営体制	A		A		
① 施設の管理運営に必要な人員及び有資格者等を計画どおり適切に配置しているか。	A		A	適正であると認めます。	
② 指定管理業務に必要な知識及びサービスの向上のため、研修等人材育成に努めているか。	A		A	機器管理、施設管理等研修に努められたい。	
③ 通常の安全管理や緊急時の対応について、職員が適切に行える環境を整備しているか。	A		A	緊急時対応マニュアルの周知徹底や行動訓練などに努められたい。	
④ 各業務日誌等の管理記録を適切に整備・保管しているか。	A		A	諸帳簿等は適切に整備・保管されたい。	
⑤ 個人情報取り扱い及び保護の対策について適切に行われているか。	A		A	適正であると認めます。	
⑥ 法令等を遵守し、市と締結している協定に基づいた管理・運営を遂行しているか。	A		A	適正であると認めます。	
(2) 施設管理の状況	A		A		
① 市の承認した内容に基づき、施設の開館及び利用時間、利用料金設定を遵守しているか。	A		A	適正であると認めます。	
② 施設内、設備等の清掃及び保守点検等を適切に行い、良好な施設環境を維持しているか。	A		A	日常管理を適切に行われたい。	
③ 協定に基づき施設設備や備品等の適切な修繕対応を行っているか。	A		A	日常管理を適切に行われたい。	
④ 設備維持と事故等防止のため、必要な専門的点検を実施し安全確認を行っているか。	A		A	適正であると認めます。	
(3) 利用者へのサービス提供と満足度	A		A		
① 利用者の利便性を意識した迅速な利用許可手続きや施設情報の提供を行っているか。	A		A	施設情報の提供方法について検討されたい。	
② 利用者アンケート等により利用者の意見を把握し反映する取り組みを行ったか。	B	利用者の直接意見のみでアンケートについては未実施	B	利用者の意見を聞く仕組みを構築されたい。	
③ 要望及び苦情等に対する対応が十分にされたか。	A		A	要望及び苦情等には真摯に対応されたい。	
④ 施設の目的を活かし利用者の充実のため新たな取り組みを実施したか。	B	新たな取り組みについては未実施	B	利用者の充実に向けて改善は常に取り組まれたい。	
⑤ モニタリング・アンケートの結果、利用者の満足が得られていたか。	B	アンケート未実施、利用者の不満等は特になし	B	直接言えない意見を聞く仕組みを構築されたい。	
⑥ 利用者に対し職員の対応、身なり等は適切であるか。	A		A	適正であると認めます。	
(4) 運営の状況（収支の実績等）	A		A		
① 収支計画及び事業計画と比較し実績の状況は妥当であるか。	A		A	適正であると認めます。	
② 積極的に収入の創出（増）に努め、又収入の増加に繋がる具体的な取り組みがあったか。	A		A	収入増の取り組みを検討されたい。	
③ 積極的に経費縮減に努め、又具体的に経費の縮減が図られた実績が見られるか。	A		A	適正であると認めます。	
④ 指定管理業務における専用口座及び諸帳簿等を備え適正な経理が行われているか。	A		A	適正であると認めます。	

総合 評価	指定管理者の自己評価（指定管理者記入）	評価	市の評価（施設所管課記入）	評価
	<指定管理者の所見>	A	<施設所管課の所見>	A
	・感染症拡大防止のため、手指消毒の設置やこまめな換気などに取り組みました。 ・利用者数は、計画を26.8%上回る利用となった。		新型コロナウイルス感染症拡大防止対策の行動制限が緩和され、利用者数が回復傾向にある。 物価や光熱水費の高騰が続いているが、節電、節水等の経費の削減に取り組み、より効率的な経営に取り組まれたい。	

別紙様式6

指定管理者制度導入施設の管理運営に関する評価票(評価対象年度:令和6年度)

施 設 の 名 称	栗原市一迫地区活性化センター
施 設 所 管 部 署 名	農林振興部 農政園芸課

1 評価対象施設の概要 (施設所管課記入)

施 設 名 称	栗原市一迫地区活性化センター		
施 設 所 在 地	栗原市一迫真坂字高橋20番地1		
設 置 年 月	平成5年5月	設置根拠条例	栗原市一迫地区活性化センター条例
設 置 目 的	栗原市における農林業等産業の振興及び市民の生きがい並びに健康維持を図り、農村地域の活性化の促進に寄与する。		
施 設 概 要	面 積	延床面積 718.6㎡、敷地面積 9,311.0㎡	
	構 造	鉄骨コンクリート 1階	
	施設内容	アリーナ、トレーニング兼談話室	
休 館 日	12月29日から翌年1月3日 ※ 条例から変更の有無 ☐ 有 ☒ 無		
開 館 時 間	午前9時00分 ~ 午後9時00分 ※ 条例から変更の有無 ☐ 有 ☒ 無		
施 設 利 用 料 金	利用料金制	☐ 採用 ☐ 採用無 ☒ 指定管理料と併用 ☐ 指定管理料のみ	
	設定金額	アリーナ 1時間につき 310円 アリーナ(舞台を含む) 1時間につき 310円 トレーニング兼談話室 1時間につき 210円	
		※ 条例から変更の有無 ☐ 有 ☒ 無	

2 指定管理者等の概要 (施設所管課記入)

指 定 管 理 者	事業者等名称	栗原市一迫地区老人クラブ連合会		
	事務所所在地	栗原市一迫真坂字高橋20番地1		
指 定 の 期 間	令和6年4月1日～令和11年3月31日（5年間）			
指定にかかる選定方法	☐ 公募 ☒ 非公募	指定管理料	12, 950, 000円（5年間）	

3 施設管理の経過 (施設所管課記入)

期 間	管理形態	施設管理を行った団体等	摘要
平成17年4月 ~ 平成28年3月	直営		
平成28年4月 ~ 令和11年3月	指定管理	栗原市一迫地区老人クラブ連合会	R6.3更新
年 月 ~ 年 月			

4 施設の利用実績 (指定管理者記入)

	事業計画	実 績		計画との比率 (%)	前年度との比較 (%)
	評価対象年度 (令和6年度)	前年度 (令和5年度)	評価対象年度 (令和6年度)		
開 館 日 数	359日	360日	359日	100.0%	99.7%
利用者数(延べ人数)	10,000人	10,918人	10,104人	101.0%	92.5%
利 用 料 金 収 入	159,615円	175,429円	177,134円	111.0%	101.0%
主 な 増 減 要 因 (前 年 比)	コロナウイルス感染防止対策も和らいだせいか、利用者数も定着化しており、利用料金収入も前年度より増加しています。ただ、低学年、中学生の利用については事故等防止のため、保護者の同伴をお願いする事としました。				

5 自主事業等の実績（指定管理者記入）

年月日	事業名	事業内容	対象者	参加者数
なし				

6 施設の管理運営における課題（指定管理者、施設所管課記入）

指定管理者（指定管理者記入）	市（施設所管課記入）
学生から高齢者まで、利用者は多様化しており、管理状況に関しては利用料金を含め、利用協定書に基づき事故が起きないように配慮しています。 今後も利用しやすい施設管理を行っていきますが、規模の大きい修繕に関しては、協議して頂き対応をお願い致します。	建築から30年以上経過し、経年劣化による異常が想定されるが、引き続き日常点検や保守管理等を実施し、施設の維持に努められたい。 大規模な修繕については協議されたい。

7 施設利用者からの主な意見等とその対応状況（指定管理者記入）

施設利用者からの主な意見等	対応状況等
夏場の換気が悪く、またとにかく暑い。	限られた予算内で、大型扇風機を2台購入し、利用して頂きました。
バドミントンのひもが古いので交換してほしい。	栗原市と協議し、バドミントン用ネットを3枚、購入して頂きました。
アリーナ床のラインテープを書いてほしい。	市と協議してまいります。
バドミントン用ボールのネジが不備で、うまく張れない。	利用者さんに内容を確認して対応しました。

8 総合的な評価（指定管理者、施設所管課記入）

評価項目	指定管理者の自己評価		市の評価		改善 勧告
	評価	コメント	評価	コメント	
(1) 基本的な方針に基づく管理・運営体制	A		A		
① 施設の管理運営に必要な人員及び有資格者等を計画どおり適切に配置しているか。	A		A	従業員・警備員の連携を取り円滑な受付を実施されたい。	
② 指定管理業務に必要な知識及びサービスの向上のため、研修等人材育成に努めているか。	A		A	人材育成の研修は積極的に取り組まれたい。	
③ 通常の安全管理や緊急時の対応について、職員が適切に行える環境を整備しているか。	A		A	緊急時の行動計画は周知徹底を図られたい。	
④ 各業務日誌等の管理記録を適切に整備・保管しているか。	A		A	適正であると認めます。	
⑤ 個人情報の取り扱い及び保護の対策について適切に行われているか。	A		A	適正であると認めます。	
⑥ 法令等を遵守し、市と締結している協定に基づいた管理・運営を遂行しているか。	A		A	条例、協定に基づいて事務を遂行されたい。	
(2) 施設管理の状況	A		A		
① 市の承認した内容に基づき、施設の開館及び利用時間、利用料金設定を遵守しているか。	A		A	適正であると認めます。	
② 施設内、設備等の清掃及び保守点検等を適切に行い、良好な施設環境を維持しているか。	A		A	日常管理を適切に行われたい。	
③ 協定に基づき施設設備や備品等の適切な修繕対応を行っているか。	A		A	日常管理を適切に行われたい。	
④ 設備維持と事故等防止のため、必要な専門的点検を実施し安全確認を行っているか。	A		A	適正であると認めます。	
(3) 利用者へのサービス提供と満足度	A		A		
① 利用者の利便性を意識した迅速な利用許可手続きや施設情報の提供を行っているか。	A		A	施設利用の諸注意をまとめて表示している。	
② 利用者アンケート等により利用者の意見を把握し反映する取り組みを行ったか。	A		A	アンケート結果はよく分析、改善の検討をされたい。	
③ 要望及び苦情等に対する対応が十分になされたか。	A		A	要望及び苦情等には真摯に対応されたい。	
④ 施設の目的を活かし利用者の充実のため新たな取り組みを実施したか。	—		B	新たな取り組みも積極的に実施されたい。	
⑤ モニタリング・アンケートの結果、利用者の満足が得られていたか。	A		A	気持ちよく利用される施設運営に努められたい。	
⑥ 利用者に対し職員の対応、身なり等は適切であるか。	A		A	気持ちよく利用される施設運営に努められたい。	
(4) 運営の状況（収支の実績等）	A		A		
① 収支計画及び事業計画と比較し実績の状況は妥当であるか。	A		A	利用増、経費縮減の取組を計画的に実施されたい。	
② 積極的に収入の創出（増）に努め、又収入の増加に繋がる具体的な取り組みがあったか。	—		B	施設の活用を図られたい。	
③ 積極的に経費縮減に努め、又具体的に経費の縮減が図られた実績が見られるか。	A		A	創意工夫で経費縮減に努められたい。	
④ 指定管理業務における専用口座及び諸帳簿等を備え適正な経理が行われているか。	A		A	適正であると認めます。	

総合評価	指定管理者の自己評価（指定管理者記入）	評価	市の評価（施設所管課記入）	評価
	<指定管理者の所見> 新型コロナウイルス感染防止対策も和らぎ、利用者は前年対比92.5%、利用料金は前年対比101.0%となりました。施設管理について、利用者の声に迅速に対応するように、心がけています。今後も利用者の満足向上、経費縮減に取り組み、適切な管理に努めてまいります。	A	<施設所管課の所見> 利用者数は前年度よりも減少したものの、利用料金の増加や効率的な経営により収支は黒字を維持している。今後も必要な維持管理を実施しながら、利用者の増、利用者満足の充実、経費縮減など様々な角度から経営の維持、改善に取り組まれたい。	A

別紙様式6

指定管理者制度導入施設の管理運営に関する評価票(評価対象年度:令和6年度)

施設 の 名 称	栗原市高原創造センター
施設所管部署名	農林振興部 農政園芸課

1 評価対象施設の概要 (施設所管課記入)

施 設 名 称	栗原市高原創造センター		
施 設 所 在 地	栗原市栗駒沼倉沼倉耕英東45番地		
設 置 年 月	昭和 63年 3月	設置根拠条例	栗原市高原創造センター条例
設 置 目 的	農林業の複合経営を促進し、林業者等の就労安定と地場産業の振興を図るため		
施 設 概 要	面 積	延床面積 570. 53 m ² 、 敷地面積 1,463. 69 m ²	
	構 造	木造1階	
	施設内容	和室、食堂、浴場【温泉】、作業用建物、養殖施設	
休 館 日	11月14日から翌3月31日まで 毎週水曜日 ※ 条例から変更の有無 ☒ 有 ☐ 無		
開 館 時 間	午前 9 時 00 分 ～ 午後 4 時 00 分 ※ 条例から変更の有無 ☒ 有 ☐ 無		
施 設 利 用 料 金	利用料金制	☒ 採用 ☐ 採用無 ☐ 指定管理料と併用 ☐ 指定管理料のみ	
	設定金額	入浴料 大人1人 500円 小人1人300円 休憩室(広間)1人210円 休憩室(個室)1室2,090円 ※ 条例から変更の有無 ☐ 有 ☒ 無	

2 指定管理者等の概要 (施設所管課記入)

指 定 管 理 者	事業者等名称	株式会社 ゆめぐり		
	事務所所在地	栗原市志波姫新熊谷279番地2		
指 定 の 期 間	令和 4年 4月 1日 ~ 令和 7年 3月 31日 (3年間)			
指定にかかる選定方法	☒ 公募 ☐ 非公募	指定管理料	0 円 (3年間)	

3 施設管理の経過 (施設所管課記入)

期 間	管理形態	施設管理を行った団体等	摘要
平成17年4月 ~ 平成18年8月	管理委託	栗駒山麓利用組合	
平成18年9月 ~ 令和4年3月	指定管理	栗駒山麓利用組合	H21,26,31更新
令和4年4月 ~ 令和7年3月	指定管理	株式会社 ゆめぐり	

4 施設の利用実績 (指定管理者記入)

	事業計画	実 績		計画との比率 (%)	前年度との比較 (%)
	評価対象年度 (令和 6年度)	前年度 (令和 5年度)	評価対象年度 (令和 6年度)		
開 館 日 数	171日	136日	125日	73.1%	91.9%
利用者数(延べ人数)	8,348人	3,214人	2,001人	24.0%	62.3%
利 用 料 金 収 入	652,000円	419,529円	0円	0.0%	0.0%
主 な 増 減 要 因 (前 年 比)	昨年同様8月、10月以外は休館日を設けて営業する。昨年から温泉が設備不良により、入浴許可が取れない為利用者が減少した。また、夏の猛暑天候不良により7月、8月の利用者が昨年より減少したと考えられる。				

5 自主事業等の実績（指定管理者記入）

年月日	事業名	事業内容	対象者	参加者数
8月18日	いわなつかみ取り	セントラルスポーツ事業	一般	42人

6 施設の管理運営における課題（指定管理者、施設所管課記入）

指定管理者（指定管理者記入）	市（施設所管課記入）
昨年度問題事項として上がり湯に関してご相談させていただいておりましたが、改修または修繕がされず残念に思います。それにより入浴者の受入ができず食堂のみの営業となっていました。昨年同様に施設について下記のとおり問題がありますので再度ご検討願います。 1, ポンプ等の凍結防止の為に機械室でパネルヒーターを使用し、電気代が営業しているよりも掛かるのでパネルヒーターの交換もしくは凍結防止対策を行って頂きたい。 2, 施設入口の看板の修繕（見えにくい・屋根の腐食） 3, 指定管理受託以前から実施していない作業（灯油地下タンク清掃・防火池の清掃・側溝の泥撤去等） 4, 上がり湯に関して水道配管、ミキシングタンク、薬注機等の問題の可能性があり改修または修繕を検討していただきたく。ろ過機の改修が対策として最良。 5, 受水槽の経年劣化、浄化槽の経年劣化、電気引込分電盤、経年劣化	昭和63年建設の建物で老朽化している部分や、冬期間は積雪が多く、管理に難しい面があると思われる。施設の修繕については、危険性と緊急性の両面から優先度を設定して対応していきたい。

7 施設利用者からの主な意見等とその対応状況（指定管理者記入）

施設利用者からの主な意見等	対応状況等
お風呂を早く営業して欲しい。	昨年の10月から上がり湯が保健所に不適にて営業中止、ろ過機の改修が必要となり断念。
岩魚、山菜がおいしかった。	岩魚は継続販売していく。山菜については季節より販売を継続できるように努力する。

8 総合的な評価（指定管理者、施設所管課記入）

評価項目	指定管理者の自己評価		市の評価		改善 勧告
	評価	コメント	評価	コメント	
(1) 基本的な方針に基づく管理・運営体制	A		A		
① 施設の管理運営に必要な人員及び有資格者等を計画どおり適切に配置しているか。	A	調理師免許取得者が常駐し食事の提供を行った。	A	適正であると認めます。	
② 指定管理業務に必要な知識及びサービスの向上のため、研修等人材育成に努めているか。	A		A	適正であると認めます。	
③ 通常の安全管理や緊急時の対応について、職員が適切に行える環境を整備しているか。	A	正社員1名を担当者として配置した。	A	緊急時の対応について、従業員全員で常に確認されたい。	
④ 各業務日誌等の管理記録を適切に整備・保管しているか。	A		A	各種記録の分析により、業務改善や設備保守などに役立てられたい。	
⑤ 個人情報の取り扱い及び保護の対策について適切に行われているか。	A		A	適正であると認めます。	
⑥ 法令等を遵守し、市と締結している協定に基づいた管理・運営を遂行しているか。	A		A	適正であると認めます。	
(2) 施設管理の状況	A		A		
① 市の承認した内容に基づき、施設の開館及び利用時間、利用料金設定を遵守しているか。	A	条例を遵守している。	A	適正であると認めます。	
② 施設内、設備等の清掃及び保守点検等を適切に行い、良好な施設環境を維持しているか。	A		A	適正であると認めます。	
③ 協定に基づき施設設備や備品等の適切な修繕対応を行っているか。	A		A	適正であると認めます。	
④ 設備維持と事故等防止のため、必要な専門的点検を実施し安全確認を行っているか。	A	設備維持に関して専門業者に依頼している。	A	法定点検は適時適切に実施されたい。	
⑤ 施設の設置目的である農林業の複合経営の促進の増進に向けた取り組みを行っているか。	D	自主事業の木工教室未実施。	C	木工教室に限らず、新規事業の更なる検討を願う。	
⑥ 地場産業の振興の増進に向けた取り組みを行っているか。	A	岩魚料理の提供、栗駒山麓ジオパーク特産商品の販売。	A	特産品を積極的に提供され、地場産業の振興に貢献されていた。	
(3) 利用者へのサービス提供と満足度	B		B		
① 利用者の利便性を意識した迅速な利用許可手続きや施設情報の提供を行っているか。	A		A	ゆめぐり通信以外の広報媒体も検討されたい。	
② 利用者アンケート等により利用者の意見を把握し反映する取り組みを行ったか。	B	アンケート設置したものの回収できず。	B	アンケート結果回収方法を検討のうえ、分析、改善に生かされたい。	
③ 要望及び苦情等に対する対応が十分になされたか。	C	温泉の利用の要望に応えられなかった。	C	要望及び苦情等には真摯に対応されたい。	
④ 施設の目的を活かし利用者の充実のため新たな取り組みを実施したか。	C	自主事業の未実施。	C	岩魚料理のほかにも取組を検討されたい。	
⑤ モニタリング・アンケートの結果、利用者の満足が得られていたか。	A	利用者から口頭にて良い反応をいただいている。	A	良好な結果が継続するよう努められたい。	
⑥ 利用者に対し職員の対応、身なり等は適切であるか。	A		A	適正であると認めます。	
(4) 運営の状況（収支の実績等）	B		B		
① 収支計画及び事業計画と比較し実績の状況は妥当であるか。	C	令和元年と比べここ2年間利用者が減少、特に平日は利用者が少なく平日の売上で人件費及び水道光熱費を賄えることができない状況となった。	C	自主事業の縮小により収入が減少した。収入増につながる取組に期待したい。	
② 積極的に収入の創出（増）に努め、又収入の増加に繋がる具体的な取り組みがあったか。	C	つかみ取りなど増収に向けての取組に関して実施したが子供の来館自体が少なく見込みが甘かった。	C	制約があり、できない取組もあると思うが、集客力のある商品開発、PRなどに努めたい。	
③ 積極的に経費削減に努め、又具体的に経費の削減が図られた実績が見られるか。	A	休館日を増やし経費を削減した。	A	創意工夫で経費削減に努められたい。	
④ 指定管理業務における専用口座及び諸帳簿等を備え適正な経理が行われているか。	A		A	適正であると認めます。	

総合評価	指定管理者の自己評価（指定管理者記入）		市の評価（施設所管課記入）	
	＜指定管理者の所見＞	評価	＜施設所管課の所見＞	評価
	・平日の利用者が昨年少なく本年度も利用が見込めないため平日の休館日を増やし経費削減に努めるものの3年連続のマイナスとなった。利用者人数は指定管理受託の際見込んだ人数とは程遠い結果となり残念でした。施設に関しては活用を模索しましたが、利用者が少ない状況において対応に限られ、解決策を見つけることができず反省するところでありま す。3年間の指定管理に関してお世話になりました。	B	指定管理3年目で施設も老朽化が進み、物価や光熱水費の高騰が続き、経営も厳しい中、経費の削減に励まれていた。利用者人数の増加が見込めず、当初の想定を下回る結果となり、苦労されたと思われるが、商品やサービス等において様々な工夫をされていた。	B

別紙様式6

指定管理者制度導入施設の管理運営に関する評価票(評価対象年度:令和6年度)

施設 の 名 称	築館有機肥料センター
施設所管部署名	農林振興部林業畜産課

1 評価対象施設の概要 (施設所管課記入)

施設名称	築館有機肥料センター		
施設所在地	栗原市築館字照越盲壇29番地91		
設置年月	平成12年4月	設置根拠条例	栗原市有機肥料センター条例
設置目的	畜産経営に伴って生ずる家畜排せつ物による畜産公害を未然に防止し、生活環境の保全と畜産の振興を図るとともに、完熟堆肥の活用による有機農業及び地域資源を有効利用した資源循環型農業を推進するため。		
施設概要	面積	延床面積 1,406.06㎡、敷地面積 9,423㎡	
	構造	木造平屋建て	
	施設内容	醗酵処理棟、原料・副資材置場、管理棟、機械格納庫、脱臭棟	
休館日	※ 条例から変更の有無 ☐ 有 ☒ 無		
開館時間	午前9時00分 ～ 午後4時00分 ※ 条例から変更の有無 ☐ 有 ☒ 無		
施設利用料金	利用料金制	☐ 採用 ☐ 採用無 ☒ 指定管理料と併用 ☐ 指定管理料のみ	
	設定金額	施設利用料:家畜ふん等搬入1トン当たり310円、運搬車貸出料:家畜ふん等搬入1回当たり走行距離5キロメートルまでは110円(1キロメートル増すごとに30円を加算した額) 有機肥料の販売料金:100キログラム当たり366円、袋詰め1袋(15キログラム入り)370円、フレコンバック詰め(約500キログラム)1本2,930円 ※ 条例から変更の有無 ☐ 有 ☒ 無	

2 指定管理者等の概要 (施設所管課記入)

指 定 管 理 者	事業者等名称	有限会社アグリテック宮城		
	事務所所在地	宮城県栗原市一迫柳目字中山54番地7		
指 定 の 期 間	令和6年4月1日～令和9年3月31日（3年間）			
指定にかかる選定方法	☒ 公募 ☐ 非公募	指定管理料	85,800,000円（3年間）※3施設分	

3 施設管理の経過 (施設所管課記入)

期 間	管理形態	施設管理を行った団体等	摘要
平成17年4月～令和6年3月	直営	栗原市	
年 月～年 月			
年 月～年 月			

4 施設の利用実績 (指定管理者記入)

	事業計画	実 績		計画との比率 (%)	前年度との比較 (%)
	評価対象年度 (令和6年度)	前年度 (令和5年度)	評価対象年度 (令和6年度)		
開 館 日 数	266日	—	266日	100.0%	—
利用者数(延べ人数)	500人	—	430人	86.0%	—
利 用 料 金 収 入	933,331円	—	591,861円	63.4%	—
主 な 増 減 要 因 (前 年 比)					

5 自主事業等の実績（指定管理者記入）

年月日	事業名	事業内容	対象者	参加者数
なし				

6 施設の管理運営における課題（指定管理者、施設所管課記入）

指定管理者（指定管理者記入）	市（施設所管課記入）
・施設及び車両の老朽化に伴う、継続的な修理・修繕	・施設の老朽化については、改修事業を実施する予定です。（建屋及び設備） ・車両更新時期は未定ですが、協定書に基づいた修繕を行います。

7 施設利用者からの主な意見等とその対応状況（指定管理者記入）

施設利用者からの主な意見等	対応状況等
建屋屋根が剥がれそうになっている。	改修工事を見据えて、すぐに修繕を実施すべきか協議中です。

8 総合的な評価（指定管理者、施設所管課記入）

評価項目	指定管理者の自己評価		市の評価		改善 勧告
	評価	コメント	評価	コメント	
(1) 基本的な方針に基づく管理・運営体制	A	個別の評価項目を集計し総合評価をAと判定した。	A		
① 施設の管理運営に必要な人員及び有資格者等を計画どおり適切に配置しているか。	S	施設の管理運営に必要な人員及び有資格者等を計画どおり適切に配置した。	S	他の2施設も含め、人員不足とならないよう配置、管理願います。	
② 指定管理業務に必要な知識及びサービスの向上のため、研修等人材育成に努めているか。	S	外部有識者を招き、堆肥発酵について現地指導を複数回受け、ノウハウの向上に努めた。スタッフ1名を常駐させOJTを実施した。	S	ノウハウの向上のため、引き続き研修等を実施願います。	
③ 通常の安全管理や緊急時の対応について、職員が適切に行える環境を整備しているか。	S	行動感知センサーを設置し、職員が一定時間以上事務所に戻らない場合に通知が行われるシステムを導入した。	S	職員が安全に作業できる環境作りを、継続してください。	
④ 各業務日誌等の管理記録を適切に整備・保管しているか。	A	各業務日誌、管理記録を保管している。	A		
⑤ 個人情報の取り扱い及び保護の対策について適切に行われているか。	A	個人情報を取り扱う電子ファイル等にはパスワードを設け、社内共有フォルダでの情報共有を行っている。	A	情報漏洩がないよう事業をお願いします。	
⑥ 法令等を遵守し、市と締結している協定に基づいた管理・運営を遂行しているか。	A	法令等を遵守し、市と締結している協定に基づいた管理・運営を遂行している。	A		
(2) 施設管理の状況	A	個別の評価項目を集計し総合評価をAと判定した。	A		
① 市の承認した内容に基づき、施設の開館及び利用時間、利用料金設定を遵守しているか。	A	市の承認した内容に基づき、施設の開館及び利用時間、利用料金設定を遵守している。	A		
② 施設内、設備等の清掃及び保守点検等を適切に行い、良好な施設環境を維持しているか。	S	施設内、設備等の清掃及び保守点検等を適切に行い、良好な施設環境を維持している。利用組合員と共同作業を実施して場内草刈を行った。	S	保守点検等で不具合が確認された場合は、連絡をお願いします。	
③ 協定に基づき施設設備や備品等の適切な修繕対応を行っているか。	S	協定に基づき施設設備や備品等の適切な修繕対応を行った。修繕時の対応には1名修繕対応スタッフを派遣し修繕を行った。	S	修繕対応スタッフの育成を継続してください。	
④ 設備維持と事故等防止のため、必要な専門的点検を実施し安全確認を行っているか。	A	設備維持と事故等防止のため、必要な専門的点検を実施し安全確認を行った。	A	引き続き安全確認を実施してください。	
⑤					
⑥					
(3) 利用者へのサービス提供と満足度	A	個別の評価項目を集計し総合評価をAと判定した。	A		
① 利用者の利便性を意識した迅速な利用許可手続きや施設情報の提供を行っているか。	S	金成有機センターが改修工事に入る際に利便性を意識した迅速な利用許可手続きや施設情報の提供を行った。	S	施設の緊急工事が発生した場合は、前年と同様に対応願います。	
② 利用者アンケート等により利用者の意見を把握し反映する取り組みを行ったか。	B	利用者アンケートにより、利用者の意見を把握した。	B	利用者から不満等があれば、改善を検討願います。	
③ 要望及び苦情等に対する対応が十分になされたか。	S	要望及び苦情等に対する対応を行った。	S	購入者から、要望や苦情が発生した場合は、市へ情報共有願います。	
④ 施設の目的を活かし利用者の充実のため新たな取り組みを実施したか。	S	堆肥品質向上のため、もみがらを抑えて、発酵に適した配合を行った。	S	品質低下とならないよう配合調整及び製造をお願いします。	
⑤ モニタリング・アンケートの結果、利用者の満足が得られていたか。	A	モニタリング・アンケートの結果利用者の満足が得られた。	A		
⑥ 利用者に対し職員の対応、身なり等は適切であるか。	A	対応及び、身なりは適切であった。	A		
(4) 運営の状況（収支の実績等）	A	個別の評価項目を集計し総合評価をAと判定した。	A		
① 収支計画及び事業計画と比較し実績の状況は妥当であるか。	A	収支計画及び事業計画と比較し実績の状況は妥当であった。	A		
② 積極的に収入の創出（増）に努め、又収入の増加に繋がる具体的な取り組みがあったか。	S	堆肥散布事業を強化し、組合員等、堆肥散布も請け負っていることを説明し、積極的に収入の増加を図った。	S	引き続き組合員へ事業説明をお願いします。	
③ 積極的に経費削減に努め、又具体的に経費の削減が図られた実績が見られるか。	S	日々のメンテナンスの徹底と無駄の削減に取り組み、修繕費・水道光熱費の大幅な削減実績を達成した。	S	引き続き経費削減に取り組み願います。	
④ 指定管理業務における専用口座及び諸帳簿等を備え適正な経理が行われているか。	A	専用口座と会計ソフトを備え、適正な経理が行われている。	A		

総合評価	指定管理者の自己評価（指定管理者記入）	評価	市の評価（施設所管課記入）	評価
	<指定管理者の所見>	A	<施設所管課の所見>	A
	品質の高い堆肥が日々12m3の安定的に生産され、大きな事故もなく安全な作業が実施された。また、金成有機センター改修工事に伴う、原料受入れ量の増加があったが、受入れが滞ることなく実施された点を評価する。		利用者から管理委託元の栗原市へ苦情がないことから、問題なく運営されていると考えます。 他有機センターの改修工事等（緊急工事含む）があった場合は、受入れが滞ることがないように利用調整をお願いします。	

別紙様式6

指定管理者制度導入施設の管理運営に関する評価票(評価対象年度:令和6年度)

施設 の 名 称	栗駒有機センター
施設所管部署名	農林振興部林業畜産課

1 評価対象施設の概要 (施設所管課記入)

施設名称	栗駒有機センター		
施設所在地	栗原市栗駒稲屋敷天王山2番地16		
設置年月	平成19年4月	設置根拠条例	栗原市有機肥料センター条例
設置目的	畜産経営に伴って生ずる家畜排せつ物による畜産公害を未然に防止し、生活環境の保全と畜産の振興を図るとともに、完熟堆肥の活用による有機農業及び地域資源を有効利用した資源循環型農業を推進するため。		
施設概要	面積	延床面積 4,725.84㎡、 敷地面積 9,934㎡	
	構造	鉄骨造平屋建て	
	施設内容	醗酵処理棟、原料・副資材置場、管理棟、機械格納庫、脱臭棟	
休館日	※ 条例から変更の有無 □有 ☒ 無		
開館時間	午前9時00 分 ～ 午後4時00分 ※ 条例から変更の有無 □有 ☒ 無		
施設利用料金	利用料金制	☐ 採用 ☐ 採用無 ☒ 指定管理料と併用 ☐ 指定管理料のみ	
	設定金額	施設利用料:家畜ふん等搬入1トン当たり310円、運搬車貸出料:家畜ふん等搬入1回当たり走行距離5キロメートルまでは110円(1キロメートル増すごとに30円を加算した額) 有機肥料の販売料金:100キログラム当たり366円、袋詰め1袋(15キログラム入り)370円、フレコンバック詰め(約500キログラム)1本2,930円 ※ 条例から変更の有無 □有 ☒ 無	

2 指定管理者等の概要 (施設所管課記入)

指 定 管 理 者	事業者等名称	有限会社アグリテック宮城		
	事務所所在地	宮城県栗原市一迫柳目字中山54番地7		
指 定 の 期 間	令和6年4月1日 ～令和9年3月31日（3年間）			
指定にかかる選定方法	☒ 公募 ☐ 非公募	指定管理料	85,800,000円（3年間）※3施設分	

3 施設管理の経過 (施設所管課記入)

期 間	管理形態	施設管理を行った団体等	摘要
平成17年4月～令和6年3月	直営		
年 月～年 月			
年 月～年 月			

4 施設の利用実績 (指定管理者記入)

	事業計画	実 績		計画との比率 (%)	前年度との比較 (%)
	評価対象年度 (令和6年度)	前年度 (令和5年度)	評価対象年度 (令和6年度)		
開 館 日 数	266日	—	266日	100.0%	—
利用者数(延べ人数)	500人	—	539人	107.8%	—
利 用 料 金 収 入	933,331円	—	815,705円	87.4%	—
主 な 増 減 要 因 (前 年 比)					

5 自主事業等の実績（指定管理者記入）

年月日	事業名	事業内容	対象者	参加者数
なし				

6 施設の管理運営における課題（指定管理者、施設所管課記入）

指定管理者（指定管理者記入）	市（施設所管課記入）
・施設及び車両の老朽化に伴う、継続的な修理・修繕	・施設の老朽化については、補助事業を活用し改修できないか関係機関と打合せを行っているものの、事業実施は確定しておりません。 ・車両更新時期は未定ですが、協定書に基づいた修繕を行います。

7 施設利用者からの主な意見等とその対応状況（指定管理者記入）

施設利用者からの主な意見等	対応状況等
良質な堆肥販売を希望します。	外部専門員、自社社員等を派遣して、副資材や作業工程を見直すことによる改善活動に着手中です。

8 総合的な評価（指定管理者、施設所管課記入）

評価項目	指定管理者の自己評価		市の評価		改善 勧告
	評価	コメント	評価	コメント	
(1) 基本的な方針に基づく管理・運営体制	A	個別の評価項目を集計し総合評価をAと判定した。	A		
① 施設の管理運営に必要な人員及び有資格者等を計画どおり適切に配置しているか。	S	施設の管理運営に必要な人員及び有資格者等を計画どおり適切に配置した。	S	他の2施設も含め、人員不足とならないよう配置、管理願います。	
② 指定管理業務に必要な知識及びサービスの向上のため、研修等人材育成に努めているか。	S	外部有識者を招き、堆肥発酵について現地指導を複数回受け、ノウハウの向上に努めた。スタッフ1名を常駐させOJTを実施した。	S	ノウハウの向上のため、引き続き研修等を実施願います。	
③ 通常の安全管理や緊急時の対応について、職員が適切に行える環境を整備しているか。	S	行動感知センサーを設置し、職員が一定時間以上事務所に戻らない場合に通知が行われるシステムを導入した。	S	職員が安全に作業できる環境作りを、継続してください。	
④ 各業務日誌等の管理記録を適切に整備・保管しているか。	A	各業務日誌、管理記録を保管している。	A		
⑤ 個人情報の取り扱い及び保護の対策について適切に行われているか。	A	個人情報を取り扱う電子ファイル等にはパスワードを設け、社内共有フォルダでの情報共有を行っている。	A		
⑥ 法令等を遵守し、市と締結している協定に基づいた管理・運営を遂行しているか。	A	法令等を遵守し、市と締結している協定に基づいた管理・運営を遂行している。	A		
(2) 施設管理の状況	A	個別の評価項目を集計し総合評価をAと判定した。	A		
① 市の承認した内容に基づき、施設の開館及び利用時間、利用料金設定を遵守しているか。	A	市の承認した内容に基づき、施設の開館及び利用時間、利用料金設定を遵守している。	A		
② 施設内、設備等の清掃及び保守点検等を適切に行い、良好な施設環境を維持しているか。	S	施設内、設備等の清掃及び保守点検等を適切に行い、良好な施設環境を維持している。利用組合員と共同作業を実施して場内草刈を行った。	S	保守点検等で不具合が確認された場合は、連絡をお願いします。	
③ 協定に基づき施設設備や備品等の適切な修繕対応を行っているか。	S	協定に基づき施設設備や備品等の適切な修繕対応を行った。修繕時の対応には1名修繕対応スタッフを派遣し修繕を行った。	S	修繕対応スタッフの育成を継続してください。	
④ 設備維持と事故等防止のため、必要な専門的点検を実施し安全確認を行っているか。	A	設備維持と事故等防止のため、必要な専門的点検を実施し安全確認を行った。	A	引き続き安全確認を実施してください。	
⑤					
⑥					
(3) 利用者へのサービス提供と満足度	A	個別の評価項目を集計し総合評価をAと判定した。	A		
① 利用者の利便性を意識した迅速な利用許可手続きや施設情報の提供を行っているか。	S	金成有機センターが改修工事に入る際に利便性を意識した迅速な利用許可手続きや施設情報の提供を行った。	S	施設の緊急工事が発生した場合は、前年と同様に対応願います。	
② 利用者アンケート等により利用者の意見を把握し反映する取り組みを行ったか。	B	利用者アンケートにより、利用者の意見を把握した。	B	利用者から不満等があれば、改善を検討願います。	
③ 要望及び苦情等に対する対応が十分になされたか。	S	要望及び苦情等に対する対応を行った。	S	購入者から、要望や苦情が発生した場合は、市へ情報共有願います。	
④ 施設の目的を活かし利用者の充実のため新たな取り組みを実施したか。	S	堆肥品質向上のため、特殊な外部環境を意識し、発酵に適した配合実験を実施した。	S	品質低下とならないよう配合調整及び製造をお願いします。	
⑤ モニタリング・アンケートの結果、利用者の満足が得られていたか。	A	モニタリング・アンケートの結果利用者の満足が得られた。	A		
⑥ 利用者に対し職員の対応、身なり等は適切であるか。	A	対応及び、身なりは適切であった。	A		
(4) 運営の状況（収支の実績等）	A	個別の評価項目を集計し総合評価をAと判定した。	A		
① 収支計画及び事業計画と比較し実績の状況は妥当であるか。	A	収支計画及び事業計画と比較し実績の状況は妥当であった。	A		
② 積極的に収入の創出（増）に努め、又収入の増加に繋がる具体的な取り組みがあったか。	S	堆肥散布事業を強化し、組合員等、堆肥散布も請け負っていることを説明し、積極的に収入の増加を図った。	S	引き続き組合員へ事業説明をお願いします。	
③ 積極的に経費削減に努め、又具体的に経費の削減が図られた実績が見られるか。	S	日々のメンテナンスの徹底と無駄の削減に取り組み、修繕費・水道光熱費の大幅な削減実績を達成した。	S	引き続き経費削減に取り組み願います。	
④ 指定管理業務における専用口座及び諸帳簿等を備え適正な経理が行われているか。	A	専用口座と会計ソフトを備え、適正な経理が行われている。	A		

総合評価	指定管理者の自己評価（指定管理者記入）	評価	市の評価（施設所管課記入）	評価
	＜指定管理者の所見＞ 大きな事故もなく安全な作業が実施された。また、金成有機センター改修工事に伴う、原料受入れ量の増加があったが、受入れが滞ることなく実施された点を評価する。 一方で堆肥の品質が不安定であり、原料が溜まってしまいうこともあった。本件については次年度の課題としてとりあげ、外部講師等も招きながら改善に努めている最中である。	A	＜施設所管課の所見＞ 利用者から管理委託元の栗原市へ苦情がないことから、問題なく運営されていると考えます。 他有機センターの改修工事が実施されるため、受入れが滞ることがないように利用調整をお願いします。 製品の品質安定化を課題とした取組について、期待しています。	A

別紙様式6

指定管理者制度導入施設の管理運営に関する評価票(評価対象年度:令和6年度)

施設 の 名 称	金成有機センター
施設所管部署名	農林振興部林業畜産課

1 評価対象施設の概要 (施設所管課記入)

施設名称	金成有機センター		
施設所在地	栗原市金成末野下浦山9番地7		
設置年月	平成17年4月	設置根拠条例	栗原市有機肥料センター条例
設置目的	畜産経営に伴って生ずる家畜排せつ物による畜産公害を未然に防止し、生活環境の保全と畜産の振興を図るとともに、完熟堆肥の活用による有機農業及び地域資源を有効利用した資源循環型農業を推進するため。		
施設概要	面積	延床面積 2,670㎡、敷地面積 6,600㎡	
	構造	鉄骨造平屋建て	
	施設内容	醗酵処理棟、原料・副資材置場、管理棟、機械格納庫、脱臭棟	
休館日	※ 条例から変更の有無 ☐ 有 ☒ 無		
開館時間	午前9時00 分 ～ 午後4時00分 ※ 条例から変更の有無 ☐ 有 ☒ 無		
施設利用料金	利用料金制	☐ 採用 ☐ 採用無 ☒ 指定管理料と併用 ☐ 指定管理料のみ	
	設定金額	施設利用料：家畜ふん等搬入1トン当たり310円、運搬車貸出料：家畜ふん等搬入1回当たり走行距離5キロメートルまでは110円（1キロメートル増すごとに30円を加算した額） 有機肥料の販売料金：100キログラム当たり366円、袋詰め1袋（15キログラム入り）370円、フレコンバック詰め（約500キログラム）1本2,930円 ※ 条例から変更の有無 ☐ 有 ☒ 無	

2 指定管理者等の概要 (施設所管課記入)

指 定 管 理 者	事業者等名称	有限会社アグリテック宮城		
	事務所所在地	宮城県栗原市一迫柳目字中山54番地7		
指 定 の 期 間	令和6年4月1日 ～令和9年3月31日（3年間）			
指定にかかる選定方法	☒ 公募 ☐ 非公募	指定管理料	85,800,000円（3年間）※3施設分	

3 施設管理の経過 (施設所管課記入)

期 間	管理形態	施設管理を行った団体等	摘要
平成17年4月～令和6年3月	直営		
年 月～年 月			
年 月～年 月			

4 施設の利用実績 (指定管理者記入)

	事業計画	実 績		計画との比率 (%)	前年度との比較 (%)
	評価対象年度 (令和6年度)	前年度 (令和5年度)	評価対象年度 (令和6年度)		
開 館 日 数	266日	—	266日	100.0%	—
利用者数(延べ人数)	500人	—	611人	122.2%	—
利 用 料 金 収 入	933,331円	—	763,468円	81.8%	—
主 な 増 減 要 因 (前 年 比)					

5 自主事業等の実績（指定管理者記入）

年月日	事業名	事業内容	対象者	参加者数
なし				

6 施設の管理運営における課題（指定管理者、施設所管課記入）

指定管理者（指定管理者記入）	市（施設所管課記入）
・施設及び車両の老朽化に伴う、継続的な修理・修繕	・施設の老朽化については、改修事業を実施しています。（建屋及び設備） ・車両更新時期は未定ですが、協定書に基づいた修繕を行います。

7 施設利用者からの主な意見等とその対応状況（指定管理者記入）

施設利用者からの主な意見等	対応状況等
フレコン詰めスクリュウ装置のブレードが劣化しほとんど使えない状態。	現地視察、状態の診断中です。
計量器のコントロールボックスが腐食することで、水が侵入し誤作動を起こしている。	専門業者に依頼し、修理見積依頼済み。市への報告準備中です。 現在は緊急対応を実施し、誤作動が起きない状態まで復旧済みです。

8 総合的な評価（指定管理者、施設所管課記入）

評価項目	指定管理者の自己評価		市の評価		改善 勧告
	評価	コメント	評価	コメント	
(1) 基本的な方針に基づく管理・運営体制	A	個別の評価項目を集計し総合評価をAと判定した。	A		
① 施設の管理運営に必要な人員及び有資格者等を計画どおり適切に配置しているか。	S	施設の管理運営に必要な人員及び有資格者等を計画どおり適切に配置した。	S	他の2施設も含め、人員不足とならないよう配置、管理願います。	
② 指定管理業務に必要な知識及びサービスの向上のため、研修等人材育成に努めているか。	S	外部有識者を招き、堆肥発酵について現地指導を複数回受け、ノウハウの向上に努めた。スタッフ1名を常駐させOJTを実施した。	S	ノウハウの向上のため、引き続き研修等を実施願います。	
③ 通常の安全管理や緊急時の対応について、職員が適切に行える環境を整備しているか。	S	行動感知センサーを設置し、職員が一定時間以上事務所に戻らない場合に通知が行われるシステムを導入した。	S	職員が安全に作業できる環境作りを、継続してください。	
④ 各業務日誌等の管理記録を適切に整備・保管しているか。	A	各業務日誌、管理記録を保管している。	A		
⑤ 個人情報の取り扱い及び保護の対策について適切に行われているか。	A	個人情報を取り扱う電子ファイル等にはパスワードを設け、社内共有フォルダでの情報共有を行っている。	A	情報漏洩がないよう事業をお願いします。	
⑥ 法令等を遵守し、市と締結している協定に基づいた管理・運営を遂行しているか。	A	法令等を遵守し、市と締結している協定に基づいた管理・運営を遂行している。	A		
(2) 施設管理の状況	A	個別の評価項目を集計し総合評価をAと判定した。	A		
① 市の承認した内容に基づき、施設の開館及び利用時間、利用料金設定を遵守しているか。	A	市の承認した内容に基づき、施設の開館及び利用時間、利用料金設定を遵守している。	A		
② 施設内、設備等の清掃及び保守点検等を適切に行い、良好な施設環境を維持しているか。	S	施設内、設備等の清掃及び保守点検等を適切に行い、良好な施設環境を維持している。	S	保守点検等で不具合が確認された場合は、連絡をお願いします。	
③ 協定に基づき施設設備や備品等の適切な修繕対応を行っているか。	S	協定に基づき施設設備や備品等の適切な修繕対応を行った。修繕時の対応には1名修繕対応スタッフを派遣し修繕を行った。	S	修繕対応スタッフの育成を継続してください。	
④ 設備維持と事故等防止のため、必要な専門的点検を実施し安全確認を行っているか。	A	設備維持と事故等防止のため、必要な専門的点検を実施し安全確認を行った。	A		
⑤					
⑥					
(3) 利用者へのサービス提供と満足度	A	個別の評価項目を集計し総合評価をAと判定した。	A		
① 利用者の利便性を意識した迅速な利用許可手続きや施設情報の提供を行っているか。	S	金成有機センターが改修工事に入る際に利便性を意識した迅速な利用許可手続きや施設情報の提供を行った。	S	今年度も施設の改修工事があるので、昨年同様に対応願います。	
② 利用者アンケート等により利用者の意見を把握し反映する取り組みを行ったか。	B	利用者アンケートにより、利用者の意見を把握した。	B		
③ 要望及び苦情等に対する対応が十分になされたか。	S	要望及び苦情等に対する対応を行った。	S	購入者から、要望や苦情が発生した場合は、市へ情報共有願います。	
④ 施設の目的を活かし利用者の充実のため新たな取り組みを実施したか。	S	堆肥品質向上のため、もみぐらを抑えて、発酵に適した配合を行った。	S	品質低下とならないよう配合調整及び製造をお願いします。	
⑤ モニタリング・アンケートの結果、利用者の満足が得られていたか。	A	モニタリング・アンケートの結果利用者の満足が得られた。	A		
⑥ 利用者に対し職員の対応、身なり等は適切であるか。	A	対応及び、身なりは適切であった。	A		
(4) 運営の状況（収支の実績等）	A	個別の評価項目を集計し総合評価をAと判定した。	A		
① 収支計画及び事業計画と比較し実績の状況は妥当であるか。	A	収支計画及び事業計画と比較し実績の状況は妥当であった。	A		
② 積極的に収入の創出（増）に努め、又収入の増加に繋がる具体的な取り組みがあったか。	S	堆肥散布事業を強化し、組合員等、堆肥散布も請け負っていることを説明し、積極的に収入の増加を図った。	S	引き続き組合員へ事業説明をお願いします。	
③ 積極的に経費削減に努め、又具体的に経費の削減が図られた実績が見られるか。	S	日々のメンテナンスの徹底と無駄の削減に取り組み、修繕費・水道光熱費の大幅な削減実績を達成した。	S	引き続き経費削減に取り組み願います。	
④ 指定管理業務における専用口座及び諸帳簿等を備え適正な経理が行われているか。	A	専用口座と会計ソフトを備え、適正な経理が行われている。	A		

総合評価	指定管理者の自己評価（指定管理者記入）	評価	市の評価（施設所管課記入）	評価
	＜指定管理者の所見＞	A	＜施設所管課の所見＞	A
	品質の高い堆肥が安定的に生産され、大きな事故もなく安全な作業が実施された。また、金成有機センター改修工事に伴い、組合員の振り分けや改修工事の為の場内整備及び復旧等、迅速に取り組むことが出来た。		利用者から管理委託元の栗原市へ苦情がないことから、問題なく運営されていると考えます。 令和7年度で施設の改修工事は終了しますが、その間は組合員の振り分け対応等をお願いします。	

別紙様式6

指定管理者制度導入施設の管理運営に関する評価票(評価対象年度:令和6年度)

施 設 の 名 称	栗原市栗駒特産物直売センター
施 設 所 管 部 署 名	商工観光部産業戦略課

1 評価対象施設の概要 (施設所管課記入)

施設名称	栗原市栗駒特産物直売センター		
施設所在地	栗原市栗駒岩ヶ崎上小路150番地7		
設置年月	平成30年 4月	設置根拠条例	栗原市特産物直売条例 栗原市特産物直売センター条例施行規則
設置目的	農林業の振興及び地域資源の活用を図るもの。		
施設概要	面積	延床面積 370.98㎡、敷地面積 7,896㎡	
	構造	木造	
	施設内容	直売所191.29㎡、事務室16.56㎡、搬入室19.87㎡ 付帯設備トイレ、駐車場、多目的広場、街路灯、七十七銀行ATM(令和6年4月1日より稼働)	
休館日	1月1日 ※ 条例から変更の有無 ☒ 有 ☐ 無		
開館時間	午前9時30分 ~ 午後6時00分 ※ 条例から変更の有無 ☒ 有 ☐ 無		
施設利用料金	利用料金制	☐ 採用 ☐ 採用無 ☒ 指定管理料と併用 ☐ 指定管理料のみ	
	設定金額	販売棚 利用する区画ごとの1月当りの販売実績額に100分の20を乗じて得た額 (その額に100円未満の端数があるときは、これを切り捨てた額)	
		※ 条例から変更の有無 ☐ 有 ☒ 無	

2 指定管理者等の概要 (施設所管課記入)

指 定 管 理 者	事業者等名称	栗駒鶯沢物産等販売施設利用組合		
	事務所所在地	栗原市栗駒岩ヶ崎下小路11番地1		
指 定 の 期 間	令和3年4月1日 ～ 令和8年3月31日（5年間）			
指定にかかる選定方法	☐ 公募 ☒ 非公募	指定管理料	8,022,000円（5年間）	

3 施設管理の経過 (施設所管課記入)

期 間	管理形態	施設管理を行った団体等	摘要
平成30年4月 ~ 令和3年3月	指定管理	栗駒鶯沢物産等販売施設利用組合	
令和3年4月 ~ 令和8年3月	指定管理	栗駒鶯沢物産等販売施設利用組合	
年 月 ~ 年 月			

4 施設の利用実績 (指定管理者記入)

	事業計画	実 績		計画との比率 (%)	前年度との比較 (%)
	評価対象年度 (令和6年度)	前年度 (令和5年度)	評価対象年度 (令和6年度)		
開 館 日 数	364日	364日	364日	100.0%	100.0%
利用者数(延べ人数)	120,000人	117,660人	120,019人	100.0%	102.0%
利 用 料 金 収 入	14,000,000円	33,659,422円	35,673,040円	254.8%	106.0%
主 な 増 減 要 因 (前 年 比)	継続的にPR活動を行ってきたことや生産者を増やし品ぞろえの充実欠品防止に努めた結果、 楽しく買い物ができる売場が作れたことで利用客が増えたと考えます。また、イベント開催による 集客効果として、毎年恒例のイベントを楽しみにしている利用客も増加傾向にあります。				

5 自主事業等の実績（指定管理者記入）

年月日	事業名	事業内容	対象者	参加者数
令和6年3月13日～23日	春彼岸セール	生産者による軒下販売、直接販売者による販売	一般（市内外）	3,900人
令和6年7月27日～28日	栗駒山車祭り協賛セール	生産者による軒下販売、直接販売者による販売	一般（市内外）	787人
令和6年9月14日～23日	秋彼岸セール	生産者による軒下販売、直接販売者による販売	一般（市内外）	4,115人
令和6年10月12日～13日	収穫祭（6周年祭）	生産者による軒下販売、直接販売者による販売	一般（市内外）	1,453人

6 施設の管理運営における課題（指定管理者、施設所管課記入）

指定管理者（指定管理者記入）	市（施設所管課記入）
・土日にエアコン、自動ドア、トイレなど故障トラブルが発生し早急な修理を必要とする場合、緊急連絡先があることにより迅速に連絡を取ることができ被害を最小限に抑えたり、適切な対応を講じる事ができる ・利用客の利便性を考え同じ敷地内に飲食店の併設することにより、売り上げの相乗効果と集客が期待できる。数年前に産業戦略課との意見交換会で要望しましたが、まだ返答を頂けてないようですのでよろしく願いいたします。	休日におけるトラブルへの早急な対応が可能となるよう、市担当職員の連絡先一覧の作成を検討いたします。 「山の駅くりこま」に隣接するフリースペースへの飲食店の出店の問合せもあることから、引き続き関係者と協議を進めてまいります。

7 施設利用者からの主な意見等とその対応状況（指定管理者記入）

施設利用者からの主な意見等	対応状況等
害虫の発生や景観の悪化の観点から、ローソン脇の空地の雑草対策を考えてほしい。	指定管理以外の遊休地ではあるが、年に1回～2回程度の草刈を行っている。
中田栗駒線からの入口に設置してある山の駅の案内看板が小さくて気付かずに通り過ぎてしまう。	未対応
築館方面から来て中田栗駒線のT字路交差点正面に山の駅の案内看板があると栗駒山観光の帰りに山の駅に寄ってお土産の買い物ができる。	未対応
蕎麦屋さんなど飲食店がほしい。	未対応

8 総合的な評価（指定管理者、施設所管課記入）

評価項目	指定管理者の自己評価		市の評価		改善 勧告
	評価	コメント	評価	コメント	
(1) 基本的な方針に基づく管理・運営体制	A		A	特に問題はなく、適正に管理運営がされているため、引き続き法令等を順守した管理運営に努めていただきたい。	
① 施設の管理運営に必要な人員及び有資格者等を計画どおり適切に配置しているか。	A		A		
② 指定管理業務に必要な知識及びサービスの向上のため、研修等人材育成に努めているか。	A	社員を対象に接客等の面談を実施	A		
③ 通常の安全管理や緊急時の対応について、職員が適切に行える環境を整備しているか。	B		B		
④ 各業務日誌等の管理記録を適切に整備・保管しているか。	A	冷蔵・冷凍適正温度管理、一般衛生管理について点検票をもとに毎朝夕実施	A		
⑤ 個人情報の取り扱い及び保護の対策について適切に行われているか。	A		A		
⑥ 法令等を遵守し、市と締結している協定に基づいた管理・運営を遂行しているか。	A		A	業務仕様書及び協定書に基づき適正に管理・運営がなされている。	
(2) 施設管理の状況	A		A	特に問題はなく、適正に管理運営がされているため、引き続き法令等を順守した管理運営に努めていただきたい。	
① 市の承認した内容に基づき、施設の開館及び利用時間、利用料金設定を遵守しているか。	A		A		
② 施設内、設備等の清掃及び保守点検等を適切に行い、良好な施設環境を維持しているか。	S	トイレ設備については毎日3回の清掃業務、冷蔵・冷凍・エアコンについては月1回の点検清掃実施	S	トイレ清掃及び詰まり対策を徹底しており、継続して対応願いたい。	
③ 協定に基づき施設設備や備品等の適切な修繕対応を行っているか。	A		A		
④ 設備維持と事故等防止のため、必要な専門的点検を実施し安全確認を行っているか。	A	消防総合訓練2回実施、水消火器で初期消火模擬訓練を実施	A		
(3) 利用者へのサービス提供と満足度	A		A	利用客の満足度が一層向上する取り組みを継続して行っていただきたい。	
① 利用者の利便性を意識した迅速な利用許可手続きや施設情報の提供を行っているか。	S	河北新報・インスタグラム・オリジナルチラシでのPR強化実施	S	引き続き積極的なPR活動に努めていただきたい。	
② 利用者アンケート等により利用者の意見を把握し反映する取り組みを行ったか。	B		B	利用者の意見を把握するためのアンケート等の実施を検討いただきたい。	
③ 要望及び苦情等に対する対応が十分になされたか。	B	賞味期限・加工表示・鮮度管理を再度徹底実施	B	消費者が安心して商品が購入できるよう、賞味期限等の確認、店内の環境整備に努めていただきたい。	
④ 施設の目的を活かし利用者の充実のため新たな取り組みを実施したか。	A		A		
⑤ モニタリング・アンケートの結果、利用者の満足が得られていたか。	B		B	利用者の満足度が把握できるためのアンケート等の実施を検討いただきたい。	
⑥ 利用者に対し職員の対応、身なり等は適切であるか。	A	月1回対応チェックシートにより確認指導を実施	A		
(4) 運営の状況（収支の実績等）	A		A	売上げ・利用客ともに増加しており、良好な運営管理を行っている。	
① 収支計画及び事業計画と比較し実績の状況は妥当であるか。	A	微増であるが客数の増加、及び売り上げの増加がある	A		
② 積極的に収入の創出（増）に努め、又収入の増加に繋がる具体的な取り組みがあったか。	S	欠品防止は基本に不足食材部分の生産者開拓により利用者の空き防止に務めた	S	商品の品揃えに目を配り、お客様に配慮した店舗づくりに努めていただきたい。	
③ 積極的に経費縮減に努め、又具体的に経費の縮減が図られた実績が見られるか。	A		A		
④ 指定管理業務における専用口座及び諸帳簿等を備え適正な経理が行われているか。	S		S	引き続き適正な諸帳簿の管理に努めていただきたい。	

総合評価	指定管理者の自己評価（指定管理者記入）	評価	市の評価（施設所管課記入）	評価
	＜指定管理者の所見＞ ・利用者数は概ね事業計画どおりで2%の増でした。地元イベントの開催による集客効果がありましたが、平日については集客対策が必要です。 ・売り上げは6%の増でした。季節限定の商品も好調で観光客だけでなく地域住民の利用も多少増化傾向にあります。 ・トイレや駐車場などの施設面をこまめに清掃を行い快適な状態を保つようにしていた。	A	＜施設所管課の所見＞ 生産者を増やし、品ぞろえの充実・欠品防止に努めたこと、また、積極的なPR活動やイベント開催による集客を図った結果、市内はもとより、市外・県外からの来客者数も増え、来客者数及び売上げともに過去最高となったことを高く評価いたします。 今後も利用客に喜ばれる店舗づくりに尽力され、更なる集客と売上げの増加に繋がることを期待いたします。	A

別紙様式6

指定管理者制度導入施設の管理運営に関する評価票(評価対象年度:令和6年度)

施 設 の 名 称	若柳ふるさとの森
施 設 所 管 部 署 名	商工観光部田園観光課

1 評価対象施設の概要 (施設所管課記入)

施 設 名 称	若柳ふるさとの森		
施 設 所 在 地	栗原市若柳武鎗字磯田沢154番地		
設 置 年 月	昭和63年4月	設置根拠条例	栗原市公園条例
設 置 目 的	市民の生活文化の向上及び健康増進並びに地域活性化に資することを目的とする。		
施 設 概 要	面 積	延床面積 41.4㎡、 敷地面積 100,952㎡	
	構 造	木造平屋建	
	施設内容	(施設内の設置室内容) 管理棟、四阿2棟、パークゴルフ場、遊歩道、駐車場	
休 館 日	月曜日(国民の祝日に関する法律に規定する休日に当たる日を除く。) 休日の翌日(土曜日又は日曜日に当たる日を除く。) ※ 条例から変更の有無 ☐ 有 ☒ 無		
開 館 時 間	午前9時 ~ 午後5時 ※ 条例から変更の有無 ☐ 有 ☒ 無		
施 設 利 用 料 金	利用料金制	☐ 採用 ☐ 採用無 ☒ 指定管理料と併用 ☐ 指定管理料のみ	
	設定金額	※ 条例から変更の有無 ☐ 有 ☒ 無	

2 指定管理者等の概要 (施設所管課記入)

指 定 管 理 者	事業者等名称	ふるさとの森振興協会		
	事務所所在地	栗原市若柳武鎗字町館319番地		
指 定 の 期 間	令和6年4月1日～令和11年3月31日（5年間）			
指定にかかる選定方法	☐ 公募	☒ 非公募	指定管理料	8,800,000円（5年間）

3 施設管理の経過 (施設所管課記入)

期 間	管理形態	施設管理を行った団体等	摘要
平成21年4月 ~ 令和6年3月	指定管理	ふるさとの森振興協会	H26、H31、R6更新

4 施設の利用実績 (指定管理者記入)

	事業計画	実 績		計画との比率 (%)	前年度との比較 (%)
	評価対象年度 (令和6年度)	前年度 (令和5年度)	評価対象年度 (令和6年度)		
開 館 日 数	350日	350日	350日	100.0%	100.0%
利用者数(延べ人数)	13,000人	13,950人	13,349人	102.7%	95.7%
利 用 料 金 収 入					
主 な 増 減 要 因 (前 年 比)	近隣自治体でもパークゴルフ場の整備が進み、利用者が他の施設へ分散しているため。				

5 自主事業等の実績（指定管理者記入）

年月日	事業名	事業内容	対象者	参加者数
12月6日	ありがとうコンペ	令和6年最終コンペ	会員	75人

6 施設の管理運営における課題（指定管理者、施設所管課記入）

指定管理者（指定管理者記入）	市（施設所管課記入）
管理者の常駐	園内が広く、常駐の管理者が不在であるため、利用者の安全を確保するため、特にスズメバチの巣の駆除など、日頃の管理が重要と考えます。

7 施設利用者からの主な意見等とその対応状況（指定管理者記入）

施設利用者からの主な意見等	対応状況等
トイレの衛生管理	便座の交換等・清掃回数増加
開場日数を増やすこと	年末年始も休まない
遊歩道周回路の整備	遊歩道周回路の幅員拡張・草刈り
遊歩道周辺の見晴らしが悪い	遊歩道周辺の立木を伐採等
遊歩道に掛かる木製橋が破損して渡れない	未対応

8 総合的な評価（指定管理者、施設所管課記入）

評価項目	指定管理者の自己評価		市の評価		改善 勧告
	評価	コメント	評価	コメント	
(1) 基本的な方針に基づく管理・運営体制	A		A		
① 施設の管理運営に必要な人員及び有資格者等を計画どおり適切に配置しているか。	B	1日1回解錠・施錠・点検	B	継続的に施設を管理していけるよう、後継の確保について計画的な対応を望む。	
② 指定管理業務に必要な知識及びサービスの向上のため、研修等人材育成に努めているか。	A	研修会への参加等	A	適正であると認めます。	
③ 通常の安全管理や緊急時の対応について、職員が適切に行える環境を整備しているか。	A	緊急連絡先・連絡網の作成	A	適正であると認めます。	
④ 各業務日誌等の管理記録を適切に整備・保管しているか。	A	入場者数等日誌作成	A	適正であると認めます。	
⑤ 個人情報の取り扱い及び保護の対策について適切に行われているか。	A		A	適正であると認めます。	
⑥ 法令等を遵守し、市と締結している協定に基づいた管理・運営を遂行しているか。	A		A	適正であると認めます。	
(2) 施設管理の状況	A		A		
① 市の承認した内容に基づき、施設の開館及び利用時間、利用料金設定を遵守しているか。	A		A	適切に管理されている。	
② 施設内、設備等の清掃及び保守点検等を適切に行い、良好な施設環境を維持しているか。	A	月1回管理棟及び周辺清掃	A	適切に管理されている。	
③ 協定に基づき施設設備や備品等の適切な修繕対応を行っているか。	D	木製橋の未対応	A	R6年度聞き取りの際、対応済であることを確認した。	
④ 設備維持と事故等防止のため、必要な専門的点検を実施し安全確認を行っているか。	B	シーズン前に施設・機器点検	B	おおむね適切に管理されている。	
(3) 利用者へのサービス提供と満足度	A		A		
① 利用者の利便性を意識した迅速な利用許可手続きや施設情報の提供を行っているか。	A		A	適正であると認めます。	
② 利用者アンケート等により利用者の意見を把握し反映する取り組みを行ったか。	A	アンケート用紙配布・回収	A	適正であると認めます。	
③ 要望及び苦情等に対する対応が十分になされたか。	A	開場時間を1時間早めた	A	利用者の意見に対し適切に対応されている。	
④ 施設の目的を活かし利用者の充実のため新たな取り組みを実施したか。	A		B	前年度と同様の取り組みが見られた	
⑤ モニタリング・アンケートの結果、利用者の満足が得られていたか。	A		A	適正であると認めます。	
⑥ 利用者に対し職員の対応、身なり等は適切であるか。	A		A	適正であると認めます。	
(4) 運営の状況（収支の実績等）	A		A		
① 収支計画及び事業計画と比較し実績の状況は妥当であるか。	A		A	適正であると認めます。	
② 積極的に収入の創出（増）に努め、又収入の増加に繋がる具体的な取り組みがあったか。	A		B	事業の実施数・内容ともに前年同様のものではなかった。	
③ 積極的に経費縮減に努め、又具体的に経費の縮減が図られた実績が見られるか。	A		A	経費の削減が見られた。	
④ 指定管理業務における専用口座及び諸帳簿等を備え適正な経理が行われているか。	A		A	適正であると認めます。	

総合 評価	指定管理者の自己評価（指定管理者記入）	評価	市の評価（施設所管課記入）	評価
	＜指定管理者の所見＞ 利用者は、事業計画の2.7%の微増。遊歩道の木製橋の修復には費用対効果を考えるとき？が付きます。	A	＜施設所管課の所見＞ 園内は適切に管理されているものの、令和6年度中にスズメバチの巣の駆除を行っています。多くの方が利用する公園であるため、利用者の安全を確保するためにも普段から施設内の十分な点検を引き続き行ってください。	A

別紙様式6

指定管理者制度導入施設の管理運営に関する評価票(評価対象年度:令和6年度)

施 設 の 名 称	栗原市ハイルザーム栗駒
施 設 所 管 部 署 名	商工観光部田園観光課

1 評価対象施設の概要 (施設所管課記入)

施 設 名 称	栗原市ハイルザーム栗駒		
施 設 所 在 地	栗原市栗駒沼倉耕英東50番地1		
設 置 年 月	平成10年3月	設置根拠条例	栗原市ハイルザーム栗駒条例
設 置 目 的	栗駒山麓の豊かな自然の中で、自然と温泉を活用した健康づくりと福祉の増進及び地域の活性化に資すること。また、自然の中で健全な観光レクリエーションを楽しむ場を確保し、自然との調和を図りつつ健康と福祉の増進及び地域の活性化に資することを目的とする。		
施 設 概 要	面 積	延床面積 5,030.31㎡、 敷地面積 57,524㎡	
	構 造	鉄筋コンクリート造3階建地下2階建	
	施設内容	(施設内の設置室内容) 栗原市ハイルザーム栗駒 センター棟 / 大広間、中広間、事務室、売店、エントラスホール、ラウンジ、休憩室、診察室、レストラン、待合室、アリーナ(ステージ含む)、浴場(男女別)、露天風呂(男女別)、温水プール、サウナ室、脱衣室、カラオケ室 ホテル棟 / 宿泊室(28室)・宿泊定員(168名)、従業員宿泊室(10室)	
休 館 日	毎月第1・第3木曜日 ※ 条例から変更の有無 ☒ 有 ☐ 無		
開 館 時 間	日帰りの場合、午前10時から午後6時まで 宿泊の場合、午後3時から利用最終日の午前10時まで ※ 条例から変更の有無 ☐ 有 ☒ 無		
施 設 利 用 料 金	利用料金制	☐ 採用 ☐ 採用無 ☒ 指定管理料と併用 ☐ 指定管理料のみ	
	設定金額	使用料、観覧料等の設定ごとに記載 ※ 条例から変更の有無 ☐ 有 ☒ 無	

2 指定管理者等の概要 (施設所管課記入)

指 定 管 理 者	事業者等名称	株式会社 ゆめぐり		
	事務所所在地	栗原市栗駒沼倉耕英東50番地1		
指 定 の 期 間	令和5年4月1日～令和8年3月31日（3年間）			
指定にかかる選定方法	☐ 公募 ☒ 非公募	指定管理料	196,140,000円（税込み）（3年間） ※ハイルザーム栗駒、栗駒コテージ、金成延年閣、 温湯山荘、花山少年旅行村の5施設一括	

3 施設管理の経過 (施設所管課記入)

期 間	管理形態	施設管理を行った団体等	摘要
平成19年4月 ~ 令和 8年3月	指定管理	株式会社 ゆめぐり	H21,26,29,R2, R5 更新

4 施設の利用実績 (指定管理者記入)

	事業計画	実 績		計画との比率 (%)	前年度との比較 (%)
	評価対象年度 (令和6年度)	前年度 (令和5年度)	評価対象年度 (令和6年度)		
開 館 日 数	345日	322日	345日	100.0%	107.1%
利用者数(延べ人数)	19,070人	18,924人	17,798人	93.3%	94.0%
利 用 料 金 収 入	110,685,000円	111,168,891円	86,245,635円	77.9%	77.6%
主 な 増 減 要 因 (前 年 比)	令和5年度は、利用者、売上ともに、地熱開発調査事業者の作業員が長期滞在し、延べ4,480人の長期滞在利用があったため、大きな収入となったが、令和6年度は工事関連の長期宿泊利用は特になく、その分を穴埋めし、さらに売り上げを上積みする計画値であったが、計画比、前年比ともに下回り、厳しい結果となった。				

5 自主事業等の実績（指定管理者記入）

年月日	事業名	事業内容	対象者	参加者数
通年	仙台直行使	仙台駅から無料送迎バス運行 基本第2・4週 月～水宿泊まで	一般	324人
7月20日～9月20日	サマーファミリープラン	夏休みファミリー向けのリーズナブルプラン	一般	294人
7月16日、17日	ハイルザーム栗駒創業祭	毎年開催の創業祭。ディナーショー形式で開催	一般	131人
8月17日、18日	セントラルスポーツ夏合宿	毎年開催、岩魚の掴み取りやカレー作り体験など	一般	42人
11月1日～3月31日	謝恩企画	25周年の謝恩 リーズナブルな料金設定による宿泊	一般	836人
11月23日	マドンナの休日	女性限定オーバーステイプラン	一般	57人
12月21日	クリスマスパーティー	お客様が主役のクリスマスパーティー	一般	47人
1月11日～3月23日	ウィンター ファミリープラン	雪遊び道具貸し出しサービス 子供におもちゃサービス	一般	388人
2月10日	栗原の地酒を愉しむ会	栗原の6蔵元厳選の日本酒の飲み比べプラン	一般	24人

6 施設の管理運営における課題（指定管理者、施設所管課記入）

指定管理者（指定管理者記入）	市（施設所管課記入）
・利用者が減少しており売上確保に苦慮している。 ・建物、設備の老朽化による不具合。 ・労働人口が減少、人材の確保（担い手不足）が課題。 ・物価の高騰への対応。利用料金への価格転嫁が課題。 ・施設規模が大きく、維持管理、施設経営が難しくなっている。	・施設の老朽化に伴い、不具合箇所が多くみられるようになっているため、普段から施設内の点検を行い、不具合が軽微な内に対応する必要があります。 ・人員不足及び従業員の確保については他施設からも課題点として挙げられているため、会社組織全体で改善に取り組む必要があると考えます。

7 施設利用者からの主な意見等とその対応状況（指定管理者記入）

施設利用者からの主な意見等	対応状況等
無料送迎があるのが助かります。	
脱衣室のドライヤーが少なく、調子も良くないと話したところ、早速対応頂き新しいドライヤーを使わせて頂きました。	
カメムシが多かった。照明器具の中にもいた。ガムテープがあるといいと思います。	施設内における虫の侵入の点検確認、清掃の徹底に努めた。
食事、お風呂、スタッフも素晴らしい。	
何度もリピートしています。コロナ禍の後のカラオケの再開、部屋でも可能になったWi-Fiなど、利用客の要望に応えてくれると実感しました。	
部屋の絨毯のシミが気になりがっかりしました。	汚れが取れなくなっているので交換が必要。

8 総合的な評価（指定管理者、施設所管課記入）

評価項目	指定管理者の自己評価		市の評価		改善 勧告
	評価	コメント	評価	コメント	
(1) 基本的な方針に基づく管理・運営体制	A		A		
① 施設の管理運営に必要な人員及び有資格者等を計画どおり適切に配置しているか。	A	役職者を配置し管理運営。法定点検は専門業者へ委託し対応している。	A	適正であると認めます。	
② 指定管理業務に必要な知識及びサービスの向上のため、研修等人材育成に努めているか。	B	市や県が主催した講習会へ参加。内部講習を実施した。	B	おおむね適正であると認めます。	
③ 通常の安全管理や緊急時の対応について、職員が適切に行える環境を整備しているか。	A	消防訓練の実施。夜間防災体制人員配置	A	適正であると認めます。	
④ 各業務日誌等の管理記録を適切に整備・保管しているか。	A	管理記録の記入と管理	B	月報等の報告に一部不足見られたので、改善されたい。	
⑤ 個人情報の取り扱い及び保護の対策について適切に行われているか。	A	個人情報資料及びデータの適切管理	A	適正であると認めます。	
⑥ 法令等を遵守し、市と締結している協定に基づいた管理・運営を遂行しているか。	A	市条令及び、指定管理協定並びに、事業計画に基づき主管課と連携推進	A	適正であると認めます。	
(2) 施設管理の状況	A		C		
① 市の承認した内容に基づき、施設の開館及び利用時間、利用料金設定を遵守しているか。	A	市条令及び、各種規定を厳守した管理運営	A	適正であると認めます。	
② 施設内、設備等の清掃及び保守点検等を適切に行い、良好な施設環境を維持しているか。	A	定期的な巡回管理と業者へ点検委託	B	おおむね適正であると認めます。	
③ 協定に基づき施設設備や備品等の適切な修繕対応を行っているか。	A	随時、担当課へ報告し対応	C	不具合の報告に遅延がないよう改善されたい。	
④ 設備維持と事故等防止のため、必要な専門的点検を実施し安全確認を行っているか。	A	法令による設備の保守点検を委託実施	C	法定点検等は適切に実施されているものの積雪対策等について適切に取り組んでいただきたい。	
(3) 利用者へのサービス提供と満足度	B		B		
① 利用者の利便性を意識した迅速な利用許可手続きや施設情報の提供を行っているか。	B	ゆめぐり通信、HP、SNS、DM、渉外活動による情報発信	B	広報活動に注力していると認められます。	
② 利用者アンケート等により利用者の意見を把握し反映する取り組みを行ったか。	B	アンケート用紙設置。内容精査し随時対応。施設要望については栗原市と協議	B	おおむね適正であると認めます。	
③ 要望及び苦情等に対する対応が十分になされたか。	B	ソフト面の要望は内容精査し随時対応。苦情は迅速に即対応。施設要望は栗原市と協議	B	おおむね適正であると認めます。	
④ 施設の目的を活かし利用者の充実のため新たな取り組みを実施したか。	B	健康増進事業継続（内容随時更新）	B	おおむね適正であると認めます。	
⑤ モニタリング・アンケートの結果、利用者の満足が得られていたか。	A	満足できたとの意見が多い	A	適正であると認めます。	
⑥ 利用者に対し職員の応対、身なり等は適切であるか。	A	適切である	A	適正であると認めます。	
(4) 運営の状況（収支の実績等）	C		B		
① 収支計画及び事業計画と比較し実績の状況は妥当であるか。	C	売上の大幅減、経費の増と計画に及ばなかった	C	事業計画を大幅に下回る結果となった。	
② 積極的に収入の創出（増）に努め、又収入の増加に繋がる具体的な取り組みがあったか。	C	イベント内容を変えたり売上増に努めたが伸び悩んだ	B	自主事業収入は前年度より増となっているので、平常時の利用者数が伸びるような取り組みに期待する。	
③ 積極的に経費縮減に努め、又具体的に経費の縮減が図られた実績が見られるか。	B	支出縮減に努力したが、源泉ポンプ落下による重油代の増などあり苦慮した	B	重油に限らず、光熱費や物価の単価上昇もあったことから、支出増に繋がったと思われる。	
④ 指定管理業務における専用口座及び諸帳簿等を備え適正な経理が行われているか。	A	適正に処理。監査指摘なし	A	適正であると認めます。	

総合評価	指定管理者の自己評価（指定管理者記入）		市の評価（施設所管課記入）	
	＜指定管理者の所見＞	評価	＜施設所管課の所見＞	評価
	・本年度は、前年度の地熱開発調査事業者の売上分を穴埋めし、さらに上積みしなければならない計画値であったが、収支として大きくマイナスとなる厳しい結果となった。前年度から取組んでいるOTAやホームページの改正、予約の一元化などやっと目途が付き、さらに利用者増が見込めるようになってきている。今後も引き続きOTAの活用、ホームページ、SNSでの情報発信に力を入れて集客に努めて参ります。	C	令和5年12月に地熱開発調査事業者が栗駒から撤退したこともあり、前年度と比較して、令和6年度は利用客数・売り上げがともに減少しています。併せて、物価や光熱費の高騰により支出額が増加したこともあり、コロナ禍であった一昨年度と同程度の収支結果となっています。 様々な媒体でのPRに注力している点が見受けられるが、それに見合った集客が今後期待できるのか、中長期的な計画値との比較や単年ごとの分析が必要と考えます。 施設の維持管理については、老朽化による機器の不具合や積雪による露天風呂囲いの倒壊等が発生しており、積雪量の多い場所でもあるため、施設の維持管理方法の改善については、指定管理者と連携して取り組みたいと考えます。	B

別紙様式6

指定管理者制度導入施設の管理運営に関する評価票(評価対象年度:令和6年度)

施設 の 名 称	栗原市栗駒コテージ
施設 所 管 部 署 名	商工観光部田園観光課

1 評価対象施設の概要 (施設所管課記入)

施 設 名 称	栗原市栗駒コテージ		
施 設 所 在 地	栗原市栗駒沼倉耕英東49番地		
設 置 年 月	平成9年2月	設置根拠条例	栗原市栗駒コテージ条例
設 置 目 的	栗駒山麓の豊かな自然の中で、自然と温泉を活用した健康づくりと福祉の増進及び地域の活性化に資すること。また、自然の中で健全な観光レクリエーションを楽しむ場を確保し、自然との調和を図りつつ健康と福祉の増進及び地域の活性化に資することを目的とする。		
施 設 概 要	面 積	延床面積 417.26㎡、 敷地面積 - ㎡	
	構 造	木造2階建	
	施設内容	(施設内の設置室内容) コテージ 木造2階建[7棟]	
休 館 日	毎月第1・第3木曜日 12月～3月休館 ※ 条例から変更の有無 ☒ 有 ☐ 無		
開 館 時 間	到着日の午後3時から利用最終日の午前11時まで。ただし、これを超える利用については別途延長料金により、最長利用最終日の午後1時まで延長することができる。 ※ 条例から変更の有無 ☐ 有 ☒ 無		
施 設 利 用 料 金	利用料金制	☐ 採用 ☐ 採用無 ☒ 指定管理料と併用 ☐ 指定管理料のみ	
	設定金額	使用料、観覧料等の設定ごとに記載 ※ 条例から変更の有無 ☐ 有 ☒ 無	

2 指定管理者等の概要 (施設所管課記入)

指 定 管 理 者	事業者等名称	株式会社 ゆめぐり		
	事務所所在地	栗原市栗駒沼倉耕英東50番地1		
指 定 の 期 間	令和5年4月1日～令和8年3月31日（3年間）			
指定にかかる選定方法	☐ 公募 ☒ 非公募		指定管理料	196,140,000円(税込み)（3年間） ※ハイルザーム栗駒、栗駒コテージ、金成延年閣、 温湯山荘、花山少年旅行村の5施設一括

3 施設管理の経過 (施設所管課記入)

期 間	管理形態	施設管理を行った団体等	摘要
平成19年4月 ～ 令和 8年3月	指定管理	株式会社 ゆめぐり	H21,26,29,R2, R5 更新

4 施設の利用実績 (指定管理者記入)

	事業計画	実 績		計画との比率 (%)	前年度との比較 (%)
	評価対象年度 (令和6年度)	前年度 (令和5年度)	評価対象年度 (令和6年度)		
開 館 日 数	244日	258日	244日	100.0%	94.6%
利用者数(延べ人数)	1,090人	3,225人	1,010人	92.7%	31.3%
利 用 料 金 収 入	110,685,000円	111,168,891円	86,245,635円	77.9%	77.6%
主 な 増 減 要 因 (前 年 比)	上記表の前年度収入額は、地熱開発調査事業者のコテージ長期滞在にかかる料金プランを、ハイルザームと同じ料金プランにしたことから、ハイルザーム側の収入に計上しているため、地熱事業者分を除いた通常利用分の収入金額となっている。令和6年度は、利用者数の拡大に努めたものの、利用者数及び料金収入の計画値には届かず、厳しい結果となった。				

5 自主事業等の実績（指定管理者記入）

年月日	事業名	事業内容	対象者	参加者数
自主事業なし				

6 施設の管理運営における課題（指定管理者、施設所管課記入）

指定管理者（指定管理者記入）	市（施設所管課記入）
・建物、設備の老朽化による不具合が年々増加してきている。 ・カメムシによるクレームが多く寄せられている。対策として機材を設置した。 ・コテージ1棟をペット同伴宿泊できるようにしました。	・施設の老朽化に伴い、不具合箇所が多くみられるようになっていたため、普段から施設内の点検を行い、不具合が軽微な内に対応する必要があります。 ・虫については、屋内外において完全に取り除くことは困難と考えますが、お客様に気持ちよく施設を利用いただけるよう継続的な対応が必要と考えます。 ・ペット同伴宿泊を含め、今後も利用者からの様々な要望について分析し、サービス向上に繋げる必要があります。

7 施設利用者からの主な意見等とその対応状況（指定管理者記入）

施設利用者からの主な意見等	対応状況等
カメムシが大量発生し、自分達で駆除しました。	清掃時再確認、駆除。超音波機材を設置
コテージの中がカビ臭かった。	清掃時再確認、換気の徹底を実施

8 総合的な評価（指定管理者、施設所管課記入）

評価項目	指定管理者の自己評価		市の評価		改善 勧告
	評価	コメント	評価	コメント	
(1) 基本的な方針に基づく管理・運営体制	A		B		
① 施設の管理運営に必要な人員及び有資格者等を計画どおり適切に配置しているか。	A	役職者を配置し管理運営。法定点検は専門業者へ委託し対応している。	B	施設の維持管理に支障が無いよう適切な人員配置を検討してください。	
② 指定管理業務に必要な知識及びサービスの向上のため、研修等人材育成に努めているか。	B	各講座への参加。会社の研修を実施。	B	おおむね適正であると認めます。	
③ 通常の安全管理や緊急時の対応について、職員が適切に行える環境を整備しているか。	A	消防訓練の実施。夜間防災体制人員配置	A	適正であると認めます。	
④ 各業務日誌等の管理記録を適切に整備・保管しているか。	A	管理記録の記入と管理	B	日報・月報等の報告前の再確認を実施してください。	
⑤ 個人情報の取り扱い及び保護の対策について適切に行われているか。	A	個人情報資料及びデータの適切管理	A	適正であると認めます。	
⑥ 法令等を遵守し、市と締結している協定に基づいた管理・運営を遂行しているか。	A	市条例及び、指定管理協定並びに、事業計画に基づき主管課と連携推進	A	適正であると認めます。	
(2) 施設管理の状況	A		B		
① 市の承認した内容に基づき、施設の開館及び利用時間、利用料金設定を遵守しているか。	A	市条例及び、各種規定を厳守した管理運営	A	適正であると認めます。	
② 施設内、設備等の清掃及び保守点検等を適切に行い、良好な施設環境を維持しているか。	A	定期的な巡回管理と業者へ点検委託	B	おおむね適正であると認めます。	
③ 協定に基づき施設設備や備品等の適切な修繕対応を行っているか。	A	随時、担当課へ報告し対応	B	おおむね適正であると認めます。	
④ 設備維持と事故等防止のため、必要な専門的点検を実施し安全確認を行っているか。	A	法令による設備の保守点検を委託実施	B	施設利用上の注意点等について、利用者への周知徹底に努めてください。	
(3) 利用者へのサービス提供と満足度	A		A		
① 利用者の利便性を意識した迅速な利用許可手続きや施設情報の提供を行っているか。	B	ゆめぐり通信、HP、SNS、DM、渉外活動による情報発信	B	おおむね適正であると認めます。	
② 利用者アンケート等により利用者の意見を把握し反映する取り組みを行ったか。	A	アンケート用紙設置。内容精査し随時対応	B	おおむね適正であると認めます。	
③ 要望及び苦情等に対する対応が十分になされたか。	A	要望は内容精査し随時対応。苦情は迅速に即対応	A	適正であると認めます。	
④ 施設の目的を活かし利用者の充実のため新たな取り組みを実施したか。	B	新たな取り組みは実施できなかった。	B	おおむね適正であると認めます。	
⑤ モニタリング・アンケートの結果、利用者の満足が得られていたか。	A	満足できたとの意見が多い	A	適正であると認めます。	
⑥ 利用者に対し職員の応対、身なり等は適切であるか。	A	適切である	A	適正であると認めます。	
(4) 運営の状況（収支の実績等）	B		B		
① 収支計画及び事業計画と比較し実績の状況は妥当であるか。	C	収入、利用者ともに計画に届かなかった	B	事業計画を下回る結果となったが、前年度より改善されている。	
② 積極的に収入の創出（増）に努め、又収入の増加に繋がる具体的な取り組みがあったか。	A	1棟をペット同伴宿泊可能LPRした	B	当該年度については特に具体的な取り組みは見られなかった。	
③ 積極的に経費削減に努め、又具体的に経費の削減が図られた実績が見られるか。	B	抑制に努めたが改善が必要	B	物価・光熱費高騰の影響はあったが、経費節減に努めている。	
④ 指定管理業務における専用口座及び諸帳簿等を備え適正な経理が行われているか。	A	適正に処理。監査指摘なし	A	適正であると認めます。	

総合評価	指定管理者の自己評価（指定管理者記入）		市の評価（施設所管課記入）	
	指定管理者の所見	評価	施設所管課の所見	評価
	・一般の利用者は昨年から倍増となっているが、目標まで届かなかった。ゴールデンウィークや夏季、お盆など利用が見込める所で取りこぼしが無いように販売して行く事と平日利用者が減少しているので新たな客層を取り込む必要がある。 ・コテージ1棟をペット同伴宿泊できるようにしたことが認知され始めているのでさらにPRして行く必要がある。	B	利用客数及び収入については、当初計画に至らなかったものの、一般客の利用実績は前年度と比較して500人から1,010人、売上は1,963,143円から4,135,948円へと増加しています。新たにペット同伴宿泊棟を設けたことに、一定の評価ができるものの、認知度向上に努めてください。 また、カビ臭の苦情があったとのことで、日々の換気や清掃を徹底し、快適な施設環境の維持に引き続き取り組んでください。	B

別紙様式6

指定管理者制度導入施設の管理運営に関する評価票(評価対象年度:令和6年度)

施 設 の 名 称	栗原市金成温泉金成延年閣
施 設 所 管 部 署 名	商工観光部田園観光課

1 評価対象施設の概要 (施設所管課記入)

施 設 名 称	栗原市金成温泉金成延年閣		
施 設 所 在 地	栗原市金成三沢32番地		
設 置 年 月	平成3年11月	設置根拠条例	栗原市金成温泉金成延年閣条例
設 置 目 的	市民の保養及び健康の増進並びに地域の活性化に資することを目的とする。		
施 設 概 要	面 積	温泉棟 延床面積2,227.71㎡、屋内ゲートボール場 延床面積575.81㎡ 敷地面積 25,624㎡	
	構 造	温泉棟 鉄筋コンクリート造平屋建一部地下1階 屋内ゲートボール場 鉄骨造平屋建	
	施設内容	(施設内の設置室内内容) ①温泉棟 1階 玄関、事務室、フロント、売店、食堂、厨房、大休憩室(250人)、小休憩室(2室30人)、小会議室(16人)、大浴場、露天風呂、サウナ、小浴場、便所、地下1階 休憩室1号(30人)、休憩室2号(50人)、休憩室3号(100人)、パントリー、便所 ②屋内ゲートボール場 ゲートボール場、便所 ③源泉 源泉2本 ④駐車場 敷地面積 3,000㎡	
休 館 日	毎月第2・第4火曜日 ※ 条例から変更の有無 ☒ 有 ☐ 無		
開 館 時 間	【温泉棟】 午前9時から午後9時まで 【ゲートボール場】 午前9時から午後5時まで ※ 条例から変更の有無 ☐ 有 ☒ 無		
施 設 利 用 料 金	利用料金制	☐ 採用 ☐ 採用無 ☒ 指定管理料と併用 ☐ 指定管理料のみ	
	設定金額	使用料、観覧料等の設定ごとに記載 ※ 条例から変更の有無 ☐ 有 ☒ 無	

2 指定管理者等の概要 (施設所管課記入)

指 定 管 理 者	事業者等名称	株式会社 ゆめぐり		
	事務所所在地	栗原市栗駒沼倉耕英東50番地1		
指 定 の 期 間	令和5年4月1日～令和8年3月31日（3年間）			
指定にかかる選定方法	☐ 公募 ☒ 非公募		指定管理料	196,140,000円(税込み)（3年間） ※ハイルザーム栗駒、栗駒コテージ、金成延年閣、 温湯山荘、花山少年旅行村の5施設一括

3 施設管理の経過 (施設所管課記入)

期 間	管理形態	施設管理を行った団体等	摘要
平成19年4月 ～ 令和 8年3月	指定管理	株式会社 ゆめぐり	H21,26,29,R2, R5 更新

4 施設の利用実績 (指定管理者記入)

	事業計画	実 績		計画との比率 (%)	前年度との比較 (%)
	評価対象年度 (令和6年度)	前年度 (令和5年度)	評価対象年度 (令和6年度)		
開 館 日 数	342日	344日	342日	100.0%	99.4%
利用者数(延べ人数)	102,200人	95,135人	97,295人	95.2%	102.3%
利 用 料 金 収 入	98,330,000円	85,205,623円	96,197,131円	97.8%	112.9%
主 な 増 減 要 因 (前 年 比)	昨年に続きコロナウイルスによる自粛緩和の風潮が弱まったことで、特に宴会会食に利用が増えたため。				

5 自主事業等の実績（指定管理者記入）

年月日	事業名	事業内容	対象者	参加者数
令和6年4月～令和7年3月	舞踊・神楽公演	舞踊団・神楽団体による公演を計25回実施	一般	2,093人
令和6年11月2日	創業祭	創業日をお客様と共に祝うイベント	一般	89人
令和6年4月5日	第12回延年杯PG大会	主催のパークゴルフ大会	一般	64人
令和6年4月～令和7年3月	温泉バス	食事日帰りプラン11回開催	一般	101人
令和6年6月3日～6月9日	菖蒲湯	金風呂に菖蒲を入れた薬草風呂	一般	1,681人
令和6年7月14日～8月5日	うなぎ弁当販売	うなぎ弁当販売	一般	1,579人
令和6年8月30日・31日 9月 6日・ 7日	酒フェスタ2024	「飲み放題+ビュッフェ」の夏祭りのイベント	一般	260人

6 施設の管理運営における課題（指定管理者、施設所管課記入）

指定管理者（指定管理者記入）	市（施設所管課記入）
・競争力の衰えている施設のため、他と比較して強みとなる設備を売り出す必要がある。具体的にサウナ・水風呂・家族風呂が該当するが、老朽化や収容人数の少なさ等により修繕・拡張が必要である。お客様からも非常に強い改善要望が寄せられている。 ・築34年が経過し、老朽化による不具合が多発している。大小の修繕が経費面を圧迫しており、これを補う売上を上げる為にも大規模なリニューアルが望ましい。	・サウナの拡張や水風呂の設置については、構造上難しいこともあり、どのような改修が可能かを検討する必要があると考えます。 ・修繕については、費用はかかるものの必要に応じ適切に行う必要があると考えます。

7 施設利用者からの主な意見等とその対応状況（指定管理者記入）

施設利用者からの主な意見等	対応状況等
水風呂を設置してほしい。	栗原市にお客様の要望を伝え、改修を検討していただいている。
サウナ設備を充実させてほしい。	収容人数が最大でも7名の小型サウナのため、拡張を望む声が多い。栗原市で唯一のサウナ設置施設のためか、水風呂の設置を含め日頃から改善の要求を多くいただいている。
不衛生な客、マナーの悪い客が多いので何とかしてほしい。	大声で騒ぐ、体を洗わずに入浴するなどマナーを守らない一部のお客様の行動が施設の印象を損なう要因となり、新規顧客参入の妨げとなっている。主に、常連客にこうした傾向が多く見受けられ、様々な注意喚起を行っているが、なかなか改善につながらない。

8 総合的な評価（指定管理者、施設所管課記入）

評価項目	指定管理者の自己評価		市の評価		改善 勧告
	評価	コメント	評価	コメント	
(1) 基本的な方針に基づく管理・運営体制	B		B		
① 施設の管理運営に必要な人員及び有資格者等を計画どおり適切に配置しているか。	C	人員が不足しており複数部署を兼務して監督している	C	施設運営に支障が無いよう、職員の適切な配置を求めます。	
② 指定管理業務に必要な知識及びサービスの向上のため、研修等人材育成に努めているか。	C	新規採用の社員が入ってこないため、後継者の育成ができていない。	C	人事計画については、本社と協議の上、施設運営に影響が無いよう、適切に対応願います。	
③ 通常の安全管理や緊急時の対応について、職員が適切に行える環境を整備しているか。	A	緊急時の指示系統を確立し、安全管理においては責任者を置いている。	A	適切に管理されていると認めます。	
④ 各業務日誌等の管理記録を適切に整備・保管しているか。	A	各管理記録簿に記録し、7年間保管している。	A	適切に管理されていると認めます。	
⑤ 個人情報の取り扱い及び保護の対策について適切に行われているか。	B	適切に行われている。	A	適切に管理されていると認めます。	
⑥ 法令等を遵守し、市と締結している協定に基づいた管理・運営を遂行しているか。	B	法令を遵守し、市との協定に基づいて運営している。	A	適切に管理されていると認めます。	
(2) 施設管理の状況	B		B		
① 市の承認した内容に基づき、施設の開館及び利用時間、利用料金設定を遵守しているか。	B	市の承認した内容に基づき運営している。	A	適切に管理されていると認めます。	
② 施設内、設備等の清掃及び保守点検等を適切に行い、良好な施設環境を維持しているか。	A	保守点検を行い、日々の施設状況を管理記録簿を用いて記録している	B	おおむね適正であると認めます。玄関軒天井や脱衣所窓などは日常の清掃に努めてください。	
③ 協定に基づき施設設備や備品等の適切な修繕対応を行っているか。	C	随時報告は行っているが、老朽化のため修繕箇所が多発しており、保留状態となっているものもある。	C	施設で対応可能な軽微なものについては早めの修繕をお願いします。規模が大きなものは、緊急性の高いものから順次対応してまいります。	
④ 設備維持と事故等防止のため、必要な専門的点検を実施し安全確認を行っているか。	A	法定点検の実施。専門業者へ点検を依頼。	A	適切に管理されていると認めます。	
(3) 利用者へのサービス提供と満足度	B		B		
① 利用者の利便性を意識した迅速な利用許可手続きや施設情報の提供を行っているか。	B	利便性を図りキャッシュレス決済等の最新機器を取り入れているが、それを嫌厭する年齢層の方もいる	A	新たな年齢層の顧客獲得・利便性向上に向けて取り組みが見られる。	
② 利用者アンケート等により利用者の意見を把握し反映する取り組みを行ったか。	B	アンケートにて利用者の意見を収集している。個人での考え方の違いも多く、万人に満足のいく対応ができないことも多い	B	おおむね適正であると認めます。	
③ 要望及び苦情等に対する対応が十分になされたか。	B	施設の修繕や改修に関する要望が多く、即時対応は難しい。	B	おおむね適正であると認めます。	
④ 施設の目的を活かし利用者の充実のため新たな取り組みを実施したか。	A	イベントに関しては常にお客様の声を聴き、できるだけ要望に応え、よりよいものとなるよう努力している	A	イベント参加者も増加しており、引き続き魅力あるイベントや宴会プランに取り組んでいただきたい。	
⑤ モニタリング・アンケートの結果、利用者の満足が得られていたか。	B	googleの施設評価は3.6であり、概ね良好ではある	B	おおむね適正であると認めます。	
⑥ 利用者に対し職員の対応、身なり等は適切であるか。	B	混雑時など、職員の対応について十分でない部分が見受けられた。	B	人員不足などで難しい部分もあるかと思われますが、きめ細やかな対応に努めてください。	
(4) 運営の状況（収支の実績等）	B		B		
① 収支計画及び事業計画と比較し実績の状況は妥当であるか。	B	計画に対しては改善となった。	B	計画値には至らなかったが、昨年より利用人数及び収入の伸びが見られた。	
② 積極的に収入の創出（増）に努め、又収入の増加に繋がる具体的な取り組みがあったか。	A	イベント企画の改善を行い、お客様の満足度向上と収入増につながる取り組みをした。	A	自主事業による収入は計画値を上回った。	
③ 積極的に経費削減に努め、又具体的に経費の削減が図られた実績が見られるか。	C	経費に関して常に抑制するよう努めているが、修繕や更新、物価高騰等により計画を上回ってしまった。	B	人件費をはじめ、経費の抑制に努めていることは見受けられる。	
④ 指定管理業務における専用口座及び諸帳簿等を備え適正な経理が行われているか。	A	会計事務所の指導を守り、監査においても特段の指摘はなかった。	A	適切に管理されていると認めます。	

総合評価	指定管理者の自己評価（指定管理者記入）		市の評価（施設所管課記入）	
	＜指定管理者の所見＞	評価	＜施設所管課の所見＞	評価
	利用者は昨年より増加しており、特に宴会・会食関係はコロナ禍より順調な回復を見せている。イベント関係についても、昨年を上回る集客となった。また、インターネット上の予約サイトを利用することで、当館の強みである家族風呂や個室の宣伝・誘客を行い、安定した利用を実現することができた。経費面においては、従業員に複数部署の業務を兼務させ、休館日を利用したシフト調整を行うことで最低人員での運営を行うことで、コスト削減に努めているが、最低賃金の上昇・物価の高騰により支出は計画より増となった。加えて老朽化による設備面での不具合・修繕が発生することも多く、さらなる経費増を生む要因となっている。	B	事業計画上の数値には至っていないものの、利用者数及び利用収入については前年度から増加しており、集客への取り組みが成果にあらわれているものと考えます。 自主事業についても集客増となっているため、新たな事業の企画や既存事業の見直しにより、新たな顧客の誘客を図れるような取り組みを期待します。 気持ちよく施設を利用してもらえるよう、適切な施設の維持管理に努めてください。	B

別紙様式6

指定管理者制度導入施設の管理運営に関する評価票(評価対象年度:令和6年度)

施 設 の 名 称	栗原市花山温泉 温湯山荘
施 設 所 管 部 署 名	商工観光部田園観光課

1 評価対象施設の概要 (施設所管課記入)

施 設 名 称	栗原市花山温泉 温湯山荘		
施 設 所 在 地	栗原市花山字本沢温湯15-1		
設 置 年 月	平成 8 年 8 月	設置根拠条例	栗原市花山温泉温湯山荘条例
設 置 目 的	温泉利用による健康保持及び観光産業の創出による地域振興を図るため		
施 設 概 要	面 積	2,495.00㎡	
	構 造	RC造 地下1階 地上3階	
	施設内容	建築面積 : 1315. 50㎡ 延床免責 : 2597. 29㎡	
休 館 日	なし ※ 条例から変更の有無 ☐ 有 ☒ 無		
開 館 時 間	日帰りの場合、午前10時から午後6時まで 宿泊の場合、午後3時から利用最終日の午前10時まで ※ 条例から変更の有無 ☐ 有 ☒ 無		
施 設 利 用 料 金	利用料金制	☐ 採用 ☐ 採用無 ☒ 指定管理料と併用 ☐ 指定管理料のみ	
	設定金額	別紙資料のとおり ※ 条例から変更の有無 ☐ 有 ☒ 無	

2 指定管理者等の概要 (施設所管課記入)

指 定 管 理 者	事業者等名称	株式会社 ゆめぐり		
	事務所所在地	栗原市栗駒沼倉耕英東50番地1		
指 定 の 期 間	令和5年4月1日～令和8年3月31日（3年間）			
指定にかかる選定方法	☐ 公募 ☒ 非公募	指定管理料	196,140,000円（税込み）（3年間） ※ハイルザーム栗駒、栗駒コテージ、金成延年閣、 温湯山荘、花山少年旅行村の5施設一括	

3 施設管理の経過 (施設所管課記入)

期 間	管理形態	施設管理を行った団体等	摘要
平成19年4月 ～ 令和 8年3月	指定管理	株式会社 ゆめぐり	H21,26,29,R2, R5 更新

4 施設の利用実績 (指定管理者記入)

	事業計画	実 績		計画との比率 (%)	前年度との比較 (%)
	評価対象年度 (令和6年度)	前年度 (令和5年度)	評価対象年度 (令和6年度)		
開 館 日 数	365日	366日	354日	97.0%	96.7%
利用者数(延べ人数)	24,035人	21,546人	20,889人	86.9%	97.0%
利 用 料 金 収 入	130,131,000円	96,944,857円	107,309,136円	82.5%	110.7%
主 な 増 減 要 因 (前 年 比)	利用人数が前年比で657人減(97%) 宿泊は、856人増(113%)、日帰り1,513人減(89%) 宿泊 関東圏804人増(地熱開発掘削工事長期滞在による)。栗原市内32人減(99%) 仙台市260人減(82%) 日帰り 12月～3月の日帰り利用人数が前年比1,320人減(72%) 7月、8月が121人減(94%) 令和7年1月27日～令和7年2月6日設備修繕工事の為休館				

5 自主事業等の実績（指定管理者記入）

年月日	事業名	事業内容	対象者	参加者数
令和6年09月07日	くりはらの銘酒と花山のそばを愉しむゆうべ	地酒の飲み比べと手打ちそばを味わうイベント	一般	18人
令和6年07月22日	湊牛館トレッキング	湊牛館、吊り橋 ガイド付き散策イベント	一般	7人
令和6年08月08日	創業祭	舞踊ショー観覧ディナーショー	一般	40人
12月、1月、3月	舞踊ショー	舞踊観覧ショー	一般	136人
毎月26日	ふろの日	入浴料金割引(大人350円 小人150円)	一般	610人

6 施設の管理運営における課題（指定管理者、施設所管課記入）

指定管理者(指定管理者記入)	市(施設所管課記入)
・収入の確保 ・施設の経年劣化による不具合箇所が生じていることから日頃の点検と計画的な修繕が必要。 ・労働人口が減少、人材の確保(担い手不足)が課題。 ・地域人口の減少の中、利用客の確保(仙台圏等からの誘客) ・水道光熱費等の物価高騰に対する対応(支出の抑制)	・施設の老朽化に伴い、不具合箇所が多くみられるようになっていするため、普段から施設内の点検を行い、不具合が軽微な内に対応する必要があります。 ・利用客数の確保につながる広告宣伝の範囲が宮城県北・岩手県南・仙台圏に固定化されており、対象地域を見直す等、効果的な広告宣伝の検討が必要と考えます。

7 施設利用者からの主な意見等とその対応状況（指定管理者記入）

施設利用者からの主な意見等	対応状況等
スタッフの対応が親切です。型通りでない、さり気ない気配り、気遣いが魅力です	
館内のいたるところに気配りと、生花が飾ってあり和みます	従業員が自宅で育てている花を持ち寄り館内に飾っています
施設の劣化は仕方ないのでしょうか？リニューアルが必要です。温泉、サービス、食事は良かったです	

8 総合的な評価（指定管理者、施設所管課記入）

評価項目	指定管理者の自己評価		市の評価		改善 勧告
	評価	コメント	評価	コメント	
(1) 基本的な方針に基づく管理・運営体制	A		B		
① 施設の管理運営に必要な人員及び有資格者等を計画どおり適切に配置しているか。	A	法定点検は専門業者へ委託し対応している	B	有資格者については問題ないが、施設管理に必要な人員は不足している。	
② 指定管理業務に必要な知識及びサービスの向上のため、研修等人材育成に努めているか。	A	市や県が主催した講習会へ参加した。	A	適切に管理されている。	
③ 通常の安全管理や緊急時の対応について、職員が適切に行える環境を整備しているか。	A	避難訓練(年2回)実施	A	適切に管理されている。	
④ 各業務日誌等の管理記録を適切に整備・保管しているか。	A	管理記録の記入と保管	B	おおむね適切に管理されている。	
⑤ 個人情報の取り扱い及び保護の対策について適切に行われているか。	A	条例に従った対応	A	適切に管理されている。	
⑥ 法令等を遵守し、市と締結している協定に基づいた管理・運営を遂行しているか。	A	異常時は担当課、担当者へ報告	B	修繕・復旧報告に遅延が生じていることがあった。	
(2) 施設管理の状況	A		B		
① 市の承認した内容に基づき、施設の開館及び利用時間、利用料金設定を遵守しているか。	A	条例に従った対応	A	適切に管理されている。	
② 施設内、設備等の清掃及び保守点検等を適切に行い、良好な施設環境を維持しているか。	A	定期的な巡回管理と業者へ点検委託	B	備品管理や清掃について一部行き届いていない部分が見られた	
③ 協定に基づき施設設備や備品等の適切な修繕対応を行っているか。	A	随時、担当課へ報告し対応	B	修繕・復旧報告に遅延が生じていることがあった。	
④ 設備維持と事故等防止のため、必要な専門的点検を実施し安全確認を行っているか。	A	専門業者へ委託し管理	B	おおむね適切に管理されている。	
(3) 利用者へのサービス提供と満足度	A		A		
① 利用者の利便性を意識した迅速な利用許可手続きや施設情報の提供を行っているか。	A	申請時には迅速に対応	A	適切に管理されている。	
② 利用者アンケート等により利用者の意見を把握し反映する取り組みを行ったか。	A	アンケート用紙を設置	A	適切に管理されている。	
③ 要望及び苦情等に対する対応が十分になされたか。	A	随時対応	A	適切に管理されている。	
④ 施設の目的を活かし利用者の充実のため新たな取り組みを実施したか。	A	「ふろの日」サービスの継続	B	おおむね適切に管理されている。	
⑤ モニタリング・アンケートの結果、利用者の満足が得られていたか。	A	満足できたとの感想が多い	A	適切に管理されている。	
⑥ 利用者に対し職員の対応、身なり等は適切であるか。	A	アンケートにおいて従業員対応について高評価を得ている	A	適切に管理されている。	
(4) 運営の状況（収支の実績等）	B		B		
① 収支計画及び事業計画と比較し実績の状況は妥当であるか。	C	前年より損失が減ったが、目標には届かなかった	C	前年度に引き続き赤字となった。	
② 積極的に収入の創出（増）に努め、又収入の増加に繋がる具体的な取り組みがあったか。	A	新たな宿泊プランを企画販売した	B	新たなプランを多く提案したものの、抜本的な改善につながる取り組みは見られなかった。	
③ 積極的に経費縮減に努め、又具体的に経費の縮減が図られた実績が見られるか。	B	共同購入見積りを実施する等、支出抑制に取り組みました	B	おおむね適切に管理されている。	
④ 指定管理業務における専用口座及び諸帳簿等を備え適正な経理が行われているか。	A	監査による指摘なし	A	適切に管理されている。	

総合評価	指定管理者の自己評価（指定管理者記入）	評価	市の評価（施設所管課記入）	評価
	<指定管理者の所見>	B	<施設所管課の所見>	B
	運営経費を賄える収入の確保を目指し、季節に見合った宿泊プランの企画、インターネットの販売強化を図り誘客に努めましたが、宿泊売上は計画比80%に留まり売上が計画に届きませんでした。 接客対応は、アンケートでも好評価を頂いており、今後も「おもてなしの心」で対応していきます 管理面では、7月に空調(冷房)の故障により、お客様へご迷惑を掛けてしまいました。空調故障以外には、事故や苦情は無く管理運営ができたと考えております。		地熱開発業者の利用により年間を通じて宿泊数が確保されているものの、自主事業による収入を増やす取り組みや、新たな販路を開拓していくことが必要と考えます。 慢性的な人員不足ではあるものの、接客等のソフト面はアンケート結果で良好であり、今後も利用者が快適に過ごせるよう、心のこもった対応に期待します。 空調機器の不具合等、施設の老朽化に関しては、指定管理者と協議しながら計画的に対応する必要があると考えます。	

別紙様式6

指定管理者制度導入施設の管理運営に関する評価票(評価対象年度:令和6年度)

施設 の 名 称	栗原市花山青少年旅行村
施設 所 管 部 署 名	商工観光部田園観光課

1 評価対象施設の概要 (施設所管課記入)

施設名称	栗原市花山青少年旅行村		
施設所在地	栗原市花山字本沢稲干場2-1		
設置年月	昭和48年7月	設置根拠条例	栗原市花山少年旅行村条例
設置目的	青少年の健全な旅行を推奨するとともに、地域の振興を図り、もって地域住民の福利向上に資することを目的とする。		
施設概要	面積	管理棟 延床面積 180.76㎡、コテージ 延床面積 48.86㎡×8棟 敷地面積 57,524㎡	
	構造	管理棟 木造2階建 コテージ 木造平屋建	
	施設内容	(施設内の設置室内内容) ①管理棟 事務室、会議室 ②コテージ 8棟 ③集会棟 1棟 ④シャワー棟 1棟 ⑤炊事場 1棟 ⑥便所 1棟 ⑦四阿	
休館日	なし ※ 条例から変更の有無 ☒ 有 ☐ 無		
開館時間	キャンプ場 日帰りの場合、午前9時から午後5時まで 宿泊の場合、午後10時から利用最終日の午前9時まで コテージ 午後2時から利用最終日の午前10時まで 雨天集会場 午前9時から午後10時まで 運動広場 午前9時から午後5時まで ※ 条例から変更の有無 ☐ 有 ☒ 無		
施設利用料金	利用料金制	☐ 採用 ☐ 採用無 ☒ 指定管理料と併用 ☐ 指定管理料のみ	
	設定金額	使用料、観覧料等の設定ごとに記載 ※ 条例から変更の有無 ☐ 有 ☒ 無	

2 指定管理者等の概要 (施設所管課記入)

指 定 管 理 者	事業者等名称	株式会社 ゆめぐり		
	事務所所在地	栗原市栗駒沼倉耕英東50番地1		
指 定 の 期 間	令和5年4月1日～令和8年3月31日（3年間）			
指定にかかる選定方法	☐ 公募 ☒ 非公募	指定管理料	196,140,000円(税込み)（3年間） ※ハイルザーム栗駒、栗駒コテージ、金成延年閣、 温湯山荘、花山少年旅行村の5施設一括	

3 施設管理の経過 (施設所管課記入)

期 間	管理形態	施設管理を行った団体等	摘要
平成19年4月 ~ 令和 8年3月	指定管理	株式会社 ゆめぐり	H21,26,29,R2, R5 更新

4 施設の利用実績 (指定管理者記入)

	事業計画	実 績		計画との比率 (%)	前年度との比較 (%)
	評価対象年度 (令和6年度)	前年度 (令和5年度)	評価対象年度 (令和6年度)		
開 館 日 数	365日	366日	365日	100.0%	99.7%
利用者数(延べ人数)	7,960人	6,958人	6,801人	85.4%	97.7%
利 用 料 金 収 入	11,239,700円	7,705,021円	7,536,000円	67.0%	97.8%
主 な 増 減 要 因 (前 年 比)	キャンプブームに陰りがでてきており、利用者の近隣競合施設と競争になってきている。 本年度は8月増員となったがそれ以外の月は減少傾向。 昨年に続き冬キャンプについて実施し、期間中の利用者は363名の利用				

5 自主事業等の実績（指定管理者記入）

年月日	事業名	事業内容	対象者	参加者数
8月25日	サップ教室in花山湖	サップ体験有5月（募集ゼロ）、8月	一般	6人
6月～10月	ポケモンボート	ラプラスボート乗舟	一般	350人

6 施設の管理運営における課題（指定管理者、施設所管課記入）

指定管理者（指定管理者記入）	市（施設所管課記入）
ここ数年のキャンプブームの陰りが見えてきているなかで競合他社との差別化に向けてイベントなど企画を実施する必要があるが今年度は実施することが出来なかった。 モルックなどの野外スポーツ用品を充実させた。	近年、県内にもキャンプ場が新たにオープンしていることから、他の類似施設との差別化を図るための自主事業の取り組みが必要と考えます。

7 施設利用者からの主な意見等とその対応状況（指定管理者記入）

施設利用者からの主な意見等	対応状況等
玄関ロビーの窓にカフェカーテンがあると外から丸見えにならず良いと思います。	検討いたします。
Wi-Fiがつながりにくい	以前からつながりにくいと何回か言われており栗原市に報告し数回NTTにも現場を確認していただいているが、時折つながりにくい時がありこれ以上の改善が望めない
岩魚塩焼き販売美味しかったです。	
景観が素晴らしい。	
スタッフの対応が良かった	

8 総合的な評価（指定管理者、施設所管課記入）

評価項目	指定管理者の自己評価		市の評価		改善 勧告
	評価	コメント	評価	コメント	
(1) 基本的な方針に基づく管理・運営体制	A		B		
① 施設の管理運営に必要な人員及び有資格者を計画どおり適切に配置しているか。	A	必要な人員を配置し対応した。	B	おおむね適切に管理されている。	
② 指定管理業務に必要な知識及びサービスの向上のため、研修等人材育成に努めているか。	B	社内研修のみ参加。社外研修に参加できなかった。	B	おおむね適切に管理されている。	
③ 通常の安全管理や緊急時の対応について、職員が適切に行える環境を整備しているか。	A	適切な環境整備を実施した。	A	警察などと連携し、適切に安全管理されている。	
④ 各業務日誌等の管理記録を適切に整備・保管しているか。	A	適切な書類整備を実施した	B	おおむね適切に管理されている。	
⑤ 個人情報の取り扱い及び保護の対策について適切に行われているか。	A	適切な取り扱いをした。	A	適切に管理されている。	
⑥ 法令等を遵守し、市と締結している協定に基づいた管理・運営を遂行しているか。	A	法令順守し、栗原市と定期的に連絡を取って管理・運営をした	A	適切に管理されている。	
(2) 施設管理の状況	A		B		
① 市の承認した内容に基づき、施設の開館及び利用時間、利用料金設定を遵守しているか。	A	条例、利用料金を遵守した	A	適切に管理されている。	
② 施設内、設備等の清掃及び保守点検等を適切に行い、良好な施設環境を維持しているか。	A	環境整備実施した	B	おおむね適切に管理されている。	
③ 協定に基づき施設設備や備品等の適切な修繕対応を行っているか。	A	設備、備品を適切に利用した	B	おおむね適切に管理されている。	
④ 設備維持と事故等防止のため、必要な専門的点検を実施し安全確認を行っているか。	A	各種検査を適正に実施した	A	適切に管理されている。	
(3) 利用者へのサービス提供と満足度	A		B		
① 利用者の利便性を意識した迅速な利用許可手続きや施設情報の提供を行っているか。	A	適切に実施した	B	おおむね適切に対応されている。	
② 利用者アンケート等により利用者の意見を把握し反映する取り組みを行ったか。	A	適切に対応した。	B	おおむね適切に対応されている。	
③ 要望及び苦情等に対する対応が十分になされたか。	A	要望にできる限り対応した	A	適切である。	
④ 施設の目的を活かし利用者の充実のため新たな取り組みを実施したか。	A	快適利用できるように環境整備に取り組んだ。	B	特に新たな取り組みは見受けられなかった。	
⑤ モニタリング・アンケートの結果、利用者の満足が得られていたか。	A	得られた。	A	満足が得られていた。	
⑥ 利用者に対し職員の対応、身なり等は適切であるか。	A	適切に対応した。	A	適切である。	
(4) 運営の状況（収支の実績等）	C		C		
① 収支計画及び事業計画と比較し実績の状況は妥当であるか。	C	収支についてもマイナスとなった	C	前年度に引き続き、赤字となっている。	
② 積極的に収入の創出（増）に努め、又収入の増加に繋がる具体的な取り組みがあったか。	C	新たな自主事業を実施できなかった。	C	ダム工事などの影響もあったが、新たな自主事業は確認できなかった。	
③ 積極的に経費削減に努め、又具体的に経費の削減が図られた実績が見られるか。	B	車両費、通信費が計画を上回る。	C	収支について一部経理と情報共有されていない部分があった。	
④ 指定管理業務における専用口座及び諸帳簿等を備え適正な経理が行われているか。	A	適切に処理した	A	適切に処理されている。	

総合評価	指定管理者の自己評価（指定管理者記入）		市の評価（施設所管課記入）	
	<指定管理者の所見>			
	C		B	
	本年度も昨年に続き赤字経営となってしまった。 昨年からキャンプ食材の販売や、モルックなどのゲーム器具を増やすなど実施したが、利用者全体として日帰り、宿泊共に利用者が減少。近隣競合施設を利用する方やキャンプブームに陰りができてきていると実感した。		令和5年度に県内各地にキャンプ場が新たにオープンした影響か、本施設の利用人数が減少し、前年度に引き続き売上が計画を大きく下回っています。 自主事業の件数が少ないことから、近隣類似施設との差別化を図るための自主事業を実施する等、収入増を目指す取り組みが求められます。また、支出額の抑制するためには施設の利用状況を分析し、開所期間や運営体制等を見直す必要もあると考えます。	

別紙様式6

指定管理者制度導入施設の管理運営に関する評価票(評価対象年度:令和6年度)

施設の名 称	栗原市スワントピア交流館
施設所管部署名	商工観光部田園観光課

1 評価対象施設の概要 (施設所管課記入)

施設名称	栗原市スワントピア交流館		
施設所在地	栗原市築館字横須賀養田18番地		
設置年月	平成8年4月	設置根拠条例	栗原市スワントピア交流館条例
設置目的	伊豆沼・内沼の自然観察及び自然教育に資するとともに、来訪者と地域住民との交流の場とすることを目的とする。		
施設概要	面積	延床面積 101.25㎡、 敷地面積 3,668㎡	
	構造	木造ログハウス式平屋建	
	施設内容	(施設内の設置室内容) 交流室、ホワイエ、喫茶室、トイレ	
休館日	(1)月曜日(国民の祝日に関する法律に規定する休日(以下「休日」という。))に当たる日を除く。) (2)休日の翌日(土曜日又は日曜日に当たる日を除く。) (3)1月1日から同月3日まで及び12月29日から同月31日まで ※ 条例から変更の有無 ☒ 有 ☐ 無		
開館時間	午前9時 ～ 午後4時30分 ※ 条例から変更の有無 ☐ 有 ☒ 無		
施設利用料金	利用料金制	☐ 採用 ☐ 採用無 ☒ 指定管理料と併用 ☐ 指定管理料のみ	
	設定金額	月額16,230円の範囲内において指定管理者が定める。 ※ 条例から変更の有無 ☐ 有 ☒ 無	

2 指定管理者等の概要 (施設所管課記入)

指 定 管 理 者	事業者等名称	内沼観光物産協議会		
	事務所所在地	栗原市築館字横須賀養田18番地		
指 定 の 期 間	令和6年4月1日～令和11年3月31日（5年間）			
指定にかかる選定方法	☐ 公募	☒ 非公募	指定管理料	4,250,000円（5年間）

3 施設管理の経過 (施設所管課記入)

期 間	管理形態	施設管理を行った団体等	摘要
平成8年4月 ~ 平成18年8月	管理委託	内沼観光物産協議会	
平成18年9月 ~ 令和6年3月	指定管理	内沼観光物産協議会	H21、H26、H31、R6更新

4 施設の利用実績 (指定管理者記入)

	事業計画	実 績		計画との比率 (%)	前年度との比較 (%)
	評価対象年度 (令和6年度)	前年度 (令和5年度)	評価対象年度 (令和6年度)		
開 館 日 数	292日	309日	292日	100.0%	94.5%
利用者数(延べ人数)	2,500人	2,550人	2,480人	99.2%	97.3%
利 用 料 金 収 入	180,000円	180,000円	180,000円	100.0%	100.0%
主 な 増 減 要 因 (前 年 比)	開館日数の減に伴い、利用人数も減少した。				

5 自主事業等の実績（指定管理者記入）

年月日	事業名	事業内容	対象者	参加者数

6 施設の管理運営における課題（指定管理者、施設所管課記入）

指定管理者（指定管理者記入）	市（施設所管課記入）
施設の老朽化に伴い、階段等の修繕が必要となる他、蝙蝠対策が必要である。	施設利用者のアンケートの回収率が極めて低い状況です。

7 施設利用者からの主な意見等とその対応状況（指定管理者記入）

施設利用者からの主な意見等	対応状況等
特段なし。	

8 総合的な評価（指定管理者、施設所管課記入）

評価項目	指定管理者の自己評価		市の評価		改善 勧告
	評価	コメント	評価	コメント	
(1) 基本的な方針に基づく管理・運営体制	A		A		
① 施設の管理運営に必要な人員及び有資格者等を計画どおり適切に配置しているか。	A		A	適正であると認めます。	
② 指定管理業務に必要な知識及びサービスの向上のため、研修等人材育成に努めているか。	A		A	適正であると認めます。	
③ 通常の安全管理や緊急時の対応について、職員が適切に行える環境を整備しているか。	A		A	適正であると認めます。	
④ 各業務日誌等の管理記録を適切に整備・保管しているか。	A		A	適正であると認めます。	
⑤ 個人情報の取り扱い及び保護の対策について適切に行われているか。	A		A	適正であると認めます。	
⑥ 法令等を遵守し、市と締結している協定に基づいた管理・運営を遂行しているか。	A		A	適正であると認めます。	
(2) 施設管理の状況	A		A		
① 市の承認した内容に基づき、施設の開館及び利用時間、利用料金設定を遵守しているか。	A		A	適正であると認めます。	
② 施設内、設備等の清掃及び保守点検等を適切に行い、良好な施設環境を維持しているか。	A		A	適正であると認めます。	
③ 協定に基づき施設設備や備品等の適切な修繕対応を行っているか。	A		A	適正であると認めます。	
④ 設備維持と事故等防止のため、必要な専門的点検を実施し安全確認を行っているか。	A		A	適正であると認めます。	
(3) 利用者へのサービス提供と満足度	B		B		
① 利用者の利便性を意識した迅速な利用許可手続きや施設情報の提供を行っているか。	A		A	適正であると認めます。	
② 利用者アンケート等により利用者の意見を把握し反映する取り組みを行ったか。	B	記入者がいない	B	アンケートを実施しにくい環境であるが利用者の意見等を取り上げられるような工夫を期待する。	
③ 要望及び苦情等に対する対応が十分になされたか。	A		A	適正であると認めます。	
④ 施設の目的を活かし利用者の充実のため新たな取り組みを実施したか。	B		B	アンケートを実施しにくい環境であるが利用者の意見等を取り上げられるような工夫を期待する。	
⑤ モニタリング・アンケートの結果、利用者の満足が得られていたか。	B	記入者がいないので、不明	B	アンケートを実施しにくい環境であるが利用者の意見等を取り上げられるような工夫を期待する。	
⑥ 利用者に対し職員の対応、身なり等は適切であるか。	B	管理人は常駐していない	B	適正であると認めます。	
(4) 運営の状況（収支の実績等）	A		B		
① 収支計画及び事業計画と比較し実績の状況は妥当であるか。	A		A	適正であると認めます。	
② 積極的に収入の創出（増）に努め、又収入の増加に繋がる具体的な取り組みがあったか。	A		A	適正であると認めます。	
③ 積極的に経費縮減に努め、又具体的に経費の縮減が図られた実績が見られるか。	A		A	適正であると認めます。	
④ 指定管理業務における専用口座及び諸帳簿等を備え適正な経理が行われているか。	A		A	適正であると認めます。	

総合 評価	指定管理者の自己評価（指定管理者記入）	評価	市の評価（施設所管課記入）	評価
	<指定管理者の所見> 施設周辺の環境整備(草刈り等)を定期的実施している。室内については、消毒液の設置と定期的な清掃を行っている。また、年1回のハウスクリーニングを委託している。	A	<施設所管課の所見> 施設管理及び環境整備については、管理人が常駐していないものの、隣接する昆虫館の管理者である、くりはらツーリズムネットワークとの連携の下、適切に管理されています。ただし、利用者アンケートの回収率が低いため、より良い施設運営を行っていくためにも利用者アンケートの回収率が上がるような工夫が必要です。	A

別紙様式6

指定管理者制度導入施設の管理運営に関する評価票(評価対象年度:令和6年度)

施設 の 名 称	栗原市サンクチュアリセンターつきだて館
施設所管部署名	商工観光部田園観光課

1 評価対象施設の概要(施設所管課記入)

施設名	栗原市サンクチュアリセンターつきだて館		
施設所在地	栗原市築館字横須賀養田20番地1		
設置年月	平成5年7月	設置根拠条例	栗原市サンクチュアリセンターつきだて館条例
設置目的	人間と野生動植物とが共存できる優れた自然環境としてのサンクチュアリの創造及び市民の自然保護思想の向上に資することを目的とする。		
施設概要	面積	延床面積 465.24㎡ 、 敷地面積 3,557㎡	
	構造	管理棟 木造地上2階建	
	施設内容	(施設内の設置室内容) 事務室、展示室、シアター室、男子・女子トイレ	
休館日	月曜日(国民の祝日に関する法律に規定する休日に当たる日を除く。)、休日の翌日(土曜日又は日曜日に当たる日を除く。)、1月1日から同月3日まで及び12月29日から同月31日まで ※ 条例から変更の有無 ☐ 有 ☒ 無		
開館時間	午前9時 ～ 午後4時30分 ※ 条例から変更の有無 ☐ 有 ☒ 無		
施設利用料金	利用料金制	☐ 採用 ☐ 採用無 ☒ 指定管理料と併用 ☐ 指定管理料のみ	
	設定金額	使用料、観覧料等の設定ごとに記載 ※ 条例から変更の有無 ☐ 有 ☒ 無	

2 指定管理者等の概要(施設所管課記入)

指 定 管 理 者	事業者等名称	一般社団法人くりはらツーリズムネットワーク		
	事務所所在地	栗原市若柳字上畑岡敷味45番地		
指 定 の 期 間	令和6年4月1日～令和11年3月31日（5年間）			
指定にかかる選定方法	☒ 公募 ☐ 非公募	指定管理料	39, 900, 000円（5年間）	

3 施設管理の経過(施設所管課記入)

期 間	管理形態	施設管理を行った団体等	摘要
平成21年4月～平成31年3月	指定管理	公益財団法人 宮城県伊豆沼・内沼環境保全財団	H26更新
平成31年4月1日～令和6年3月31日	指定管理	一般社団法人くりはらツーリズムネットワーク	R6更新

4 施設の利用実績(指定管理者記入)

	事業計画	実 績		計画との比率 (%)	前年度との比較 (%)
	評価対象年度 (令和6年度)	前年度 (令和5年度)	評価対象年度 (令和6年度)		
開 館 日 数	306日	309日	306日	100.0%	99.0%
利用者数(延べ人数)	11,000人	11,034人	12,397人	112.7%	112.4%
利 用 料 金 収 入					
主 な 増 減 要 因 (前 年 比)	2024年度の来館者数は、前年比112.4%の12,397人となりました。 主な要因としては、夏季におけるハスの開花状況が良好であったことや、冬季の天候が比較的安定していたことにより、伊豆沼・内沼を訪れる方が多く見られた点が挙げられます。 また、夏場の猛暑に対応した「クーリングシェア」の取組をはじめ、年間を通じて実施した各種イベントや企画展も集客効果を高める要因となりました。 さらに、訪日外国人旅行者の増加に伴い、通年でインバウンドの受け入れが進んだことも、来館者数の増加に寄与したものと考えられます。				

5 自主事業等の実績（指定管理者記入）

年月日	事業名	事業内容	対象者	参加者数
2024年4月1日～2025年3月31日	Facebook企画「おしえて！むかつちコレなあ～に？」	見つけた昆虫のなまえが分からないとき、むかい＊いきもの研究所のむかつち博士（向井康夫博士）に相談し、Facebook上で回答を公開するもの。	一般・子ども	3人
2024年4月1日～2024年4月7日	企画展示「紙のこんちゅう採集 2024春休み編」	折り紙で作った昆虫を展示し、捕まえた紙の昆虫をプレゼント	一般・子供	
2024年4月7日	CLEAN WETLANDS Project日曜日のゴミ拾い	昆虫館を起点に伊豆沼・内沼をゴミ拾いして清掃	一般・子ども	36人
2024年4月19日	おやこでおんがくたいけん	ピアノの伴奏に歌や手遊びで音楽に親子で親しむ体験	親子（未就学児）	1組2名
2024年4月19日～	カブトムシ・クワガタムシの生体展示	カブトムシ・クワガタムシと自由に触れ合える成体展示	一般・子ども	
2024年5月5日	CLEAN WETLANDS Project日曜日のゴミ拾い	昆虫館を起点に伊豆沼・内沼をゴミ拾いして清掃	一般・子ども	33人
2024年5月11日	自然の恵みを包み込む「手づくりキャンドルワークショップ」	ドライにした地元の草花を混ぜ込んで、自分だけのオリジナルキャンドルを作成。	一般	12名
2024年5月16日	おやこでおんがくたいけん	ピアノの伴奏に歌や手遊びで音楽に親子で親しむ体験	親子（未就学児）	6組11名
2024年6月2日	CLEAN WETLANDS Project日曜日のゴミ拾い	昆虫館を起点に伊豆沼・内沼をゴミ拾いして清掃	一般・子ども	17人
2024年6月20日	おやこでおんがくたいけん	ピアノの伴奏に歌や手遊びで音楽に親子で親しむ体験	親子（未就学児）	5組10名
2024年6月30日～2025年3月31日	顔ハメパネル「チョウトンボにへんしん」設置	来館者が記念撮影を楽しめるよう、顔ハメパネルを設置	一般・子ども	
2024年7月7日	CLEAN WETLANDS Project日曜日のゴミ拾い	昆虫館を起点に伊豆沼・内沼をゴミ拾いして清掃	一般・子ども	24人
2024年7月18日	おやこでおんがくたいけん	ピアノの伴奏に歌や手遊びで音楽に親子で親しむ体験	親子（未就学児）	6組12名
2024年7月20日～2024年8月25日	企画展示「紙のこんちゅう採集 2024夏休み編」	折り紙で作った昆虫を展示し、捕まえた紙の昆虫をプレゼント	一般・子供	
2024年8月4日	CLEAN WETLANDS Project日曜日のゴミ拾い	昆虫館を起点に伊豆沼・内沼をゴミ拾いして清掃	一般・子ども	17人
2024年8月6日・7日	夏休み特別企画「七夕飾りワークショップ」	七夕に合わせ、自宅で楽しむ小さな七夕飾り（吹き流し）を作成。	一般・子供	14組
2024年8月22日	おやこでおんがくたいけん	ピアノの伴奏に歌や手遊びで音楽に親子で親しむ体験	親子（未就学児）	7組14名
2024年9月1日	CLEAN WETLANDS Project日曜日のゴミ拾い	昆虫館を起点に伊豆沼・内沼をゴミ拾いして清掃	一般・子ども	22人
2024年9月19日	おやこでおんがくたいけん	ピアノの伴奏に歌や手遊びで音楽に親子で親しむ体験	親子（未就学児）	5組10名
2024年10月6日	CLEAN WETLANDS Project日曜日のゴミ拾い	昆虫館を起点に伊豆沼・内沼をゴミ拾いして清掃	一般・子ども	31人
2024年10月17日	おやこでおんがくたいけん	ピアノの伴奏に歌や手遊びで音楽に親子で親しむ体験	親子（未就学児）	1組2名
2024年11月10日	CLEAN WETLANDS Project日曜日のゴミ拾い	昆虫館を起点に伊豆沼・内沼をゴミ拾いして清掃	一般・子ども	18人
2024年11月14日	おやこでおんがくたいけん	ピアノの伴奏に歌や手遊びで音楽に親子で親しむ体験	親子（未就学児）	2組5名
2024年12月1日	CLEAN WETLANDS Project日曜日のゴミ拾い	昆虫館を起点に伊豆沼・内沼をゴミ拾いして清掃	一般・子ども	19人
2024年12月1日	自分だけの小さな森「栗駒山麓栽培の苔でテラリウム」	地元の天然苔を使って、自分だけのコケテラリウムを作成。	一般	8人
2024年12月11日	天然素材で安心「蜜蝋ハンドクリーム」	栗原市内で採取された百花蜜から作られた蜜蝋を使って、天然素材のハンドクリームを作成。	一般	8人
2024年12月12日	おやこでおんがくたいけん	ピアノの伴奏に歌や手遊びで音楽に親子で親しむ体験	親子（未就学児）	9組19名
2024年12月21日	藁文化ワークショップ「しめ飾り」	稲わらを材料にしたしめ飾りづくりの体験	一般	11人
2024年12月25日	藁文化ワークショップ「しめ飾り」	稲わらを材料にしたしめ飾りづくりの体験	一般	8人
2024年12月25日～2025年1月7日	企画展示「紙のこんちゅう採集 2024-25冬休み編」	折り紙で作った昆虫を展示し、捕まえた紙の昆虫をプレゼント	一般・子供	
2024年12月25日～2025年3月31日	企画展示「世界のクワガタムシ展」	こんちゅう館が保管している標本からクワガタムシだけをピックアップ！125種類の世界のクワガタムシの標本を展示	一般・子供	
2025年1月12日	CLEAN WETLANDS Project日曜日のゴミ拾い	昆虫館を起点に伊豆沼・内沼をゴミ拾いして清掃	一般・子ども	24人
2025年1月16日	おやこでおんがくたいけん	ピアノの伴奏に歌や手遊びで音楽に親子で親しむ体験	親子（未就学児）	3組6名
2025年2月2日	CLEAN WETLANDS Project日曜日のゴミ拾い	昆虫館を起点に伊豆沼・内沼をゴミ拾いして清掃	一般・子ども	26人
2025年2月13日	おやこでおんがくたいけん	ピアノの伴奏に歌や手遊びで音楽に親子で親しむ体験	親子（未就学児）	2組4名
2025年3月2日	CLEAN WETLANDS Project日曜日のゴミ拾い	昆虫館を起点に伊豆沼・内沼をゴミ拾いして清掃	一般・子ども	20人
2025年3月13日	おやこでおんがくたいけん	ピアノの伴奏に歌や手遊びで音楽に親子で親しむ体験	親子（未就学児）	2組4名

6 施設の管理運営における課題（指定管理者、施設所管課記入）

指定管理者（指定管理者記入）	市（施設所管課記入）
・床の損傷、屋根の塗装の劣化、エアコンの故障など、施設の老朽化が進んでいるため、利用者の安全の確保や施設の維持の観点から修繕が必要と考えています。 ・シアタールームのコンテンツ（動画）が古くなり、情報の更新やコンテンツの魅力の向上が必要となっており、シアタールームの機能を含めて更新が必要と考えています。	・修繕の要望があるものについては、映像コンテンツの更新も含め、緊急性などを考慮しながら計画的な修繕が必要と考えます。

7 施設利用者からの主な意見等とその対応状況（指定管理者記入）

施設利用者からの主な意見等	対応状況等
特に意見や苦情等は無し。	来館者から苦情が発生することが無いように、引き続き適切に運営していきます。
見学にきた小学生から壁新聞や手紙などで御礼が届いています。	レクチャールームに子どもたちから届いた意見や感想、御礼の掲示物を展示しています。

8 総合的な評価（指定管理者、施設所管課記入）

評価項目	指定管理者の自己評価		市の評価		改善 勧告
	評価	コメント	評価	コメント	
(1) 基本的な方針に基づく管理・運営体制	A		A		
① 施設の管理運営に必要な人員及び有資格者等を計画どおり適切に配置しているか。	S	平均1.5人以上の配置により適切に運営した。	S	適正であると認めます。	
② 指定管理業務に必要な知識及びサービスの向上のため、研修等人材育成に努めているか。	A	専門家による勉強会や応急手当講習等により人材育成に努めた。	A	怪我や事故等に対応できる人材育成を評価します。	
③ 通常の安全管理や緊急時の対応について、職員が適切に行える環境を整備しているか。	A	日常業務で点検等を実施し、また適切な連絡体制を確保した。	A	適正であると認めます。	
④ 各業務日誌等の管理記録を適切に整備・保管しているか。	A	業務日誌を記録した。	A	適正であると認めます。	
⑤ 個人情報の取り扱い及び保護の対策について適切に行われているか。	A	原則として個人情報を収集しない対応とした。	A	適当な対応がなされていると認めます。	
⑥ 法令等を遵守し、市と締結している協定に基づいた管理・運営を遂行しているか。	A	協定書に基づいた管理・運営を行った。	B	期限内での報告書の提出をお願いします。	
(2) 施設管理の状況	A		A		
① 市の承認した内容に基づき、施設の開館及び利用時間、利用料金設定を遵守しているか。	A	承認内容を遵守して運営した。	A	適正であると認めます。	
② 施設内、設備等の清掃及び保守点検等を適切に行い、良好な施設環境を維持しているか。	A	日常で清掃を実施し、また法令に従って設備の保守点検を実施した。	A	適正であると認めます。	
③ 協定に基づき施設設備や備品等の適切な修繕対応を行っているか。	A	日常で点検を実施し、修繕対応を行った。	A	適正であると認めます。	
④ 設備維持と事故等防止のため、必要な専門的点検を実施し安全確認を行っているか。	A	外部の専門業者に委託し実施した。	A	適正であると認めます。	
(3) 利用者へのサービス提供と満足度	A		A		
① 利用者の利便性を意識した迅速な利用許可手続きや施設情報の提供を行っているか。	A	ウェブサイト、SNSにより利用案内をPRした。	A	SNSを通した情報提供が積極的であり評価します。	
② 利用者アンケート等により利用者の意見を把握し反映する取り組みを行ったか。	A	館内での利用者からの聴き取りやウェブサイト・SNSにより意見等を収集し、適切に対応した。	A	適正であると認めます。	
③ 要望及び苦情等に対する対応が十分になされたか。	A	特に要望、苦情等が無かった。	A	適正であると認めます。	
④ 施設の目的を活かし利用者の充実のため新たな取り組みを実施したか。	A	施設の利用を多様化するため、新たな取組を多数実施した。	S	自主事業を多数展開し、年間通じた集客への取り組みを評価します。	
⑤ モニタリング・アンケートの結果、利用者の満足が得られていたか。	A	満足が得られた。	A	引き続き、利用者から満足される施設管理に期待します。	
⑥ 利用者に対し職員の対応、身なり等は適切であるか。	A	利用者を自然体で迎えるため、普段着での従事としているが好評だった。	A	問題がないと認めます。	
(4) 運営の状況（収支の実績等）	A		A		
① 収支計画及び事業計画と比較し実績の状況は妥当であるか。	A	施設管理の経費は増加しているが、利用が多様化しているため、現段階では妥当と評価している。	A	支出は増となっているが、自主事業による収益が多く、妥当であると認める。	
② 積極的に収入の創出（増）に努め、又収入の増加に繋がる具体的な取り組みがあったか。	A	販売コーナー、自主事業の実施のほか、敷地内の施設との連携により収入確保に努めた。	S	自主事業を積極的にを行い、利用者の増につなげている。	
③ 積極的に経費削減に努め、又具体的に経費の削減が図られた実績が見られるか。	B	感染防止、暑さ対策の観点から換気を多くしており、そのため冷暖房費が増加している	B	必要経費をかけながら経費の削減に努めている。	
④ 指定管理業務における専用口座及び諸帳簿等を備え適正な経理が行われているか。	A	指定管理業務の適切な諸帳簿の管理を実施してる。	A	適正であると認めます。	

総合評価	指定管理者の自己評価（指定管理者記入）	評価	市の評価（施設所管課記入）	評価
	<指定管理者の所見> ・今年度は天候に恵まれ、特に夏季のハスの開花状況が良好で、多くの来館者が訪れた。冬季も降雪が少なく、野鳥観察目的の来館者が増加したことから、通年を通して来館者数が前年比112.4%と大きく増加した。 ・インバウンド需要の回復により、外国人観光客（個人・団体）の来館も見られ、国際的な利用が進んだ年でもあった。 ・猛暑対策として「クーリングシェア」の取組を実施し、地域の避暑空間としての役割も果たした。 ・学芸員不在の中、SNSの活用や外部専門家との連携による企画運営を継続的に実施し、施設の魅力向上に努めた。 ・カブトムシやクワガタムシなどの昆虫展示は、子どもを中心に大きな反響があり、夏季の集客に貢献した。 ・団体利用は24団体で673人とやや回復傾向にあり、ジオパーク学習や環境学習など教育利用の受け入れも引き続き実施した。 ・敷地内のスワンプピア交流館との連携も進み、相互利用による相乗効果を図った。 ・施設を起点とした環境啓発活動を継続して実施し、特に「CLEAN WETLANDS Project 日曜日のゴミ拾い」は、地域と連携した持続可能な自然保護活動として定着しつつある。	A	<施設所管課の所見> 天候等の影響もありますが、多種多様なイベントを開催することにより利用者が増えていることを評価します。 また、伊豆沼・内沼の環境保全イベントは、市の観光資源である2つの沼の保全と周遊をさせる目的として機能しており、これも評価します。 学芸員については常駐することを前提に指定管理を委任していることもあるため、引き続き人員の確保に努めてください。ただ、学芸員不在の状態にも関わらず、来館者のニーズを把握し、例年と変わらないペースで自主事業の開催に取り組んだことについては評価をしたいところです。 引き続き、利用者には喜ばれるサービスの提供を期待します。	A

別紙様式6

指定管理者制度導入施設の管理運営に関する評価票(評価対象年度:令和6年度)

施 設 の 名 称	くりはら田園鉄道公園
施 設 所 管 部 署 名	商工観光部田園観光課

1 評価対象施設の概要 (施設所管課記入)

施 設 名 称	くりはら田園鉄道公園(くりでんミュージアム、旧若柳駅舎等動態保存施設、芝生広場)		
施 設 所 在 地	栗原市若柳字川北塚ノ根17番地1ほか		
設 置 年 月	平成29年4月	設置根拠条例	栗原市くりはら田園鉄道公園条例
設 置 目 的	くりはら田園鉄道の歴史的財産の保存及び展示並びに乗車体験等を通じて、その歴史と文化に親しむ機会を広く提供し、もって市民文化の向上と地域の活性化に資する。		
施 設 概 要	面 積	延床面積 1, 169㎡、 敷地面積 18, 419㎡	
	構 造	木造	
	施設内容	・くりでんミュージアム ・旧若柳駅舎等動態保存施設 ・芝生広場	
休 館 日	火曜日、12月29日から翌年1月3日までの日 ※ 条例から変更の有無 ☐ 有 ☒ 無		
開 館 時 間	午前10時00分 ~ 午後5時00分 ※ 条例から変更の有無 ☐ 有 ☒ 無		
施 設 利 用 料 金	利用料金制	☐ 採用 ☐ 採用無 ☒ 指定管理料と併用 ☐ 指定管理料のみ	
	設定金額	○ミュージアム入館料 : 一般500円、小中学生300円 ○運転シミュレーター : 1回300円 ○レールバイク : 1台500円 ○鉄道車両 : 1人300円 ○鉄道車両運転体験 : 1両編成25,000円(初回は30,000円)、2両編成40,000円 ※ 条例から変更の有無 ☒ 有 ☐ 無	

2 指定管理者等の概要 (施設所管課記入)

指 定 管 理 者	事業者等名称	特定非営利活動法人Azuma-re		
	事務所所在地	栗原市築館伊豆二丁目5ー39 ビジネスホテル志ばたや内		
指 定 の 期 間	令和6年4月1日 ～ 令和11年3月31日（5年間）			
指定にかかる選定方法	☒ 公募 ☐ 非公募		指定管理料	193, 040, 000円（5年間）

3 施設管理の経過 (施設所管課記入)

期 間	管理形態	施設管理を行った団体等	摘要
平成29年4月 ~ 令和3年3月	直営	栗原市	
令和3年4月 ~ 令和6年3月	指定管理	特定非営利活動法人Azuma-re	R6更新

4 施設の利用実績 (指定管理者記入)

	事業計画	実 績		計画との比率 (%)	前年度との比較 (%)
	評価対象年度 (令和6年度)	前年度 (令和5年度)	評価対象年度 (令和6年度)		
開 館 日 数	308日	309日	308日	100.0%	99.7%
利用者数(延べ人数)	15,000人	18,587人	18,611人	124.1%	100.1%
利 用 料 金 収 入	4,850,000円	6,647,800円	6,928,560円	142.9%	104.2%
主 な 増 減 要 因 (前 年 比)	利用者数(延べ人数)に関して特筆すべき内容はミュージアム入館者のみを見た場合R5 7785名に対し、R6は8657名(111.2%増)。運転シミュレーターはR5 1119回に対し、1252回(前年度比111.8%増)と増えている点であり、この要因を計画的な広報戦略や年間20件以上のメディア露出(プレスリリース)、Googleなどロコミの増加による関心度向上と考える。一方で乗車会利用人数はR5 5828名に対して5011名(前年度費81.7%減)である点に関しては、秋まつりイベントおよび他乗車会が天候に恵まれず集客が伸び悩んだことが挙げられるため、根本的な減少の要因はないと考える。				

5 自主事業等の実績（指定管理者記入）

年月日	事業名	事業内容	対象者	参加者数
通年	グッズWebショップ販売事業	Webサイトを利用したグッズ販売	すべて	26件
通年	リピーター拡大事業	くりでんミュージアム入館に特化した年パスの発行	すべて	109件
通年	くりでんサポーターズ事業	サポーターズ会員の募集	すべて	14件
通年	旧若柳駅舎開放事業	駅舎の常時開放・案内の実施	すべて	4701名
通年	構内無料乗車会	イベント時以外に教育施設見学時の構内乗車会	すべて	18件
通年	貸切乗車会	イベント時以外に特定の団体に特別開催	すべて	3件
令和6年8月	気動車構内運転体験	子ども向け若柳構内のみのミニ運転体験	すべて	9名

6 施設の管理運営における課題（指定管理者、施設所管課記入）

指定管理者（指定管理者記入）	市（施設所管課記入）
施設設備の経年劣化について 令和7年1月にエントランスモニターの故障により映像が映らなくなったがその要因は経年劣化によるものであるとの指摘があった。また例年行っている株式会社丹靑社による定期点検では、シアタープロジェクターの投影時間がメーカー推奨時間を2025年中に越える見込みとなり、機器自体の交換を要する状態である。その他、客車庫外壁や、詰所外壁、若柳駅外壁、若柳駅車両屋根柱など経年劣化が見受けられる箇所もあるため、計画的な修繕・補修のための予算確保が課題となる。 令和5年度の自己評価において課題としていた保管庫の温度・湿度管理に関しては東北歴史博物館からの助言と新たに作成したルールを順守し、改善に向かっている。 動態保存における課題としては車両部品の調達と枕木及びレールのメンテナンスである。引き続き栗原市と情報共有を行ったうえで、持続的な維持の方法を模索していきたい。	修繕の要望があるものについては、緊急性等を考慮しながら計画的な修繕が必要と考えます。 令和5年度に課題となった資料保管庫のカビについては、指定管理者の適切な対応と管理により改善しているものと考えています。 動態保存については、調達が難しい車両部品もあることから情報収集のネットワークづくりが重要であると考えます。

7 施設利用者からの主な意見等とその対応状況（指定管理者記入）

施設利用者からの主な意見等	対応状況等
（意見ではなく是正事項） 立入禁止の表記があるが若柳駅で線路に立ち入るお客様がいる。また、車両に上ったりする方も見かける。	駅舎内に禁止事項の表示を増やした。また来館時に声がけをするなどしている。監視カメラの設置や設置の告知などがあれば抑制になるかもしれない。
（意見ではなく是正事項） 芝生公園での利用マナーが問題になっている。特にボール遊びを行う小学生高学年が、線路への立ち入りを頻繁に行う。また大人の方がサッカー指導や、スノーボードなどの指導を行うため一時的に場所を占領されるケースもある。 また犬の糞尿を公園内で発見する。	フェンスの高さが公園だけ低いため、小学生でも飛び越えられてしまう。またボール遊びに関しては車両が動くイベントを実施する際に公園内に本日に限りボール遊び禁止の看板を出すこととしている。今一度公園のルールを決めるべきではないかと考える。犬の糞尿に関しても表示をして引き続き注意を行っている。
秋休み期間中に宮城県内の小中学生を対象としたパスポートの利用者が来館したが、無料対象日であることを把握していなかったため、有料で入館させてしまった。その後来館者が栗原市にお問い合わせいただいたことで発見し、事実確認を行った	栗原市教育委員会を通して来館者に謝罪し、パスポートの利用期間について改めて確認・共有することで再発防止に努めた。
芝生広場のトイレにて利用者と清掃業者のトラブルが発生した。	栗原市シルバー人材センターに事実確認を行い、栗原市と内容を共有し、再発防止に努めた。
（運転体験利用者からのコメント）参加者アンケート抜粋 ポイント切り替えやジャンパ戦の接続など必要になる場合は体験者が手を動かすこともできるとおくと私のような人間はまた来ようかなと思います。片町裏の信号機や閉塞機も動くようになるとのことでまた来年お伺い出来たらと思っています。有難うございました。	運転体験は予約数もさることながらアンケートの評価も非常に高い結果を残している。運転体験全体の評価は9割以上が最高評価であり、スタッフの対応（指導）に関しては10割が最高評価をいただいている。左記コメントのように車両以外の鉄道設備の操作を求める声や、KD95形以外の車両運転に関しても要望がある。設備に関しては閉塞機を一般の方が操作体験できるように準備を進めている。
（ミュージアム利用者のコメント）Googleレビュー抜粋 2024年11月21日に訪問し、心底驚きました。展示車両、資料などすべて、きれいに保存、分かりやすい説明もあり、廃止された路線とは思えない愛情が注がれ、まるでまだ列車が毎日走っているところか、その未来まで見すえているように感じました。12月に創業祭まで行われるなんて、まだ鉄道会社は存在しているかのようです。	展示資料や、車両などは定期的に清掃を行い常に万全の状態を維持している。またキャプションや、スタッフによる解説を積極的に行うことで施設評価を下げることなく口コミ数を増やしている。またイベントも定着しており、多くの来場者にくりでんを語り継ぐことが出来ている。今後も展示の改善や、スタッフ教育などに力を入れ、より多くのお客様に喜んでもらえる施設づくりを続けたい。
（ミュージアム利用者のコメント）館内意見投稿書（ノート）から抜粋 県内の歴史について勉強しているものです。かつてくりでんが担っていた役目は相当重要なものだったことがわかりました。また、過去の遺産をこのようにしっかり保存していることにとても感動しました。	館内に設置されたノートには、来館者の感想や意見が記入されており、現在20冊を超える意見が記載されています。当館スタッフで必ず目を通し、施設運営に活かすとともに、意見に対する回答もすべてに記入しています。

8 総合的な評価（指定管理者、施設所管課記入）

評価項目	指定管理者の自己評価		市の評価		改善 勧告
	評価	コメント	評価	コメント	
(1) 基本的な方針に基づく管理・運営体制	S		A		
① 施設の管理運営に必要な人員及び有資格者等を計画どおり適切に配置しているか。	S	くりでん保存愛好会と連携し運転士育成に努めている。	S	今後も、動態保存を継承する活動に期待します。	
② 指定管理業務に必要な知識及びサービスの向上のため、研修等人材育成に努めているか。	S	積極的に外部施設を訪れ、車両整備関連や学芸員の研修を行うことができた ジオパーク研修にも参加し1名修了者を出した	S	引き続き、知識や技術ある人材の育成を期待します。	
③ 通常の安全管理や緊急時の対応について、職員が適切に行える環境を整備しているか。	A	防災訓練を年2回行った。	A	引き続き、緊急時を常に意識し、日頃からの備えに期待します。	
④ 各業務日誌等の管理記録を適切に整備・保管しているか。	A	車両修繕に関しては詳細な記録を取ることで後世や他施設へ情報提供も行うなど意識して業務に努めた	A	業務日誌等の管理適正であると認めます。	
⑤ 個人情報の取り扱い及び保護の対策について適切に行われているか。	A		A	適正であると認めます。	
⑥ 法令等を遵守し、市と締結している協定に基づいた管理・運営を遂行しているか。	A		A	適正であると認めます。	
(2) 施設管理の状況	S		S	関係団体と連携し、安全で魅力ある施設管理をしております。	
① 市の承認した内容に基づき、施設の開館及び利用時間、利用料金設定を遵守しているか。	S	シミュレーターは値下げを行い、大幅に利用者数を上げた。またこども運転体験などのメニューを増やすなどした。	A	引き続き、来場者増への取り組みに期待します。	
② 施設内、設備等の清掃及び保守点検等を適切に行い、良好な施設環境を維持しているか。	S	定期的な施設点検を行い、エラーを発見した際には迅速に対応・報告した。	A	資料保管庫について、専門家の知識をもとに適切な管理を願います。	
③ 協定に基づき施設設備や備品等の適切な修繕対応を行っているか。	S	車両修繕に関しては詳細な記録を取ることで後世や他施設へ情報提供も行うなど意識して業務に努めた	S	日常的に点検し、適切な対応を行っている と認めます。	
④ 設備維持と事故等防止のため、必要な専門的点検を実施し安全確認を行っているか。	S	線路点検にとどまらず、軌間修正や線路突き固めなどをOBの指示のもと実施した	S	引き続き、事故防止への取り組みに期待します。	
⑤ くりでんの魅力を広く発信し、後世に伝える取り組みを行っているか	S	SNS、HPを活用した発信や、市内学校施設への乗車体験など行っている	S	引き続き、くりでんの魅力発信に期待します。	
(3) 利用者へのサービス提供と満足度	S		S		
① 利用者の利便性を意識した迅速な利用許可手続きや施設情報の提供を行っているか。	S	ホームページの開設、SNSの運営に加え、年間パスポート所有者へのDM発送、チラシの折り込み、市内施設との連携を行っている	S	来場者に寄り添った情報提供をしています。	
② 利用者アンケート等により利用者の意見を把握し反映する取り組みを行ったか。	S	WEB上の施設評価サービスを活用して見える形で評価を公開している	S	引き続き、来場者の意見を取り入れながら、サービスの向上に期待します。	
③ 要望及び苦情等に対する対応が十分になされたか。	A		A	引き続き、丁寧な対応をお願いします。	
④ 施設の目的を活かし利用者の充実のため新たな取り組みを実施したか。	S	駅舎の解放や図書コーナーに加え、スタンプカードの新調やエントランスモニターでの映像放映も行っている	S	引き続き、サービス充実のための創意工夫に期待します。	
⑤ モニタリング・アンケートの結果、利用者の満足が得られていたか。	S	googleの評価は昨年から上昇しており、口コミ数も市内観光施設ではトップクラスである。運転体験や施設利用者からもスタッフの対応は高評価をいただいている	S	引き続き、来場者の満足度の向上に期待します。	
⑥ 利用者に対し職員の対応、身なり等は適切であるか。	S	制服を着用し身なりをそろえている。朝礼を全員参加とし、常に挨拶や接客の対応について訓練している	S	引き続き、職員の接客向上に期待します。	
(4) 運営の状況（収支の実績等）	S		S		
① 収支計画及び事業計画と比較し実績の状況は妥当であるか。	S	計画を上回ることができた	S	利用料金収入が計画値を大幅に上回っています。	
② 積極的に収入の創出（増）に努め、又収入の増加に繋がる具体的な取り組みがあったか。	S	常に変化を意識しながら改善を続けた結果、通常開館時の来場者増や絵画展などの参加者増など数字で結果を出している。運転体験の回数を増やし、増収につなげた。	S	好評を得る企画を創出し、収入増につながることを期待します。	
③ 積極的に経費削減に努め、又具体的に経費の削減が図られた実績が見られるか。	S	デザインや広告に関してスタッフが思いより多くの広告や印刷物の制作をすることで来場者満足度に貢献している	S	経費削減が図られていると認めます。	
④ 指定管理業務における専用口座及び諸帳簿等を備え適正な経理が行われているか。	A		A	適正であると認めます。	

総合評価	指定管理者の自己評価（指定管理者記入）		市の評価（施設所管課記入）	
	＜指定管理者の所見＞	評価	＜施設所管課の所見＞	評価
	利用者数（延べ人数）に関して特筆すべき内容はミュージアム入館者のみを見た場合R5 7785名に対し、R6は8657名（111.2%増）。運転シミュレーターはR5 1119回に対し、1252回（前年度比111.8%増）と増えている点であり、この要因を計画的な広報戦略や年間20件以上のメディア露出（プレスリリース）、Googleなど口コミの増加による関心度向上と考える。 また栗原市全体での周遊を意識した3館連携企画の立案・運営や、初の3館連携バスツアーの企画立案・運営など栗原市全体の魅力増幅にも助んだ。加えて、新たにくりこま高原駅とイベントを共同開催する際には広報物の制作、市内教育施設の幹旋など積極的に取組、イベントを成功させた。同様に若柳金成商会や、市内教育施設との連携事業なども積極的に行い、地域活性化を進めている。動態保存車両の修繕・保守には他鉄道会社の協力を要請し、デッドストック部品の調達などをリスト化・調達している。	S	利用者数については、計画値を大きく上回っており、効果的な宣伝の効果が現れていると考えます。また、市内関連施設との連携企画については、本施設だけでなく、関連施設にも好影響を与えるものであることから、次年度以降も同様の活動継続を期待します。 動態保存に関する修繕・保線についても、適切に行われており、引き続き、くりでんの魅力を体感でき、幅広い世代が楽しめる企画を展開していくことを期待します。	S

別紙様式6

指定管理者制度導入施設の管理運営に関する評価票(評価対象年度:令和6年度)

施 設 の 名 称	若柳川北交流広場管理棟
施 設 所 管 部 署 名	建設部都市計画課

1 評価対象施設の概要(施設所管課記入)

施 設 名 称	若柳川北交流広場管理棟					
施 設 所 在 地	栗原市若柳字川北中町1番地					
設 置 年 月	平成19年4月		設置根拠条例	栗原市公園条例		
設 置 目 的	商店街の活性化と交流促進による賑わいのある市街地の創造のため					
施 設 概 要	面 積	延床面積 87.48 m ² 、 敷地面積 1,769 m ²				
	構 造	コンクリート造				
	施設内容	ホール、管理室				
休 館 日	12月29日～1月3日 ※ 条例から変更の有無 ☐ 有 ☒ 無					
開 館 時 間	午前 9 時 00 分 ～ 午後 10 時 00 分 ※ 条例から変更の有無 ☐ 有 ☒ 無					
施 設 利 用 料 金	利用料金制	☒ 採用 ☐ 採用無 ☐ 指定管理料と併用 ☐ 指定管理料のみ				
	設定金額	利用時間 室名	午前9時から 正午まで	正午から 午後5時まで	午後5時から 午後10時まで	全日 (午前9時から 午後10時まで)
		ホール	1,000円	1,250円	1,500円	3,500円
		管理室	500円	750円	1,000円	2,000円
		※ 条例から変更の有無 ☒ 有 ☐ 無				

2 指定管理者等の概要(施設所管課記入)

指 定 管 理 者	事業者等名称	栗原市若柳中町自治会		
	事務所所在地	栗原市若柳字川北中町32番地7		
指 定 の 期 間	令和6年4月1日～令和11年3月31日（5年間）			
指定にかかる選定方法	☐ 公募 ☒ 非公募	指定管理料	円（ 年間）	

3 施設管理の経過(施設所管課記入)

期 間	管理形態	施設管理を行った団体等	摘要
平成19年7月～平成19年10月	管理委託	栗原市若柳中町自治会	
平成19年11月～令和6年3月	指定管理	栗原市若柳中町自治会	H22、H26、H31、R6更新
年 月 ～ 年 月			

4 施設の利用実績(指定管理者記入)

	事業計画	実 績		計画との比率 (%)	前年度との比較 (%)
	評価対象年度 (令和6年度)	前年度 (令和5年度)	評価対象年度 (令和6年度)		
開 館 日 数	30日	32日	26日	86.7%	81.3%
利用者数(延べ人数)	400人	418人	364人	91.0%	87.1%
利 用 料 金 収 入	22,000円	20,000円	17,000円	77.3%	85.0%
主 な 増 減 要 因 (前 年 比)	前年度は、新型コロナウイルス感染症の落ち着きから利用者が増加したが、今年度は利用者が若柳公民館などの他施設に流出したため、利用者数・利用料金ともに減少傾向となったものの。				

5 自主事業等の実績（指定管理者記入）

年月日	事業名	事業内容	対象者	参加者数
なし				

6 施設の管理運営における課題（指定管理者、施設所管課記入）

指定管理者（指定管理者記入）	市（施設所管課記入）
特になし。	特になし。

7 施設利用者からの主な意見等とその対応状況（指定管理者記入）

施設利用者からの主な意見等	対応状況等
フローリングにカーペットを敷き、上履きに履き替えず利用していたが、カーペットの経年劣化がみられた。	カーペットを撤去し、上履きとしてスリッパを新たに準備した。
利用者の利便性を向上させるため、テーブルやパイプ椅子を追加したい。	令和7年度に市と協議を行っていきたい。

8 総合的な評価（指定管理者、施設所管課記入）

評価項目	指定管理者の自己評価		市の評価		改善 勧告
	評価	コメント	評価	コメント	
(1) 基本的な方針に基づく管理・運営体制	A		A		
① 施設の管理運営に必要な人員及び有資格者等を計画どおり適切に配置しているか。	A	会員に有識者がおり、適切な人員配置をしている。	A	適正な人員配置であることを確認した。	
② 指定管理業務に必要な知識及びサービスの向上のため、研修等人材育成に努めているか。	A	利用者の多くが中町自治会であり、お互いに気を付けながら施設を利用している。	A	事業計画書に基づいた適正な運営であることを確認した。	
③ 通常の安全管理や緊急時の対応について、職員が適切に行える環境を整備しているか。	A		A		
④ 各業務日誌等の管理記録を適切に整備・保管しているか。	A		A		
⑤ 個人情報の取り扱い及び保護の対策について適切に行われているか。	A		A		
⑥ 法令等を遵守し、市と締結している協定に基づいた管理・運営を遂行しているか。	A		A		
(2) 施設管理の状況	A		A		
① 市の承認した内容に基づき、施設の閉館及び利用時間、利用料金設定を遵守しているか。	A		A		
② 施設内、設備等の清掃及び保守点検等を適切に行い、良好な施設環境を維持しているか。	A		A		
③ 協定に基づき施設設備や備品等の適切な修繕対応を行っているか。	A	市と協議を行いながら、修繕対応を行っている。	A	協定書に基づき、適切に修繕対応を行っていることを確認した。	
④ 設備維持と事故等防止のため、必要な専門的点検を実施し安全確認を行っているか。	A		A		
(3) 利用者へのサービス提供と満足度	A		A		
① 利用者の利便性を意識した迅速な利用許可手続きや施設情報の提供を行っているか。	A		A		
② 利用者アンケート等により利用者の意見を把握し反映する取り組みを行ったか。	—	利用者アンケートを実施していない。	—	協定書内でアンケートの実施は含んでいない。	
③ 要望及び苦情等に対する対応が十分になされたか。	A		A		
④ 施設の目的を活かし利用者の充実のため新たな取り組みを実施したか。	B	利用者の多くが中町自治会のため、新たな取り組みの実施はなかった。	B	他の利用者も快適に使用できるように対応すること。	
⑤ モニタリング・アンケートの結果、利用者の満足が得られていたか。	—	モニタリング・アンケートを実施していない。	—	協定書内でモニタリング・アンケートの実施は含んでいない。	
⑥ 利用者に対し職員の対応、身なり等は適切であるか。	A		A		
(4) 運営の状況（収支の実績等）	A		A		
① 収支計画及び事業計画と比較し実績の状況は妥当であるか。	A		A		
② 積極的に収入の創出（増）に努め、又収入の増加に繋がる具体的な取り組みがあったか。	B		—	中町自治会での使用を主に想定しているため、評価対象としていない。	
③ 積極的に経費縮減に努め、又具体的に経費の縮減が図られた実績が見られるか。	A		A		
④ 指定管理業務における専用口座及び諸帳簿等を備え適正な経理が行われているか。	A		A		

総合評価	指定管理者の自己評価（指定管理者記入）		市の評価（施設所管課記入）	
	＜指定管理者の所見＞	評価	＜施設所管課の所見＞	評価
	管理棟内の清掃や備品の適切な管理を行い、館内の美化に努めた。今後も、地域のコミュニティの拠点として、多くの人に利用してもらえよう管理を継続していく。 なお、施設内の備品の劣化が見受けられるため、更新など市と協議していきたい。	A	管理棟や芝生について、清掃及び草刈りが適切に行われており、良好な環境が維持されている。引き続き同様の管理をお願いしたい。今後も、地域コミュニティの場として、多くの人がより良く利用できるよう施設管理に努められることを期待している。 備品の劣化については、解体施設からの備品払下を含め、指定管理者と協議しながら調整していきたい。	A

別紙様式6

指定管理者制度導入施設の管理運営に関する評価票(評価対象年度:令和6年度)

施設の名 称	栗原市築館B&G海洋センター体育館
施設所管部署名	教育部社会教育課

1 評価対象施設の概要(施設所管課記入)

施 設 名 称	栗原市築館B＆G海洋センター体育館		
施 設 所 在 地	栗原市築館字荒田沢41番地241		
設 置 年 月	昭和57年2月	設置根拠条例	栗原市体育施設条例
設 置 目 的	市民の体育、スポーツ及びレクリエーション活動の推進と生活文化の向上を図る		
施 設 概 要	面 積	延床面積 1,102.0㎡ 敷地面積 9,986.0㎡	
	構 造	鉄筋コンクリート造	
	施設内容	アリーナ、事務室、会議室、更衣室、トイレ、器具庫、機械室	
休 館 日	月曜日、12月29日から翌年の1月3日まで ※ 条例から変更の有無 ☐ 有 ☒ 無		
開 館 時 間	午前9時00分 ～ 午後10時00分 ※ 条例から変更の有無 ☐ 有 ☒ 無		
施 設 利 用 料 金	利用料金制	☒ 採用 ☐ 採用無 ☐ 指定管理料と併用 ☐ 指定管理料のみ	
	設定金額	使用料、観覧料等の設定ごとに記載 栗原市体育施設条例のとおり ※ 条例から変更の有無 ☐ 有 ☒ 無	

2 指定管理者等の概要(施設所管課記入)

指 定 管 理 者	事業者等名称	特定非営利活動法人栗原市スポーツ協会		
	事務所所在地	栗原市若柳字川南道伝前125番地2		
指 定 の 期 間	令和3年4月1日 ～ 令和8年3月31日（5年間）			
指定にかかる選定方法	☒ 公募 ☐ 非公募	指定管理料	203,710,000円（5年間）	

3 施設管理の経過(施設所管課記入)

期 間	管理形態	施設管理を行った団体等	摘要
平成11年 4月 ～ 平成21年 3月	管理委託	有限会社仙北ビルサービス	
平成21年 4月 ～ 平成25年 3月	管理委託	若清テクノ株式会社	H24更新
平成25年 4月 ～ 令和3年 3月	指定管理	特定非営利活動法人栗原市スポーツ協会 (特定非営利活動法人栗原市体育協会からR1. 7. 17名称変更)	H28更新
令和3年 4月 ～ 令和8年 3月	指定管理	特定非営利活動法人栗原市スポーツ協会	

4 施設の利用実績(指定管理者記入)

	事業計画	実 績		計画との比率 (%)	前年度との比較 (%)
	評価対象年度 (令和6年度)	前年度 (令和5年度)	評価対象年度 (令和6年度)		
開 館 日 数	308日	308日	308日	100.0%	100.0%
利用者数(延べ人数)	14,000人	13,680人	14,564人	104.0%	106.5%
利 用 料 金 収 入	200,000円	228,640円	193,400円	96.7%	84.6%
主 な 増 減 要 因 (前 年 比)	有料団体の定期利用が減少したため、利用料収入は減少した。新たなスポーツ少年団の定期利用などがあったことなどから利用者数は増加した。				

5 自主事業等の実績（指定管理者記入）

年月日	事業名	事業内容	対象者	参加者数
毎月2回土曜日	サッカースクール	幼稚園年長から小学生を対象としたサッカー教室	幼稚園～小学生	延べ1,440名
12月22日	ルーキーカップ	大会で活躍のチャンスが少ない選手強化・健全育成	中学生(男)	52名
1月16日	室内グラウンドゴルフ大会B&G杯	生涯スポーツの普及推進と健康増進、世代間交流	栗原市民	24名

6 施設の管理運営における課題（指定管理者、施設所管課記入）

指定管理者（指定管理者記入）	市（施設所管課記入）
・施設の経年劣化による維持補修費が年々増加している。	施設の経年劣化による維持補修については、利用者の安全を保持できるよう対応したい。

7 施設利用者からの主な意見等とその対応状況（指定管理者記入）

施設利用者からの主な意見等	対応状況等
体育館に冷暖房設備を設置して欲しい。	利用者からの意見として市に報告するとお伝えした。
照明が暗いため、LED照明に改修してほしい。	利用者からの意見として市に報告するとお伝えした。

8 総合的な評価（指定管理者、施設所管課記入）

評価項目	指定管理者の自己評価		市の評価		改善 勧告
	評価	コメント	評価	コメント	
(1) 基本的な方針に基づく管理・運営体制	A	適切な管理・運営に努めた。	A	適切に管理・運営している。	
① 施設の管理運営に必要な人員及び有資格者等を計画どおり適切に配置しているか。	A	適切に配置している。	A	適切な人員配置である。	
② 指定管理業務に必要な知識及びサービスの向上のため、研修等人材育成に努めているか。	A	サービス向上のため研修を実施した。	A	人材育成に努めている。	
③ 通常の安全管理や緊急時の対応について、職員が適切に行える環境を整備しているか。	A	避難訓練や緊急時を想定した防災訓練を実施した。	A	緊急時の体制が十分に整備されている。	
④ 各業務日誌等の管理記録を適切に整備・保管しているか。	A	適切に整備・保管を行っている。	A	適切に管理している。	
⑤ 個人情報の取り扱い及び保護の対策について適切に行われているか。	A	適切に個人情報保護に努めている。	A	適切に管理している。	
⑥ 法令等を遵守し、市と締結している協定に基づいた管理・運営を遂行しているか。	A	管理・運営に努めている。	A	適切に運営している。	
(2) 施設管理の状況	A	適切な施設管理に努めた。	A	適切な施設管理を行っている。	
① 市の承認した内容に基づき、施設の開館及び利用時間、利用料金設定を遵守しているか。	A	適切に管理に努めている。	A	適切に運営している。	
② 施設内、設備等の清掃及び保守点検等を適切に行い、良好な施設環境を維持しているか。	A	定期的な清掃・点検を行っている。	A	良好な施設環境を維持している。	
③ 協定に基づき施設設備や備品等の適切な修繕対応を行っているか。	A	適切な対応を実施している。	A	適切に対応している。	
④ 設備維持と事故等防止のため、必要な専門的点検を実施し安全確認を行っているか。	A	定期的に点検を実施し、安全確認を実施している。	A	必要な点検を適正に実施し、安全確認を行っている。	
⑤ 施設の設置目的であるスポーツ等の推進に向けた取り組みを行っているか。	S	新規事業として室内グラウンド・ゴルフ大会を開催した。	S	自主事業により計画を上回る利用者数であり、優れた運営が行われた。	
(3) 利用者へのサービス提供と満足度	A	利用者からの意見に迅速な対応を実施している。	A	利用者から一定の評価を得ていると判断できる。	
① 利用者の利便性を意識した迅速な利用許可手続きや施設情報の提供を行っているか。	A	協会ホームページ等で情報提供を行っている。	A	適切な手続きと迅速な情報提供を行っている。	
② 利用者アンケート等により利用者の意見を把握し反映する取り組みを行ったか。	A	迅速に対応を行っている。	A	適切である。	
③ 要望及び苦情等に対する対応が十分になされたか。	A	迅速に対応を行っている。	A	要望等に対応していると判断する。	
④ 施設の目的を活かし利用者の充実のため新たな取り組みを実施したか。	A	今後更なる器具備品の整理整頓に努める	A	今後も利用者増につながる事業展開に期待する。	
⑤ モニタリング・アンケートの結果、利用者の満足が得られていたか。	A	満足が得られている。	A	一定の満足は得られていると判断する。	
⑥ 利用者に対し職員の対応、身なり等は適切であるか。	A	適切な対応を行っている。	A	適切である。	
(4) 運営の状況（収支の実績等）	A	更なる改善・工夫を行い運営状況改善に取り組むたい。	A	安心して利用できる施設運営に努めた。	
① 収支計画及び事業計画と比較し実績の状況は妥当であるか。	A	事業計画を達成できた。	A	適切に実施している。	
② 積極的に収入の創出（増）に努め、又収入の増加に繋がる具体的な取り組みがあったか。	S	新規自主事業を開催するなど収入増加策を行った。	A	昼間の利用者増に繋がる取り組みに期待する。	
③ 積極的に経費削減に努め、又具体的に経費の削減が図られた実績が見られるか。	A	節電節水に努め、軽微な修繕等は職員で実施した。	A	経費削減等に取り組んでいる。	
④ 指定管理業務における専用口座及び諸帳簿等を備え適正な経理が行われているか。	A	適切な経理を実施している。	A	適正であると判断する。	

総合評価	指定管理者の自己評価（指定管理者記入）	評価	市の評価（施設所管課記入）	評価
	<指定管理者の所見> ・有料団体の定期利用が減少したことなどから利用料金収入は事業計画と比較して3.3%の減となった。 ・新規事業として「室内グラウンド・ゴルフ大会」を開催し、24名の参加があり、参加者がその後定期利用を行うようになった。 ・無料団体の利用が増加しており、利用料金収入が伸び悩んでいるため自主事業の新規開催等で利用料金収入を確保するように努めたい。	A	<施設所管課の所見> 昨年度比較で利用者884人増となるも、料金収入は減となった。新規の自主事業実施などに取り組んでいることは、評価できる。今後は、利用者と料金収入の増につながるサッカースクールのようなメニューを継続的に展開するなど、体育館をより一層活用する取り組みに期待する。	A

別紙様式6

指定管理者制度導入施設の管理運営に関する評価票(評価対象年度:令和6年度)

施設の名 称	栗原市築館体育センター
施設所管部署名	教育部社会教育課

1 評価対象施設の概要 (施設所管課記入)

施設名称	栗原市築館体育センター		
施設所在地	栗原市築館高田二丁目8番12号		
設置年月	昭和57年9月	設置根拠条例	栗原市体育施設条例
設置目的	市民の体育、スポーツ及びレクリエーション活動の推進と生活文化の向上を図る		
施設概要	面積	延床面積 1,312.0㎡ 敷地面積 5,506.0㎡	
	構造	鉄筋コンクリート造	
	施設内容	アリーナ、事務室、会議室(和室)、更衣室、トイレ、器具庫、ステージ	
休館日	月曜日、12月29日から翌年の1月3日まで ※ 条例から変更の有無 ☐ 有 ☒ 無		
開館時間	午前9時00分 ～ 午後10時00分 ※ 条例から変更の有無 ☐ 有 ☒ 無		
施設利用料金	利用料金制	☒ 採用 ☐ 採用無 ☐ 指定管理料と併用 ☐ 指定管理料のみ	
	設定金額	使用料、観覧料等の設定ごとに記載 栗原市体育施設条例のとおり ※ 条例から変更の有無 ☐ 有 ☒ 無	

2 指定管理者等の概要 (施設所管課記入)

指 定 管 理 者	事業者等名称	特定非営利活動法人栗原市スポーツ協会		
	事務所所在地	栗原市若柳字川南道伝前125番地2		
指 定 の 期 間	令和3年4月1日 ～ 令和8年3月31日（5年間）			
指定にかかる選定方法	☒ 公募 ☐ 非公募		指定管理料	203,710,000円（5年間）

3 施設管理の経過 (施設所管課記入)

期 間	管理形態	施設管理を行った団体等	摘要
平成11年 4月 ~ 平成21年 3月	管理委託	有限会社仙北ビルサービス	
平成21年 4月 ~ 平成25年 3月	管理委託	若清テクノ株式会社	H24更新
平成25年 4月 ~ 令和3年 3月	指定管理	特定非営利活動法人栗原市スポーツ協会 (特定非営利活動法人栗原市体育協会からR1. 7. 17名称変更)	H28更新
令和3年 4月 ~ 令和8年 3月	指定管理	特定非営利活動法人栗原市スポーツ協会	

4 施設の利用実績 (指定管理者記入)

	事業計画	実 績		計画との比率 (%)	前年度との比較 (%)
	評価対象年度 (令和6年度)	前年度 (令和5年度)	評価対象年度 (令和6年度)		
開 館 日 数	308日	308日	308日	100.0%	100.0%
利用者数(延べ人数)	13,000人	13,255人	11,996人	92.3%	90.5%
利 用 料 金 収 入	150,000円	204,300	212,560	141.7%	104.0%
主 な 増 減 要 因 (前 年 比)	前年度の大規模ホッケー大会での体育館利用が無くなったため利用人数は減少した。				

5 自主事業等の実績（指定管理者記入）

年月日	事業名	事業内容	対象者	参加者数
12月21日	ルーキーカップ	大会で活躍のチャンスが少ない選手強化・健全育成	中学生(女)	20名

6 施設の管理運営における課題（指定管理者、施設所管課記入）

指定管理者(指定管理者記入)	市(施設所管課記入)
・施設の経年劣化により、水道光熱費が増加している。	破損による無駄な水道光熱費を増加させることが無いよう対応したい。

7 施設利用者からの主な意見等とその対応状況（指定管理者記入）

施設利用者からの主な意見等	対応状況等
体育館に冷暖房設備を設置して欲しい。	利用者からの意見として市に報告するとお伝えした。
グラウンド・ゴルフのスタートマットが重く、持ち運びが大変なので軽い物に変えて欲しい。	利用者からの意見として市に報告するとお伝えした。

8 総合的な評価（指定管理者、施設所管課記入）

評価項目	指定管理者の自己評価		市の評価		改善 勧告
	評価	コメント	評価	コメント	
(1) 基本的な方針に基づく管理・運営体制	A	適切な管理・運営に努めた。	A	適切に管理・運営している。	
① 施設の管理運営に必要な人員及び有資格者等を計画どおり適切に配置しているか。	A	適切に配置している。	A	適切な人員配置である。	
② 指定管理業務に必要な知識及びサービスの向上のため、研修等人材育成に努めているか。	A	サービス向上のため研修を実施した。	A	人材育成に努めている。	
③ 通常の安全管理や緊急時の対応について、職員が適切に行える環境を整備しているか。	A	避難訓練や緊急時対応出来るよう勉強会を実施した。	A	緊急時の体制が十分に整備されている。	
④ 各業務日誌等の管理記録を適切に整備・保管しているか。	A	適切に整備・保管を行っている。	A	適切に管理している。	
⑤ 個人情報の取り扱い及び保護の対策について適切に行われているか。	A	個人情報保護に努めている。	A	適切に管理している。	
⑥ 法令等を遵守し、市と締結している協定に基づいた管理・運営を遂行しているか。	A	管理・運営に努めている。	A	適切に運営している。	
(2) 施設管理の状況	A	適切に施設管理に努めた。	A	適切な施設管理を行っている。	
① 市の承認した内容に基づき、施設の開館及び利用時間、利用料金設定を遵守しているか。	A	適切に管理に努めている。	A	適切に運営している。	
② 施設内、設備等の清掃及び保守点検等を適切に行い、良好な施設環境を維持しているか。	A	清掃・点検を行っている。	A	良好な施設環境を維持している。	
③ 協定に基づき施設設備や備品等の適切な修繕対応を行っているか。	A	適切な対応を行っている。	A	適切に対応している。	
④ 設備維持と事故等防止のため、必要な専門的点検を実施し安全確認を行っているか。	A	点検を実施し安全確認を行っている。	A	必要な点検を適正に実施し、安全確認を行っている。	
⑤ 施設の設置目的であるスポーツ等の推進に向けた取り組みを行っているか。	A	バスケットボール大会を開催した。	A	今後の自主事業拡大に期待する。	
(3) 利用者へのサービス提供と満足度	A	迅速に対応を行っている。	A	利用者から一定の評価を得ていると判断できる。	
① 利用者の利便性を意識した迅速な利用許可手続きや施設情報の提供を行っているか。	A	ホームページ等で情報提供を行っている。	A	適切な手続きと迅速な情報提供を行っている。	
② 利用者アンケート等により利用者の意見を把握し反映する取り組みを行ったか。	A	迅速に対応を行っている。	A	適切に行っている。	
③ 要望及び苦情等に対する対応が十分になされたか。	A	迅速に対応を行っている。	A	要望等に対応していると判断する。	
④ 施設の目的を活かし利用者の充実のため新たな取り組みを実施したか。	A	今後更なる整理整頓していきたい。	B	昼間の利用者増に繋がる取り組みに期待する。	
⑤ モニタリング・アンケートの結果、利用者の満足が得られていたか。	A	満足が得られている。	A	利用者から一定の評価を得ていると判断できる。	
⑥ 利用者に対し職員の対応、身なり等は適切であるか。	A	職員研修会として「苦情・クレームへの対応」を開催した。	A	適切である。	
(4) 運営の状況（収支の実績等）	A	更に改善・工夫し取り組みたい。	A	安心して利用できる施設運営に努めた。	
① 収支計画及び事業計画と比較し実績の状況は妥当であるか。	A	計画の内容と下回ったが、更に改善に取り組みたい。	A	適切に運営されている。	
② 積極的に収入の創出（増）に努め、又収入の増加に繋がる具体的な取り組みがあったか。	A	自主事業を開催した。	A	今後の自主事業拡大等の取り組みに期待する。	
③ 積極的に経費縮減に努め、又具体的に経費の縮減が図られた実績が見られるか。	A	節電節水、軽微な修繕等は職員で行い、経費削減に努めた。	A	経費縮減等に取り組んでいる。	
④ 指定管理業務における専用口座及び諸帳簿等を備え適正な経理が行われているか。	A	適切な経理を行っている。	A	適正であると判断する。	

総合評価	指定管理者の自己評価（指定管理者記入）		市の評価（施設所管課記入）	
	指定管理者の所見	評価	施設所管課の所見	評価
	・大規模ホッケー大会での体育館利用が無かったため、利用者数は事業計画と比較して9.5%減少した。利用料金収入は有料団体の利用増加などで41.7%増加した。 ・自主事業として「ルーキーカップ」を開催し、20名の参加があった。 ・定期利用の少ない昼間の時間帯に利用を誘導するなどして利用人数・利用料収入増加を図りたい。	A	概ね、適切に運営していると判断する。自主事業については、平日昼間の利用率向上のため、定期メニューを新たに展開するなど、体育館をより一層活用する取り組みに期待する。	A

別紙様式6

指定管理者制度導入施設の管理運営に関する評価票(評価対象年度:令和6年度)

施 設 の 名 称	栗原市築館野球場
施 設 所 管 部 署 名	教育部社会教育課

1 評価対象施設の概要 (施設所管課記入)

施 設 名 称	栗原市築館野球場		
施 設 所 在 地	栗原市築館字荒田沢41番地241		
設 置 年 月	昭和53年度	設置根拠条例	栗原市体育施設条例
設 置 目 的	市民の体育、スポーツ及びレクリエーション活動の推進と生活文化の向上を図る		
施 設 概 要	面 積	延床面積 187.9㎡(管理棟) 敷地面積 24,910.0㎡	
	構 造	鉄筋コンクリート造	
	施設内容	メイン球場1面、サブ球場1面、スタンド(管理棟)、放送設備	
休 館 日	月曜日、12月1日から翌年の2月末日まで ※ 条例から変更の有無 ☐ 有 ☒ 無		
開 館 時 間	午前9時00分 ～ 午後10時00分 ※ 条例から変更の有無 ☐ 有 ☒ 無		
施 設 利 用 料 金	利用料金制	☒ 採用 ☐ 採用無 ☐ 指定管理料と併用 ☐ 指定管理料のみ	
	設定金額	使用料、観覧料等の設定ごとに記載 栗原市体育施設条例のとおり ※ 条例から変更の有無 ☐ 有 ☒ 無	

2 指定管理者等の概要 (施設所管課記入)

指 定 管 理 者	事業者等名称	特定非営利活動法人栗原市スポーツ協会		
	事務所所在地	栗原市若柳字川南道伝前125番地2		
指 定 の 期 間	令和3年4月1日 ～ 令和8年3月31日（5年間）			
指定にかかる選定方法	☒ 公募 ☐ 非公募		指定管理料	203,710,000円（5年間）

3 施設管理の経過 (施設所管課記入)

期 間	管理形態	施設管理を行った団体等	摘要
平成11年 4月 ~ 平成21年 3月	管理委託	有限会社仙北ビルサービス	
平成21年 4月 ~ 平成25年 3月	管理委託	若清テクノ株式会社	H24更新
平成25年 4月 ~ 令和3年 3月	指定管理	特定非営利活動法人栗原市スポーツ協会 (特定非営利活動法人栗原市体育協会からR1. 7. 17名称変更)	H28更新
令和3年 4月 ~ 令和8年 3月	指定管理	特定非営利活動法人栗原市スポーツ協会	

4 施設の利用実績 (指定管理者記入)

	事業計画	実 績		計画との比率 (%)	前年度との比較 (%)
	評価対象年度 (令和6年度)	前年度 (令和5年度)	評価対象年度 (令和6年度)		
開 館 日 数	218日	217日	218日	100.0%	100.5%
利用者数(延べ人数)	14,000人	14,787人	14,020人	100.1%	94.8%
利 用 料 金 収 入	300,000円	428,550円	361,020円	120.3%	84.2%
主 な 増 減 要 因 (前 年 比)	無料団体が施設予約をしたが、利用しない事例が多かったため利用者数、利用料金収入ともに減少した。				

5 自主事業等の実績（指定管理者記入）

年月日	事業名	事業内容	対象者	参加者数
5月23日	グラウンド・ゴルフ春季大会	グラウンドゴルフ愛好者を対象にした交流大会	地域住民	120名
11月14日	グラウンド・ゴルフ秋季大会	グラウンドゴルフ愛好者を対象にした交流大会	地域住民	139名

6 施設の管理運営における課題（指定管理者、施設所管課記入）

指定管理者（指定管理者記入）	市（施設所管課記入）
・大会開催時に駐車場の台数が不足、路上駐車等が年々増加している。また、大規模な陸上大会の開催時に野球場が利用できなくなっている。	限られた駐車台数のため、大会等を開催する場合には、参加者に対し乗り合わせ等での来場を促すよう説明されたい。

7 施設利用者からの主な意見等とその対応状況（指定管理者記入）

施設利用者からの主な意見等	対応状況等

8 総合的な評価（指定管理者、施設所管課記入）

評価項目	指定管理者の自己評価		市の評価		改善 勧告
	評価	コメント	評価	コメント	
(1) 基本的な方針に基づく管理・運営体制	A	適切な管理・運営に努めた。	A	適切に管理・運営している。	
① 施設の管理運営に必要な人員及び有資格者等を計画どおり適切に配置しているか。	A	適切に配置している。	A	適切な人員配置である。	
② 指定管理業務に必要な知識及びサービスの向上のため、研修等人材育成に努めているか。	A	サービス向上のため研修を実施した。	A	人材育成に努めている。	
③ 通常の安全管理や緊急時の対応について、職員が適切に行える環境を整備しているか。	A	避難訓練や緊急時を想定した防災訓練を実施した。	A	緊急時の体制が十分に整備されている。	
④ 各業務日誌等の管理記録を適切に整備・保管しているか。	A	適切に整備・保管を行っている。	A	適切に管理している。	
⑤ 個人情報の取り扱い及び保護の対策について適切に行われているか。	A	適切に個人情報保護に努めている。	A	適切に管理している。	
⑥ 法令等を遵守し、市と締結している協定に基づいた管理・運営を遂行しているか。	A	管理・運営に努めている。	A	適切に運営している。	
(2) 施設管理の状況	A	適切な施設管理に努めた。	A	適切な施設管理を行っている。	
① 市の承認した内容に基づき、施設の開館及び利用時間、利用料金設定を遵守しているか。	A	適切に管理に努めている。	A	適切に運営している。	
② 施設内、設備等の清掃及び保守点検等を適切に行い、良好な施設環境を維持しているか。	A	定期的な清掃・点検を行っている。	A	良好な施設環境を維持している。	
③ 協定に基づき施設設備や備品等の適切な修繕対応を行っているか。	A	適切な対応を実施している。	A	適切に対応している。	
④ 設備維持と事故等防止のため、必要な専門的点検を実施し安全確認を行っているか。	A	定期的に点検を実施し、安全確認を実施している。	A	必要な点検を適正に実施し、安全確認を行っている。	
⑤ 施設の設置目的であるスポーツ等の推進に向けた取り組みを行っているか。	A	自主事業を開催している。	A	一定の取り組みを行っている判断する。	
(3) 利用者へのサービス提供と満足度	A	利用者からの意見に迅速な対応を実施している。	A	利用者から一定の評価を得ていると判断できる。	
① 利用者の利便性を意識した迅速な利用許可手続きや施設情報の提供を行っているか。	A	協会ホームページ等で情報提供を行っている。	A	適切な手続きと迅速な情報提供を行っている。	
② 利用者アンケート等により利用者の意見を把握し反映する取り組みを行ったか。	A	迅速に対応を行っている。	A	アンケート回答はなかったものの利用者との積極的なコミュニケーションが図られたと判断する。	
③ 要望及び苦情等に対する対応が十分になされたか。	A	迅速に対応を行っている。	A	要望等に対応していると判断する。	
④ 施設の目的を活かし利用者の充実のため新たな取り組みを実施したか。	A	今後更なる器具備品の整理整頓に努める	A	一定の取り組みを行っている判断する。	
⑤ モニタリング・アンケートの結果、利用者の満足が得られていたか。	A	満足が得られている。	A	利用者から一定の評価を得ていると判断できる。	
⑥ 利用者に対し職員の対応、身なり等は適切であるか。	A	適切な対応を行っている。	A	適切である。	
(4) 運営の状況（収支の実績等）	A	更なる改善・工夫を行い運営状況改善に取り組む。	A	コロナ禍においても安心して利用できる施設運営に努めた。	
① 収支計画及び事業計画と比較し実績の状況は妥当であるか。	A	事業計画を達成できた。	A	コロナ禍において3密を回避しながら、衛生面の徹底を図り運営した。	
② 積極的に収入の創出（増）に努め、又収入の増加に繋がる具体的な取り組みがあったか。	S	自主事業を開催した。	S	昨年度100名程度集客できたグラウンドゴルフ大会を2回に増やすなど収入増加に取り組んでいる。	
③ 積極的に経費縮減に努め、又具体的に経費の縮減が図られた実績が見られるか。	A	節電節水に努め、軽微な修繕等は職員で実施した。	A	経費縮減等に取り組んでいる。	
④ 指定管理業務における専用口座及び諸帳簿等を備え適正な経理が行われているか。	A	適切な経理を実施している。	A	適正であると判断する。	

総合評価	指定管理者の自己評価（指定管理者記入）	評価	市の評価（施設所管課記入）	評価
	<指定管理者の所見>	A	<施設所管課の所見>	A
	・グラウンド・ゴルフ大会を春と秋に開催し、合計で259名の参加があった。自主事業収入は前年比で364%の大幅な増加となった。 ・芝生の管理を自前で行うために薬品等を購入したため、消耗品費は対前年比で76.7%増加したが、業務委託費は70.6%の経費縮減を達成した。		昨年度比較で利用者767人減となるも、収入全体では26%増となった。 自主事業のグラウンド・ゴルフ大会は継続していただきながら、平日昼間の使用率を向上させるため、新たな自主事業を企画するなど、利用者拡大を図りたい。	

別紙様式6

指定管理者制度導入施設の管理運営に関する評価票(評価対象年度:令和6年度)

施設の名 称	栗原市築館陸上競技場
施設所管部署名	教育部社会教育課

1 評価対象施設の概要(施設所管課記入)

施設名称	栗原市築館陸上競技場		
施設所在地	栗原市築館字荒田沢41番地241		
設置年月	平成3年度	設置根拠条例	栗原市体育施設条例
設置目的	市民の体育、スポーツ及びレクリエーション活動の推進と生活文化の向上を図る		
施設概要	面積	延床面積 267.0㎡(管理棟) 敷地面積 38,000.0㎡	
	構造	鉄筋コンクリート造	
	施設内容	トラック(全天候型走路8コース、第3種公認)、フィールド(天然芝生)、補助競技場(全天候型100m直線路6コース、150mトラック5コース)、管理棟、メインスタンド、器具庫	
休館日	月曜日、12月29日から翌年の1月3日まで ※ 条例から変更の有無 ☐ 有 ☒ 無		
開館時間	午前9時00分 ～ 午後5時00分 ※ 条例から変更の有無 ☐ 有 ☒ 無		
施設利用料金	利用料金制	☒ 採用 ☐ 採用無 ☐ 指定管理料と併用 ☐ 指定管理料のみ	
	設定金額	使用料、観覧料等の設定ごとに記載 栗原市体育施設条例のとおり ※ 条例から変更の有無 ☐ 有 ☒ 無	

2 指定管理者等の概要(施設所管課記入)

指 定 管 理 者	事業者等名称	特定非営利活動法人栗原市スポーツ協会		
	事務所所在地	栗原市若柳字川南道伝前125番地2		
指 定 の 期 間	令和3年4月1日 ～ 令和8年3月31日（5年間）			
指定にかかる選定方法	☒ 公募 ☐ 非公募	指定管理料	203,710,000円（5年間）	

3 施設管理の経過(施設所管課記入)

期 間	管理形態	施設管理を行った団体等	摘要
平成11年 4月 ~ 平成21年 3月	管理委託	有限会社仙北ビルサービス	
平成21年 4月 ~ 平成25年 3月	管理委託	若清テクノ株式会社	H24更新
平成25年 4月 ~ 令和3年 3月	指定管理	特定非営利活動法人栗原市スポーツ協会 (特定非営利活動法人栗原市体育協会からR1. 7. 17名称変更)	H28更新
令和3年 4月 ~ 令和8年 3月	指定管理	特定非営利活動法人栗原市スポーツ協会	

4 施設の利用実績(指定管理者記入)

	事業計画	実 績		計画との比率 (%)	前年度との比較 (%)
	評価対象年度 (令和6年度)	前年度 (令和5年度)	評価対象年度 (令和6年度)		
開 館 日 数	308日	308日	308日	100.0%	100.0%
利用者数(延べ人数)	18,000人	18,167人	18,681人	103.8%	102.8%
利 用 料 金 収 入	950,000円	1,052,770円	1,170,380円	123.2%	111.2%
主 な 増 減 要 因 (前 年 比)	各種陸上大会が通常開催されたことや新規に利用する学校の定期的な利用が定着してきたことで、利用料金収入が11.2%増加した。				

5 自主事業等の実績（指定管理者記入）

年月日	事業名	事業内容	対象者	参加者数
8月29日	グラウンド・ゴルフおやじカップ	グラウンド・ゴルフ愛好者を対象にした交流大会	地域住民	77名
10月14日	スポーツの日施設無料開放	スポーツの日に陸上競技場の無料開放を行う	地域住民	147名
12月6日	ターゲットバードゴルフ体験会	ターゲットバードゴルフの普及	地域住民	14名

6 施設の管理運営における課題（指定管理者、施設所管課記入）

指定管理者（指定管理者記入）	市（施設所管課記入）
・施設利用者の増加、大会開催の増加により器具・設備の修繕費が年々増加している。 ・大会利用時に駐車場の台数が不足、路上駐車などが年々増加しているため、大会主催者側による交通整理をお願いしているが、今後も検討課題である。特に野球場の大会との同時開催が困難な状況にある。	経年劣化した競技器具・設備については、計画的な更新を検討する。 限られた駐車台数のため、大会等を開催する場合には、参加者に対し、乗り合わせ等での来場を促すよう説明されたい。

7 施設利用者からの主な意見等とその対応状況（指定管理者記入）

施設利用者からの主な意見等	対応状況等
現行の利用時間では部活動の地域展開への対応が難しい為、夜間の利用や照明設備等利便性の拡大を図ってほしい	利用者からの意見として市に報告するとお伝えした。

8 総合的な評価（指定管理者、施設所管課記入）

評価項目	指定管理者の自己評価		市の評価		改善 勧告
	評価	コメント	評価	コメント	
(1) 基本的な方針に基づく管理・運営体制	A	適切な管理・運営に努めた。	A	適切に管理・運営している。	
① 施設の管理運営に必要な人員及び有資格者等を計画どおり適切に配置しているか。	A	適切に配置している。	A	適切な人員配置である。	
② 指定管理業務に必要な知識及びサービスの向上のため、研修等人材育成に努めているか。	A	サービス向上のため研修を実施した。	A	人材育成に努めている。	
③ 通常の安全管理や緊急時の対応について、職員が適切に行える環境を整備しているか。	A	避難訓練や緊急時を想定した防災訓練を実施した。	A	緊急時の体制が十分に整備されている。	
④ 各業務日誌等の管理記録を適切に整備・保管しているか。	A	適切に整備・保管を行っている。	A	適切に管理している。	
⑤ 個人情報の取り扱い及び保護の対策について適切に行われているか。	A	適切に個人情報保護に努めている。	A	適切に管理している。	
⑥ 法令等を遵守し、市と締結している協定に基づいた管理・運営を遂行しているか。	A	管理・運営に努めている。	A	適切に運営している。	
(2) 施設管理の状況	A	適切な施設管理に努めた。	A	適切な施設管理を行っている。	
① 市の承認した内容に基づき、施設の開館及び利用時間、利用料金設定を遵守しているか。	A	適切に管理に努めている。	A	適切に運営している。	
② 施設内、設備等の清掃及び保守点検等を適切に行い、良好な施設環境を維持しているか。	A	定期的な清掃・点検を行っている。	A	良好な施設環境を維持している。	
③ 協定に基づき施設設備や備品等の適切な修繕対応を行っているか。	A	適切な対応を実施している。	A	適切に対応している。	
④ 設備維持と事故等防止のため、必要な専門的点検を実施し安全確認を行っているか。	A	定期的に点検を実施し、安全確認を実施している。	A	必要な点検を適正に実施し、安全確認を行っている。	
⑤ 施設の設置目的であるスポーツ等の推進に向けた取り組みを行っているか。	S	自主事業を2件開催した。	A	一定の取り組みを行っている判断する。	
(3) 利用者へのサービス提供と満足度	A	利用者からの意見に迅速な対応を実施している。	A	利用者より一定の満足は得られていると判断する。	
① 利用者の利便性を意識した迅速な利用許可手続きや施設情報の提供を行っているか。	A	協会ホームページ等で情報提供を行っている。	A	適切な手続きと迅速な情報提供を行っている。	
② 利用者アンケート等により利用者の意見を把握し反映する取り組みを行ったか。	A	迅速に対応を行っている。	A	一定の取り組みを行っている判断する。	
③ 要望及び苦情等に対する対応が十分になされたか。	A	迅速に対応を行っている。	A	要望等に対応していると判断する。	
④ 施設の目的を活かし利用者の充実のため新たな取り組みを実施したか。	A	利用者の意見を取り入れ、器具庫の備品配置換えなどを実施した。	A	一定の取り組みを行っている判断する。	
⑤ モニタリング・アンケートの結果、利用者の満足が得られていたか。	A	満足が得られている。	A	利用者より一定の満足は得られていると判断する。	
⑥ 利用者に対し職員の対応、身なり等は適切であるか。	A	適切な対応を行っている。	A	適切である。	
(4) 運営の状況（収支の実績等）	S	更なる改善・工夫を行い運営状況改善に取り組むたい。	S	安心して利用できる施設運営に努めた。	
① 収支計画及び事業計画と比較し実績の状況は妥当であるか。	S	事業計画を大幅に達成できた。	S	収入増の取り組みと支出減の取り組みにより事業計画を上回る実績である。	
② 積極的に収入の創出（増）に努め、又収入の増加に繋がる具体的な取り組みがあったか。	A	自主事業を3件開催した。	A	屋間の利用者増に繋がる取り組みに期待する。	
③ 積極的に経費縮減に努め、又具体的に経費の縮減が図られた実績が見られるか。	S	節電節水に努め、軽微な修繕等は職員で実施した。	S	経費縮減等に取り組んでいる。	
④ 指定管理業務における専用口座及び諸帳簿等を備え適正な経理が行われているか。	A	適切な経理を実施している。	A	適正であると判断する。	

総合評価	指定管理者の自己評価（指定管理者記入）	評価	市の評価（施設所管課記入）	評価
	<指定管理者の所見>	A	<施設所管課の所見>	A
	・利用者数は、事業計画と比較して3.8%の増となった。 ・東北マスターズ陸上選手権大会の開催や、市外からの新規の学校部活動の利用が定着したことで、利用料金収入が、前年度と比較して11.2%の大幅の増となった。 ・自主事業の充実を図り、利用者の新規開拓や満足度向上に繋げたい。		昨年度比較で利用者514人増、収入全体でも7.9%増となった。 施設及び備品の保持について、しっかりと管理できており、評価できる。 自主事業については、今後さらなる集客の新規開拓を目指してほしい。	

別紙様式6

指定管理者制度導入施設の管理運営に関する評価票(評価対象年度: 令和6年度)

施設の名 称	栗原市築館B & G海洋センタープール
施設所管部署名	教育部社会教育課

1 評価対象施設の概要 (施設所管課記入)

施設名称	栗原市築館B＆G海洋センタープール		
施設所在地	栗原市築館字荒田沢41番地241		
設置年月	昭和57年2月	設置根拠条例	栗原市体育施設条例
設置目的	市民の体育、スポーツ及びレクリエーション活動の推進と生活文化の向上を図る		
施設概要	面積	延床面積 111.78㎡(管理棟)、1,144.71㎡(プール) 敷地面積 9,986.0㎡	
	構造	鉄筋コンクリート造(管理棟)、鉄骨造(プール)	
	施設内容	プール(25m×6コース、幼児用1面)、管理棟	
休館日	月曜日、9月1日から翌年の6月30日まで ※ 条例から変更の有無 ☐ 有 ☒ 無		
開館時間	午前9時～正午、午後1時～午後4時、午後5時～午後8時30分 ※ 条例から変更の有無 ☐ 有 ☒ 無		
施設利用料金	利用料金制	☒ 採用 ☐ 採用無 ☐ 指定管理料と併用 ☐ 指定管理料のみ	
	設定金額	使用料、観覧料等の設定ごとに記載 栗原市体育施設条例のとおり ※ 条例から変更の有無 ☐ 有 ☒ 無	

2 指定管理者等の概要 (施設所管課記入)

指 定 管 理 者	事業者等名称	特定非営利活動法人栗原市スポーツ協会		
	事務所所在地	栗原市若柳字川南道伝前125番地2		
指 定 の 期 間	令和3年4月1日 ～ 令和8年3月31日（5年間）			
指定にかかる選定方法	☒ 公募 ☐ 非公募	指定管理料	203,710,000円（5年間）	

3 施設管理の経過 (施設所管課記入)

期 間	管理形態	施設管理を行った団体等	摘要
平成11年 4月 ～ 平成21年 3月	管理委託	有限会社仙北ビルサービス	
平成21年 4月 ～ 平成25年 3月	管理委託	若清テクノ株式会社	H24更新
平成25年 4月 ～ 令和3年 3月	指定管理	特定非営利活動法人栗原市スポーツ協会 (特定非営利活動法人栗原市体育協会からR1. 7. 17名称変更)	H28更新
令和3年 4月 ～ 令和8年 3月	指定管理	特定非営利活動法人栗原市スポーツ協会	

4 施設の利用実績 (指定管理者記入)

	事業計画	実 績		計画との比率 (%)	前年度との比較 (%)
	評価対象年度 (令和6年度)	前年度 (令和5年度)	評価対象年度 (令和6年度)		
開 館 日 数	53日	53日	53日	100.0%	100.0%
利用者数(延べ人数)	2,500人	2,692人	2,252人	90.1%	83.7%
利 用 料 金 収 入	100,000円	131,190円	113,590円	113.6%	86.6%
主 な 増 減 要 因 (前 年 比)	上屋シートが破損により無くなり、直射日光や雨天の影響を受けるようになり、利用人数、利用料金収入ともに減少した。				

5 自主事業等の実績（指定管理者記入）

年月日	事業名	事業内容	対象者	参加者数
7/20～8/31の土曜 全7回	水泳教室初級	水泳初心者の子どもを対象にした水泳教室	市内小学生	156名
7/23～8/9 全12回	水泳教室夏休み短期集中	水に潜ることのできる子どもを対象にした水泳教室	市内小学生	81名
7月20日	水辺の安全教室	水辺での事故を防止するための安全学習と事故発生時の対処方法を学ぶ	市内小学生 ※水泳教室受講者	38名

6 施設の管理運営における課題（指定管理者、施設所管課記入）

指定管理者（指定管理者記入）	市（施設所管課記入）
・上屋シートが破損し消失したため、天候の影響を受けるようになりプール薬品等の消耗品費が大幅に増加している。また、悪天候時の開催判断のため午前の水泳教室の開催を取りやめるなど自主事業開催にも支障が出ている。	上屋シートは修繕の目途が立っていないため、無理のない範囲での運営を希望する。

7 施設利用者からの主な意見等とその対応状況（指定管理者記入）

施設利用者からの主な意見等	対応状況等
トイレを洋式に改修して欲しい。	利用者からの意見として市に報告するとお伝えした。
熱中症予防のためプールサイドに日よけを付けて欲しい。	利用者からの意見として市に報告するとお伝えした。
プールサイドが滑りやすく、高温になるため滑り止めのマットを付けて欲しい。	利用者からの意見として市に報告するとお伝えした。
小学校のプールが天候が悪くなるとすぐに中止になってしまうため、プール開放をしてもらってありがたかった。 （水泳教室参加者アンケートより）	「プールをご利用いただきありがとうございます。次回のご利用もお待ちしております。」と返答した。
毎週子どもが楽しんで通っていた。楽しんで最後まで参加できた。来年もぜひ参加したいと思う。 （水泳教室参加者アンケートより）	「水泳教室にご参加いただきありがとうございました。来年も開催いたしますので、ご参加お待ちしております。」と返答した。

8 総合的な評価（指定管理者、施設所管課記入）

評価項目	指定管理者の自己評価		市の評価		改善 勧告
	評価	コメント	評価	コメント	
(1) 基本的な方針に基づく管理・運営体制	A	適切な管理・運営に努めた。	A	適切に管理・運営している。	
① 施設の管理運営に必要な人員及び有資格者等を計画どおり適切に配置しているか。	S	体育施設管理有資格者を含め、適切に人員配置を行っている。	A	適切な人員配置である。	
② 指定管理業務に必要な知識及びサービスの向上のため、研修等人材育成に努めているか。	A	サービス向上のため研修を受けた。	A	人材育成に努めている。	
③ 通常の安全管理や緊急時の対応について、職員が適切に行える環境を整備しているか。	S	避難訓練や緊急時対応出来るよう勉強会を実施している。	A	緊急時の体制が十分に整備されている。	
④ 各業務日誌等の管理記録を適切に整備・保管しているか。	A	適切に整備・保管を行っている。	A	適切に管理している。	
⑤ 個人情報の取り扱い及び保護の対策について適切に行われているか。	A	個人情報保護に努めている。	A	適切に管理している。	
⑥ 法令等を遵守し、市と締結している協定に基づいた管理・運営を遂行しているか。	A	管理・運営に努めている。	A	適切に運営している。	
(2) 施設管理の状況	A	適切に施設管理に努めた。	A	適切な施設管理を行っている。	
① 市の承認した内容に基づき、施設の開館及び利用時間、利用料金設定を遵守しているか。	A	適切に管理に努めている。	A	適切に運営している。	
② 施設内、設備等の清掃及び保守点検等を適切に行い、良好な施設環境を維持しているか。	A	清掃・点検を行っている。	A	良好な施設環境を維持している。	
③ 協定に基づき施設設備や備品等の適切な修繕対応を行っているか。	A	適切な対応を行っている。	A	適切に対応している。	
④ 設備維持と事故等防止のため、必要な専門的点検を実施し安全確認を行っているか。	A	点検を実施し安全確認を行っている。	A	必要な点検を適正に実施し、安全確認を行っている。	
⑤ 施設の設置目的であるスポーツ等の推進に向けた取り組みを行っているか。	S	水泳教室を開催した。	S	自主事業の実施に積極的に取り組んでいる。	
(3) 利用者へのサービス提供と満足度	A	迅速に対応を行っている。	A	利用者より一定の満足は得られていると判断する。	
① 利用者の利便性を意識した迅速な利用許可手続きや施設情報の提供を行っているか。	S	新たに水泳教室のお知らせに公式LINEを活用した。	S	新たに公式LINEの活用をしたことは評価できる。	
② 利用者アンケート等により利用者の意見を把握し反映する取り組みを行ったか。	A	迅速に対応を行っている。	A	適切に行っている。	
③ 要望及び苦情等に対する対応が十分になされたか。	A	迅速に対応を行っている。	A	適切に対応している。	
④ 施設の目的を活かし利用者の充実のため新たな取り組みを実施したか。	B	上屋シート破損により水泳教室の開催を1件中止した。	B	上屋シート修繕の目途が立たない中での運営に関して評価できる。	
⑤ モニタリング・アンケートの結果、利用者の満足が得られていたか。	A	満足が得られている。	A	利用者より一定の満足は得られていると判断する。	
⑥ 利用者に対し職員の対応、身なり等は適切であるか。	A	適切な対応を行っている。	A	適切である。	
(4) 運営の状況（収支の実績等）	A	更なる改善・工夫を行い運営状況改善に取り組むたい。	A	適正であると判断する。	
① 収支計画及び事業計画と比較し実績の状況は妥当であるか。	A	事業計画を達成できた。	A	適正であると判断する。	
② 積極的に収入の創出（増）に努め、又収入の増加に繋がる具体的な取り組みがあったか。	A	水泳教室を開催した。	A	適正であると判断する。	
③ 積極的に経費縮減に努め、又具体的に経費の縮減が図られた実績が見られるか。	A	節電節水に努め、軽微な修繕等は職員で実施した。	A	経費縮減等に取り組んでいる。	
④ 指定管理業務における専用口座及び諸帳簿等を備え適正な経理が行われているか。	A	適切な経理を実施している。	A	適正であると判断する。	

総合 評価	指定管理者の自己評価（指定管理者記入）		市の評価（施設所管課記入）	
	＜指定管理者の所見＞		＜施設所管課の所見＞	
	・上屋シートが破損・消失したことで直射日光や雨等の影響を受けるようになり、事業計画と比較して利用人数は9.9%の減となった。また、塩素の揮発が多くなり薬品の使用料が増えたこと、外部からの目隠しシートを設置したため消耗品費は86.2%の大幅な増加となった。 ・水泳教室を2件開催し、合計で38名の参加があった。次回も開催し、収入増加を図りたい。		昨年度比較で利用者440人減、収入全体で6%減となった。上屋シート修繕の目途が立たない中で、適切に運営していると判断する。また、水難事故防止のための安全教室を継続して開催していることや、細やかなニーズに対応して水泳教室を実施していることなどが評価できる。	
	B		A	

別紙様式6

指定管理者制度導入施設の管理運営に関する評価票(評価対象年度:令和6年度)

施設の名 称	栗原市築館多目的競技場
施設所管部署名	教育部社会教育課

1 評価対象施設の概要 (施設所管課記入)

施設名称	栗原市築館多目的競技場		
施設所在地	栗原市築館高田二丁目8番12号		
設置年月	平成12年9月29日	設置根拠条例	栗原市体育施設条例
設置目的	市民の体育、スポーツ及びレクリエーション活動の推進と生活文化の向上を図る		
施設概要	面積	延床面積 387.92㎡(管理棟) 敷地面積 23,966.93㎡	
	構造	鉄骨造(管理棟)	
	施設内容	11人制ホッケーコート1面、管理棟、駐車場	
休館日	月曜日、12月29日から翌年の1月3日まで ※ 条例から変更の有無 ☐ 有 ☒ 無		
開館時間	午前9時00分 ~ 午後10時00分 ※ 条例から変更の有無 ☐ 有 ☒ 無		
施設利用料金	利用料金制	☒ 採用 ☐ 採用無 ☐ 指定管理料と併用 ☐ 指定管理料のみ	
	設定金額	使用料、観覧料等の設定ごとに記載 栗原市体育施設条例のとおり ※ 条例から変更の有無 ☐ 有 ☒ 無	

2 指定管理者等の概要 (施設所管課記入)

指 定 管 理 者	事業者等名称	特定非営利活動法人栗原市スポーツ協会		
	事務所所在地	栗原市若柳字川南道伝前125番地2		
指 定 の 期 間	令和3年4月1日 ～ 令和8年3月31日（5年間）			
指定にかかる選定方法	☒ 公募 ☐ 非公募		指定管理料	203,710,000円（5年間）

3 施設管理の経過 (施設所管課記入)

期 間	管理形態	施設管理を行った団体等	摘要
平成11年 4月 ~ 平成21年 3月	管理委託	有限会社仙北ビルサービス	
平成21年 4月 ~ 平成25年 3月	管理委託	若清テクノ株式会社	H24更新
平成25年 4月 ~ 令和3年 3月	指定管理	特定非営利活動法人栗原市スポーツ協会 (特定非営利活動法人栗原市体育協会からR1. 7. 17名称変更)	H28更新
令和3年 4月 ~ 令和8年 3月	指定管理	特定非営利活動法人栗原市スポーツ協会	

4 施設の利用実績 (指定管理者記入)

	事業計画	実 績		計画との比率 (%)	前年度との比較 (%)
	評価対象年度 (令和6年度)	前年度 (令和5年度)	評価対象年度 (令和6年度)		
開 館 日 数	308日	308日	308日	100.0%	100.0%
利用者数(延べ人数)	12,000人	12,179人	12,193人	101.6%	100.1%
利 用 料 金 収 入	500,000円	278,450円	228,140円	45.6%	81.9%
主 な 増 減 要 因 (前 年 比)	前年度の大規模ホッケー大会での利用が無くなったため利用料金収入は減少した。				

5 自主事業等の実績（指定管理者記入）

年月日	事業名	事業内容	対象者	参加者数
9月12日	グラウンドゴルフ レディースカップ	グラウンドゴルフを通じて地域への普及と親睦	地域住民	61名

6 施設の管理運営における課題（指定管理者、施設所管課記入）

指定管理者(指定管理者記入)	市(施設所管課記入)
・経年劣化により設備の不具合や施設の破損が増えてきている。	経年劣化による設備や施設の修繕は予算と緊急性等で順位付けを行い、適切に対応します。

7 施設利用者からの主な意見等とその対応状況（指定管理者記入）

施設利用者からの主な意見等	対応状況等
多目的競技場でサッカーができるようにゴールを備品として備えて欲しい。	利用者からの意見として市に報告するとお伝えした。

8 総合的な評価（指定管理者、施設所管課記入）

評価項目	指定管理者の自己評価		市の評価		改善 勧告
	評価	コメント	評価	コメント	
(1) 基本的な方針に基づく管理・運営体制	A	適切な管理・運営に努めた。	A	適切に管理・運営している。	
① 施設の管理運営に必要な人員及び有資格者等を計画どおり適切に配置しているか。	A	適切に配置している。	A	適切な人員配置である。	
② 指定管理業務に必要な知識及びサービスの向上のため、研修等人材育成に努めているか。	A	サービス向上のため研修を実施した。	A	人材育成に努めている。	
③ 通常の安全管理や緊急時の対応について、職員が適切に行える環境を整備しているか。	A	避難訓練や緊急時対応出来るよう勉強会を実施した。	A	緊急時の体制が十分に整備されている。	
④ 各業務日誌等の管理記録を適切に整備・保管しているか。	A	適切に整備・保管を行っている。	A	適切に管理している。	
⑤ 個人情報の取り扱い及び保護の対策について適切に行われているか。	A	個人情報保護に努めている。	A	適切に管理している。	
⑥ 法令等を遵守し、市と締結している協定に基づいた管理・運営を遂行しているか。	A	管理・運営に努めている。	A	適切に運営している。	
(2) 施設管理の状況	A	適切に施設管理に努めた。	A	適切な施設管理を行っている。	
① 市の承認した内容に基づき、施設の開館及び利用時間、利用料金設定を遵守しているか。	A	適切に管理に努めている。	A	利用者の施設使用状況を確認しながら施設の保全を図りたい。	
② 施設内、設備等の清掃及び保守点検等を適切に行い、良好な施設環境を維持しているか。	A	清掃・点検を行っている。	A	良好な施設環境を維持している。	
③ 協定に基づき施設設備や備品等の適切な修繕対応を行っているか。	A	適切な対応を行っている。	A	適切に対応している。	
④ 設備維持と事故等防止のため、必要な専門的点検を実施し安全確認を行っているか。	A	点検を実施し安全確認を行っている。	A	必要な点検を適正に実施し、安全確認を行っている。	
⑤ 施設の設置目的であるスポーツ等の推進に向けた取り組みを行っているか。	A	グラウンド・ゴルフ大会を開催した。	A	今後の自主事業拡大に期待する。	
(3) 利用者へのサービス提供と満足度	A	迅速に対応を行っている。	A	利用者から一定の評価を得ていると判断できる。	
① 利用者の利便性を意識した迅速な利用許可手続きや施設情報の提供を行っているか。	A	ホームページ等で情報提供を行っている。	A	適切な手続きと迅速な情報提供を行っている。	
② 利用者アンケート等により利用者の意見を把握し反映する取り組みを行ったか。	A	迅速に対応を行っている。	A	適切に行っている。	
③ 要望及び苦情等に対する対応が十分になされたか。	A	迅速に対応を行っている。	A	要望等に対応していると判断する。	
④ 施設の目的を活かし利用者の充実のため新たな取り組みを実施したか。	A	今後更なる整理整頓していきたい。	B	屋間の利用者増に繋がる取り組みに期待する。	
⑤ モニタリング・アンケートの結果、利用者の満足が得られていたか。	A	満足が得られている。	A	利用者から一定の評価を得ていると判断できる。	
⑥ 利用者に対し職員の対応、身なり等は適切であるか。	A	適切な対応を行っている。	A	適切である。	
(4) 運営の状況（収支の実績等）	B	更に改善・工夫し取り組みたい。	A	適正であると判断する。	
① 収支計画及び事業計画と比較し実績の状況は妥当であるか。	C	利用料金収入が計画を大きく下回った。	C	積極的に収入確保に努められたい。	
② 積極的に収入の創出（増）に努め、又収入の増加に繋がる具体的な取り組みがあったか。	A	グラウンド・ゴルフ大会を開催した。	A	今後の自主事業拡大等の取り組みに期待する。	
③ 積極的に経費縮減に努め、又具体的に経費の縮減が図られた実績が見られるか。	A	節電節水、軽微な修繕等は職員で行い、経費削減に努めた。	A	経費縮減等に取り組んでいる。	
④ 指定管理業務における専用口座及び諸帳簿等を備え適正な経理が行われているか。	A	適切な経理を行っている。	A	適正であると判断する。	

総合 評価	指定管理者の自己評価（指定管理者記入）	評価	市の評価（施設所管課記入）	評価
	<指定管理者の所見> ・大規模なホッケー大会の利用が無かったことなどから事業計画と比較して利用料金収入は54.4%の減となった。利用者数は1.6%の微増となった。 ・自主事業として「グラウンド・ゴルフ大会」を開催し、61名の参加があった。自主事業収入も前年比で231%の増となった。今後も定期的に開催し、収入増加を図りたい。	B	<施設所管課の所見> 昨年度比較で利用者14人増、料金収入が約10%減となった。施設管理については、一定の評価ができるものの、過去の利用団体への積極的なアプローチ等、今後の利用者拡大を図られたい。	A

別紙様式6

指定管理者制度導入施設の管理運営に関する評価票(評価対象年度:令和6年度)

施 設 の 名 称	栗原市築館テニスコート
施 設 所 管 部 署 名	教育部社会教育課

1 評価対象施設の概要 (施設所管課記入)

施 設 名 称	栗原市築館テニスコート		
施 設 所 在 地	栗原市築館伊豆一丁目2番7号		
設 置 年 月	平成27年9月15日	設置根拠条例	栗原市体育施設条例
設 置 目 的	市民の体育、スポーツ及びレクリエーション活動の推進と生活文化の向上を図る		
施 設 概 要	面 積	敷地面積 2,867.04㎡	
	構 造		
	施設内容	砂入り人工芝コート 3面(内1面はゲートボール併用)	
休 館 日	月曜日、12月29日から翌年の1月3日まで ※ 条例から変更の有無 ☐ 有 ☒ 無		
開 館 時 間	午前9時00分 ～ 午後9時00分 ※ 条例から変更の有無 ☐ 有 ☒ 無		
施 設 利 用 料 金	利用料金制	☒ 採用 ☐ 採用無 ☐ 指定管理料と併用 ☐ 指定管理料のみ	
	設定金額	使用料、観覧料等の設定ごとに記載 栗原市体育施設条例のとおり ※ 条例から変更の有無 ☐ 有 ☒ 無	

2 指定管理者等の概要 (施設所管課記入)

指 定 管 理 者	事業者等名称	特定非営利活動法人栗原市スポーツ協会		
	事務所所在地	栗原市若柳字川南道伝前125番地2		
指 定 の 期 間	令和3年4月1日 ～ 令和8年3月31日（5年間）			
指定にかかる選定方法	☒ 公募 ☐ 非公募		指定管理料	203,710,000円（5年間）

3 施設管理の経過 (施設所管課記入)

期 間	管理形態	施設管理を行った団体等	摘要
平成27年9月 ~ 令和3年 3月	直営	栗原市	
令和3年 4月 ~ 令和8年 3月	指定管理	特定非営利活動法人栗原市スポーツ協会	

4 施設の利用実績 (指定管理者記入)

	事業計画	実 績		計画との比率 (%)	前年度との比較 (%)
	評価対象年度 (令和6年度)	前年度 (令和5年度)	評価対象年度 (令和6年度)		
開 館 日 数	308日	308日	308日	100.0%	100.0%
利用者数(延べ人数)	9,000人	8,812人	10,634人	118.2%	120.7%
利 用 料 金 収 入	300,000円	402,870円	448,200円	149.4%	111.3%
主 な 増 減 要 因 (前 年 比)	団体や学校部活動での利用が増えたことのほか、個人利用での利用も増えていることから、利用者数、利用料金ともに大幅に増加した。				

5 自主事業等の実績（指定管理者記入）

年月日	事業名	事業内容	対象者	参加者数
12月6日	ターゲットバードゴルフ体験会	ターゲットバードゴルフの普及	地域住民	強風の為 陸上で開催

6 施設の管理運営における課題（指定管理者、施設所管課記入）

指定管理者（指定管理者記入）	市（施設所管課記入）
・夜間の利用が多い施設であるため、利用の増加により電気料の支出が今後さらに増加していくことが見込まれる。 ・テニスコートとしての利用のほか、他のスポーツでの利用や自主事業開催などから効果的な収入方法を検討・実行していく必要がある。	電気料金については節電に努めていただきたい。 他市町村のテニスコートの利用方法を参考にしながら、 テニス以外での利用方法も含めて模索していきたい。

7 施設利用者からの主な意見等とその対応状況（指定管理者記入）

施設利用者からの主な意見等	対応状況等

8 総合的な評価（指定管理者、施設所管課記入）

評価項目	指定管理者の自己評価		市の評価		改善 勧告
	評価	コメント	評価	コメント	
(1) 基本的な方針に基づく管理・運営体制	A	適切な管理・運営に努めた。	A	適切に管理・運営している。	
① 施設の管理運営に必要な人員及び有資格者等を計画どおり適切に配置しているか。	A	適切に配置している。	A	適切な人員配置である。	
② 指定管理業務に必要な知識及びサービスの向上のため、研修等人材育成に努めているか。	A	サービス向上のため研修を実施した。	A	人材育成に努めている。	
③ 通常の安全管理や緊急時の対応について、職員が適切に行える環境を整備しているか。	A	避難訓練や緊急時対応出来るよう勉強会を実施した。	A	緊急時の体制が十分に整備されている。	
④ 各業務日誌等の管理記録を適切に整備・保管しているか。	A	適切に整備・保管を行っている。	A	適切に管理している。	
⑤ 個人情報の取り扱い及び保護の対策について適切に行われているか。	A	個人情報保護に努めている。	A	適切に管理している。	
⑥ 法令等を遵守し、市と締結している協定に基づいた管理・運営を遂行しているか。	A	管理・運営に努めている。	A	適切に運営している。	
(2) 施設管理の状況	A	適切に施設管理に努めた。	A	適切な施設管理を行っている。	
① 市の承認した内容に基づき、施設の開館及び利用時間、利用料金設定を遵守しているか。	A	適切に管理に努めている。	A	適切に運営している。	
② 施設内、設備等の清掃及び保守点検等を適切に行い、良好な施設環境を維持しているか。	A	清掃・点検を行っている。	A	良好な施設環境を維持している。	
③ 協定に基づき施設設備や備品等の適切な修繕対応を行っているか。	A	適切な対応を行っている。	A	適切に対応している。	
④ 設備維持と事故等防止のため、必要な専門的点検を実施し安全確認を行っているか。	A	点検を実施し安全確認を行っている。	A	必要な点検を適正に実施し、安全確認を行っている。	
⑤ 施設の設置目的であるスポーツ等の推進に向けた取り組みを行っているか。	B	熱中症予防のため、開催を見送った。	B	自主事業の中止は、熱中症予防のため、やむを得ないと判断する。	
(3) 利用者へのサービス提供と満足度	A	迅速に対応を行っている。	A	利用者から一定の評価を得ていると判断できる。	
① 利用者の利便性を意識した迅速な利用許可手続きや施設情報の提供を行っているか。	A	ホームページ等で情報提供を行っている。	A	適切な手続きと迅速な情報提供を行っている。	
② 利用者アンケート等により利用者の意見を把握し反映する取り組みを行ったか。	A	迅速に対応を行っている。	A	適切に行っている。	
③ 要望及び苦情等に対する対応が十分になされたか。	A	迅速に対応を行っている。	A	要望等に対応していると判断する。	
④ 施設の目的を活かし利用者の充実のため新たな取り組みを実施したか。	A	今後更なる整理整頓していきたい。	A	天候により中止となったが、新たな取り組みの計画について、評価できる。	
⑤ モニタリング・アンケートの結果、利用者の満足が得られていたか。	A	満足が得られている。	A	利用者から一定の評価を得ていると判断できる。	
⑥ 利用者に対し職員の対応、身なり等は適切であるか。	A	適切な対応を行っている。	A	適切である。	
(4) 運営の状況（収支の実績等）	A	更に改善・工夫し取り組みたい。	A	適切である。	
① 収支計画及び事業計画と比較し実績の状況は妥当であるか。	A	事業計画を達成できた。	A	適切な手続きと迅速な情報提供を行っている。	
② 積極的に収入の創出（増）に努め、又収入の増加に繋がる具体的な取り組みがあったか。	B	自主事業開催を計画したが、熱中症予防のため開催を見送った。	B	開催時期の変更など、今後の取り組みに期待する。	
③ 積極的に経費縮減に努め、又具体的に経費の縮減が図られた実績が見られるか。	A	節電節水、軽微な修繕等は職員で行い、経費削減に努めた。	A	経費縮減等に取り組んでいる。	
④ 指定管理業務における専用口座及び諸帳簿等を備え適正な経理が行われているか。	A	適切な経理を行っている。	A	適正であると判断する。	

総合 評価	指定管理者の自己評価（指定管理者記入）		市の評価（施設所管課記入）	
	＜指定管理者の所見＞		＜施設所管課の所見＞	
	A		A	
	・利用者数は、団体利用の増加により、事業計画と比較して18.2%の大幅増となった。 ・利用料金収入は、減免対象外である個人利用も増えたことから、前年度と比較して11.3%増加している。 ・利用者の増加にともなって、ナイター設備による電気料の支出が増加しているため、日中の効率的な活用や自主事業の開催から収入の増に努めたい。		昨年度比較で、利用者数が1822人増、利用料金収入が11%増となった。 施設管理については、天候により中止となった自主事業をの時期を見直す等収入増につなげていただきたい。 電気料に関しては節電に努めていただきたい。	

別紙様式6

指定管理者制度導入施設の管理運営に関する評価票(評価対象年度:令和6年度)

施設の名 称	栗原市若柳総合体育館
施設所管部署名	教育部社会教育課

1 評価対象施設の概要(施設所管課記入)

施設名称	栗原市若柳総合体育館		
施設所在地	栗原市若柳字川南道伝前125番地2		
設置年月	平成11年4月	設置根拠条例	栗原市体育施設条例
設置目的	市民の体育、スポーツ及びレクリエーション活動の推進と生活文化の向上を図る		
施設概要	面積	延床面積 5,599.51㎡、 敷地面積 14,040.51㎡	
	構造	鉄筋コンクリート	
	施設内容	メインアリーナ、サブアリーナ、弓道場、トレーニングルーム、ミーティングルーム、放送室、事務室、会議室(1、2、3、4)、更衣室、トイレ、器具庫、倉庫、機械室、車庫倉庫、駐車場	
休館日	月曜日、12月29日から翌年の1月3日まで ※ 条例から変更の有無 ☐ 有 ☒ 無		
開館時間	午前9時00分 ~ 午後10時00分 ※ 条例から変更の有無 ☐ 有 ☒ 無		
施設利用料金	利用料金制	☒ 採用 ☐ 採用無 ☐ 指定管理料と併用 ☐ 指定管理料のみ	
	設定金額	使用料、観覧料等の設定ごとに記載 栗原市体育施設条例のとおり ※ 条例から変更の有無 ☐ 有 ☒ 無	

2 指定管理者等の概要(施設所管課記入)

指 定 管 理 者	事業者等名称	特定非営利活動法人栗原市スポーツ協会		
	事務所所在地	栗原市若柳字川南道伝前125番地2		
指 定 の 期 間	令和4年4月1日～令和10年3月31日（5年間）			
指定にかかる選定方法	☒ 公募 ☐ 非公募		指定管理料	118,654,000円（ 5年間 ）

3 施設管理の経過(施設所管課記入)

期 間	管理形態	施設管理を行った団体等	摘要
平成11年4月～平成19年3月	直営		
平成19年4月～平成21年3月	管理委託	有限会社ワイエス企画	H20更新、清掃委託別
平成21年4月～平成29年3月	指定管理	特定非営利活動法人栗原市体育協会	H21指定、H24更新
平成29年4月～令和7年3月	指定管理	特定非営利活動法人栗原市スポーツ協会(特定非営利活動法人体育協会からR1.7.17名称変更)	H29更新、R4更新

4 施設の利用実績(指定管理者記入)

	事業計画	実 績		計画との比率 (%)	前年度との比較 (%)
	評価対象年度 (令和6年度)	前年度 (令和5年度)	評価対象年度 (令和6年度)		
開 館 日 数	307日	309日	307日	100.0%	99.4%
利用者数(延べ人数)	67,000人	50,488人	48,770人	72.8%	96.6%
利用料金収入	2,820,000円	1,525,820円	1,638,210円	58.1%	107.4%
主 な 増 減 要 因 (前 年 比)	夏場の大会等が熱中症予防の観点から冷房設備のある他施設で行われることになり、人数が前年度比96.6%と減少。しかしながら利用料金収入は前年度比107.4%と若干増加しており、定期団体での利用が継続して行われ、平日の夕方など空いている時間帯に、学生など個人での利用も増えたことが要因と思われる。				

5 自主事業等の実績（指定管理者記入）

年月日	事業名	事業内容	対象者	参加者数
令和6年4月～令和7年3月	レクダンス教室	毎週金曜日、音楽に合わせて楽しくダンスで身体を動かし、リフレッシュする	一般	140人
令和6年4月～令和7年3月	ジュニアテニス教室	ジュニア用テニス用具を用いて、遊びながらテニスを楽しむ	小学生	300人
令和7年2月23日	スポーツ講演会	生涯スポーツに必要な知識や具体的な施策の展開方法等について研修する	スポーツ協会会員・スポーツ少年団会員他	70人
令和7年3月9日	ジュニアテニス大会	ジュニアテニス教室の子どもたちが実際に試合を行い、自分のスキルの向上を図る	小学生	14人

6 施設の管理運営における課題（指定管理者、施設所管課記入）

指定管理者（指定管理者記入）	市（施設所管課記入）
最低賃金の引き上げによる人件費の増加や、経年劣化による修繕費の増加、および水道光熱費の高騰や、物価の上昇などにより必要経費がかさんでいる。人件費・物価ともに、今後もさらなる上昇が予想されることから、高騰対応支援金だけに頼らず、利用料金による収入を増やすことが課題。既存団体だけでなく、市外団体も含めて、より多くの人に利用してもらえる施設にするためPRに力を入れる必要があると考える。	最低賃金の上昇や光熱費の高騰に対しては、変更契約を行い対応している。利用者の確保のため、アンケート調査の実施や新規自主事業の企画など、平日昼間の利用率向上を図りたい。

7 施設利用者からの主な意見等とその対応状況（指定管理者記入）

施設利用者からの主な意見等	対応状況等
冷房設備を設置してほしい。	市と協議し検討すると回答。その後、令和7年度工事予定であると伝える。
Wi-Fiなど、ネット環境を整えてほしい。	市と協議し検討しますと伝える。

8 総合的な評価（指定管理者、施設所管課記入）

評価項目	指定管理者の自己評価		市の評価		改善 勧告
	評価	コメント	評価	コメント	
(1) 基本的な方針に基づく管理・運営体制	A		A	適切に管理・運営している。	
① 施設の管理運営に必要な人員及び有資格者等を計画どおり適切に配置しているか。	A	余裕はないものの、必要な人員を確保し適切に配置した。	A	適切な人員配置である。	
② 指定管理業務に必要な知識及びサービスの向上のため、研修等人材育成に努めているか。	B	毎日の業務の引継ぎ、情報の共有を行った。接客等に関する研修は不足しているので今後行う必要がある。	A	研修の実施等、今後の人材育成に期待する。	
③ 通常の安全管理や緊急時の対応について、職員が適切に行える環境を整備しているか。	A	消防計画により年2回消防訓練及び勉強会を実施。施設環境の整備を適宜行った。	A	緊急時の体制が十分に整備されている。	
④ 各業務日誌等の管理記録を適切に整備・保管しているか。	A	日中の部、夜間の部と業務日誌を記録し、適切に管理保管した。	A	適切に管理している。	
⑤ 個人情報の取り扱い及び保護の対策について適切に行われているか。	A	特定個人情報取扱規程に基づき適切に管理運営した。	A	適切に管理している。	
⑥ 法令等を遵守し、市と締結している協定に基づいた管理・運営を遂行しているか。	A	法令を遵守し、市との協定に基づき管理運営を遂行した。	A	適切に運営している。	
(2) 施設管理の状況	A		A	適切な施設管理を行っている。	
① 市の承認した内容に基づき、施設の開館及び利用時間、利用料金設定を遵守しているか。	A	承認内容を遵守した。	A	適切に運営している。	
② 施設内、設備等の清掃及び保守点検等を適切に行い、良好な施設環境を維持しているか。	A	清掃・保守点検を計画的に実施し、良好な施設環境を維持した。	A	良好な施設環境を維持している。	
③ 協定に基づき施設設備や備品等の適切な修繕対応を行っているか。	A	市に申し入れを行い確認し、的確に修繕を実施した。	A	適切に対応している。	
④ 設備維持と事故等防止のため、必要な専門的点検を実施し安全確認を行っているか。	A	安全点検を行い、安全性を確保した。	A	必要な点検を適正に実施し、安全確認を行っている。	
⑤ 設備等の円滑な運用	A	設備点検等を適切に行い、市の協力も得て修繕を行った。	A	一定の取り組みを行っている判断する。	
⑥ 空調冷暖房設備の円滑な運用	A	事務室、会議室ともに設備更新を行っていたが、利用者からも好評である。	A	暖房設備の経年劣化が認められる。空調設備の更新を含め、計画的な更新を検討していく。	
(3) 利用者へのサービス提供と満足度	A		A	利用者から一定の評価を得ていると判断できる。	
① 利用者の利便性を意識した迅速な利用許可手続きや施設情報の提供を行っているか。	A	施設利用予定表の掲示、ホームページによる閲覧開示等、広く情報提供を行った。	A	適切な手続きと迅速な情報提供を行っている。	
② 利用者アンケート等により利用者の意見を把握し反映する取り組みを行ったか。	A	意見箱を設置し、利用者の意見を聞きコミュニケーションを図り、サービス向上に努力した。	A	適切に対応している。	
③ 要望及び苦情等に対する対応が十分になされたか。	A	迅速に対応し、可能な範囲で要望に応じた。	A	要望等に対応していると判断する。	
④ 施設の目的を活かし利用者の充実のため新たな取り組みを実施したか。	B	現状維持を重点化し、新たな取り組みを実施するまでに至らなかった。	B	利用者増につながる事業展開に期待する。	
⑤ モニタリング・アンケートの結果、利用者の満足が得られていたか。	A	不備な点は迅速に改善した。利用者より理解を得られた。	A	利用者から一定の評価を得ていると判断できる。	
⑥ 利用者に対し職員の対応、身なり等は適切であるか。	B	言葉遣い等、丁寧な対応に心掛けた。制服等を身に着け適切に対応した。	B	適切である。	
(4) 運営の状況（収支の実績等）	B		A	安心して利用できる施設運営に努めた。	
① 収支計画及び事業計画と比較し実績の状況は妥当であるか。	B	計画には及ばなかったが、前年度より微増である。	B	一定の取り組みを行っている判断する。	
② 積極的に収入の創出（増）に努め、又収入の増加に繋がる具体的な取り組みがあったか。	B	大会スケジュール調整等を行い、利用回数を増やす努力をした。	B	平日日中帯の利用者増に繋がる取り組みに期待する。	
③ 積極的に経費削減に努め、又具体的に経費の削減が図られた実績が見られるか。	A	経費削減につとめ、できることは職員で行うなど節約に努めた。	A	経費削減等に取り組んでいる。	
④ 指定管理業務における専用口座及び諸帳簿等を備え適正な経理が行われているか。	A	専用システムソフトおよび税理士の指導の下、適正に行った。	A	適正であると判断する。	

総合 評価	指定管理者の自己評価（指定管理者記入）		市の評価（施設所管課記入）	
	＜指定管理者の所見＞	評価	＜施設所管課の所見＞	評価
	夏場の猛暑の影響から、冷房設備のある施設へ大会が流れるなど影響もあったが、利用者が利用しやすい環境づくりとして、スケジュール調整や、衛生面に気を配り清掃活動を積極的に行った。また、経費面では人件費や光熱費の増加、物価高などの影響を顕著に受けたが、必要最小限に抑えるなど努力をした。特に燃料費等の高騰（燃料費前年度比：119.7%、ガス代前年度比：132.6%）が顕著なため節約に努める。	A	概ね、適切に運営していると判断する。自主事業については、平日日中帯の利用率向上のため、定期メニューを新たに展開するなど、体育館をより一層活用する取り組みに期待する。	A

別紙様式6

指定管理者制度導入施設の管理運営に関する評価票(評価対象年度:令和6年度)

施設の名 称	栗原市若柳野球場
施設所管部署名	教育部社会教育課

1 評価対象施設の概要 (施設所管課記入)

施設名称	栗原市若柳野球場		
施設所在地	栗原市若柳字川南道伝前125番地2		
設置年月	平成11年4月	設置根拠条例	栗原市体育施設条例
設置目的	市民の体育、スポーツ及びレクリエーション活動の推進と生活文化の向上を図る		
施設概要	面積	延床面積 106.5㎡(管理棟)、 敷地面積 18,000.0㎡	
	構造		
	施設内容	・野球場2面(A・B対面式)、センター交差 ・観客席、管理棟、倉庫、駐車場(若柳総合体育館と兼用)	
休館日	月曜日、12月1日から翌年の2月2末日まで ※ 条例から変更の有無 ☐ 有 ☒ 無		
開館時間	午前9時00分 ~ 午後5時00分 ※ 条例から変更の有無 ☐ 有 ☒ 無		
施設利用料金	利用料金制	☒ 採用 ☐ 採用無 ☐ 指定管理料と併用 ☐ 指定管理料のみ	
	設定金額	使用料、観覧料等の設定ごとに記載 栗原市体育施設条例のとおり ※ 条例から変更の有無 ☐ 有 ☒ 無	

2 指定管理者等の概要 (施設所管課記入)

指 定 管 理 者	事業者等名称	特定非営利活動法人栗原市スポーツ協会		
	事務所所在地	栗原市若柳字川南道伝前125番地2		
指 定 の 期 間	令和4年4月1日～令和10年3月31日（5年間）			
指定にかかる選定方法	■ 公募 □ 非公募		指定管理料	118,654,000円（ 5年間 ）

3 施設管理の経過 (施設所管課記入)

期 間	管理形態	施設管理を行った団体等	摘要
平成11年4月～平成19年3月	直営		
平成19年4月～平成21年3月	管理委託	有限会社ワイエス企画	H20更新、清掃委託別
平成21年4月～平成29年3月	指定管理	特定非営利活動法人栗原市体育協会	H21指定、H24更新
平成29年4月～令和 7年3月	指定管理	特定非営利活動法人栗原市スポーツ協会(特定非営利活動法人体育協会からR1.7.17名称変更)	H29更新、R4更新

4 施設の利用実績 (指定管理者記入)

	事業計画	実 績		計画との比率 (%)	前年度との比較 (%)
	評価対象年度 (令和6年度)	前年度 (令和5年度)	評価対象年度 (令和6年度)		
開 館 日 数	235日	206日	235日	100.0%	114.1%
利用者数(延べ人数)	20,000人	10,162人	6,865人	34.3%	67.6%
利 用 料 金 収 入	200,000円	96,670円	112,170円	56.1%	116.0%
主 な 増 減 要 因 (前 年 比)	軟式野球人口の減少により、大会や練習の利用回数が減り、利用者数前年比:67.6%と減少。しかしながら市外利用者が一定数いたことから利用料金収入前年度比:116.0%と伸びた。				

5 自主事業等の実績（指定管理者記入）

年月日	事業名	事業内容	対象者	参加者数
令和6年4月～令和7年3月	グラウンドゴルフ教室	毎週1回、正しい技術やルールを教え、上達するためのレッスン	一般	292人
令和6年10月30日	グラウンドゴルフ大会	個人ゲームとし、個人表彰1～3位、ホールインワン賞等参加賞を配る	一般	11人

6 施設の管理運営における課題（指定管理者、施設所管課記入）

指定管理者（指定管理者記入）	市（施設所管課記入）
大会時に喫煙をするなどのマナー違反をする大人が後を絶たない。予約時や利用当日などに大会主催者に注意を行っているが、喫煙する人がいる。目撃した場合は口頭で注意しているが、掲示による周知のほか、今後も職員が巡回するなどの継続的な注意喚起が必要。また、軟式野球人口の減少により定期的な利用がなく、グラウンドの土の状態がよくない。一度大幅な補修が必要であると考え。	敷地内は全面禁煙としており、主催者への注意喚起や会場アナウンスを実施されているにも関わらず、マナー違反が見受けられることは残念であるが、引き続き職員が巡回するなどの環境保全をお願いしたい。 大幅な補修については、他施設とのバランスや利用状況、予算の制約を踏まえながら検討します。

7 施設利用者からの主な意見等とその対応状況（指定管理者記入）

施設利用者からの主な意見等	対応状況等
強風の後など、土が飛ばされ状態がよくない。グラウンド整備を重点的に行って試合ができるようにしてほしい。	すぐに職員による整備を行った。

8 総合的な評価（指定管理者、施設所管課記入）

評価項目	指定管理者の自己評価		市の評価		改善勧告
	評価	コメント	評価	コメント	
(1) 基本的な方針に基づく管理・運営体制	A		A	適切に管理・運営している。	
① 施設の管理運営に必要な人員及び有資格者等を計画どおり適切に配置しているか。	A	余裕はないものの、必要な人員を確保し適切に配置した。	A	適切な人員配置である。	
② 指定管理業務に必要な知識及びサービスの向上のため、研修等人材育成に努めているか。	B	毎日の業務の引継ぎ、情報の共有を行った。技術習得のための研修を受講したが、接客等に関する研修は不足しているので今後行う必要がある。	A	研修の実施等、今後の人材育成に期待する。	
③ 通常の安全管理や緊急時の対応について、職員が適切に行える環境を整備しているか。	A	消防計画により年2回消防訓練及び勉強会を実施。施設環境の整備を適宜行った。	A	緊急時の体制が十分に整備されている。	
④ 各業務日誌等の管理記録を適切に整備・保管しているか。	A	日中の部、夜間の部と業務日誌を記録し、適切に管理保管した。	A	適切に管理している。	
⑤ 個人情報取り扱い及び保護の対策について適切に行われているか。	A	特定個人情報取扱規程に基づき適切に管理運営した。	A	適切に管理している。	
⑥ 法令等を遵守し、市と締結している協定に基づいた管理・運営を遂行しているか。	A	法令を遵守し、市との協定に基づき管理運営を遂行した。	A	適切に運営している。	
(2) 施設管理の状況	A		A	適切な施設管理を行っている。	
① 市の承認した内容に基づき、施設の開館及び利用時間、利用料金設定を遵守しているか。	A	承認内容を遵守した。	A	適切に運営している。	
② 施設内、設備等の清掃及び保守点検等を適切に行い、良好な施設環境を維持しているか。	A	清掃・保守点検を計画的に実施し、良好な施設環境を維持した。	A	良好な施設環境を維持している。	
③ 協定に基づき施設設備や備品等の適切な修繕対応を行っているか。	A	市に申し入れを行い確認し、的確に修繕を実施した。	A	適切に対応している。	
④ 設備維持と事故等防止のため、必要な専門的点検を実施し安全確認を行っているか。	A	安全点検を行い、安全性を確保した。	A	必要な点検を適正に実施し、安全確認を行っている。	
⑤ グラウンドの整備、芝の管理補修等の実施	A	芝生の雑草の駆除作業、肥料の散布を実施した。また、適宜、グラウンド整備や芝刈りを行っている。	A	一定の取り組みを行っている判断する。	
(3) 利用者へのサービス提供と満足度	A		A	利用者から一定の評価を得ていると判断できる。	
① 利用者の利便性を意識した迅速な利用許可手続きや施設情報の提供を行っているか。	A	施設利用予定表の掲示、ホームページによる閲覧開示等、広く情報提供を行った。	A	適切な手続きと迅速な情報提供を行っている。	
② 利用者アンケート等により利用者の意見を把握し反映する取り組みを行ったか。	A	意見箱を設置し、利用者の意見を聞きコミュニケーションを図り、サービス向上に努力した。	A	自主事業を開催する際などに、次の事業に繋がるようなアンケートを行うよう取り組まれた。	
③ 要望及び苦情等に対する対応が十分になされたか。	A	迅速に対応し、可能な範囲で要望に応じた。	A	要望等に対応していると判断する。	
④ 施設の目的を活かし利用者の充実のため新たな取り組みを実施したか。	B	現状維持を重点化し、新たな取り組みを実施するまでに至らなかった。	B	利用者増につながる事業展開に期待する。	
⑤ モニタリング・アンケートの結果、利用者の満足が得られていたか。	A	不備な点は迅速に改善した。利用者より理解を得られた。	A	利用者から一定の評価を得ていると判断できる。	
⑥ 利用者に対し職員の応対、身なり等は適切であるか。	B	言葉遣い等、丁寧な対応に心掛けた。制服等を身に着け適切に対応した。	A	適切である。	
(4) 運営の状況（収支の実績等）	B		A	安心して利用できる施設運営に努めた。	
① 収支計画及び事業計画と比較し実績の状況は妥当であるか。	B	収支計画に及ばず、芝刈機等の修繕費が嵩み赤字となった。	B	昨年度と比較し、改善がみられる。	
② 積極的に収入の創出（増）に努め、又収入の増加に繋がる具体的な取り組みがあったか。	B	自主事業を行ったが、より収入の増加に繋げるため他の取り組みも必要である。	B	今後の収入増に繋がる取り組みに期待する。	
③ 積極的に経費縮減に努め、又具体的に経費の縮減が図られた実績が見られるか。	B	経費縮減に努めたが、修繕費用が嵩み会費が増加した。	A	経費縮減等に取り組んでいる。	
④ 指定管理業務における専用口座及び諸帳簿等を備え適正な経理が行われているか。	A	専用システムソフトおよび税理士の指導の下、適正に行った。	A	適正であると判断する。	

総合評価	指定管理者の自己評価（指定管理者記入）	評価	市の評価（施設所管課記入）	評価
	<指定管理者の所見>	A	<施設所管課の所見>	A
	大会開催の度に喫煙者があり、マナー違反をする大人が後を絶たない。目撃した場合は口頭での注意を行っているが近隣住民からのクレームがないよう引き続き注意喚起を行っていく。また、芝の状態を見ながら芝刈や、グラウンド整備などを行い、より良い環境づくりに努めた。軟式野球の利用者が年々減少していることから市外にも視野を広げた集客が課題である。		適切に運営していると判断する。敷地内は全面禁煙としており、主催者への注意喚起や会場アナウンスを実施されているにも関わらず、マナー違反が見受けられることは残念であるが、引き続き職員が巡回するなどの環境保全をお願いしたい。 市内人口が減少しているため、指定管理者が課題としている市外集客に期待したい。	

別紙様式6

指定管理者制度導入施設の管理運営に関する評価票(評価対象年度:令和6年度)

施 設 の 名 称	栗原市若柳総合体育館 弓道場
施 設 所 管 部 署 名	教育部社会教育課

1 評価対象施設の概要 (施設所管課記入)

施 設 名 称	栗原市若柳総合体育館 弓道場		
施 設 所 在 地	栗原市若柳字川南道伝前125番地2		
設 置 年 月	平成11年4月	設置根拠条例	栗原市体育施設条例
設 置 目 的	市民の体育、スポーツ及びレクリエーション活動の推進と生活文化の向上を図る		
施 設 概 要	面 積	延床面積 5,599.51㎡、 敷地面積 14,040.51㎡	
	構 造	鉄筋コンクリート	
	施設内容	メインアリーナ、サブアリーナ、弓道場、トレーニングルーム、ミーティングルーム、放送室、事務室、会議室(1、2、3、4)、更衣室、トイレ、器具庫、倉庫、機械室、車庫倉庫、駐車場	
休 館 日	月曜日、12月29日から翌年の1月3日まで ※ 条例から変更の有無 ☐ 有 ☒ 無		
開 館 時 間	午前9時00分 ~ 午後10時00分 ※ 条例から変更の有無 ☐ 有 ☒ 無		
施 設 利 用 料 金	利用料金制	☒ 採用 ☐ 採用無 ☐ 指定管理料と併用 ☐ 指定管理料のみ	
	設定金額	使用料、観覧料等の設定ごとに記載 栗原市体育施設条例のとおり ※ 条例から変更の有無 ☐ 有 ☒ 無	

2 指定管理者等の概要 (施設所管課記入)

指 定 管 理 者	事業者等名称	特定非営利活動法人栗原市スポーツ協会		
	事務所所在地	栗原市若柳字川南道伝前125番地2		
指 定 の 期 間	令和4年4月1日～令和10年3月31日（5年間）			
指定にかかる選定方法	■ 公募 □ 非公募		指定管理料	118,654,000円（ 5年間 ）

3 施設管理の経過 (施設所管課記入)

期 間	管理形態	施設管理を行った団体等	摘要
平成11年4月～平成19年3月	直営		
平成19年4月～平成21年3月	管理委託	有限会社ワイエス企画	H20更新、清掃委託別
平成21年4月～平成29年3月	指定管理	特定非営利活動法人栗原市体育協会	H21指定、H24更新
平成29年4月～令和 7年3月	指定管理	特定非営利活動法人栗原市スポーツ協会(特定非営利活動法人体育協会からR1.7.17名称変更)	H29更新、R4更新

4 施設の利用実績 (指定管理者記入)

	事業計画	実 績		計画との比率 (%)	前年度との比較 (%)
	評価対象年度 (令和6年度)	前年度 (令和5年度)	評価対象年度 (令和6年度)		
開 館 日 数	307日	302日	307日	100.0%	101.7%
利用者数(延べ人数)	1,000人	382人	402人	40.2%	105.2%
利 用 料 金 収 入	20,000円	7,420円	7,640円	38.2%	103.0%
主 な 増 減 要 因 (前 年 比)	毎週の弓道教室による人数の増加を見込んだが思うように伸びず、計画から大幅減。しかしながら固定利用者の継続的な利用があり、利用者数・利用料金ともに前年度よりは微増した。				

5 自主事業等の実績（指定管理者記入）

年月日	事業名	事業内容	対象者	参加者数
令和6年4月～令和7年3月	弓道教室	弓道の基本体指導、練習方法の指導	高校生以上の一般	99人

6 施設の管理運営における課題（指定管理者、施設所管課記入）

指定管理者（指定管理者記入）	市（施設所管課記入）
利用者数の増加の伸び悩みを改善するため、教室開催の周知が必要であると思う。しかしながら、弓道場自体が手狭なため5～6人で利用すると窮屈であるという問題点もある。比較的用户の少ない平日中などに利用者を呼び込めるような工夫を行ってきたい。照明が切れていた的是場は市で修繕を行っていただき利用者から好評をいただいた。引き続き快適な利用のため清潔を保ち清掃を行っていく。	自主事業の参加者確保について、PRを推進するとともに協力団体と引き続き連携して取り組んでいただきたい。

7 施設利用者からの主な意見等とその対応状況（指定管理者記入）

施設利用者からの主な意見等	対応状況等
的場の蛍光灯が切れているので直してほしい。	接続部分が劣化していたため、市に対応をお願いし修繕していただいた。

8 総合的な評価（指定管理者、施設所管課記入）

評価項目	指定管理者の自己評価		市の評価		改善 勧告
	評価	コメント	評価	コメント	
(1) 基本的な方針に基づく管理・運営体制	B		A	適切に管理・運営している。	
① 施設の管理運営に必要な人員及び有資格者等を計画どおり適切に配置しているか。	A	余裕はないものの、必要な人員を確保し適切に配置した。	A	適切な人員配置である。	
② 指定管理業務に必要な知識及びサービスの向上のため、研修等人材育成に努めているか。	B	毎日の業務の引継ぎ、情報の共有を行った。接客等に関する研修は不足しているので今後行う必要がある。	A	研修の実施等、今後の人材育成に期待する。	
③ 通常の安全管理や緊急時の対応について、職員が適切に行える環境を整備しているか。	A	消防計画により年2回消防訓練及び勉強会を実施。施設環境の整備を適宜行った。	A	緊急時の体制が十分に整備されている。	
④ 各業務日誌等の管理記録を適切に整備・保管しているか。	A	日中の部、夜間の部と業務日誌を記録し、適切に管理保管した。	A	適切に管理している。	
⑤ 個人情報の取り扱い及び保護の対策について適切に行われているか。	A	特定個人情報取扱規程に基づき適切に管理運営した。	A	適切に管理している。	
⑥ 法令等を遵守し、市と締結している協定に基づいた管理・運営を遂行しているか。	A	法令を遵守し、市との協定に基づき管理運営を遂行した。	A	適切に運営している。	
(2) 施設管理の状況	A		A	適切な施設管理を行っている。	
① 市の承認した内容に基づき、施設の開館及び利用時間、利用料金設定を遵守しているか。	A	承認内容を遵守した。	A	適切に運営している。	
② 施設内、設備等の清掃及び保守点検等を適切に行い、良好な施設環境を維持しているか。	A	清掃・保守点検を計画的に実施し、良好な施設環境を維持した。	A	良好な施設環境を維持している。	
③ 協定に基づき施設設備や備品等の適切な修繕対応を行っているか。	A	市に申し入れを行い確認し、的確に修繕を実施した。	A	適切に対応している。	
④ 設備維持と事故等防止のため、必要な専門的点検を実施し安全確認を行っているか。	A	安全点検を行い、安全性を確保した。	A	必要な点検を適正に実施し、安全確認を行っている。	
⑤ 備品等の設備補充や点検	A	弓道の道具等の安全点検等を教室を開催している若柳弓道協会の協力の下、適宜行った。	A	一定の取り組みを行っている判断する。	
(3) 利用者へのサービス提供と満足度	A		A	利用者から一定の評価を得ていると判断できる。	
① 利用者の利便性を意識した迅速な利用許可手続きや施設情報の提供を行っているか。	A	施設利用予定表の掲示、ホームページによる閲覧開示等、広く情報提供を行った。	A	適切な手続きと迅速な情報提供を行っている。	
② 利用者アンケート等により利用者の意見を把握し反映する取り組みを行ったか。	A	意見箱を設置し、利用者の意見を聞きコミュニケーションを図り、サービス向上に努力した。	A	適切な取り組みを行っている。	
③ 要望及び苦情等に対する対応が十分になされたか。	A	迅速に対応し、可能な範囲で要望に応じた。	A	要望等に対応していると判断する。	
④ 施設の目的を活かし利用者の充実のため新たな取り組みを実施したか。	B	現状維持を重点化し、新たな取り組みを実施するまでに至らなかった。	B	利用者増につながる事業展開に期待する。	
⑤ モニタリング・アンケートの結果、利用者の満足が得られていたか。	A	不備な点は迅速に改善した。利用者より理解を得られた。	A	利用者から一定の評価を得ていると判断できる。	
⑥ 利用者に対し職員の対応、身なり等は適切であるか。	B	言葉遣い等、丁寧な対応に心掛けた。制服等を身に着け適切に対応した。	A	適切である。	
(4) 運営の状況（収支の実績等）	C		B	安心して利用できる施設運営に努めた。	
① 収支計画及び事業計画と比較し実績の状況は妥当であるか。	C	事業計画より収入支出とも大幅に減少した。	C	施設のPR強化等により収入増に努められたい。	
② 積極的に収入の創出（増）に努め、又収入の増加に繋がる具体的な取り組みがあったか。	B	狭い施設であり多くの人の入室が困難ため、限定的ではあるが、教室等を開催し努力した。	B	今後の利用者増に繋がる取り組みに期待する。	
③ 積極的に経費縮減に努め、又具体的に経費の縮減が図られた実績が見られるか。	A	必要不可欠な経費に努力し、委託掃除を週1回にし、職員で清掃に当たるなどの節約に努めた。	A	経費縮減等に取り組んでいる。	
④ 指定管理業務における専用口座及び諸帳簿等を備え適正な経理が行われているか。	A	専用システムソフトおよび税理士の指導の下、適正に行った。	A	適正であると判断する。	

総合評価	指定管理者の自己評価（指定管理者記入）	評価	市の評価（施設所管課記入）	評価
	<指定管理者の所見>	B	<施設所管課の所見>	A
	教室による初心者の方の利用増を見込んだが思うように伸びず計画から大幅減であった。利用料も安く利用しやすい環境ではあると思うので、弓道教室のPRや初心者でも参加しやすい環境づくりが必要であると考え。施設自体が狭く、一度に多人数での利用は難しいため、利用者が少ない平日の日中など、時間をずらしての利用を促進していく。利用者から要望のあった照明交換は市に対応していたが、非常に見やすくなったと好評であり、より良い利用環境になったと考える。		概ね、適切に運営していると判断する。施設利用者の確保については、体験会を開催するなど、広く市民にPRする事業の継続的な取り組みに期待する。	

別紙様式6

指定管理者制度導入施設の管理運営に関する評価票(評価対象年度:令和6年度)

施 設 の 名 称	栗原市若柳総合体育館 トレーニングルーム
施 設 所 管 部 署 名	教育部社会教育課

1 評価対象施設の概要(施設所管課記入)

施 設 名 称	栗原市若柳総合体育館 トレーニングルーム		
施 設 所 在 地	栗原市若柳字川南道伝前125番地2		
設 置 年 月	平成11年4月	設置根拠条例	栗原市体育施設条例
設 置 目 的	市民の体育、スポーツ及びレクリエーション活動の推進と生活文化の向上を図る		
施 設 概 要	面 積	延床面積 5,599.51㎡、 敷地面積 14,040.51㎡	
	構 造	鉄筋コンクリート	
	施設内容	メインアリーナ、サブアリーナ、弓道場、トレーニングルーム、ミーティングルーム、放送室、事務室、会議室(1、2、3、4)、更衣室、トイレ、器具庫、倉庫、機械室、車庫倉庫、駐車場	
休 館 日	月曜日、12月29日から翌年の1月3日まで ※ 条例から変更の有無 ☐ 有 ☒ 無		
開 館 時 間	午前9時00分 ~ 午後10時00分 ※ 条例から変更の有無 ☐ 有 ☒ 無		
施 設 利 用 料 金	利用料金制	☒ 採用 ☐ 採用無 ☐ 指定管理料と併用 ☐ 指定管理料のみ	
	設定金額	使用料、観覧料等の設定ごとに記載 栗原市体育施設条例のとおり ※ 条例から変更の有無 ☐ 有 ☒ 無	

2 指定管理者等の概要(施設所管課記入)

指 定 管 理 者	事業者等名称	特定非営利活動法人栗原市スポーツ協会		
	事務所所在地	栗原市若柳字川南道伝前125番地2		
指 定 の 期 間	令和4年4月1日～令和10年3月31日（5年間）			
指定にかかる選定方法	☒ 公募 ☐ 非公募	指定管理料	118,654,000円（ 5年間 ）	

3 施設管理の経過(施設所管課記入)

期 間	管理形態	施設管理を行った団体等	摘要
平成11年4月～平成19年3月	直営		
平成19年4月～平成21年3月	管理委託	有限会社ワイエス企画	H20更新、清掃委託別
平成21年4月～平成29年3月	指定管理	特定非営利活動法人栗原市体育協会	H21指定、H24更新
平成29年4月～令和7年3月	指定管理	特定非営利活動法人栗原市スポーツ協会(特定非営利活動法人体育協会からR1.7.17名称変更)	H29更新、R4更新

4 施設の利用実績(指定管理者記入)

	事業計画	実 績		計画との比率 (%)	前年度との比較 (%)
	評価対象年度 (令和6年度)	前年度 (令和5年度)	評価対象年度 (令和6年度)		
開 館 日 数	307日	301日	307日	100.0%	102.0%
利 用 者 数 (延べ人数)	6,600人	5,480人	5,608人	85.0%	102.3%
利 用 料 金 収 入	1,300,000円	1,104,490円	1,138,850円	87.6%	103.1%
主 な 増 減 要 因 (前 年 比)	利用者数前年度比102.3%、利用料金前年度比103.1%と微増。トレーニング講習会の周知を行い新規利用者を増やせたことや、ここ数年新型コロナウイルスの流行により足が遠のいていた方々が戻ってきたことが理由であると考え。				

5 自主事業等の実績（指定管理者記入）

年月日	事業名	事業内容	対象者	参加者数
令和6年4月～令和7年3月	トレーニングルーム利用講習会	各種トレーニング機器の使用法、ルール、マナー等についての指導及び円滑な利用方法の指導を行う。	中学生以上	145人

6 施設の管理運営における課題（指定管理者、施設所管課記入）

指定管理者（指定管理者記入）	市（施設所管課記入）
トレーニング機器の充実をしてほしいという利用者からの声もあり、市の理解と協力を得ながら、現在の利用者の満足度を上げる取り組みをしていきたい。狭い施設であり、機器の数も少ないことから、混みあっているときは時間をずらしていただいたり譲り合って利用していただいたり利用者への協力も呼び掛けたい。消毒や清掃などを行い、衛生面にも引き続き注意していく。	トレーニング機器の維持管理について、今後も安全に利用いただけるよう取り組んでいく。引き続き、多くの利用者が円滑に施設を利用できるよう調整いただきたい。

7 施設利用者からの主な意見等とその対応状況（指定管理者記入）

施設利用者からの主な意見等	対応状況等
フリーウエイト、ダンベルの重い種類など、機器を充実させてほしい。	市と協議し、検討しますと伝える。
1週間分など、回数券があるといい。	市と協議し、検討しますと伝える。

8 総合的な評価（指定管理者、施設所管課記入）

評価項目	指定管理者の自己評価		市の評価		改善 勧告
	評価	コメント	評価	コメント	
(1) 基本的な方針に基づく管理・運営体制	A		A	適切に管理・運営している。	
① 施設の管理運営に必要な人員及び有資格者等を計画どおり適切に配置しているか。	A	余裕はないものの、必要な人員を確保し適切に配置した。	A	適切な人員配置である。	
② 指定管理業務に必要な知識及びサービスの向上のため、研修等人材育成に努めているか。	B	毎日の業務の引継ぎ、情報の共有を行った。接客等に関する研修は不足しているので今後行う必要がある。	A	研修の実施等、今後の人材育成に期待する。	
③ 通常の安全管理や緊急時の対応について、職員が適切に行える環境を整備しているか。	A	消防計画により年2回消防訓練及び勉強会を実施。施設環境の整備を適宜行った。	A	緊急時の体制が十分に整備されている。	
④ 各業務日誌等の管理記録を適切に整備・保管しているか。	A	日中の夜、夜間の部と業務日誌を記録し、適切に管理保管した。	A	適切に管理している。	
⑤ 個人情報の取り扱い及び保護の対策について適切に行われているか。	A	特定個人情報取扱規程に基づき適切に管理運営した。	A	適切に管理している。	
⑥ 法令等を遵守し、市と締結している協定に基づいた管理・運営を遂行しているか。	A	法令を遵守し、市との協定に基づき管理運営を遂行した。	A	適切に運営している。	
(2) 施設管理の状況	A		A	適切な施設管理を行っている。	
① 市の承認した内容に基づき、施設の開館及び利用時間、利用料金設定を遵守しているか。	A	承認内容を遵守した。	A	適切に運営している。	
② 施設内、設備等の清掃及び保守点検等を適切に行い、良好な施設環境を維持しているか。	A	清掃・保守点検を計画的に実施し、良好な施設環境を維持した。	A	良好な施設環境を維持している。	
③ 協定に基づき施設設備や備品等の適切な修繕対応を行っているか。	A	的確に対応している。	A	適切に対応している。	
④ 設備維持と事故等防止のため、必要な専門的点検を実施し安全確認を行っているか。	A	専門家による安全点検を行い、器具の取扱い講習会を実施し安全性を確保した。	A	必要な点検を適正に実施し、安全確認を行っている。	
⑤ 衛生的な利用環境の確保	A	衛生環境を整えるためアルコール消毒や清掃等を積極的に行い、より良い環境づくりに努力した。	A	一定の取り組みを行っている判断する。	
(3) 利用者へのサービス提供と満足度	A		A	利用者から一定の評価を得ていると判断できる。	
① 利用者の利便性を意識した迅速な利用許可手続きや施設情報の提供を行っているか。	A	施設利用予定表の掲示、ホームページによる閲覧開示等、広く情報提供を行った。	A	適切な手続きと迅速な情報提供を行っている。	
② 利用者アンケート等により利用者の意見を把握し反映する取り組みを行ったか。	A	意見箱を設置し、利用者の意見を聞きコミュニケーションを図り、サービス向上に努力した。	A	自主事業を開催する際などに、次の事業に繋がるようなアンケートを行うよう取り組まれている。	
③ 要望及び苦情等に対する対応が十分になされたか。	A	迅速に対応し、可能な範囲で要望に応じた。	A	要望等に対応していると判断する。	
④ 施設の目的を活かし利用者の充実のため新たな取り組みを実施したか。	B	現状維持を重点化し、新たな取り組みを実施するまでに至らなかった。	B	利用者増につながる事業展開に期待する。	
⑤ モニタリング・アンケートの結果、利用者の満足が得られていたか。	A	不備な点は迅速に改善した。利用者より理解を得られた。	A	利用者から一定の評価を得ていると判断できる。	
⑥ 利用者に対し職員の対応、身なり等は適切であるか。	A	言葉遣い等、丁寧な対応に心掛けた。制服等を身に着け適切に対応した。	A	適切である。	
(4) 運営の状況（収支の実績等）	B		A	安心して利用できる施設運営に努めた。	
① 収支計画及び事業計画と比較し実績の状況は妥当であるか。	B	計画にはやや及ばなかったがおおむね妥当である。	A	一定の取り組みを行っている判断する。	
② 積極的に収入の創出（増）に努め、又収入の増加に繋がる具体的な取り組みがあったか。	B	清潔で使い易い環境づくりに努め、器具の点検等を積極的に行った。	A	今後の利用者増に繋がる取り組みに期待する。	
③ 積極的に経費縮減に努め、又具体的に経費の縮減が図られた実績が見られるか。	A	必要不可欠な経費に努力し、委託掃除を週1回にし、職員で清掃に当たるなどの節約に努めた。	A	経費縮減等に取り組んでいる。	
④ 指定管理業務における専用口座及び諸帳簿等を備え適正な経理が行われているか。	A	専用システムソフトおよび税理士の指導の下、適正に行った。	A	適正であると判断する。	

総合評価	指定管理者の自己評価（指定管理者記入）		市の評価（施設所管課記入）	
	＜指定管理者の所見＞	評価	＜施設所管課の所見＞	評価
	新型コロナウイルスの流行によりここ数年足が遠のいていた方が戻ってきたり、トレーニング講習会による新規利用者の確保などにより人数前年度比：102.3%・利用料金前年度比：103.1%と、ともに微増した。一度に多くの人数が利用できないことから、利用者の少ない平日日中の時間帯を中心に有効活用していきたい。清掃や消毒なども引き続き行い、利用者の満足度を上げられるように接客態度なども気を付けていく。	A	適切に運営していると判断する。施設利用者の確保については、平日日中時間帯の有効活用方法を検討いただき、より一層の施設の活用に期待する。	A

別紙様式6

指定管理者制度導入施設の管理運営に関する評価票(評価対象年度:令和6年度)

施 設 の 名 称	栗原市栗駒総合体育館
施 設 所 管 部 署 名	教育部社会教育課

1 評価対象施設の概要 (施設所管課記入)

施 設 名 称	栗原市栗駒総合体育館		
施 設 所 在 地	栗原市栗駒岩ヶ崎裏山221番地		
設 置 年 月	平成10年3月	設置根拠条例	栗原市体育施設条例
設 置 目 的	市民の体育、スポーツ及びレクリエーション活動の推進と生活文化の向上を図る		
施 設 概 要	面 積	延床面積 5,761.75㎡、 敷地面積 45,021.00㎡	
	構 造	鉄筋コンクリート造	
	施設内容	メインアリーナ、事務室、会議室、研修室、選手控室、放送室、競技役員室、更衣室、シャワー・ロッカールーム、器具庫、倉庫	
休 館 日	月曜日、12月29日から翌年の1月3日まで ※ 条例から変更の有無 ☐ 有 ☒ 無		
開 館 時 間	午前 9時 00分 ～ 午後10時00分 ※ 条例から変更の有無 ☐ 有 ☒ 無		
施 設 利 用 料 金	利用料金制	☒ 採用 ☐ 採用無 ☐ 指定管理料と併用 ☐ 指定管理料のみ	
	設定金額	使用料、観覧料等の設定ごとに記載 栗原市体育施設条例のとおり	
		※ 条例から変更の有無 ☐ 有 ☒ 無	

2 指定管理者等の概要 (施設所管課記入)

指 定 管 理 者	事業者等名称	株式会社イトマンスポーツウェルネス		
	事務所所在地	千葉県柏市南柏中央3-2 キュア・ラ内		
指 定 の 期 間	令和2年4月1日 ～ 令和7年3月31日（5年間）			
指定にかかる選定方法	☒ 公募 ☐ 非公募	指定管理料	238,950,000円（5年間）	

3 施設管理の経過 (施設所管課記入)

期 間	管理形態	施設管理を行った団体等	摘要
平成11年 4月 ~ 平成24年 3月	直営		
平成24年 4月 ~ 令和7年 3月	指定管理	株式会社イトマンスポーツウェルネス (株式会社ダンロップスポーツウェルネスからR6.12.1社名変更)	令和6年更新
年 月 ~ 年 月			

4 施設の利用実績 (指定管理者記入)

	事業計画	実 績		計画との比率 (%)	前年度との比較 (%)
	評価対象年度 (令和6年度)	前年度 (令和5年度)	評価対象年度 (令和6年度)		
開 館 日 数	307日	300日	307日	100.0%	102.3%
利用者数(延べ人数)	29,329人	19,542人	18,791人	64.1%	96.2%
利 用 料 金 収 入	1,010,200円	1,455,070円	1,454,170円	143.9%	99.9%
主 な 増 減 要 因 (前 年 比)	・今年度は、大口の団体利用がやや減少しましたが、新規の健康教室導入などもあり、利用収入はほぼ前年並みとなっています。				

5 自主事業等の実績（指定管理者記入）

年月日	事業名	事業内容	対象者	参加者数
4/11～4/21	商品販売	来館者向けのスポーツ用品のセール	来館者	70人
11/8～11/21	商品販売	来館者向けのスポーツ用品のセール	来館者	75人
毎月第3土曜日	ヨガ	基本的なヨガの指導	一般	83人
毎月第3土曜日	太極拳	基本的な太極拳の指導	一般	42人
毎月2～3回（金曜日）	かんたん筋トレ	高齢者向けの筋トレとストレッチ指導	受講対象者	95人

6 施設の管理運営における課題（指定管理者、施設所管課記入）

指定管理者（指定管理者記入）	市（施設所管課記入）
・前年度の課題でもある、二階エントランスの天井から雨漏りを確認しております。雨天でも雨の強弱によって雨漏りの有無が有るようです。状況に応じて確認注視して参ります。 ・今年度アリーナ1F・2Fの男子トイレの小便器のセンサー故障箇所が有り（5箇所）栗原市様に修繕していただきましたが、その他の箇所も経年劣化の為、故障すると思われます。お早目の更新修繕をお勧め致します。	雨漏りについて引き続き原因を調査するとともに、解消に向けて対応を検討する。 施設の修繕に関して、予算と緊急性を考慮して計画的な修繕を検討する。

7 施設利用者からの主な意見等とその対応状況（指定管理者記入）

施設利用者からの主な意見等	対応状況等
券売機で500円が使えなくて不便。	券売機を更新する旨をお伝え致しました。
いつも大会の開催、練習試合で気持ちよく使わせてもらってます。	貴重なお言葉を頂きお礼を申し上げます。
利用料金が安いわりに設備が充実している。	貴重なお言葉を頂きお礼を申し上げます。
個人でも色々な道具を利用出来て、安く利用出来て嬉しい。	貴重なお言葉を頂きお礼を申し上げます。
トイレがきれい。	貴重なお言葉を頂きお礼を申し上げます。
ホールにWi-Fi環境を整備してほしい。	栗原市様と協議させて頂きますと丁寧に対応致しました。

8 総合的な評価（指定管理者、施設所管課記入）

評価項目	指定管理者の自己評価		市の評価		改善 勧告
	評価	コメント	評価	コメント	
(1) 基本的な方針に基づく管理・運営体制	A		A	適切に管理・運営している。	
① 施設の管理運営に必要な人員及び有資格者を計画どおり適切に配置しているか。	A	必要な人員を計画どおり適切に配置している。	A	適切な人員配置である。	
② 指定管理業務に必要な知識及びサービスの向上のため、研修等人材育成に努めているか。	A	研修等を通じ人材育成に努めている。	A	人材育成に努めている。	
③ 通常の安全管理や緊急時の対応について、職員が適切に行える環境を整備しているか。	A	全体ミーティングで防災訓練を実施するなど周知徹底。	A	緊急時の体制が十分に整備されている。	
④ 各業務日誌等の管理記録を適切に整備・保管しているか。	A	パソコンで管理・保管。	A	適切に管理している。	
⑤ 個人情報の取り扱い及び保護の対策について適切に行われているか。	A	年4回の研修で周知徹底し、併せて事務所外への持ち出し禁止を徹底。	A	適切に管理している。	
⑥ 法令等を遵守し、市と締結している協定に基づいた管理・運営を遂行しているか。	A	協定に基づき管理、運営を遂行している。	A	適切に運営している。	
(2) 施設管理の状況	A		A	適切な施設管理を行っている。	
① 市の承認した内容に基づき、施設の開館及び利用時間、利用料金設定を遵守しているか。	A	全て遵守している。	A	承認内容を遵守している。	
② 施設内、設備等の清掃及び保守点検等を適切に行い、良好な施設環境を維持しているか。	A	保守点検業者と連絡を密に対応。	A	良好な施設環境を維持している。	
③ 協定に基づき施設設備や備品等の適切な修繕対応を行っているか。	A	都度栗原市様と協議し対応。	A	適切に対応している。	
④ 設備維持と事故等防止のため、必要な専門的点検を実施し安全確認を行っているか。	A	必要な専門的点検を実施した。（業者も含めて）	A	必要な点検を適正に実施し、安全確認を行っている。	
⑤ 施設の設置目的であるスポーツ等の推進に向けた取り組みを行っているか。	A	スポーツ団体募集要項等の掲示を行っています。	A	自主事業の継続など、一定の取り組みを行っている判断する。	
(3) 利用者へのサービス提供と満足度	A		A	利用者から一定の評価を得ていると判断できる。	
① 利用者の利便性を意識した迅速な利用許可手続きや施設情報の提供を行っているか。	A	ホームページ掲載も含め迅速且つタイムリーに処理している。	A	適切に施設情報の提供を行っている。	
② 利用者アンケート等により利用者の意見を把握し反映する取り組みを行ったか。	A	出来る事は即対応。	A	一定の取り組みを行っている判断する。	
③ 要望及び苦情等に対する対応が十分になされたか。	A	即時に対応致しました。	A	要望等に対応していると判断する。	
④ 施設の目的を活かし利用者の充実のため新たな取り組みを実施したか。	A	お客様に満足いただきたいとの意識を持って日々対応しています。	A	新規で健康教室を開催する等新たな取り組みができていると判断する。	
⑤ モニタリング・アンケートの結果、利用者の満足が得られていたか。	B	対応場所によって多少のバラツキはあるものの、概ね良い評価をいただきました。	A	利用者から一定の評価を得ていると判断できる。	
⑥ 利用者に対し職員の対応、身なり等は適切であるか。	A	対応場所によって多少のバラツキはあるものの、概ね良い評価をいただきました。	A	適切である。	
(4) 運営の状況（収支の実績等）	A		A	適切な施設運営である。	
① 収支計画及び事業計画と比較し実績の状況は妥当であるか。	A	6体施設全体として妥当と考えます。	A	適切である。	
② 積極的に収入の創出（増）に努め、又収入の増加に繋がる具体的な取り組みがあったか。	A	6体施設全体として取り組みました。	A	平日日中時間帯の利用者増に繋がる更なる取り組みに期待する。	
③ 積極的に経費縮減に努め、又具体的に経費の縮減が図られた実績が見られるか。	A	6体施設全体として図られました。	A	経費縮減等に取り組んでいる。	
④ 指定管理業務における専用口座及び諸帳簿等を備え適正な経理が行われているか。	A	6体施設全体として適正に処理されております。	A	適正であると判断する。	

総合評価	指定管理者の自己評価（指定管理者記入）		市の評価（施設所管課記入）	
	指定管理者の所見	評価	施設所管課の所見	評価
	・今年度におきましては、クレーム等も無く概ね順調に推移して参りました。 ・自主事業では新たに「かんたん筋トレとストレッチ教室」を9月より導入し、週1回(平均参加4名)のレギュラー開催をしています。 ・利用者数につきましては、社会人バスケの利用が他施設へ分散したことなどで大口利用がやや減少しましたが、新規自主事業などで利用料はほぼ前年並みとなっています。	A	前年度と比較して、年間で利用者約751人減となっているが、収入が約1%増となった。日中の時間帯の使用率を向上させるため、引き続き自主事業の展開を図りたい。	A

別紙様式6

指定管理者制度導入施設の管理運営に関する評価票(評価対象年度:令和6年度)

施 設 の 名 称	栗原市栗駒野球場
施 設 所 管 部 署 名	教育部社会教育課

1 評価対象施設の概要 (施設所管課記入)

施 設 名 称	栗原市栗駒野球場				
施 設 所 在 地	栗原市栗駒岩ヶ崎裏山216番地64				
設 置 年 月	昭和60年3月31日		設置根拠条例	栗原市体育施設条例	
設 置 目 的	市民の体育、スポーツ及びレクリエーション活動の推進と生活文化の向上を図る				
施 設 概 要	面 積	延床面積 m ² 、 敷地面積 27,400m ²			
	構 造	鉄筋コンクリート造			
	施設内容	メイン球場1面、サブ(ソフトボール)球場1面、事務室、会議室、医務室、更衣室、役員室、収納庫、器具庫、ナイター設備			
休 館 日	月曜日、12月1日から翌年の2月末日まで ※ 条例から変更の有無 ☐ 有 ☒ 無				
開 館 時 間	午前 9時 00分 ～ 午後10時00分 ※ 条例から変更の有無 ☐ 有 ☒ 無				
施 設 利 用 料 金	利用料金制	☒ 採用 ☐ 採用無 ☐ 指定管理料と併用 ☐ 指定管理料のみ			
	設定金額	使用料、観覧料等の設定ごとに記載 栗原市体育施設条例のとおり			
		※ 条例から変更の有無 ☐ 有 ☒ 無			

2 指定管理者等の概要 (施設所管課記入)

指 定 管 理 者	事業者等名称	株式会社イトマンスポーツウェルネス		
	事務所所在地	千葉県柏市南柏中央3-2 キュア・ラ内		
指 定 の 期 間	令和2年4月1日 ～ 令和7年3月31日（5年間）			
指定にかかる選定方法	☒ 公募 ☐ 非公募		指定管理料	238,950,000円（5年間）

3 施設管理の経過 (施設所管課記入)

期 間	管理形態	施設管理を行った団体等	摘要
平成11年 4月 ~ 平成24年 3月	直営		
平成24年 4月 ~ 令和7年 3月	指定管理	株式会社イトマンスポーツウェルネス (株式会社ダンロップスポーツウェルネスからR6. 12. 1社名変更)	令和6年更新
年 月 ~ 年 月			

4 施設の利用実績 (指定管理者記入)

	事業計画	実 績		計画との比率 (%)	前年度との比較 (%)
	評価対象年度 (令和6年度)	前年度 (令和5年度)	評価対象年度 (令和6年度)		
開 館 日 数	234日	141日	234日	100.0%	166.0%
利用者数(延べ人数)	7,782人	5,112人	5,279人	67.8%	103.3%
利 用 料 金 収 入	598,640円	345,070円	376,650円	62.9%	109.2%
主 な 増 減 要 因 (前 年 比)	・市内団体だけでなく、市街団体の新規利用などもあり利用増と増収に繋がりました。				

5 自主事業等の実績（指定管理者記入）

年月日	事業名	事業内容	対象者	参加者数
なし				

6 施設の管理運営における課題（指定管理者、施設所管課記入）

指定管理者（指定管理者記入）	市（施設所管課記入）
・今年度は昨年の課題事項でもありました、管理棟内のトイレの洋式化改修工事と散水用高圧ポンプ更新修繕を栗原市様に施工していただきました。利用団体様には快適に施設をご利用頂けると思っています。今後の課題として、近年サブグラウンド内にイノシシが出没して敷地内が荒らされていたため、合板等で応急対応しておりますが、必要個所に侵入防止柵の設置が必要と考えられます。また、同じくサブグラウンド内野の土の劣化もかなり進んでおりますので併せて対応が必要と考えます。	サブグラウンドへのイノシシ対策やサブグラウンド整備は今後検討します。

7 施設利用者からの主な意見等とその対応状況（指定管理者記入）

施設利用者からの主な意見等	対応状況等
トイレを和式から洋式に変えてほしい。	利用者様に改修工事する旨をお伝え致しました。
風当たりの強い球場なので、防風ネット兼ファールボール用ネットを設置して欲しい。	栗原市様と協議させていただきますと丁寧に対応致しました。
サブグラウンドの土の入れ替えをお願いしたい。砂の下の小石が出てくることが多い。	栗原市様と協議させていただきますと丁寧に対応致しました。
散水ポンプが故障で使えず不便。砂埃も凄いのので早く直してほしい。	利用者様に更新修繕工事する旨をお伝え致しました。

8 総合的な評価（指定管理者、施設所管課記入）

評価項目	指定管理者の自己評価		市の評価		改善 勧告
	評価	コメント	評価	コメント	
(1) 基本的な方針に基づく管理・運営体制	A		A	適切に管理・運営している。	
① 施設の管理運営に必要な人員及び有資格者等を計画どおり適切に配置しているか。	A	屋外スタッフを配置し適切に管理している。	A	適切な人員配置である。	
② 指定管理業務に必要な知識及びサービスの向上のため、研修等人材育成に努めているか。	A	社内研修を実施して人材育成に努めている。	A	人材育成に努めている。	
③ 通常の安全管理や緊急時の対応について、職員が適切に行える環境を整備しているか。	A	防災訓練を実施してスキルを向上した。	A	緊急時の体制が十分に整備されている。	
④ 各業務日誌等の管理記録を適切に整備・保管しているか。	A	事務所に一括管理している。	A	適切に管理している。	
⑤ 個人情報の取り扱い及び保護の対策について適切に行われているか。	A	研修にてスタッフ全員周知徹底。	A	適切に管理している。	
⑥ 法令等を遵守し、市と締結している協定に基づいた管理・運営を遂行しているか。	A	協定に基づいた管理、運営を遂行している。	A	適切に運営している。	
(2) 施設管理の状況	A		A	適切な施設管理を行っている。	
① 市の承認した内容に基づき、施設の開館及び利用時間、利用料金設定を遵守しているか。	A	協定に基づいた管理、運営を遂行している。	A	承認内容を遵守している。	
② 施設内、設備等の清掃及び保守点検等を適切に行い、良好な施設環境を維持しているか。	A	適切に管理している。	A	良好な施設環境を維持している。	
③ 協定に基づき施設設備や備品等の適切な修繕対応を行っているか。	A	適切な施設設備や備品との修繕を行っている。	A	適切に対応している。	
④ 設備維持と事故等防止のため、必要な専門的点検を実施し安全確認を行っているか。	A	必要な専門的点検を実施した。	A	必要な点検を適正に実施し、安全確認を行っている。	
⑤ 施設の設置目的であるスポーツ等の推進に向けた取り組みを行っているか。	A	行っている。	A	施設周辺を含めた管理を適切に行っている。	
(3) 利用者へのサービス提供と満足度	A		A	利用者より一定の満足は得られていると判断する。	
① 利用者の利便性を意識した迅速な利用許可手続きや施設情報の提供を行っているか。	A	迅速に対応している。	A	適切に施設情報の提供を行っている。	
② 利用者アンケート等により利用者の意見を把握し反映する取り組みを行ったか。	A	出来る事は即実施。	A	一定の取り組みを行っているとは判断する。	
③ 要望及び苦情等に対する対応が十分になされたか。	A	今年度は要望及び苦情は有りませんでした。	A	要望等に対応していると判断する。	
④ 施設の目的を活かし利用者の充実のため新たな取り組みを実施したか。	A	芝生の整備の強化をしました。	A	一定の取り組みを行っているとは判断する。	
⑤ モニタリング・アンケートの結果、利用者の満足が得られていたか。	B	概ね良い評価を得られている。	A	利用者より一定の満足は得られているとは判断する。	
⑥ 利用者に対し職員の対応、身なり等は適切であるか。	A	適切でした。	A	適切である。	
(4) 運営の状況（収支の実績等）	A		A	適切な施設運営である。	
① 収支計画及び事業計画と比較し実績の状況は妥当であるか。	A	6体育施設全体として体育館にて集約	A	適切である。	
② 積極的に収入の創出（増）に努め、又収入の増加に繋がる具体的な取り組みがあったか。	A	6体育施設全体として体育館にて集約	A	一定の取り組みがあったと判断する。	
③ 積極的に経費縮減に努め、又具体的に経費の縮減が図られた実績が見られるか。	A	6体育施設全体として体育館にて集約	A	経費縮減等に取り組んでいる。	
④ 指定管理業務における専用口座及び諸帳簿等を備え適正な経理が行われているか。	A	6体育施設全体として体育館にて集約	A	適正であると判断する。	

総合評価	指定管理者の自己評価（指定管理者記入）	評価	市の評価（施設所管課記入）	評価
	<指定管理者の所見> ・常にグランドコンディションが良好な状態をキープできる様に心掛けています。また、年度末に補修していただいた、サブグラウンドのベンチは未使用時にブルーシートにて保護し、劣化防止に努めています。 ・管理棟の清掃につきましても、改修していただいたトイレの保全を中心に、きめ細かく実施しております。 ・球場周辺の草刈り等も、きめ細かく整備、管理に注力いたしました。	A	<施設所管課の所見> 前年度と比較して、年間で利用者167人増、収入が9%増となった。 自主事業は実施されなかったものの、球場内の芝生整備を強化したり、球場周辺の草刈りを行うなど、利用者拡大に取り組んでいる。	A

別紙様式6

指定管理者制度導入施設の管理運営に関する評価票(評価対象年度:令和6年度)

施 設 の 名 称	サン・スポーツランド栗駒
施 設 所 管 部 署 名	教育部社会教育課

1 評価対象施設の概要 (施設所管課記入)

施 設 名 称	サン・スポーツランド栗駒		
施 設 所 在 地	栗原市栗駒岩ヶ崎裏山221番地		
設 置 年 月	平成7年3月31日	設置根拠条例	栗原市体育施設条例
設 置 目 的	市民の体育、スポーツ及びレクリエーション活動の推進と生活文化の向上を図る		
施 設 概 要	面 積	延床面積 m ² 、 敷地面積 40,214m ²	
	構 造	管理棟：鉄筋コンクリート造	
	施設内容	陸上競技場(トラック：400m6コース・グリーンサンド舗装フィールド：クレー)、管理室・ミーティングルーム、器具庫	
休 館 日	月曜日、12月29日から翌年の1月3日まで ※ 条例から変更の有無 ☐ 有 ☒ 無		
開 館 時 間	午前 9時 00分 ～ 午後 5時00分 ※ 条例から変更の有無 ☐ 有 ☒ 無		
施 設 利 用 料 金	利用料金制	☒ 採用 ☐ 採用無 ☐ 指定管理料と併用 ☐ 指定管理料のみ	
	設定金額	使用料、観覧料等の設定ごとに記載 栗原市体育施設条例のとおり ※ 条例から変更の有無 ☐ 有 ☒ 無	

2 指定管理者等の概要 (施設所管課記入)

指 定 管 理 者	事業者等名称	株式会社イトマンスポーツウェルネス		
	事務所所在地	千葉県柏市南柏中央3-2 キュア・ラ内		
指 定 の 期 間	令和2年4月1日 ～ 令和7年3月31日（5年間）			
指定にかかる選定方法	☒ 公募 ☐ 非公募	指定管理料	238,950,000円（5年間）	

3 施設管理の経過 (施設所管課記入)

期 間	管理形態	施設管理を行った団体等	摘要
平成11年 4月 ~ 平成24年 3月	直営		
平成24年 4月 ~ 令和7年 3月	指定管理	株式会社イトマンスポーツウェルネス (株式会社ダンロップスポーツウェルネスからR6. 12. 1社名変更)	令和6年更新
年 月 ~ 年 月			

4 施設の利用実績 (指定管理者記入)

	事業計画	実 績		計画との比率 (%)	前年度との比較 (%)
	評価対象年度 (令和6年度)	前年度 (令和5年度)	評価対象年度 (令和6年度)		
開 館 日 数	234日	62日	234日	100.0%	377.4%
利用者数(延べ人数)	8,683人	4,756人	4,385人	50.5%	92.2%
利 用 料 金 収 入	149,000円	19,190円	23,770円	16.0%	123.9%
主 な 増 減 要 因 (前 年 比)	・夏場に悪天候が続いたことと、サッカースポ少の利用で体育館を利用する割合が増加傾向にあることで利用者が若干減少していますが、ペタンク大会などの老人会の利用が若干増加しました。				

5 自主事業等の実績（指定管理者記入）

年月日	事業名	事業内容	対象者	参加者数
なし				

6 施設の管理運営における課題（指定管理者、施設所管課記入）

指定管理者（指定管理者記入）	市（施設所管課記入）
・昨年同様、隣接する山から現れる猪にサンスポの道路側の法面を荒らされました。豪雨などにより土砂が流失する恐れがあります。今後猪が進入しないような侵入防止策等を講じる必要があると考えております。	イノシシ対策に関しては今後検討します。

7 施設利用者からの主な意見等とその対応状況（指定管理者記入）

施設利用者からの主な意見等	対応状況等
サンスポ全面を人工芝に変えてほしい。せっかくの広い敷地が無駄になっている。	栗原市様と協議して参ります。
管理棟内にエアコンの設置をお願い致します。	栗原市様と協議して参ります。

8 総合的な評価（指定管理者、施設所管課記入）

評価項目	指定管理者の自己評価		市の評価		改善 勧告
	評価	コメント	評価	コメント	
(1) 基本的な方針に基づく管理・運営体制	A		A	適切に管理・運営している。	
① 施設の管理運営に必要な人員及び有資格者等を計画どおり適切に配置しているか。	A	計画通り適切に配置しております。	A	適切な人員配置である。	
② 指定管理業務に必要な知識及びサービスの向上のため、研修等人材育成に努めているか。	A	内部研修を実施し人材育成に努めた。	A	人材育成に努めている。	
③ 通常の安全管理や緊急時の対応について、職員が適切に行える環境を整備しているか。	A	防災訓練、実技、研修を通じ環境を整備している。	A	緊急時の体制が十分に整備されている。	
④ 各業務日誌等の管理記録を適切に整備・保管しているか。	A	事務室で整理、保管。	A	適切に管理している。	
⑤ 個人情報の取り扱い及び保護の対策について適切に行われているか。	A	研修において周知徹底。	A	適切に管理している。	
⑥ 法令等を遵守し、市と締結している協定に基づいた管理・運営を遂行しているか。	A	協定に基づいた管理、運営を遂行している。	A	適切に運営している。	
(2) 施設管理の状況	A		A	適切な施設管理を行っている。	
① 市の承認した内容に基づき、施設の開館及び利用時間、利用料金設定を遵守しているか。	A	協定に基づいた管理、運営を遂行している。	A	承認内容を遵守している。	
② 施設内、設備等の清掃及び保守点検等を適切に行い、良好な施設環境を維持しているか。	A	管理棟の清掃、グラウンドの整備など環境を維持している。	A	良好な施設環境を維持している。	
③ 協定に基づき施設設備や備品等の適切な修繕対応を行っているか。	A	協定に基づいた管理、運営を遂行している。	A	適切に対応している。	
④ 設備維持と事故等防止のため、必要な専門的点検を実施し安全確認を行っているか。	A	必要な専門的点検を実施した。	A	必要な点検を適正に実施し、安全確認を行っている。	
⑤ 施設の設置目的であるスポーツ等の推進に向けた取り組みを行っているか。	A	行っている。	A	適切に対応している。	
(3) 利用者へのサービス提供と満足度	A		A	適切な施設管理を行っている。	
① 利用者の利便性を意識した迅速な利用許可手続きや施設情報の提供を行っているか。	A	迅速に対応している。	A	適切に施設情報の提供を行っている。	
② 利用者アンケート等により利用者の意見を把握し反映する取り組みを行ったか。	A	今年度は利用者様より、アンケートのご意見がありませんでした。	A	アンケート実績はなかったものの要望に柔軟に対応している。	
③ 要望及び苦情等に対する対応が十分になされたか。	A	要望・苦情等が出た時は栗原市様と協議し対応します。	A	要望等に対応していると判断する。	
④ 施設の目的を活かし利用者の充実のため新たな取り組みを実施したか。	A	新たな取り組みを行いました。	A	一定の取り組みを行っているとは判断する。	
⑤ モニタリング・アンケートの結果、利用者の満足が得られていたか。	B	ほぼ得られている。	A	利用者から一定の評価を得ていると判断できる。	
⑥ 利用者に対し職員の応対、身なり等は適切であるか。	A	適切である。	A	適切である。	
(4) 運営の状況（収支の実績等）	A		A	適切な施設運営である。	
① 収支計画及び事業計画と比較し実績の状況は妥当であるか。	A	6体育施設全体として体育館に集約	A	適切である。	
② 積極的に収入の創出（増）に努め、又収入の増加に繋がる具体的な取り組みがあったか。	A	6体育施設全体として体育館に集約	A	一定の取り組みがあったと判断する。	
③ 積極的に経費縮減に努め、又具体的に経費の縮減が図られた実績が見られるか。	A	6体育施設全体として体育館に集約	A	経費縮減等に取り組んでいる。	
④ 指定管理業務における専用口座及び諸帳簿等を備え適正な経理が行われているか。	A	6体育施設全体として体育館に集約	A	適正であると判断する。	

総合評価	指定管理者の自己評価（指定管理者記入）	評価	市の評価（施設所管課記入）	評価
	<指定管理者の所見>	A	<施設所管課の所見>	A
	利用件数が多い施設ではありませんが、利用者様が快適に利用できる様にグラウンド整備をはじめ、周辺の草刈り、管理棟の清掃、設備点検などをきめ細かく行い、安全面も気を付けております。		前年度と比較して、年間で利用者371人減となったが、収入が23%増となった。 利用者目線に立った施設整備だけでなく、自主事業でノルディックウォーキング講習を実施するなど、利用者拡大に取り組んでいる。	

別紙様式6

指定管理者制度導入施設の管理運営に関する評価票(評価対象年度:令和6年度)

施 設 の 名 称	栗原市栗駒テニスコート
施 設 所 管 部 署 名	教育部社会教育課

1 評価対象施設の概要(施設所管課記入)

施 設 名 称	栗原市栗駒テニスコート		
施 設 所 在 地	栗原市栗駒岩ヶ崎裏山216番地64		
設 置 年 月	昭和60年3月31日	設置根拠条例	栗原市体育施設条例
設 置 目 的	市民の体育、スポーツ及びレクリエーション活動の推進と生活文化の向上を図る		
施 設 概 要	面 積	延床面積 m ² 、 敷地面積 1,453.17m ²	
	構 造		
	施設内容	砂入り人工芝2面、ナイター設備	
休 館 日	月曜日、12月29日から翌年の1月3日まで ※ 条例から変更の有無 ☐ 有 ☒ 無		
開 館 時 間	午前 9時 00分 ～ 午後10時00分 ※ 条例から変更の有無 ☐ 有 ☒ 無		
施 設 利 用 料 金	利用料金制	☒ 採用 ☐ 採用無 ☐ 指定管理料と併用 ☐ 指定管理料のみ	
	設定金額	使用料、観覧料等の設定ごとに記載 栗原市体育施設条例のとおり ※ 条例から変更の有無 ☐ 有 ☒ 無	

2 指定管理者等の概要(施設所管課記入)

指 定 管 理 者	事業者等名称	株式会社イトマンスポーツウェルネス		
	事務所所在地	千葉県柏市南柏中央3-2 キュア・ラ内		
指 定 の 期 間	令和2年4月1日 ～ 令和7年3月31日（5年間）			
指定にかかる選定方法	☒ 公募 ☐ 非公募	指定管理料	238,950,000円（5年間）	

3 施設管理の経過(施設所管課記入)

期 間	管理形態	施設管理を行った団体等	摘要
平成11年 4月 ~ 平成24年 3月	直営		
平成24年 4月 ~ 令和7年 3月	指定管理	株式会社イトマンスポーツウェルネス (株式会社ダンロップスポーツウェルネスからR6. 12. 1社名変更)	令和6年更新
年 月 ~ 年 月			

4 施設の利用実績(指定管理者記入)

	事業計画	実 績		計画との比率 (%)	前年度との比較 (%)
	評価対象年度 (令和6年度)	前年度 (令和5年度)	評価対象年度 (令和6年度)		
開 館 日 数	307日	223日	307日	100.0%	137.7%
利用者数(延べ人数)	3,597人	5,401人	4,839人	134.5%	89.6%
利 用 料 金 収 入	113,000円	134,160円	192,400円	170.3%	143.4%
主 な 増 減 要 因 (前 年 比)	・スポ少の利用減により、利用者数が減少しておりますが、一般利用の増加により増収となっています。				

5 自主事業等の実績（指定管理者記入）

年月日	事業名	事業内容	対象者	参加者数
なし				

6 施設の管理運営における課題（指定管理者、施設所管課記入）

指定管理者（指定管理者記入）	市（施設所管課記入）
・昨年同様に隣接する野球場からのファールボールが飛んでくる事が懸念されています。現状では双方の利用団体様に硬式ボール利用時の注意喚起を行っていますが、防護ネットの増設など設備改善のご検討をお願い申し上げます。	隣接する野球場からのファールボール防止用ネットの設置については、引き続き検討していく。

7 施設利用者からの主な意見等とその対応状況（指定管理者記入）

施設利用者からの主な意見等	対応状況等
球場管理棟内の様式トイレの数を増やしてほしい。	利用者様に改修工事する旨をお伝え致しました。
球場からのボールが飛んでくるので、防護ネットを設置してもらいたい。安全のため。	栗原市様と協議して参ります。
テニスコート周辺を碎石で整地してもらいたい。	栗原市様と協議して参ります。

8 総合的な評価（指定管理者、施設所管課記入）

評価項目	指定管理者の自己評価		市の評価		改善 勧告
	評価	コメント	評価	コメント	
(1) 基本的な方針に基づく管理・運営体制	A		A	適切に管理・運営している。	
① 施設の管理運営に必要な人員及び有資格者等を計画どおり適切に配置しているか。	A	必要な人員を計画どおり適切に配置している	A	適切な人員配置である。	
② 指定管理業務に必要な知識及びサービスの向上のため、研修等人材育成に努めているか。	A	研修等を通じ人材育成に努めている	A	人材育成に努めている。	
③ 通常の安全管理や緊急時の対応について、職員が適切に行える環境を整備しているか。	A	全体ミーティングで防災訓練を実施するなど周知徹底。	A	緊急時の体制が十分に整備されている。	
④ 各業務日誌等の管理記録を適切に整備・保管しているか。	A	パソコンで管理・保管。	A	適切に管理している。	
⑤ 個人情報の取り扱い及び保護の対策について適切に行われているか。	A	年4回の研修で周知徹底し、併せて事務所外への持ち出し禁止を徹底。	A	適切に管理している。	
⑥ 法令等を遵守し、市と締結している協定に基づいた管理・運営を遂行しているか。	A	協定に基づき管理、運営を遂行している。	A	適切に運営している。	
(2) 施設管理の状況	A		A	適切な施設管理を行っている。	
① 市の承認した内容に基づき、施設の開館及び利用時間、利用料金設定を遵守しているか。	A	協定に基づいた管理、運営に遂行している。	A	承認内容を遵守している。	
② 施設内、設備等の清掃及び保守点検等を適切に行い、良好な施設環境を維持しているか。	A	適切に管理している。	A	良好な施設環境を維持している。	
③ 協定に基づき施設設備や備品等の適切な修繕対応を行っているか。	A	定期的に点検、清掃を行い良好な施設管理を維持している。	A	適切に対応している。	
④ 設備維持と事故等防止のため、必要な専門的点検を実施し安全確認を行っているか。	A	必要な専門的点検を実施した。	A	必要な点検を適正に実施し、安全確認を行っている。	
⑤ 施設の設置目的であるスポーツ等の推進に向けた取り組みを行っているか。	A	スポーツ推進に向けた取り組みを行いました。	A	施設周辺を含めた管理を適切に行っている。	
(3) 利用者へのサービス提供と満足度	A		A	適切な施設管理を行っている。	
① 利用者の利便性を意識した迅速な利用許可手続きや施設情報の提供を行っているか。	A	迅速に対応している。	A	適切に施設情報の提供を行っている。	
② 利用者アンケート等により利用者の意見を把握し反映する取り組みを行ったか。	A	利用者様の意見を把握し反映する取り組みを行いました。	A	利用者の要望に柔軟に対応している。	
③ 要望及び苦情等に対する対応が十分になされたか。	A	要望・苦情等が出た時は栗原市様と協議し対応します。	A	要望等に対応していると判断する。	
④ 施設の目的を活かし利用者の充実のため新たな取り組みを実施したか。	A	コート整備や熱中症対策を重点的に行った。	A	一定の取り組みを行っている判断する。	
⑤ モニタリング・アンケートの結果、利用者の満足が得られていたか。	B	ほぼ得られている。	A	利用者から一定の評価を得ていると判断できる。	
⑥ 利用者に対し職員の応対、身なり等は適切であるか。	A	適切である。	A	適切である。	
(4) 運営の状況（収支の実績等）	A		A	適切な施設運営である。	
① 収支計画及び事業計画と比較実績の状況は妥当であるか。	A	6体育施設全体として体育館に集約	A	適切である。	
② 積極的に収入の創出（増）に努め、又収入の増加に繋がる具体的な取り組みがあったか。	A	6体育施設全体として体育館に集約	A	一定の取り組みがあったと判断する。	
③ 積極的に経費縮減に努め、又具体的に経費の縮減が図られた実績が見られるか。	A	6体育施設全体として体育館に集約	A	経費縮減等に取り組んでいる。	
④ 指定管理業務における専用口座及び諸帳簿等を備え適正な経理が行われているか。	A	6体育施設全体として体育館に集約	A	適正であると判断する。	

総合評価	指定管理者の自己評価（指定管理者記入）	評価	市の評価（施設所管課記入）	評価
	＜指定管理者の所見＞ 利用者様が気持ちよくプレーして頂ける様に、テニスコート周辺の環境整備を頻繁に行いました。また、今年度は野球場の管理棟内のトイレ改修工事を栗原市様に施工していただきました。利用も野球場利用者様と共有する為、常に管理棟の清掃備品も整備し、清掃等をきめ細かく実施しております。	A	＜施設所管課の所見＞ 前年度と比較して、年間で利用者562人減となったが、収入が43%増となった。 利用者目線に立った施設整備により、利用者拡大に取り組んでいる。今後は自主事業の取り組みに期待する。	A

別紙様式6

指定管理者制度導入施設の管理運営に関する評価票(評価対象年度:令和6年度)

施 設 の 名 称	栗原市栗駒プール
施 設 所 管 部 署 名	教育部社会教育課

1 評価対象施設の概要 (施設所管課記入)

施 設 名 称	栗原市栗駒プール		
施 設 所 在 地	栗原市栗駒岩ヶ崎裏山221番地		
設 置 年 月	平成10年3月	設置根拠条例	栗原市体育施設条例
設 置 目 的	市民の体育、スポーツ及びレクリエーション活動の推進と生活文化の向上を図る		
施 設 概 要	面 積	延床面積 5,761.75㎡、 敷地面積 45,021.00㎡	
	構 造	鉄筋コンクリート造	
	施設内容	25m×6コース温水プール、子ども用プール、ジャグジー、採暖室、シャワー室、更衣室、機械室	
休 館 日	月曜日、12月29日から翌年の1月3日まで ※ 条例から変更の有無 ☐ 有 ☒ 無		
開 館 時 間	午前 10時 00分 ~ 午後 8時 30分 ※ 条例から変更の有無 ☒ 有 ☐ 無		
施 設 利 用 料 金	利用料金制	☒ 採用 ☐ 採用無 ☐ 指定管理料と併用 ☐ 指定管理料のみ	
	設定金額	使用料、観覧料等の設定ごとに記載 栗原市体育施設条例のとおり	
		※ 条例から変更の有無 ☐ 有 ☒ 無	

2 指定管理者等の概要 (施設所管課記入)

指 定 管 理 者	事業者等名称	株式会社イトマンスポーツウェルネス		
	事務所所在地	千葉県柏市南柏中央3-2 キュア・ラ内		
指 定 の 期 間	令和2年4月1日 ～ 令和7年3月31日（5年間）			
指定にかかる選定方法	☒ 公募 ☐ 非公募		指定管理料	238,950,000円（5年間）

3 施設管理の経過 (施設所管課記入)

期 間	管理形態	施設管理を行った団体等	摘要
平成11年 4月 ~ 平成24年 3月	直営		
平成24年 4月 ~ 令和7年 3月	指定管理	株式会社イトマンスポーツウェルネス (株式会社ダンロップスポーツウェルネスからR6. 12. 1社名変更)	令和6年更新
年 月 ~ 年 月			

4 施設の利用実績 (指定管理者記入)

	事業計画	実 績		計画との比率 (%)	前年度との比較 (%)
	評価対象年度 (令和6年度)	前年度 (令和5年度)	評価対象年度 (令和6年度)		
開 館 日 数	307日	260日	307日	100.0%	118.1%
利用者数(延べ人数)	21,570人	15,656人	18,356人	85.1%	117.2%
利 用 料 金 収 入	3,891,160円	3,065,500円	3,446,010円	88.6%	112.4%
主 な 増 減 要 因 (前 年 比)	・前年度は12月にろ過機の故障により2月まで営業休止となった影響で、利用者数が減となりましたが、今年度はくりこま高原水泳競技大会の6年ぶり開催や流水教室の増設などで利用増と増収に繋がりました。				

5 自主事業等の実績（指定管理者記入）

年月日	事業名	事業内容	対象者	参加者数
毎月水曜日	流水脂肪燃焼ウォーキング	水中ウォーキングの指導	一般	457人
毎月金曜日	流水リハビリ	流水リハビリの指導	一般	430人
毎月火曜日	キッズ（幼児）水泳	幼児向け水泳指導	幼児	150人
毎月火、土曜日	ジュニア（小学生）水泳	小学生向け水泳指導	小学生	3,960人
毎月2～3回（火・金曜日）	成人水泳	成人向け水泳指導	一般	464人
毎月2～4回（火曜日）	流水リハビリ	流水リハビリの指導	一般	168人
随時	ショートプログラム	ワンポイント指導	一般	カウントなし

6 施設の管理運営における課題（指定管理者、施設所管課記入）

指定管理者（指定管理者記入）	市（施設所管課記入）
前年度は、プールの過機の故障により2カ月間、営業休止となり利用者様にご迷惑をお掛け致しました。今後も水回り関係個所の経年劣化で同様の事象が懸念されます。設備点検等により故障防止に努めて参ります。	施設設備を熟知し、安全かつ円滑に運転できるよう、引き続き各種点検による安全管理を徹底し、運営されたい。

7 施設利用者からの主な意見等とその対応状況（指定管理者記入）

施設利用者からの主な意見等	対応状況等
子供水泳教室の後の更衣室内床が水浸しになっている。	教室時に定期的にチェックするようにスタッフ一同に周知致しました。
プールの水が綺麗なので気持ち良く泳ぐ事が出来ています。	貴重なお言葉を頂き、お礼を申し上げます。
水中ウォーキングの回数を増やしてほしい。	今後の検討事項と致しますと丁寧に対応致しました。

8 総合的な評価（指定管理者、施設所管課記入）

評価項目	指定管理者の自己評価		市の評価		改善 勧告
	評価	コメント	評価	コメント	
(1) 基本的な方針に基づく管理・運営体制	A		A	適切に管理・運営している。	
① 施設の管理運営に必要な人員及び有資格者等を計画どおり適切に配置しているか。	A	栗原市様との協定に基づき計画通り適切に配置している。	A	適切な人員配置である。	
② 指定管理業務に必要な知識及びサービスの向上のため、研修等人材育成に努めているか。	A	特に新規従業員に育成に努めている。	A	人材育成に努めている。	
③ 通常の安全管理や緊急時の対応について、職員が適切に行える環境を整備しているか。	A	防災訓練、実技、研修を実施しスキルアップに努めている。	A	緊急時の体制が十分に整備されている。	
④ 各業務日誌等の管理記録を適切に整備・保管しているか。	A	しっかり責任を持ち整理、管理を行っている。	A	適切に管理している。	
⑤ 個人情報の取り扱い及び保護の対策について適切に行われているか。	A	研修で徹底し適正に実施されている。	A	適切に管理している。	
⑥ 法令等を遵守し、市と締結している協定に基づいた管理・運営を遂行しているか。	A	協定に基づいた管理、運営を遂行している。	A	適切に運営している。	
(2) 施設管理の状況	A		A	適切な施設管理を行っている。	
① 市の承認した内容に基づき、施設の開館及び利用時間、利用料金設定を遵守しているか。	A	協定に基づいた管理、運営を遂行している。	A	適切に遵守している。	
② 施設内、設備等の清掃及び保守点検等を適切に行い、良好な施設環境を維持しているか。	A	業者との連絡を密にした点検、従業員によるキメ細かい清掃を実施	A	良好な施設環境を維持している。	
③ 協定に基づき施設設備や備品等の適切な修繕対応を行っているか。	A	都度栗原市様と協議し対応している。	A	適切に対応している。	
④ 設備維持と事故等防止のため、必要な専門的点検を実施し安全確認を行っているか。	A	必要な専門的点検を行っている。	A	必要な点検を適正に実施し、安全確認を行っている。	
⑤ 施設の設置目的であるスポーツ等の推進に向けた取り組みを行っているか。	A	お客様の要望を聞き取組みを行っている。	A	一定の取り組みを行っている判断する。	
(3) 利用者へのサービス提供と満足度	A		A	利用者から一定の評価を得ていると判断できる。	
① 利用者の利便性を意識した迅速な利用許可手続きや施設情報の提供を行っているか。	A	迅速感のある対応が出来ている。	A	適切に施設情報の提供を行っている。	
② 利用者アンケート等により利用者の意見を把握し反映する取り組みを行ったか。	A	その場で改善出来る事は即実施している。	A	一定の取り組みを行っている判断する。	
③ 要望及び苦情等に対する対応が十分になされたか。	B	水温に対するご意見があったが即時対応し改善した。	A	要望等に対応していると判断する。	
④ 施設の目的を活かし利用者の充実のため新たな取り組みを実施したか。	S	要望の多かった流水教室を増設し、集客も向上した。	S	利用者要望をくみ取り、新たな集客に繋げている。	
⑤ モニタリング・アンケートの結果、利用者の満足が得られていたか。	B	概ね満足は得られている。	A	利用者から一定の評価を得ていると判断できる。	
⑥ 利用者に対し職員の応対、身なり等は適切であるか。	A	適切である。	A	適切である。	
(4) 運営の状況（収支の実績等）	A		A	適切な施設運営である。	
① 収支計画及び事業計画と比較し実績の状況は妥当であるか。	A	6体育施設全体として体育館にて集約	A	適切である。	
② 積極的に収入の創出（増）に努め、又収入の増加に繋がる具体的な取り組みがあったか。	A	6体育施設全体として体育館にて集約	A	一定の取り組みがあったと判断する。	
③ 積極的に経費縮減に努め、又具体的に経費の縮減が図られた実績が見られるか。	S	プールシートを活用し光熱費を大幅に縮減	S	燃料費縮減に積極的に取り組み、一定の効果が見られる。	
④ 指定管理業務における専用口座及び諸帳簿等を備え適正な経理が行われているか。	A	6体育施設全体として体育館にて集約	A	適正であると判断する。	

総合評価	指定管理者の自己評価（指定管理者記入）	評価	市の評価（施設所管課記入）	評価
	＜指定管理者の所見＞ ・今年度の利用者数は前年比で117%となり、自主事業については、流水リハビリが週2本、成人水泳が週1本増設となり成人教室の参加者が前年比で137%となりました。 ・維持管理については、定期点検の中で不具合等の有無をチェックしながらトラブル防止に努めて参ります。 ・昨今、燃料費の高騰が続いておりますが、冬場のプールシート活用やねんかんを通したボイラー稼働時間のこまめな調整により経費縮減に繋げています。	A	＜施設所管課の所見＞ 前年度と比較して、年間で利用者2,700人増、収入が26%増となった。 自主事業については利用者からの要望をくみ取り、集客に繋げている。 冬場のプール水面に保温シートを敷くことやボイラー稼働時間のこまめな調整等、積極的な燃料費節減に取り組んでおり、評価できる。	A

別紙様式6

指定管理者制度導入施設の管理運営に関する評価票(評価対象年度:令和6年度)

施 設 の 名 称	栗原市栗駒総合体育館トレーニングルーム
施 設 所 管 部 署 名	教育部社会教育課

1 評価対象施設の概要(施設所管課記入)

施 設 名 称	栗原市栗駒総合体育館トレーニングルーム(栗原市栗駒総合体育館内)		
施 設 所 在 地	栗原市栗駒岩ヶ崎裏山221番地		
設 置 年 月	平成10年3月	設置根拠条例	栗原市体育施設条例
設 置 目 的	市民の体育、スポーツ及びレクリエーション活動の推進と生活文化の向上を図る		
施 設 概 要	面 積	延床面積 5,761.75㎡、 敷地面積 45,021.00㎡	
	構 造	鉄筋コンクリート造	
	施設内容	トレーニングマシン22種32台他	
休 館 日	月曜日、12月29日から翌年の1月3日まで ※ 条例から変更の有無 ☐ 有 ☒ 無		
開 館 時 間	午前 9時 00分 ～ 午後10時00分 ※ 条例から変更の有無 ☐ 有 ☒ 無		
施 設 利 用 料 金	利用料金制	☒ 採用 ☐ 採用無 ☐ 指定管理料と併用 ☐ 指定管理料のみ	
	設定金額	使用料、観覧料等の設定ごとに記載 栗原市体育施設条例のとおり ※ 条例から変更の有無 ☐ 有 ☒ 無	

2 指定管理者等の概要(施設所管課記入)

指 定 管 理 者	事業者等名称	株式会社イトマンスポーツウェルネス		
	事務所所在地	千葉県柏市南柏中央3-2 キュア・ラ内		
指 定 の 期 間	令和2年4月1日 ～ 令和7年3月31日（5年間）			
指定にかかる選定方法	☒ 公募 ☐ 非公募	指定管理料	238,950,000円（5年間）	

3 施設管理の経過(施設所管課記入)

期 間	管理形態	施設管理を行った団体等	摘要
平成11年 4月 ~ 平成24年 3月	直営		
平成24年 4月 ~ 令和7年 3月	指定管理	株式会社イトマンスポーツウェルネス (株式会社ダンロップスポーツウェルネスからR6. 12. 1社名変更)	令和6年更新
年 月 ~ 年 月			

4 施設の利用実績(指定管理者記入)

	事業計画	実 績		計画との比率 (%)	前年度との比較 (%)
	評価対象年度 (令和6年度)	前年度 (令和5年度)	評価対象年度 (令和6年度)		
開 館 日 数	307日	307日	307日	100.0%	100.0%
利用者数(延べ人数)	12,893人	12,018人	13,950人	108.2%	116.1%
利 用 料 金 収 入	1,721,000円	2,403,020円	2,778,170円	161.4%	115.6%
主 な 増 減 要 因 (前 年 比)	・今年度も利用件数・人数が増加傾向となり増収となりました。設備の充実度と安価な利用料であるとの利用者の評価が主な要因として捉えております。				

5 自主事業等の実績（指定管理者記入）

年月日	事業名	事業内容	対象者	参加者数
毎月休館日以外実施	パーソナルトレーニング	専門トレーナーによる個人メニュー作成、実技	小学生以上	519人
毎週日・木曜日、第3土曜日	トレーニング講習会	トレーニングマシン個々についての取扱い説明	中学生以上	286人

6 施設の管理運営における課題（指定管理者、施設所管課記入）

指定管理者（指定管理者記入）	市（施設所管課記入）
引き続き定期的なメンテナンスを行いながら安全にご利用できるように管理いたしますが、特にランニングマシンの走行板、ベルトの摩耗や基盤の不具合などのリスクが高くなってきていると思われます。少額の修繕につきましては従来通り都度対応してまいりますが、高額な修繕に関しましては状況に応じて相談させていただきます。	経年劣化が見られるトレーニング機器については、計画的な更新を検討する。

7 施設利用者からの主な意見等とその対応状況（指定管理者記入）

施設利用者からの主な意見等	対応状況等
利用料金が安く、器具もそろっているので楽しく体を動かすことができています。	貴重なお言葉を頂きお礼を申し上げます。
いつも綺麗にして頂いて、ありがとうございます。	貴重なお言葉を頂きお礼を申し上げます。
皆さんの心配りに感謝いたします。	貴重なお言葉を頂きお礼を申し上げます。
ダンベルとプレートを増やしてほしい。	栗原市様と協議させて頂きますと丁寧に対応致しました。
ケーブルマシンを導入してほしい。	栗原市様と協議させて頂きますと丁寧に対応致しました。
トライセップエクステンションを早く更新してほしい。	栗原市様と協議させて頂きますと丁寧に対応致しました。

8 総合的な評価（指定管理者、施設所管課記入）

評価項目	指定管理者の自己評価		市の評価		改善 勧告
	評価	コメント	評価	コメント	
(1) 基本的な方針に基づく管理・運営体制	A		A	適切に管理・運営している。	
① 施設の管理運営に必要な人員及び有資格者等を計画どおり適切に配置しているか。	A	必要な人員を計画どおり適切に配置している。	A	適切な人員配置である。	
② 指定管理業務に必要な知識及びサービスの向上のため、研修等人材育成に努めているか。	A	内部研修を実施し人材育成に努めた。	A	人材育成に努めている。	
③ 通常の安全管理や緊急時の対応について、職員が適切に行える環境を整備しているか。	A	防災研修や訓練を実施し対応するを向上させた。	A	緊急時の体制が十分に整備されている。	
④ 各業務日誌等の管理記録を適切に整備・保管しているか。	A	事務室にて一括管理しています。	A	適切に管理している。	
⑤ 個人情報の取り扱い及び保護の対策について適切に行われているか。	A	Pマークの基準どおり適切に管理している。	A	適切に管理している。	
⑥ 法令等を遵守し、市と締結している協定に基づいた管理・運営を遂行しているか。	A	協定に基づいた管理、運営を遂行している。	A	適切に運営している。	
(2) 施設管理の状況	A		A	適切な施設管理を行っている。	
① 市の承認した内容に基づき、施設の開館及び利用時間、利用料金設定を遵守しているか。	A	特にクレームも無く適切に管理している。	A	承認内容を遵守している。	
② 施設内、設備等の清掃及び保守点検等を適切に行い、良好な施設環境を維持しているか。	A	徹底した清掃を実施している。	A	良好な施設環境を維持している。	
③ 協定に基づき施設設備や備品等の適切な修繕対応を行っているか。	A	栗原市様と協議し修繕計画を立て対応している。	A	適切に対応している。	
④ 設備維持と事故等防止のため、必要な専門的点検を実施し安全確認を行っているか。	A	必要な専門的点検を実施した	A	必要な点検を適正に実施し、安全確認を行っている。	
⑤ 施設の設置目的であるスポーツ等の推進に向けた取り組みを行っているか。	A	積極的に取り組んでいます。	A	自主事業の継続など、一定の取り組みを行っている判断する。	
(3) 利用者へのサービス提供と満足度	A		A	利用者から一定の評価を得ていると判断できる。	
① 利用者の利便性を意識した迅速な利用許可手続きや施設情報の提供を行っているか。	A	迅速に対応している	A	適切に施設情報の提供を行っている。	
② 利用者アンケート等により利用者の意見を把握し反映する取り組みを行ったか。	A	自主事業として取り組んでいます。	A	一定の取り組みを行っている判断する。	
③ 要望及び苦情等に対する対応が十分になされたか。	A	栗原市様と協議しマシンの更新、新設を実施。	A	要望等に対応していると判断する。	
④ 施設の目的を活かし利用者の充実のため新たな取り組みを実施したか。	A	パーソナルトレーニングの強化。	A	利用者増につながる更なる事業展開を行っている。	
⑤ モニタリング・アンケートの結果、利用者の満足が得られていたか。	B	ほぼ得られている。	A	利用者から一定の評価を得ていると判断できる。	
⑥ 利用者に対し職員の対応、身なり等は適切であるか。	A	適切である。	A	適切である。	
(4) 運営の状況（収支の実績等）	A		A	適切な施設運営である。	
① 収支計画及び事業計画と比較し実績の状況は妥当であるか。	A	6体施設全体として体育館にて集約	A	適切である。	
② 積極的に収入の創出（増）に努め、又収入の増加に繋がる具体的な取り組みがあったか。	A	6体施設全体として体育館にて集約	A	平日日中時間帯の利用者増に繋がる更なる取り組みに期待する。	
③ 積極的に経費縮減に努め、又具体的に経費の縮減が図られた実績が見られるか。	A	6体施設全体として体育館にて集約	A	経費縮減等に取り組んでいる。	
④ 指定管理業務における専用口座及び諸帳簿等を備え適正な経理が行われているか。	A	6体施設全体として体育館にて集約	A	適正である。	

総合 評価	指定管理者の自己評価（指定管理者記入）	評価	市の評価（施設所管課記入）	評価
	<指定管理者の所見>	A	<施設所管課の所見>	A
	今年度のトレーニング利用者は前年比で116%となり増加傾向となりました。同様にトレーニング講習会の参加者も増加傾向となり講習会前年比で若干ですが101%となりました。トレーニング器具も充実しており、利用者の皆様より喜び・感謝のお言葉を頂いております。引き続き、利用者の皆様が快適にご利用できる様に努めて参ります。		前年度と比較して、年間で利用者1,932人増、収入が12%増となった。夜間の混雑時間帯においても、利用者をローテーションさせて機器の活用を促進するなどの工夫が見られ、施設設備を最大限に活用している。	

別紙様式6

指定管理者制度導入施設の管理運営に関する評価票(評価対象年度:令和6年度)

施設の名 称	栗原市小田ダム湖畔パークゴルフ場
施設所管部署名	教育部社会教育課

1 評価対象施設の概要(施設所管課記入)

施設名称	栗原市小田ダム湖畔パークゴルフ場		
施設所在地	栗原市一迫字長崎川台53番地5		
設置年月	平成23年4月	設置根拠条例	栗原市体育施設条例
設置目的	市民の体育、スポーツ及びレクリエーション活動の推進と生活文化の向上を図る		
施設概要	面積	延床面積 156.0㎡(管理棟) 敷地面積 33,379.4㎡(グリーン1,346.5㎡、フェアウェイ・ラフ9,702.6㎡、コース外22,330.3㎡、)	
	構造	管理棟:木造平屋、倉庫:プレハブ	
	施設内容	全36ホール(4コース×9ホール)、クラブハウス(管理棟)、倉庫、駐車場(75台)	
休館日	月曜日、12月21日から翌年の3月21日まで ※ 条例から変更の有無 ☒ 有 ☐ 無		
開館時間	午前9時00分 ~ 午後5時00分 ※ 条例から変更の有無 ☐ 有 ☒ 無		
施設利用料金	利用料金制	☒ 採用 ☐ 採用無 ☐ 指定管理料と併用 ☐ 指定管理料のみ	
	設定金額	使用料、観覧料等の設定ごとに記載 栗原市体育施設条例のとおり ※ 条例から変更の有無 ☐ 有 ☒ 無	

2 指定管理者等の概要(施設所管課記入)

指 定 管 理 者	事業者等名称	特定非営利活動法人栗原市スポーツ協会		
	事務所所在地	栗原市若柳字川南道伝前125番地2		
指 定 の 期 間	令和5年4月1日 ～ 令和10年3月31日（5年間）			
指定にかかる選定方法	☒ 公募 ☐ 非公募		指定管理料	10,500,000円（5年間）

3 施設管理の経過(施設所管課記入)

期 間	管理形態	施設管理を行った団体等	摘要
平成23年4月~平成25年3月	直営		
平成25年4月~平成27年3月	管理委託	協業組合アクアテック栗原	
平成27年4月~令和5年3月	指定管理	協業組合アクアテック栗原	
令和5年4月~令和10年3月	指定管理	特定非営利活動法人栗原市スポーツ協会	

4 施設の利用実績(指定管理者記入)

	事業計画	実 績		計画との比率 (%)	前年度との比較 (%)
	評価対象年度 (令和6年度)	前年度 (令和5年度)	評価対象年度 (令和6年度)		
開 館 日 数	231日	232日	231日	100.0%	99.6%
利用者数(延べ人数)	22,000人	20,454人	23,807人	108.2%	116.4%
利 用 料 金 収 入	6,970,000円	6,597,340円	6,264,210円	89.9%	95.0%
主 な 増 減 要 因 (前 年 比)	減免での利用が大幅に増えていることから、利用者数は増加しているが、利用料金収入は大きく減少している。				

5 自主事業等の実績（指定管理者記入）

年月日	事業名	事業内容	対象者	参加者数
令和6年9月11日	栗原市スポーツ協会会長杯	栗原市や近隣住民を対象に大会を開催した。	栗原市民・近隣住民	88人
令和6年11月12日 ～13日	第1回栗原市スポーツ協会 パークゴルフ全国交流大会	全国のパークゴルフ愛好者を対象に小田ダム湖畔 パークゴルフ場で交流大会を開催予定だったが人 数集まらず中止とした。	全国のパークゴルフ愛好者	0人
令和6年4月～ 令和7年3月	軽食販売	昨年度に引き続き利用者からの要望が多かった カップラーメンやアイスクリームを販売した。	利用者	延べ297人

6 施設の管理運営における課題（指定管理者、施設所管課記入）

指定管理者（指定管理者記入）	市（施設所管課記入）
減免利用者の占める割合が昨年度より大幅に増加した影響で、利用者数は増加したが利用料は減少している。また、夏場は猛暑による熱中症等の危険もあり、全体的に利用者が少ない。芝刈機も使用頻度が高く、劣化も激しいため修繕費の増加が課題である。	市外利用者の拡大について、PRを図りたい。また、自主事業である大会の開催数を増やすなど、普及促進を兼ねたパークゴルフ愛好者の拡大に繋がる事業の展開に期待する。芝刈機の維持管理については、シーズンオフ期間中のメンテナンスや、専門業者から指導を仰ぐなど、引き続き維持管理経費の節約に努められたい。

7 施設利用者からの主な意見等とその対応状況（指定管理者記入）

施設利用者からの主な意見等	対応状況等
大会・イベントを多くしてほしい。	令和7年度に向けて協議中と説明。
食堂がない代わりに、電子レンジを設置してほしい。コースは好きだが、付帯のサービスを期待したい。	検討しますと説明。
コース内にある桜の木にボールが当たり、酷く木に傷がついている。保護をしてほしい。	人工芝を桜の木に巻いて保護をした。
グリーン、フェアウェイの芝をまめに刈ってほしい。	お詫び対応した。
ピンの位置を毎日移動してほしい。	頻度高く変更しているが、変更する位置等利用者の目線にたって検討したい。

8 総合的な評価（指定管理者、施設所管課記入）

評価項目	指定管理者の自己評価		市の評価		改善 勧告
	評価	コメント	評価	コメント	
(1) 基本的な方針に基づく管理・運営体制	B		B	より良い管理運営を図りたい。	
① 施設の管理運営に必要な人員及び有資格者等を計画どおり適切に配置しているか。	B	人員配置は行っていたが管理運営に問題が残る。	B	管理運営に問題があったため、改善を図られたい。	
② 指定管理業務に必要な知識及びサービスの向上のため、研修等人材育成に努めているか。	B	より良いサービスのためさらに人材育成に努める必要がある。	B	サービス向上のため、人材育成の研修を図られたい。	
③ 通常の安全管理や緊急時の対応について、職員が適切に行える環境を整備しているか。	B	緊急時に素早く対応できるよう、さらに努める必要がある。	B	緊急時に素早く対応できるよう、さらなる環境整備に努められたい。	
④ 各業務日誌等の管理記録を適切に整備・保管しているか。	A	適切に整備・保管をしている。	A	適切に管理している。	
⑤ 個人情報の取り扱い及び保護の対策について適切に行われているか。	A	適切に個人情報保護に努めている。	A	適切に管理している。	
⑥ 法令等を遵守し、市と締結している協定に基づいた管理・運営を遂行しているか。	A	適切に管理・運営している。	A	適切に運営している。	
(2) 施設管理の状況	A		A	適切な施設管理を行っている。	
① 市の承認した内容に基づき、施設の開館及び利用時間、利用料金設定を遵守しているか。	A	適切に対応、遵守している。	A	適切に運営している。	
② 施設内、設備等の清掃及び保守点検等を適切に行い、良好な施設環境を維持しているか。	B	適正な施設管理のため改善の課題がある。	B	利用者視点に立った施設環境の整備を図られたい。	
③ 協定に基づき施設設備や備品等の適切な修繕対応を行っているか。	A	適切に修繕対応を行っている。	A	適切に対応している。	
④ 設備維持と事故等防止のため、必要な専門的点検を実施し安全確認を行っているか。	A	定期的に点検を行っている。	A	必要な点検を適正に実施し、安全確認を行っている。	
⑤ 施設の設置目的であるスポーツ等の推進に向けた取り組みを行っているか。	A	協会主催の大会などを開催し、スポーツ推進に努めた。	A	自主事業の更なる拡充に期待する。	
(3) 利用者へのサービス提供と満足度	B		A	一定の満足は得られていると判断する。	
① 利用者の利便性を意識した迅速な利用許可手続きや施設情報の提供を行っているか。	A	ホームページや掲示物等で適切に対応している。	A	適切な手続きと迅速な情報提供を行っている。	
② 利用者アンケート等により利用者の意見を把握し反映する取り組みを行ったか。	B	意見の把握を行ったが、対応しきれない部分が多々あった。	A	適切に取り組んでいる。	
③ 要望及び苦情等に対する対応が十分になされたか。	B	すぐに対応できる部分に対しては迅速な対応に努めたが課題が残る。	B	対応可能な事柄は、要望や苦情となる前に対処願う。	
④ 施設の目的を活かし利用者の充実のため新たな取り組みを実施したか。	A	協会主催の大会を実施した。	A	更なる自主事業の取り組みに期待する。	
⑤ モニタリング・アンケートの結果、利用者の満足が得られていたか。	B	多くの要望に対し対応しきれない部分があった。	B	利用者からの満足につながる運営を図られたい。	
⑥ 利用者に対し職員の対応、身なり等は適切であるか。	A	適切である。	A	適切である。	
(4) 運営の状況（収支の実績等）	A		A	適正であると判断する。	
① 収支計画及び事業計画と比較し実績の状況は妥当であるか。	A	妥当である。	A	適切な手続きと迅速な情報提供を行っている。	
② 積極的に収入の創出（増）に努め、又収入の増加に繋がる具体的な取り組みがあったか。	A	軽食の販売や営業期間の延長などの取り組みを行った。	A	収入増に繋がる取り組みを実施している。	
③ 積極的に経費縮減に努め、又具体的に経費の縮減が図られた実績が見られるか。	A	節電に努め、余分な経費の洗い出しをし、経費削減に努めた。	A	経費縮減等に取り組んでいる。	
④ 指定管理業務における専用口座及び諸帳簿等を備え適正な経理が行われているか。	A	適正な経理を行っている。	A	適正であると判断する。	

総合評価	指定管理者の自己評価（指定管理者記入）		市の評価（施設所管課記入）	
	評価	コメント	評価	コメント
	<指定管理者の所見>		<施設所管課の所見>	
	A	・利用者数は、16.4%（3,353人）増加したが、減免利用が増えた事により、利用料金収入が5%減少した。 ・よりよいコース環境整備の為に、芝用の肥料を質の高いものに変更した事で消耗品の支出は41.4%増加した。サービス向上と予算のバランスを鑑みて、より効果的な環境整備を検討したい。	A	概ね、適切に運営していると判断する。今後より良い管理運営を期待する。また、冬季休場期間を1日でも短縮するなどの利用者の要望に応える姿勢は評価できる。引き続き、新たな自主事業を企画するなど、施設のPRと併せた利用者拡大を図られたい。

別紙様式6

指定管理者制度導入施設の管理運営に関する評価票(評価対象年度:令和6年度)

施設 の 名 称	栗原市文字郷土文化保存伝習館
施設 所 管 部 署 名	教育部社会教育課

1 評価対象施設の概要 (施設所管課記入)

施 設 名 称	栗原市文字郷土文化保存伝習館		
施 設 所 在 地	栗原市栗駒文字角ヶ崎67番地1		
設 置 年 月	平成4年3月31日	設置根拠条例	栗原市郷土文化保存伝習館条例
設 置 目 的	郷土文化に関する認識を深め、その普及、研修及び伝承を図るため		
施 設 概 要	面 積	延床面積 534.79㎡、敷地面積 5,534.0㎡	
	構 造	木造平屋一部鉄骨(1階建て)	
	施設内容	ふれあい交流ホール、会議室、伝習室	
休 館 日	12月29日から翌年の1月3日まで ※ 条例から変更の有無 ☐ 有 ☒ 無		
開 館 時 間	午前9時00分 ～ 午後10時00分 ※条例から変更の有無 ☐ 有 ☒ 無		
施 設 利 用 料 金	利用料金制	☐ 採用 ☐ 採用無 ☒ 指定管理料と併用 ☐ 指定管理料のみ	
	設定金額	ふれあい交流ホール 1時間につき 310円 会議室・伝習室 1時間につき 110円 ※ 条例から変更の有無 ☐ 有 ☒ 無	

2 指定管理者等の概要 (施設所管課記入)

指 定 管 理 者	事業者等名称	一和会		
	事務所所在地	栗原市栗駒文字角ヶ崎67番地1		
指 定 の 期 間	平成4年4月1日～令和9年3月31日（5年間）			
指定にかかる選定方法	☐ 公募 ☒ 非公募	指定管理料	2,700,000円（5年間）	

3 施設管理の経過 (施設所管課記入)

期 間	管理形態	施設管理を行った団体等	摘要
平成18年9月～平成19年7月	管理委託	文字迫泉会	
平成19年8月～平成19年12月	直営		
平成20年1月～令和4年3月	指定管理	一和会	H21・H24・H29更新

4 施設の利用実績 (指定管理者記入)

	事業計画	実 績		計画との比率 (%)	前年度との比較 (%)
	評価対象年度 (令和6年度)	前年度 (令和5年度)	評価対象年度 (令和6年度)		
開 館 日 数	150日	36日	36日	24.0%	100.0%
利用者数(延べ人数)	5,807人	960人	1,088人	18.7%	113.3%
利 用 料 金 収 入	2,000円	4,246円	2,068円	103.4%	48.7%
主 な 増 減 要 因 (前 年 比)	選挙投票会場使用による利用者の増、また、地域の集いの回数の減少に伴う利用料金収入の減。				

5 自主事業等の実績（指定管理者記入）

年月日	事業名	事業内容	対象者	参加者数
なし				

6 施設の管理運営における課題（指定管理者、施設所管課記入）

指定管理者（指定管理者記入）	市（施設所管課記入）
地域の13世帯で一和会を構成しているが、高齢化が進み、実質6世帯で運営している現状である。担い手もおらず、事業の実施が難しく、指定管理業務の維持も難しい時期になってきている状況である。	指定管理団体の高齢化により利用拡大に向けた活動が難しい状況が続いている。今後の活動について、施設運営を含め、指定管理者と協議を進める必要がある。

7 施設利用者からの主な意見等とその対応状況（指定管理者記入）

施設利用者からの主な意見等	対応状況等
施設と道路の間にある杉が倒木しそうで危険である。	指定管理者にて伐採した。
ホールの引違戸〔北側〕の開閉が困難である。	別な出入口を利用している。

8 総合的な評価（指定管理者、施設所管課記入）

評価項目	指定管理者の自己評価		市の評価		改善 勧告
	評価	コメント	評価	コメント	
(1) 基本的な方針に基づく管理・運営体制	A		B	概ね事業計画書に基づく適正な管理・運営であることを確認した。	
① 施設の管理運営に必要な人員及び有資格者等を計画どおり適切に配置しているか。	B	管理者は常駐せず、施設の予約を受けて対応している。	B	現状にあわせた配置であることを確認した。	
② 指定管理業務に必要な知識及びサービスの向上のため、研修等人材育成に努めているか。	B	役員会等を実施し情報を共有している。	C	業務に必要な研修を行い、人材育成に努めていただきたい。	
③ 通常の安全管理や緊急時の対応について、職員が適切に行える環境を整備しているか。	B	近隣に管理者を配置し緊急時は対応している。	B	現状にあった配置であることを確認した。	
④ 各業務日誌等の管理記録を適切に整備・保管しているか。	A	関係書類の作成・保管は、事務所内にて適切に保管している。	A	適切に整備、保管していることを確認した。	
⑤ 個人情報の取り扱い及び保護の対策について適切に行われているか。	A	規定通り適正に処理・管理している。	A	適切に行っていることを確認した。	
⑥ 法令等を遵守し、市と締結している協定に基づいた管理・運営を遂行しているか。	A	法令遵守のもと管理・運営している。	A	協定に基づいた管理・運営を遂行していることを確認した。	
(2) 施設管理の状況	A		A	適正な施設管理を行っていることを確認した。	
① 市の承認した内容に基づき、施設の開館及び利用時間、利用料金設定を遵守しているか。	A	協定内容・承認内容を遵守している。	A	遵守していることを確認した。	
② 施設内、設備等の清掃及び保守点検等を適切に行い、良好な施設環境を維持しているか。	A	自主点検・館内の清潔環境を維持している。	A	良好な施設環境を維持していることを確認した。	
③ 協定に基づき施設設備や備品等の適切な修繕対応を行っているか。	A	協定に基づき維持管理、修繕を実施している。	A	適切な修繕対応を行っていることを確認した。	
④ 設備維持と事故等防止のため、必要な専門的点検を実施し安全確認を行っているか。	A	各専門業者の点検により、安全確認を行っている。	A	必要な専門的点検を実施し安全確認を行っていることを確認した。	
(3) 利用者へのサービス提供と満足度	B		C	利用者の向上、利便性の向上に向けて尽力いただきたい。	
① 利用者の利便性を意識した迅速な利用許可手続きや施設情報の提供を行っているか。	B	常駐する管理者はいないが、利用にあたり不具合が無いよう迅速な対応に務めた。	C	利用者の利便性を高めるべく、施設情報を積極的に発信していただきたい。	
② 利用者アンケート等により利用者の意見を把握し反映する取り組みを行ったか。	B	高齢化などの影響で利用者が減少したため、多くの意見を把握できなかった。	C	より多くの意見の把握に努めていただきたい。	
③ 要望及び苦情等に対する対応が十分になされたか。	A	要望等は対応している。	A	要望等に適切に対応していることを確認した。	
④ 施設の目的を活かし利用者の充実のため新たな取り組みを実施したか。	C	利用者より意見を聴取し、施設管理・自主事業に生かしたい。	C	施設の目的を活かした新たな取り組みを実施していただきたい。	
⑤ モニタリング・アンケートの結果、利用者の満足が得られていたか。	B	ほぼ満足度が高い評価をいただいている。	B	より一層利用者から満足を得られるよう対応していただきたい。	
⑥ 利用者に対し職員の対応、身なり等は適切であるか。	B	清潔かつ誠実に対応している。	A	適正な対応、身なり等であることを確認した。	
(4) 運営の状況（収支の実績等）	B		B	事業計画等に基づき適正な運営を行っていただきたい。	
① 収支計画及び事業計画と比較し実績の状況は妥当であるか。	C	高齢化などの影響で、事業計画に基づき実施できなかった。	C	持続可能な範囲内で、自主事業実施に努めていただきたい。	
② 積極的に収入の創出(増)に努め、又収入の増加に繋がる具体的な取り組みがあったか。	C	高齢化で実働可能な構成員の減少により、事業展開ができなかった。	C	持続可能な範囲内で、利用者増に繋がる取り組みをしていただきたい。	
③ 積極的に経費削減に努め、又具体的に経費の削減が図られた実績が見られるか。	A	業務の外部委託を極力控え、指定管理者自ら施設維持管理し、経費削減に努めた。	A	経費削減に努めていることを確認した。	
④ 指定管理業務における専用口座及び諸帳簿等を備え適正な経理が行われているか。	A	適正な管理の履行に務めた。	A	適切に経理が行われていることを確認した。	

総合評価	指定管理者の自己評価（指定管理者記入）	評価	市の評価（施設所管課記入）	評価
	＜指定管理者の所見＞ 日頃の管理に加え、健康診断や選挙会場として使用される前に清掃するなど、利用者が快適に利用できるよう施設維持に努められた。 少人数で事業展開が困難な状況が続いているが、地域一丸で会の存続に尽力する方針の決定がなされた。また、定期的に利用していた団体も利用減少傾向にあったが、今後活動機会を増やす意欲もみられ、地域全体で指定管理施設を活用していきたい。	B	＜施設所管課の所見＞ 協定書に基づき適正な施設管理、運営が行われている。 利用率としては、前年度比113.3%と増加しているが、建設当時の計画値から見ると対比18.7%と依然として低迷している。 大半は地域のコミュニティや市の健診事業、選挙会場としての利用であり、指定管理者の高齢化に伴い新たな事業展開は難しいようである。 また、今後における施設の利活用について、現指定期間内に関係課と協議の検討を継続していく必要があると考える。	B

指定管理者制度導入施設の管理運営に関する評価票(評価対象年度:令和6年度)

施 設 の 名 称	栗原市伊豆沼交流センター
施 設 所 管 部 署 名	教育部社会教育課

1 評価対象施設の概要(施設所管課記入)

施 設 名 称	栗原市伊豆沼交流センター		
施 設 所 在 地	栗原市若柳字上畑岡鶴経沢61番地1		
設 置 年 月	平成5年4月1日	設置根拠条例	栗原市伊豆沼交流センター条例
設 置 目 的	市民と来訪者の相互交流及び自然体験学習を通じて自然に対する認識を深めるとともに、人間性の形成を図る。		
施 設 概 要	面 積	延床面積：本館999.21㎡・食堂棟236.01㎡、敷地面積：10,236.60㎡	
	構 造	本館：木造2階建、食堂棟：木造平屋建	
	施設内容	①本館(1階・2階・その他) ②食堂棟(調理場・食堂・自炊棟・トイレ) ③付帯設備(駐車場・多目的スポーツ施設・休憩室・広場・野外炊飯場・倉庫・その他)	
休 館 日	水曜日及び12月29日から翌年の1月3日までの日 ※ 条例から変更の有無 ☐ 有 ☒ 無		
開 館 時 間	午前8時30分 ～ 午後5時00分 ※ 条例から変更の有無 ☐ 有 ☒ 無		
施 設 利 用 料 金	利用料金制	☐ 採用 ☐ 採用無 ☒ 指定管理料と併用 ☐ 指定管理料のみ	
	設定金額	栗原市伊豆沼交流センター条例のとおり ※ 条例から変更の有無 ☐ 有 ☒ 無	

2 指定管理者等の概要(施設所管課記入)

指 定 管 理 者	事業者等名称	一般社団法人くりはらツーリズムネットワーク		
	事務所所在地	栗原市若柳字上畑岡敷味45番地		
指 定 の 期 間	令和6年4月1日 ～ 令和11年3月31日（5年間）			
指定にかかる選定方法	■ 公募 □ 非公募		指定管理料	57,436,000円（5年間）

3 施設管理の経過(施設所管課記入)

期 間	管理形態	施設管理を行った団体等	摘要
平成17年4月 ~ 平成23年3月	直営		
平成23年4月 ~ 令和6年3月	指定管理	協業組合アクアテック栗原	

4 施設の利用実績(指定管理者記入)

	事業計画	実 績		計画との比率 (%)	前年度との比較 (%)
	評価対象年度 (令和6年度)	評価対象年度 (令和5年度)	評価対象年度 (令和6年度)		
開 館 日 数	300日	315日	307日	102.3%	97.5%
利用者数(延べ人数)	3,600人	3,595人	3,649人	101.4%	101.5%
利 用 料 金 収 入	6,000,000円	7,750,285円	7,676,766円	127.9%	99.1%
主 な 増 減 要 因 (前 年 比)	夏のハスの開花や、秋冬の安定した天候により渡り鳥の観察にも適した環境となった。利用者数は前年並みだったが、宿泊利用は大きく減少し、日帰り利用が中心となった。オンライン予約やキャッシュレス決済の導入、売店・食堂の整備など利便性向上を図ったが、宿泊者数の回復には至らなかった。				

5 自主事業等の実績（指定管理者記入）

年月日	事業名	事業内容	対象者	参加者数
通年	売店コーナーの設置	軽食及び菓子、土産品を販売する売店コーナーを設置した。	施設利用者、一般	カウントなし
2024年4月14日	体験事業【グラベルミーティング お花見ライド】	自転車で栗原市内のお花見ポイントを巡りながら、チェアリング、お花見を楽しむツアー。	一般	8人
2024年5月9日	宿泊プラン【伊豆沼クリエイティブキャンプ】	ラムサール条約登録湿地の伊豆沼のほとり、自然に囲まれたホステルを会場に、交流しながらクリエイティブに考えたり、発想したりする大人向けの合宿。	一般	8人
2024年6月25日	応急手当講習「エマージェンシー・ファースト・レスポンス」	エマージェンシー・ファースト・レスポンス(EFR)は、心停止など生命にかかわる緊急時のケア(一次ケア)と、即座に生命にかかわらないケガや病気のケア(二次ケア)について学ぶプログラム。	一般	6人
2024年7月18日～19日	LeaveNoTraceレベル1インストラクターコース	国立公園の栗駒山、ラムサール条約登録湿地の伊豆沼・内沼など、栗原市の豊かな自然はアウトドアを満喫できる環境です。この豊かな自然を未来に引き継ぐため、アウトドアを楽しむ際の環境に対する影響を最小限にしたプログラム。	一般	6人
2024年10月3日～4日	体験事業【グラベルサイクリング「1泊2日 グラベルE-bikeで栗駒国立公園をめぐるツアー」】	ラムサール条約登録湿地「伊豆沼・内沼」の湖畔に立つ宿を出発し、田園風景の中や、林道などを走り、日本一の山岳紅葉「神の絨毯」栗駒山を目指す、グラベルライドツアー。	一般	1人
2024年11月5日	体験事業【クズの葉で作る「ツルかご編み」】	施設内に植生しているつる性の植物「クズ」で、果物カゴを制作。	一般	7人
2024年11月9日	体験事業【伊豆沼レンコンを収穫しよう「レンコンの収穫」】	施設周辺のれんこん田で、伊豆沼れんこんの収穫体験。	一般	6人
2024年11月23日	体験事業【普段使いの器を作ろう「陶芸体験」】	市内陶芸家に教わり、普段使いの器を制作。	一般	14人
2024年12月15日	体験事業【麦わらオーナメント「ストロースター」】	自家栽培したライ麦の麦わらを材料に、星型の「ストロースター」というオーナメント作製。	一般	5人
2024年12月20日	体験事業【つまみ細工「若柳地織でつくる花のブローチ」】	地元の伝統工芸品「若柳地織」のハギレを使って、ポインセチアのブローチを作製。	一般	7人
	マガン観察ガイド	伊豆沼内沼に秋から冬に訪れる渡り鳥の朝の飛び立ち、夕方のねぐら入りをガイドの案内により体験する。	一般、宿泊者	66人

6 施設の管理運営における課題（指定管理者、施設所管課記入）

指定管理者（指定管理者記入）	市（施設所管課記入）
施設の老朽化に伴い、年々修繕費がかさんできている。栗原市の重要な観光資源である伊豆沼内沼エリアについては、国内旅行者のほか、近年増加傾向にあるインバウンド誘客も望めることから、計画的なリニューアルが必要と考える。	経年劣化及び自然災害による被害により、近年は修繕箇所が増加し、修繕費用が高額になっている。築30年が経過し、施設としての今後の方向性、在り方を検討する必要があると考える。

7 施設利用者からの主な意見等とその対応状況（指定管理者記入）

施設利用者からの主な意見等	対応状況等
・景色が良い。部屋がきれい。繁忙期、部屋をシェア制にしたら沢山泊まることが出来る。	繁忙期のシェア利用については、実施にあたって環境整備が必要となるため、今後検討していく。
・アットホームな宿でゆっくりと過ごせました。また利用させていただきたいです。	
・いつも安心して泊まれるところが良い。(キャンセルの時に料金がかかるのは仕方ない)	
・ネット上での情報を充実させると予約しやすくなると思います。(備品など)	インターネット予約サイトの情報を更新し、対応済み。
・ガイドさんのおかげですばらしいねぐら入りと飛び立ちを見ることができました。ありがとうございました。	
・電話での対応、入口での接し方が良い。とてもおいしい朝食で、夕食も最高でした。お味噌汁を含めて全部味付けが良い。	
・素泊りで周辺にコンビニなどが無いので事務室前でカップ麺の販売があったのいいと思った。これからも続けてほしいです。	引き続き販売を継続するとともに、ラインナップの充実やお土産品の拡充にも取り組んだ。

8 総合的な評価（指定管理者、施設所管課記入）

評価項目	指定管理者の自己評価		市の評価		改善 勧告
	評価	コメント	評価	コメント	
(1) 基本的な方針に基づく管理・運営体制	A		A	適切に管理、運営している。	
① 施設の管理運営に必要な人員及び有資格者等を計画どおり適切に配置しているか。	S	平均2人以上の配置により、適切に運営した。	A	適切な人員配置である。	
② 指定管理業務に必要な知識及びサービスの向上のため、研修等人材育成に努めているか。	S	専門家による勉強会や応急手当講習等により人材育成に努めた。	A	人材育成に努めている。	
③ 通常の安全管理や緊急時の対応について、職員が適切に行える環境を整備しているか。	A	日常業務での点検のほか、定期的な防災訓練等を行った。	A	通常時、緊急時の体制が十分に整備されている。	
④ 各業務日誌等の管理記録を適切に整備・保管しているか。	A	規定通り、適正に管理している。	A	適切に整備、保管している。	
⑤ 個人情報の取り扱い及び保護の対策について適切に行われているか。	A	規定通り、適正に管理している。	A	適切に管理している。	
⑥ 法令等を遵守し、市と締結している協定に基づいた管理・運営を遂行しているか。	A	協定書に基づき、適正に管理、運営を行った。	A	適切に管理、運営を遂行している。	
(2) 施設管理の状況	A		A	適切な施設管理を行っている。	
① 市の承認した内容に基づき、施設の開館及び利用時間、利用料金設定を遵守しているか。	A	業務内容を遵守して運営を行った。	A	遵守している。	
② 施設内、設備等の清掃及び保守点検等を適切に行い、良好な施設環境を維持しているか。	A	清掃や保守点検を計画的に実施し、常に安全な施設環境を維持している。	A	良好な施設環境を維持に尽力している。	
③ 協定に基づき施設設備や備品等の適切な修繕対応を行っているか。	A	協定に基づき維持管理、修繕を実施している。	A	施設の利便性向上を目指し、積極的に修繕を実施している。	
④ 設備維持と事故等防止のため、必要な専門的点検を実施し安全確認を行っているか。	A	外部の専門業者に委託し、点検を実施した。	A	必要な専門的点検を実施し安全確認を行っている。	
⑤ 利用率向上に向けた対応をしているか。	S	各種キャンセルレス決済対応、インターネットからの宿泊予約が可能となった。	S	予約・支払の多様化や自主事業の多数実施など、利用率向上に向け尽力している。	
(3) 利用者へのサービス提供と満足度	A		A	適切にサービス提供を行っている。	
① 利用者の利便性を意識した迅速な利用許可手続きや施設情報の提供を行っているか。	A	ウェブサイト、SNSにより利用案内をPRした。	A	適切に手続等を行っている。	
② 利用者アンケート等により利用者の意見を把握し反映する取り組みを行ったか。	A	ウェブサイト、SNSにより意見等を収集し、適切に対応した。	A	利用者からの意見を取り入れ運営に精力的に取り組んでいる。	
③ 要望及び苦情等に対する対応が十分になされたか。	A	特に要望、苦情等がなかった。	A	適切に対応している。	
④ 施設の目的を活かし利用者の充実のため新たな取り組みを実施したか。	A	施設及び周辺フィールドを活用した様々な体験コンテンツの提供を行った。	A	施設周辺の特性を活用した自主事業を年間通して実施し、集客に取り組んでいる。	
⑤ モニタリング・アンケートの結果、利用者の満足が得られていたか。	A	満足が得られた。	A	アンケート結果から利用者の満足が得られていることを確認した。	
⑥ 利用者に対し職員の対応、身なり等は適切であるか。	A	職員の対応や身だしなみは良好で、新設かつ丁寧な接遇が利用者から高く評価されている。	A	適切に対応を行っている。	
(4) 運営の状況（収支の実績等）	A		A	事業計画に基づき、適切に運営を行っている。	
① 収支計画及び事業計画と比較し実績の状況は妥当であるか。	A	利用人数は概ね計画通りで、実績はおおむね妥当と判断しています。収支は総額で計画を上回りましたが、収入は補助事業やプラン造成により確保し、支出増には経費削減で対応しました。	B	収入は計画を上回ったものの支出が多かったため、引き続き経費削減に努めてほしい。	
② 積極的に収入の創出（増）に努め、又収入の増加に繋がる具体的な取り組みがあったか。	A	売店コーナーの設置、宿泊プランと連動した体験コンテンツの提供など、収入確保に努めた。	A	SNSによる積極的な広報活動や新たなコンテンツ提供などにより、利用者及び収入の増加に努めている。	
③ 積極的に経費削減に努め、又具体的に経費の削減が図られた実績が見られるか。	A	人件費の上昇や雇用確保に伴う処遇改善、燃料費高騰による支出増がありましたが、その他経費の節減を図ることで対応いたしました。	A	新たなコンテンツ提供などに費用が掛かったが、それ以外の部分では経費削減に努めている。	
④ 指定管理業務における専用口座及び諸帳簿等を備え適正な経理が行われているか。	A	指定管理業務の適切な管理に必要な諸帳簿を備えている。	A	適正であると判断する。	

総合評価	指定管理者の自己評価（指定管理者記入）		市の評価（施設所管課記入）	
	評価	コメント	評価	コメント
	A	＜指定管理者の所見＞ 施設利用者数は計画に対して1.4%の増となりましたが、宿泊者数は約300人の減少となりました。この状況を受け、宿泊利用の回復と全体の利用促進に向けて、オンライン予約システムやキャンセル決済の導入など、利便性の向上を進めています。加えて、宿泊とアクティビティを組み合わせた体験型プランや、地域ガイドによる案内付きプランの販売にも取り組んでいます。 経費面では、光熱水費の高騰により電気料・燃料費が大幅に増加しました。節電などの工夫を続けていますが、結果として支出は増加しています。また、指定管理施設人件費高騰対策支援金を活用し、基本給の底上げや賞与の見直しを行ったことにより、人件費も増加となりました。 さらに、設備の老朽化によってボイラーからの漏水が発生し、年度末にかけて水道料が大きく増加しましたが、現在は使用しない時間帯のバルブ閉止など、対応を実施しています。 今後も、利用しやすく、選ばれる施設を目指して、サービスの充実と効率的な運営に努めてまいります。	A	＜施設所管課の所見＞ オンラインを使った予約・支払方法の導入や宿泊にアクティビティを組み合わせたプランの追加、施設の修繕など、指定管理初年度として積極的な設備投資や創意工夫、見直しを行い、施設の価値を高める意欲と集客や施設利用者の満足度に繋げたことを高く評価する。 また、施設周辺の観光資源を活かした多種多様なイベントを開催し、地域の特産物や人材を活用するなど、施設のみならず、栗原市のPRにも貢献したことを高く評価する。

別紙様式6

指定管理者制度導入施設の管理運営に関する評価票(評価対象年度:令和6年度)

施 設 の 名 称	栗原市志波姫公民館
施 設 所 管 部 署 名	教育部社会教育課

1 評価対象施設の概要 (施設所管課記入)

施 設 名 称	栗原市志波姫公民館		
施 設 所 在 地	栗原市志波姫沼崎南沖447番地		
設 置 年 月	令和5年12月	設置根拠条例	栗原市公民館条例
設 置 目 的	栗原市における実際生活に即する教育、学術及び文化に関する各種の事業を行い、住民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与するため		
施 設 概 要	面 積	延床面積 1,565.54㎡、 敷地面積 3,158.26㎡	
	構 造	公民館部:木造平屋 アリーナ部:鉄骨造2階建て	
	施設内容	研修室1 54.24㎡、研修室2 39.74㎡、研修室3 59.62㎡、図書コーナー 66.24㎡、授乳室 11.17㎡、アリーナ 815.98㎡、その他(事務室、給湯コーナー、トイレ、キッズスペース、更衣室、倉庫、蓄電池置場)	
休 館 日	1月1日 ※ 条例から変更の有無 ☒ 有 ☐ 無		
開 館 時 間	午前9時 ～ 午後10時 ただし、利用者の要望及び利用状況により変更する。 ※ 条例から変更の有無 ☒ 有 ☐ 無		
施 設 利 用 料 金	利用料金制	☒ 採用 ☐ 採用無 ☐ 指定管理料と併用 ☐ 指定管理料のみ	
	設定金額	1時間あたりの利用料金は以下のとおり。 アリーナ(全面)310円、アリーナ(半面)155円、各会議室(1・2・3) 110円、会議室冷暖房44円 ※栗原市公民館条例施行規則第7条に基づき、利用料金免除を適用する。	

2 指定管理者等の概要 (施設所管課記入)

指 定 管 理 者	事業者等名称	しわひめスポーツクラブ		
	事務所所在地	栗原市志波姫沼崎南沖447番地		
指 定 の 期 間	令和6年4月1日～令和9年3月31日（3年間）			
指定にかかる選定方法	■ 公募 □ 非公募		指定管理料	40,650,000円（3年間）

3 施設管理の経過 (施設所管課記入)

期 間	管理形態	施設管理を行った団体等	摘要
令和5年12月 ~ 令和6年3月	直営		

4 施設の利用実績 (指定管理者記入)

	事業計画	実 績		計画との比率 (%)	前年度との比較 (%)
	評価対象年度 (令和6年度)	前年度 (令和5年度)	評価対象年度 (令和6年度)		
開 館 日 数	359日	—	359日	100.0%	—
利用者数(延べ人数)	20,000人	—	26,824人	134.1%	—
利 用 料 金 収 入	300,000円	—	357,920円	119.3%	—
主 な 増 減 要 因 (前 年 比)					

5 自主事業等の実績（指定管理者記入）

年月日	事業名	事業内容	対象者	参加者数
通年	スポーツ教室	スポーツ教室12種目実施	地域住民	10,454人
5月～2月	スポーツセミナー	スポーツセミナー12種目実施	地域住民	2,221人
令和7年2月11日	カリヨンフェスティバル	チャレンジザゲーム、チャレンジランキング	地域住民	150人

6 施設の管理運営における課題（指定管理者、施設所管課記入）

指定管理者（指定管理者記入）	市（施設所管課記入）
・夏期期間、虫の侵入の対応に苦慮している。 ・鳥の巣を作られないようにするための対策に苦慮している。 ・夏期期間、アリーナの暑さ対策についての要望を多く受けている。	・虫の侵入は構造上やむを得ないため、理解いただきたい。 ・鳥の巣対策については、鳥の侵入口を網で塞ぐなど対応を行った。 ・アリーナの暑さ対策については、要望として受け止め、他施設の現状や市の方針も鑑み、検討したい。

7 施設利用者からの主な意見等とその対応状況（指定管理者記入）

施設利用者からの主な意見等	対応状況等
多数の利用者から、強風時アリーナの屋根の音がうるさいとの苦情がありました。	担当課に報告。後日、調査が行われ、修繕されました。
志波姫公民館に来る祭、看板に従って行ったら、旧志波姫公民館に行ってしまったとの苦情がありました。	築館・志波姫教育センターに報告し、後日撤去されました。
非常口のドアが開けられないとの苦情がありました。	虫侵入防止のための防虫テープ等が原因の為、後日別の対策を講じテープ等は外しました。
公民館利用者が総合支所の喫煙所を利用している。	総合支所喫煙所の利用禁止及び公民館敷地内禁煙を掲示しました。
公民館敷地内禁止となっているが、敷地内で喫煙している人がある。	総合支所と検討の結果、一般の方には総合支所と公民館の敷地の区別がわからないため、敷地内禁煙の表示を撤去。また、イベント時等は総合支所喫煙所の利用を可能とするが、火気に注意し適時清掃することとしました。

8 総合的な評価（指定管理者、施設所管課記入）

評価項目	指定管理者の自己評価		市の評価		改善 勧告
	評価	コメント	評価	コメント	
(1) 基本的な方針に基づく管理・運営体制	A	適正な施設管理、運営を行った	A	適切に管理・運営している。	
① 施設の管理運営に必要な人員及び有資格者等を計画どおり適切に配置しているか。	A	必要な人員を確保し適切に配置した。	A	適切な人員配置である。	
② 指定管理業務に必要な知識及びサービスの向上のため、研修等人材育成に努めているか。	A	業務の引継ぎ、情報の共有等を行いサービスの向上に努めた。	A	人材育成に努めている。	
③ 通常の安全管理や緊急時の対応について、職員が適切に行える環境を整備しているか。	A	自衛消防訓練を2回実施	A	緊急時の体制が十分に整備されている。	
④ 各業務日誌等の管理記録を適切に整備・保管しているか。	A	業務日誌を記入し適切に管理保管した。	A	適切に管理している。	
⑤ 個人情報取り扱い及び保護の対策について適切に行われているか。	A	個人情報保護規定に基づき、適切に管理保管した。	A	適切に管理している。	
⑥ 法令等を遵守し、市と締結している協定に基づいた管理・運営を遂行しているか。	A	適切に管理・運営を行った。	A	適切に管理している。	
(2) 施設管理の状況	A	適切な施設管理・運営を行った	A	適切な施設管理を行っている。	
① 市の承認した内容に基づき、施設の開館及び利用時間、利用料金設定を遵守しているか。	A	承認内容に基づき、管理を行った。	A	承認内容を遵守している。	
② 施設内、設備等の清掃及び保守点検等を適切に行い、良好な施設環境を維持しているか。	A	毎日清掃を行い、保守点検等も専門業者に委託し実施した。	A	良好な施設環境を維持している。	
③ 協定に基づき施設設備や備品等の適切な修繕対応を行っているか。	A	必要に応じ修繕等を行った。	A	適切に対応している。	
④ 設備維持と事故等防止のため、必要な専門的点検を実施し安全確認を行っているか。	A	各種点検を専門業者に委託し実施	A	必要な点検を適切に実施し、安全確認を行っている。	
⑤ 集客や市民との協働、施設の特性を活かした事業ができたか。	A	アリーナなど施設の特性を生かし自主事業を開催できた。	A	施設の特性を生かした自主事業を展開し、積極的に取組を行っているかと判断する。	
(3) 利用者へのサービス提供と満足度	A	利用者の要望等に迅速に対応した。	A	利用者より一定の満足は得られていると判断する。	
① 利用者の利便性を意識した迅速な利用許可手続きや施設情報の提供を行っているか。	A	利用予定表を掲示。また、利用状況等の問い合わせ等にも丁寧に対応した。	A	適切な手続きと迅速な情報提供を行っている。	
② 利用者アンケート等により利用者の意見を把握し反映する取り組みを行ったか。	A	アンケートを窓口を設置。またその都度利用者から口頭で意見等を聴取した。	A	適切に行っている。	
③ 要望及び苦情等に対する対応が十分になされたか。	A	対応できるものは迅速に対応。その他、所管課へ報告した。	A	要望等に対応していると判断する。	
④ 施設の目的を活かし利用者の充実のため新たな取り組みを実施したか。	A	各種スポーツ教室を開催し、利用者の充実に努めた。	A	利用者増に繋がる更なる事業展開に期待する。	
⑤ モニタリング・アンケートの結果、利用者の満足が得られていたか。	A	利用者の要望に迅速に対応した。	A	利用者より一定の満足は得られていると判断する。	
⑥ 利用者に対し職員の対応、身なり等は適切であるか。	A	わかりやすく丁寧な対応を心掛けた。	A	適切に対応している。	
(4) 運営の状況（収支の実績等）	A	工夫や節約を行い安定した運営ができるよう努めたい。	A	利用者より一定の満足は得られていると判断する。	
① 収支計画及び事業計画と比較し実績の状況は妥当であるか。	A	概ね計画のとおり行った。	A	適切である。	
② 積極的に収入の創出（増）に努め、又収入の増加に繋がる具体的な取り組みがあったか。	A	新規利用者、自主事業参加者が増加により収入も増加した。	A	定期的な自主事業の実施により、利用者及び収入の増加に努めている。	
③ 積極的に経費縮減に努め、又具体的に経費の縮減が図られた実績が見られるか。	A	職員でできることは行い節約に努めた。	A	経費縮減等に取り組んでいる。	
④ 指定管理業務における専用口座及び諸帳簿等を備え適正な経理が行われているか。	A	専用口座及び諸帳簿で経理を行った。	A	適正であると判断する。	

総合評価	指定管理者の自己評価（指定管理者記入）	評価	市の評価（施設所管課記入）	評価
	<指定管理者の所見>	A	<施設所管課の所見>	A
	新規利用者や自主事業参加者の増加で、事業計画より利用者及び利用料収入が増加した。 施設管理については、利用者に気持ちよく活動できるよう、施設内外の清掃を毎日行い良好な環境を維持することができた。 今後も、利用者の視点に立った管理を心がけ、利用者の声に耳を傾けながら管理・運営をいたします。		令和5年12月の開館から間もない新規の指定管理施設の運営であったが、適切な施設管理を行い、施設の特性を生かした自主事業により、利用者及び収入の確保に努められた。 今後も、自主事業での地域住民の参加機会提供などの施設運営・監理に期待している。	

別紙様式6

指定管理者制度導入施設の管理運営に関する評価票(評価対象年度:令和6年度)

施設 の 名 称	栗原市千葉周作ゆかりの家
施設所管部署名	教育部 文化財保護課

1 評価対象施設の概要 (施設所管課記入)

施設名称	栗原市千葉周作ゆかりの家		
施設所在地	栗原市花山字草木沢箕ノ口地内		
設置年月	平成3年7月	設置根拠条例	栗原市千葉周作ゆかりの家条例
設置目的	栗原市千葉周作ゆかりの家を保存しながら、古民家の遺構、民俗資料等の歴史に関する資料を収集保管し、それらを公開することで広く文化を伝えることに寄与する。		
施設概要	面積	合計延床面積 320.02 m ² 、敷地面積 4,062 m ²	
	構造	木造平屋建	
	施設内容	長屋門(市指定有形文化財)1棟 延床面積 65.79m ² 住宅(市指定有形文化財)1棟 延床面積 242.23m ² 便所 1棟 延床面積 12m ²	
休館日	4月1日から11月30日までの月曜日から水曜日(ただし、月曜日から水曜日が国民の祝日に関する法律に規定する休日である場合は開館)。※ 条例から変更の有無 ☐ 有 ☒ 無		
開館時間	午前9時00分 ～ 午後4時00分 ※ 条例から変更の有無 ☐ 有 ☒ 無		
施設利用料金	利用料金制	☐ 採用 ☐ 採用無 ☒ 指定管理料と併用 ☐ 指定管理料のみ	
	設定金額	観覧料(一般は18歳以上、団体は20名以上) 一般(個人)210円 小・中学生、高校生及びこれに準ずる者(個人)110円 一般(団体)170円 小・中学生、高校生及びこれに準ずる者(個人)90円 ※ 条例から変更の有無 ☐ 有 ☒ 無	

2 指定管理者等の概要 (施設所管課記入)

指 定 管 理 者	事業者等名称	有限会社 花山産業		
	事務所所在地	栗原市花山字本沢北ノ前35番地の15		
指 定 の 期 間	令和6年4月1日～令和11年3月31日（5年間）			
指定にかかる選定方法	☒ 公募 ☐ 非公募	指定管理料	7,300,000円（5年間）	

3 施設管理の経過 (施設所管課記入)

期 間	管理形態	施設管理を行った団体等	摘要
平成17年 4月 ~ 平成18年 3月	直営	栗原市花山教育センター	
平成18年4月 ~ 平成23年3月	管理委託	社団法人 栗原市シルバー人材センター	
平成23年4月 ~ 令和 6年3月	指定管理	有限会社 花山産業	H26,H31更新

4 施設の利用実績 (指定管理者記入)

	事業計画	実 績		計画との比率 (%)	前年度との比較 (%)
	評価対象年度 (令和6年度)	前年度 (令和5年度)	評価対象年度 (令和6年度)		
開 館 日 数	150日	143日	141日	94.0%	98.6%
利用者数(延べ人数)	900人	227人	290人	32.2%	127.8%
利 用 料 金 収 入	79,000円	45,300円	58,770円	74.4%	129.7%
主 な 増 減 要 因 (前 年 比)	前年度実績よりも、利用者数が増加したものの事業計画の利用者数には届かなかった。				

5 自主事業等の実績（指定管理者記入）

年月日	事業名	事業内容	対象者	参加者数
なし				

6 施設の管理運営における課題（指定管理者、施設所管課記入）

指定管理者（指定管理者記入）	市（施設所管課記入）
新型コロナ（5種）の影響がまだあり 自主イベントが開催出来なかった。（県外からのお客様が多かった。）	・利用者数及び利用料金から見ると、新型コロナの自粛規制も解除され、少しずつ観光客が戻ってきているようです。 ・令和7年度は、自主イベントを企画され、HP上でイベントの周知を行う等、更なる観光客誘致に向け努力をお願いします。

7 施設利用者からの主な意見等とその対応状況（指定管理者記入）

施設利用者からの主な意見等	対応状況等
施設・展示物について満足していただいた。	施設・展示物等の維持管理に努めたい。
千葉周作について興味をもっていただいた。	HPを更新しながら観光PRにつなげたい。

8 総合的な評価（指定管理者、施設所管課記入）

評価項目	指定管理者の自己評価		市の評価		改善 勧告
	評価	コメント	評価	コメント	
(1) 基本的な方針に基づく管理・運営体制	B		A		
① 施設の管理運営に必要な人員及び有資格者等を計画どおり適切に配置しているか。	A	適正に行っている。	A	適正に行われている。	
② 指定管理業務に必要な知識及びサービスの向上のため、研修等人材育成に努めているか。	B	おおむね適正に行っている。	B	おおむね適正に行われている。	
③ 通常の安全管理や緊急時の対応について、職員が適切に行える環境を整備しているか。	A	適正に行っている。	A	当課との連絡及び現場確認体制が確立されている。	
④ 各業務日誌等の管理記録を適切に整備・保管しているか。	A	適正に行っている。	A	適正に行われている。	
⑤ 個人情報の取り扱い及び保護の対策について適切に行われているか。	B	おおむね適正に行っている。	B	個人情報の取り扱いに関し漏洩等が生じないよう適切に保管・管理願う。	
⑥ 法令等を遵守し、市と締結している協定に基づいた管理・運営を遂行しているか。	B	おおむね適正に行っている。	B	自主イベントの開催に期待します。	
(2) 施設管理の状況	B		A		
① 市の承認した内容に基づき、施設の開館及び利用時間、利用料金設定を遵守しているか。	A	適正に行っている。	A	適正に行われている。	
② 施設内、設備等の清掃及び保守点検等を適切に行い、良好な施設環境を維持しているか。	B	おおむね適正に行っている。	A	適正に行われている。	
③ 協定に基づき施設設備や備品等の適切な修繕対応を行っているか。	B	おおむね適正に行っている。	A	適正に行われている。	
④ 設備維持と事故等防止のため、必要な専門的点検を実施し安全確認を行っているか。	B	おおむね適正に行っている。	B	専門的な点検については、専門業者に依頼し安全管理を行ってください。	
(3) 利用者へのサービス提供と満足度	A		A		
① 利用者の利便性を意識した迅速な利用許可手続きや施設情報の提供を行っているか。	A	適正に行っている。	A	適正に行われている。	
② 利用者アンケート等により利用者の意見を把握し反映する取り組みを行ったか。	A	適正に行っている。	A	適正に行われている。	
③ 要望及び苦情等に対する対応が十分になされたか。	A	適正に行っている。	A	適正に行われている。	
④ 施設の目的を活かし利用者の充実のため新たな取り組みを実施したか。	B	おおむね適正に行っている。	B	コロナによる外出自粛規制が無くなったことから新しい取り組みに期待します。	
⑤ モニタリング・アンケートの結果、利用者の満足が得られていたか。	A	適正に行っている。	A	適正に行われている。	
⑥ 利用者に対し職員の応対、身なり等は適切であるか。	A	適正に行っている。	A	適正に行われている。	
(4) 運営の状況（収支の実績等）	B		C		
① 収支計画及び事業計画と比較し実績の状況は妥当であるか。	B	おおむね適正に行っている。	C	事業計画の利用者数の数値が実績値とかけ離れていることから、現実的な数値で計画を行ってください。	
② 積極的に収入の創出（増）に努め、又収入の増加に繋がる具体的な取り組みがあったか。	B	おおむね適正に行っている。	C	利用収入の確保に向け、自主イベントの企画する等、取り組みをお願いします。	
③ 積極的に経費縮減に努め、又具体的に経費の縮減が図られた実績が見られるか。	A	適正に行っている。	A	適正に行われている。	
④ 指定管理業務における専用口座及び諸帳簿等を備え適正な経理が行われているか。	B	おおむね適正に行っている。	B	おおむね適正に行われている。	

総合評価	指定管理者の自己評価（指定管理者記入）	評価	市の評価（施設所管課記入）	評価
	＜指定管理者の所見＞ 来館者数が前年度と比較すると127.8%増でした。にも拘らずコロナ感染が懸念され自主イベントが出来なかった。残念でした。	B	＜施設所管課の所見＞ 御社の有する経験等を生かした施設管理・運営については高く評価しております。 今後も利用者の声に耳を傾けながら利用者満足度の向上を図るとともに、利用者数の増加に向け、新規自主事業を開催する等、新たな取り組みに期待しております。	B

別紙様式6

指定管理者制度導入施設の管理運営に関する評価票(評価対象年度:令和6年度)

施設 の 名 称	栗原市仙台藩花山村寒湯番所跡
施設 所 管 部 署 名	教育部 文化財保護課

1 評価対象施設の概要 (施設所管課記入)

施設名	栗原市仙台藩花山村寒湯番所跡		
施設所在地	栗原市花山字本沢温湯地内		
設置年月	平成3年4月	設置根拠条例	栗原市仙台藩花山村寒湯番所跡条例
設置目的	市の歴史的財産である寒湯番所跡を適切に保存し後世に伝えながら、市民文化の向上に寄与する資料として活用するもの。		
施設概要	面積	合計延床面積 522.1 m ² 、敷地面積 3,925.33 m ²	
	構造	役宅:木造2階建 板倉:木造平屋建 ポンプ室:ブロック造平屋建	
	施設内容	ア 役宅 建床面積 479.54m ² エ 屋外施設(表門・裏門・石垣) イ 板倉 建床面積 32.32m ² ウ ポンプ室 建床面積 10.24m ²	
休館日	12月1日から翌年3月31日まで ※ 条例から変更の有無 ☐ 有 ☒ 無		
開館時間	午前9時00分 ~ 午後4時30分 ※ 条例から変更の有無 ☐ 有 ☒ 無		
施設利用料金	利用料金制	☐ 採用 ☐ 採用無 ☒ 指定管理料と併用 ☐ 指定管理料のみ	
	設定金額	観覧料(一般は18歳以上、団体は20名以上) 一般(個人)210円 小・中学生、高校生及びこれに準ずる者(個人)110円 一般(団体)170円 小・中学生、高校生及びこれに準ずる者(個人)90円 ※ 条例から変更の有無 ☐ 有 ☒ 無	

2 指定管理者等の概要 (施設所管課記入)

指 定 管 理 者	事業者等名称	株式会社 ゆめぐり		
	事務所所在地	栗原市栗駒沼倉耕英東50番地1		
指 定 の 期 間	令和6年4月1日 ～ 令和11年3月31日（5年間）			
指定にかかる選定方法	☒ 公募 ☐ 非公募	指定管理料	10,750,000円（5年間）	

3 施設管理の経過 (施設所管課記入)

期 間	管理形態	施設管理を行った団体等	摘要
平成18年 4月 ~ 平成23年 3月	管理委託	社団法人 栗原市シルバー人材センター	
平成23年 4月 ~ 令和 6年 3月	指定管理	株式会社 ゆめぐり	
令和 6年 4月 ~ 令和11年 3月	指定管理	株式会社 ゆめぐり	R6.4更新

4 施設の利用実績 (指定管理者記入)

	事業計画	実 績		計画との比率 (%)	前年度との比較 (%)
	評価対象年度 (令和6年度)	前年度 (令和5年度)	評価対象年度 (令和6年度)		
開 館 日 数	244日	244日	244日	100.0%	100.0%
利用者数(延べ人数)	1,600人	1,369人	1,423人	88.9%	103.9%
利 用 料 金 収 入	270,000円	250,846円	269,409円	99.8%	107.4%
主 な 増 減 要 因 (前 年 比)	利用人数前年比54人増(103%)(大人が76人増、子供が22人減) 温湯山荘の宿泊人数が856人増(112%)の相乗効果				

5 自主事業等の実績（指定管理者記入）

年月日	事業名	事業内容	対象者	参加者数
なし				

6 施設の管理運営における課題（指定管理者、施設所管課記入）

指定管理者（指定管理者記入）	市（施設所管課記入）
・建物の経年劣化に伴い施設の改修、害虫駆除が必要と思います。 ・カメムシの駆除、冬季閉館中の野鳥侵入対策が追いつかない。 ・イベントの開催（自主事業）について、人手不足が深刻でイベント開催が厳しい。人手をかけない誘客企画を模索中。	・施設改修については、市単独では厳しいことから国庫補助事業等を活用しながら改修して参ります。新たな破損箇所等を発見した場合は、速やかに報告をお願いします。 ・カメムシ駆除には立地上もあり、ご苦労されているかと思いますがその都度駆除をお願いします。 ・県文化財課や文化財保護課では、県内及び市内の遺跡の発掘調査の成果のパネル展示を行っているところであり、公開を目的に貸出も可能であることから、本課まで協議願います。

7 施設利用者からの主な意見等とその対応状況（指定管理者記入）

施設利用者からの主な意見等	対応状況等
管理人さんの対応が丁寧だった	
カメムシが多くてビックリしました	都度、駆除していますが追いつかない。カメムシバルサンで駆除しているが、全ての駆除は困難です。
貴重な建造物を見学できました	

8 総合的な評価（指定管理者、施設所管課記入）

評価項目	指定管理者の自己評価		市の評価		改善 勧告
	評価	コメント	評価	コメント	
(1) 基本的な方針に基づく管理・運営体制	A		A		
① 施設の管理運営に必要な人員及び有資格者等を計画どおり適切に配置しているか。	A	管理人を交番制で配置した。 法定点検は専門業者に委託した。	A	適正に行われている。	
② 指定管理業務に必要な知識及びサービスの向上のため、研修等人材育成に努めているか。	A	情報共有に努めている。	A	適正に行われている。	
③ 通常の安全管理や緊急時の対応について、職員が適切に行える環境を整備しているか。	A	避難訓練の実施	A	当課との連絡及び現場確認体制が確立されている。	
④ 各業務日誌等の管理記録を適切に整備・保管しているか。	A	監理日報の記録と提出	A	適正に行われている。	
⑤ 個人情報の取り扱い及び保護の対策について適切に行われているか。	A	条例に基づき対応	A	適正に行われている。	
⑥ 法令等を遵守し、市と締結している協定に基づいた管理・運営を遂行しているか。	A	協定書に基づき対応 異常時は報告	B	自主イベントの開催を期待します。	
(2) 施設管理の状況	A		A		
① 市の承認した内容に基づき、施設の開館及び利用時間、利用料金設定を遵守しているか。	A	条例に基づき対応	A	適正に行われている。	
② 施設内、設備等の清掃及び保守点検等を適切に行い、良好な施設環境を維持しているか。	A	開館中は毎日清掃を実施 周辺の除草作業を適時実施	A	カメムシ駆除等でご苦勞されているかと思いますが適切な対応をお願いします。	
③ 協定に基づき施設設備や備品等の適切な修繕対応を行っているか。	A	異常時は、担当課へ報告	A	適正に行われている。	
④ 設備維持と事故等防止のため、必要な専門的点検を実施し安全確認を行っているか。	A	専門業者へ委託	A	適正に行われている。	
(3) 利用者へのサービス提供と満足度	A		A		
① 利用者の利便性を意識した迅速な利用許可手続きや施設情報の提供を行っているか。	A	申請受理時は、速やかに対応	A	適正に行われている。	
② 利用者アンケート等により利用者の意見を把握し反映する取り組みを行ったか。	A	受付にアンケート用紙を設置	A	適正に行われている。	
③ 要望及び苦情等に対する対応が十分になされたか。	A	随時、対応している。	A	カメムシ駆除等でご苦勞されているかと思いますが適切な対応をお願いします。	
④ 施設の目的を活かし利用者の充実のため新たな取り組みを実施したか。	B	新たな取り組みができていない。	B		
⑤ モニタリング・アンケートの結果、利用者の満足が得られていたか。	B		B		
⑥ 利用者に対し職員の応対、身なり等は適切であるか。	A	苦情はありません。	A	適正に行われている。	
(4) 運営の状況（収支の実績等）	B		B		
① 収支計画及び事業計画と比較し実績の状況は妥当であるか。	B	収支は黒字を確保出来なかった	B		
② 積極的に収入の創出（増）に努め、又収入の増加に繋がる具体的な取り組みがあったか。	B	自主事業模索中	B	利用収入の確保に向け、自主イベントの企画する等、取り組みをお願いします。	
③ 積極的に経費縮減に努め、又具体的に経費の縮減が図られた実績が見られるか。	B	物価高騰の影響を受け計画を上回る支出となった。	A	おおむね妥当である。	
④ 指定管理業務における専用口座及び諸帳簿等を備え適正な経理が行われているか。	A	会計事務所、監査委員の指導を受け入れながら管理	A	適正に行われている。	

総合評価	指定管理者の自己評価（指定管理者記入）	評価	市の評価（施設所管課記入）	評価
	<指定管理者の所見>	B	<施設所管課の所見>	A
	役宅内の床に歪みが生じている箇所がある。（修繕予定あり）積雪があった日は、補修した屋根の雪下ろしを行いながら管理した。 収入は計画2,210千円に対し、2,223千円（100.6%）でした。支出は、科目別では増減がありますが、計画2,185千円に対し、2,238千円（102.4%）となり赤字となりました。		御社の有する経験等を生かした施設管理・運営については高く評価しております。 収入についてもコロナウイルスの自粛規制が解除されたためか前年度と比較して大分改善してきているようです。 施設の劣化や害虫駆除等で、施設の維持管理について、大変ご苦勞されているかと思いますが、今後とも当課と密に連携を図りながら適切にご対応をお願いします。	

